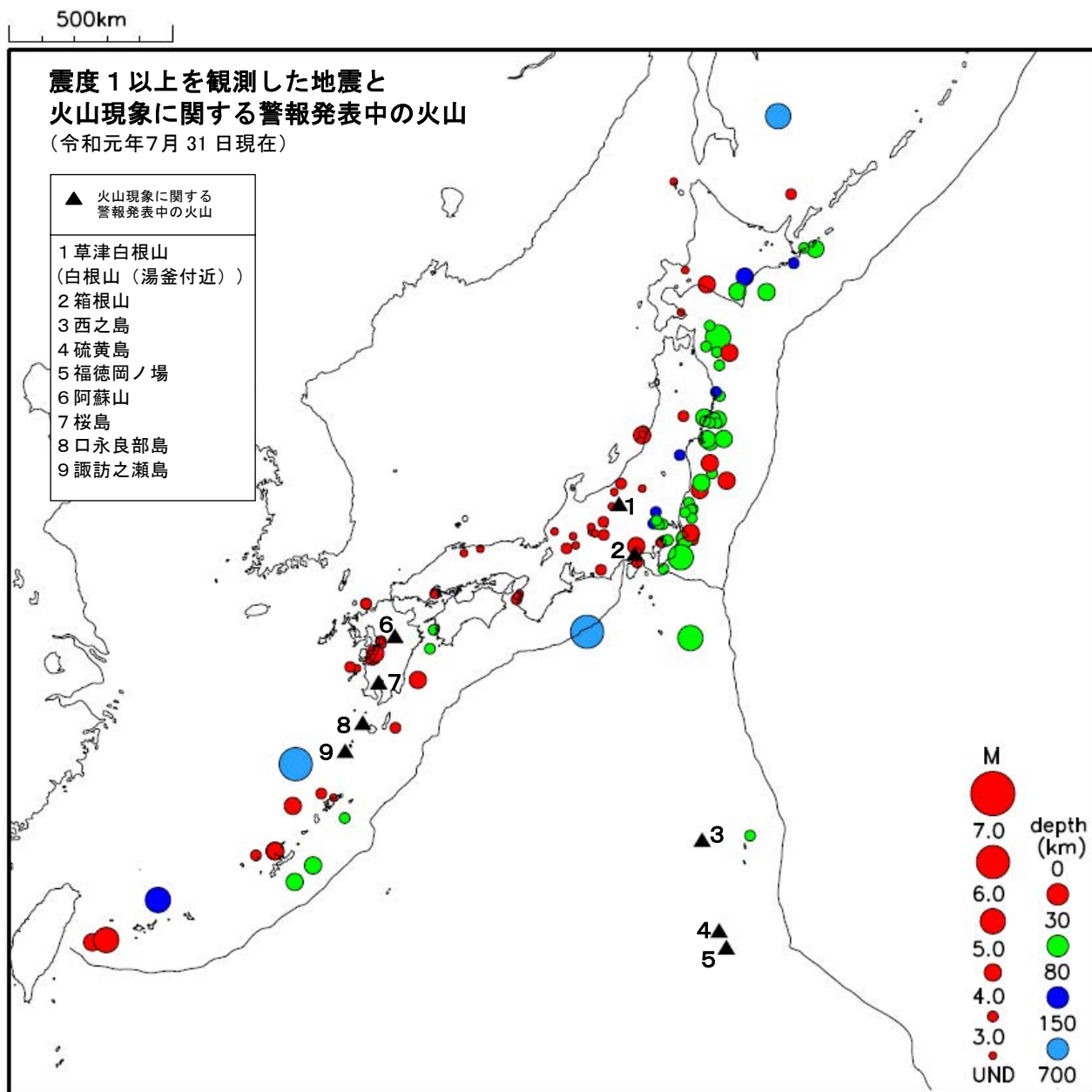


令和元年7月 地震・火山月報(防災編)

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

July 2019



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用にあたって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成 9 年(1997年)11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成 9 年(1997年)10月 1 日より、大学や国立研究開発法人防災科学技術研究所等の関係機関から地震観測データの提供を受け**、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

本誌で使用している震源位置・マグニチュードは世界測地系（Japanese Geodetic Datum 2000）に基づいて計算したものである。

注* 令和元年 7 月 31 日現在：北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県、札幌市（北海道）、仙台市（宮城県）、千葉市（千葉県）、横浜市（神奈川県）、川崎市（神奈川県）、相模原市（神奈川県）、名古屋市（愛知県）、京都市（京都府）の 47 都道府県、8 政令指定都市。

注** 令和元年 7 月 31 日現在：国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを基に作成している。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国家間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを利用している。

□本書利用上の注意

・震央分布図中の語句について

M：マグニチュード（通常、揺れの最大振幅から推定した気象庁マグニチュードだが、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードの場合がある。）

Mw：モーメントマグニチュード（特にことわりがない限り、気象庁 CMT 解のモーメントマグニチュードを表す。）

depth：深さ（km）

UND：マグニチュードの決まらない地震が含まれていることを意味する。

N=xx, yy/ZZ：図中に表示している地震の回数を表す（通常図の右肩上に示してある）。ZZ は回数の総数を表し、xx, yy は期間別に表示色を変更している場合に、期間毎の回数を表す。

・発震機構解について

本書での発震機構解の図は下半球投影である。また、本書での発震機構解は、特にことわりがない限り、初動による発震機構解である。初動発震機構解が求められない場合や、十分な精度が得られない場合には、初動発震機構解に替えて CMT 解を掲載する場合がある。

・発震機構解の図中の語句について

P：P 軸（圧力軸） T：T 軸（張力軸）

N：N 軸（中立軸）

・Global CMT 解について

Global CMT 解は、米国のコロンビア大学とハーバード大学で行っている、世界で発生した規模の大きな地震の CMT 解を求めるプロジェクト（Global CMT Project）により求められた解である。

・M-T 図について

縦軸にマグニチュード（M）、横軸に時間（T）を表示した図であり、地震活動の経過を見るために用いる。

・震央地名について

本書での震央地名は、原則として情報発表時に使用したものをを用いるが、震央を精査した結果等により、情報発表時とは異なる震央地名を用いる場合がある。なお、情報発表時の震央地名及びその領域については、各年の「地震・火山月報（防災編）」1 月号の付録「地震・火山月報（防災編）で用いる震央地名」を参照のこと。

・震源と震央について

震源とは地震の発生原因である地球内部の岩石の破壊が開始した点であり、震源の真上の地点を震央という。

・地震の震源要素等について

2016 年 4 月 1 日以降の震源では、M の小さな地震は、自動処理による震源を表示している場合がある。自動処理による震源は、震源誤差の大きなものが表示されることがある。

震源の深さを「CMT 解による」とした場合は、気象庁 CMT 解のセントロイド（破壊の重心）の深さをを用いている。

地震の震源要素、発震機構解、震度データ等は、再調査後、修正することがある。確定した値、算出方法については、地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>]に掲載する。

・火山の活動解説の火山性地震回数等について

火山性地震や火山性微動の回数等は、再調査後、修正することがある。確定した値については、火山月報（カタログ編）[気象庁ホームページ：https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/bulletin/index_vcatalog.html]に掲載する。

・本書で使用了地図等について

本書中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用した（承認番号 平 29 情使、第 798 号）。また、震央分布図等に表記した活断層は、地震調査研究推進本部の長期評価による。

・図版作成には一部 GMT (Generic Mapping Tool [Wessel, P., and W. H. F. Smith, New, improved version of Generic Mapping Tools released, *EOS Trans. Amer. Geophys. U.*, vol. 79 (47), pp. 579, 1998]) を使用した。

目次

● 日本及びその周辺での主な地震活動	1
北海道地方の地震活動	5
東北地方の地震活動	6
関東・中部地方の地震活動	8
近畿・中国・四国地方の地震活動	14
九州地方の地震活動	15
沖縄地方の地震活動	17
その他の地域の地震活動	18
● 南海トラフ周辺の地殻活動	20
● 日本の主な火山活動	56
北海道地方の火山活動	66
東北地方の火山活動	68
関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動	70
近畿・中国・四国地方の火山活動	74
九州地方の火山活動	75
沖縄地方の火山活動	78
火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴	79
● 世界の主な地震	81
● 世界の主な火山活動	84
● 付録	
1. 震度 1 以上を観測した地震の表	85
2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	106
3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード（M）別の月別地震回数	107
4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震	108
5. 緊急地震速報の提供状況	110

● 日本及びその周辺での主な地震活動

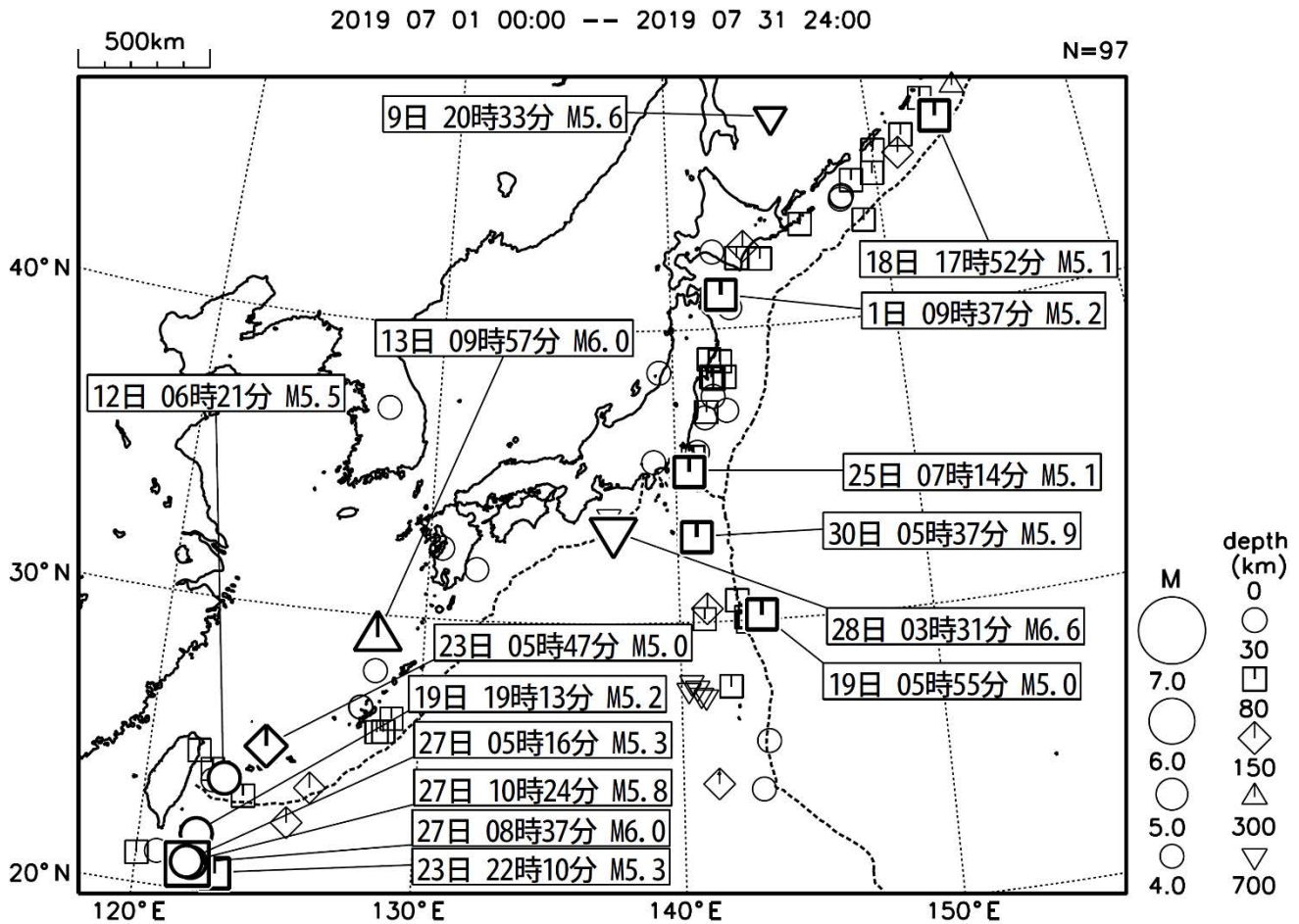


図 1 令和元年 7 月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

（図中に日時分、マグニチュードを付した地震は M5.0 以上の地震、または M4.0 以上で最大震度 5 弱以上を観測した地震である。）

令和元年（2019 年）7 月に日本国内で震度 4 以上を観測した地震の回数は 1 回（6 月は 7 回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 97 回（6 月は 76 回）であった（図 1）。7 月中に発生した主な地震を表 1、震度 1 以上を観測した地震の震央を図 2、M4.0 以上の地震の震央を図 3、震度 4 以上を観測した地震の震度分布図を図 4 に示す。7 月中に震度 5 弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（6 月は震度 5 弱以上を観測した地震は 1 回であり、また、津波を観測した地震も 1 回であった）。

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

表 1 令和元年 7 月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注 1）（注 2）（注 3）

No.	震源時 月 日 時 分	震央地名	M	Mw (注 4)	M H S T (注 5)	最大震度・被害状況等 (注 6)	掲載 ページ
1	7 13 9 57	奄美大島北西沖	6.0	6.1	M . . .	3：鹿児島県 瀬戸内町請島＊ 奄美市名瀬港町 など 1 県 6 地点 喜界町滝川 天城町平土野＊	16
2	7 17 18 0	宮城県北部 (注 7)	4.7	4.6		3：岩手県 一関市室根町＊ 宮城県 気仙沼市赤岩 石巻市桃生町＊ 南三陸町志津川	7
3	7 25 7 14	千葉県東方沖	5.1	5.0		3：千葉県 睦沢町下之郷＊ 市原市姉崎＊ など 1 県 14 地点 長南町総合グラウンド 館山市長須賀	9
4	7 27 8 37	フィリピン付近	6.0	6.0	M . . .	日本国内で震度 1 以上の観測点はなし	19
5	7 28 3 31	三重県南東沖	6.6	6.3	M . S .	4：宮城県 丸森町鳥屋＊ 長周期地震動階級 1 を観測	4、10
6	7 30 5 37	八丈島東方沖	5.9	5.8		3：東京都 八丈町檜立 八丈町富士グラウンド＊ 八丈町三根	13

- (注 1) 主な地震とは、図 1 の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度 4 以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度 3、④海域 M5.0 以上かつ震度 3、⑤その他注目した地震を指す。
- (注 2) 震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
- (注 3) 空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない場合がある。
- (注 4) Mw 欄の「—」は Mw が求められていないことを示す。
- (注 5) M H S T の各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度 4 以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
- (注 6) 最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
- (注 7) 情報発表に用いた震央地名は「岩手県沿岸南部」である。



図2 令和元年7月に震度1以上を観測した地震（図中の番号は、表の番号に対応）

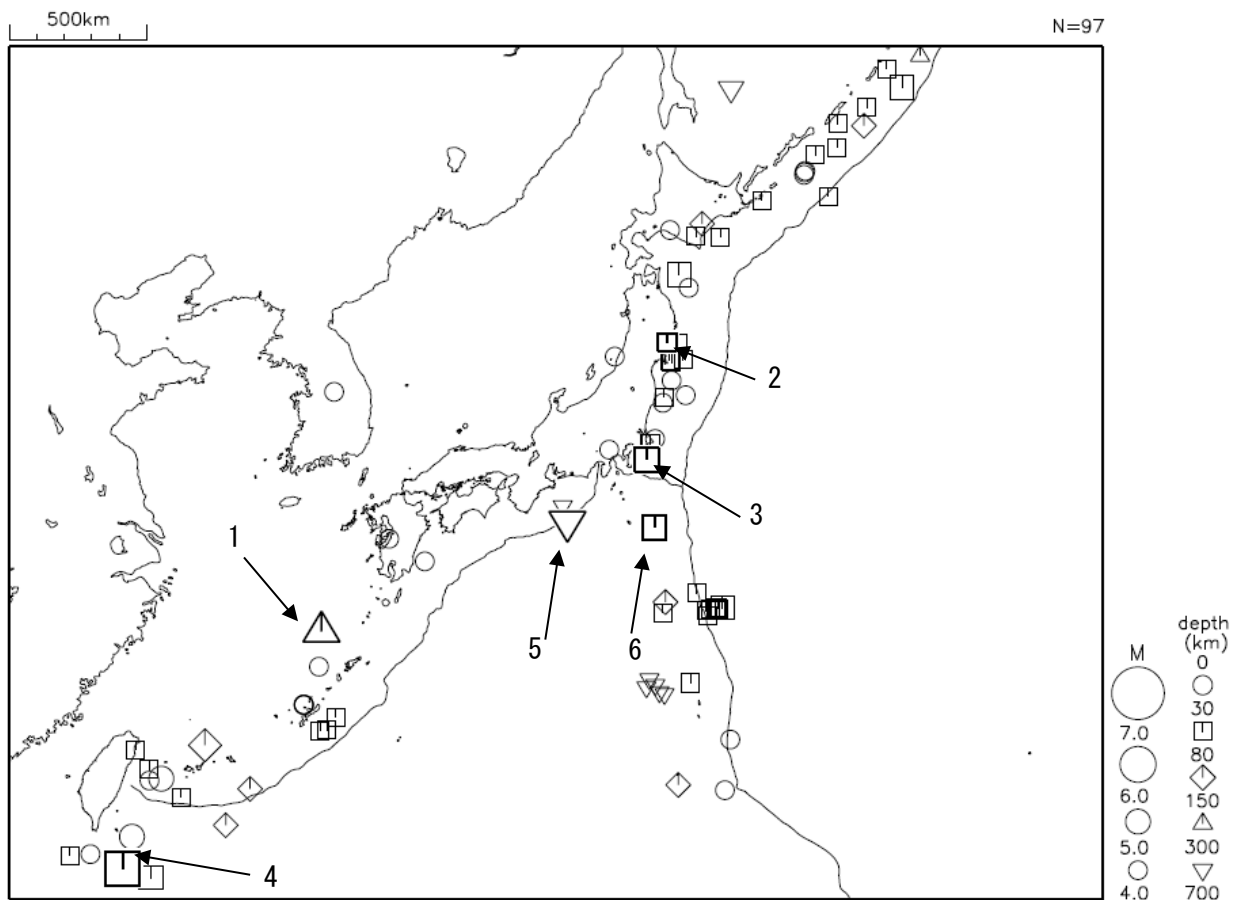


図3 令和元年7月に発生した M4.0 以上の地震（図中の番号は、表の番号に対応）

5 7 月 28 日 03 時 31 分 三重県南東沖
(M6.6、深さ 393km、最大震度 4)

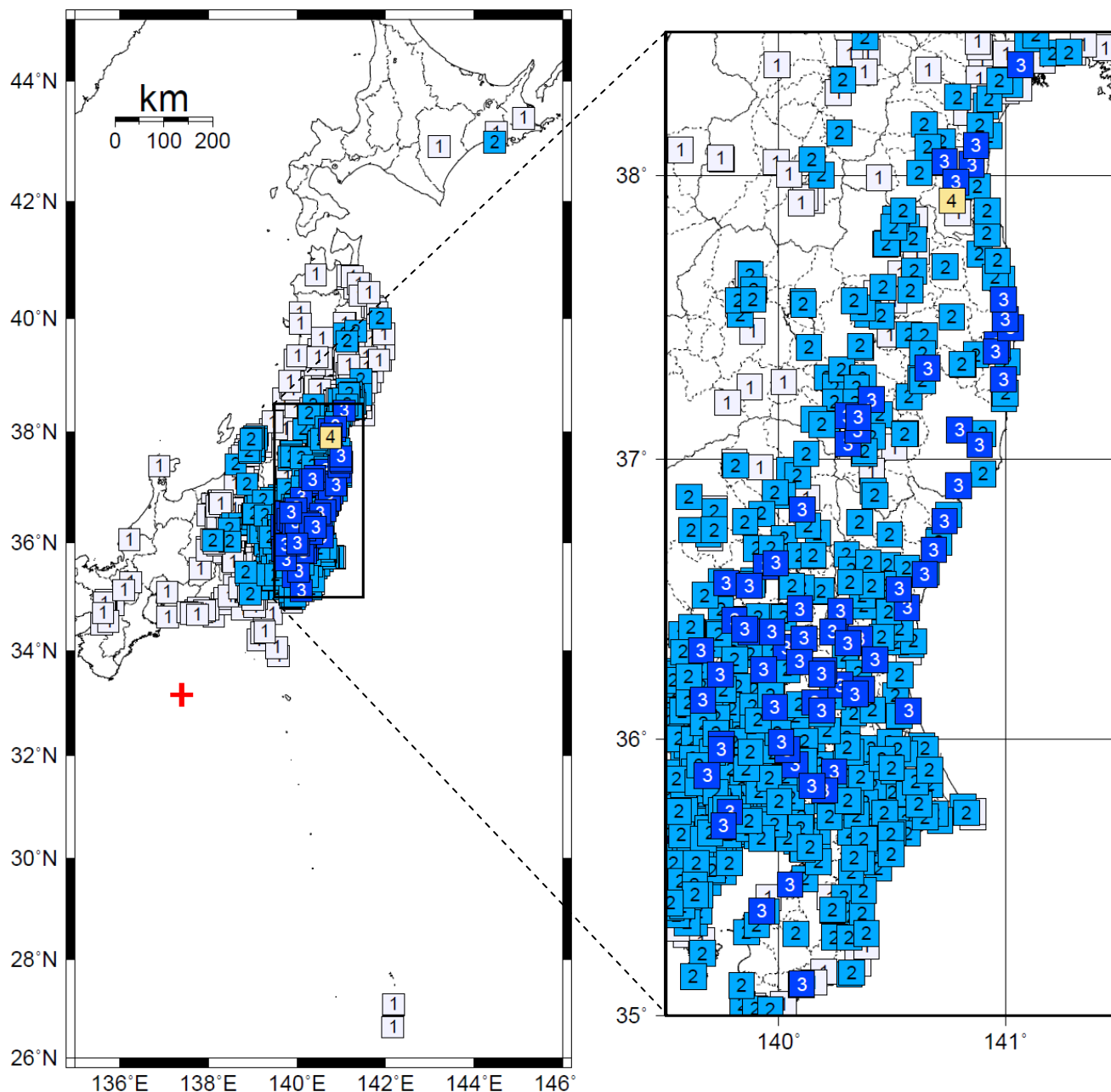


図 4 震度分布図

(各図の左上の数字は表 1、図 2、図 3 の番号に対応する。+印は震央を示す)

※その他の地震の震度分布図については、気象庁 HP の震度データベース

(<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>) をご覧ください。

○北海道地方の地震活動

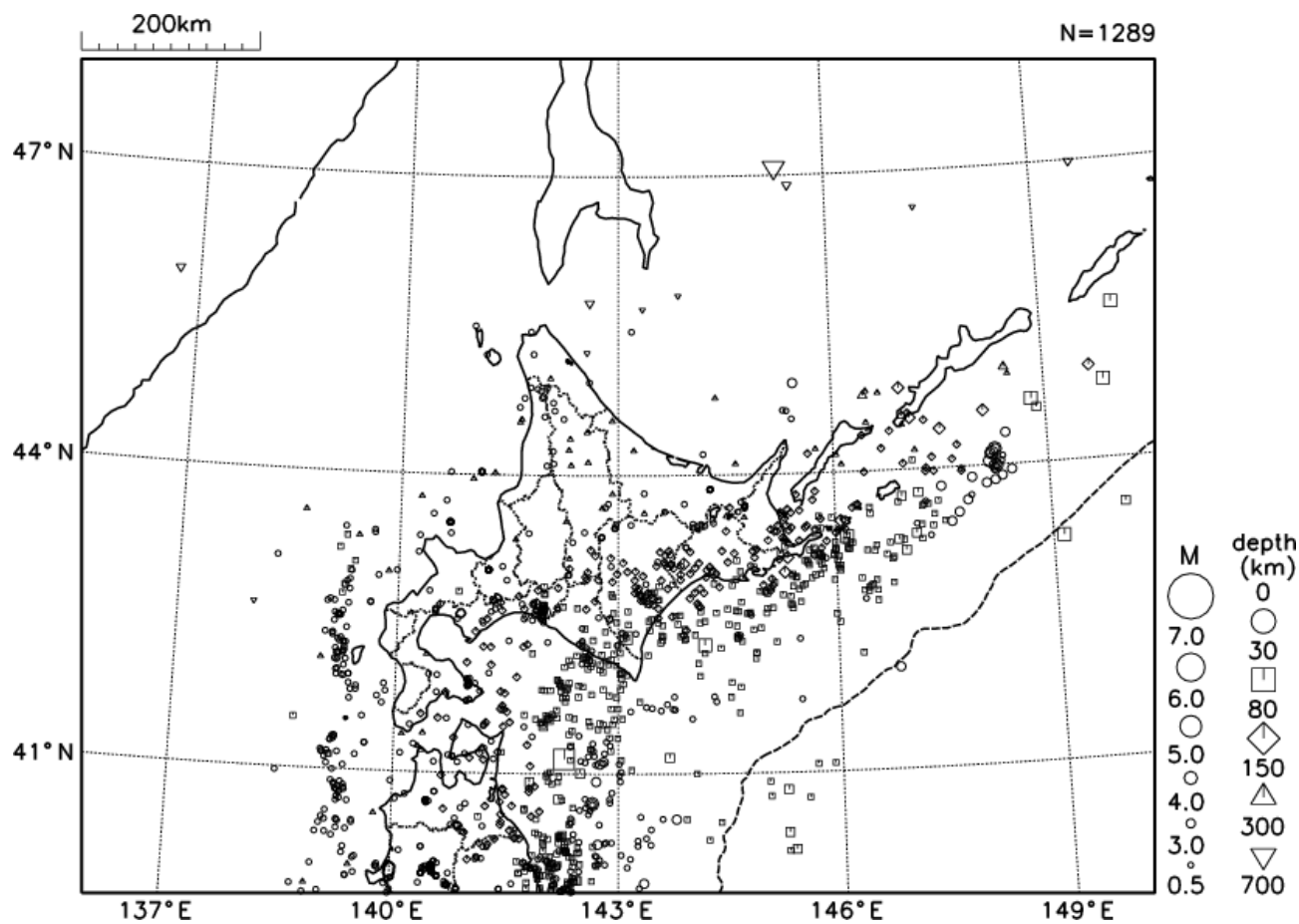


図5 北海道地方の震央分布図（2019年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は14回（6月は16回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○東北地方の地震活動

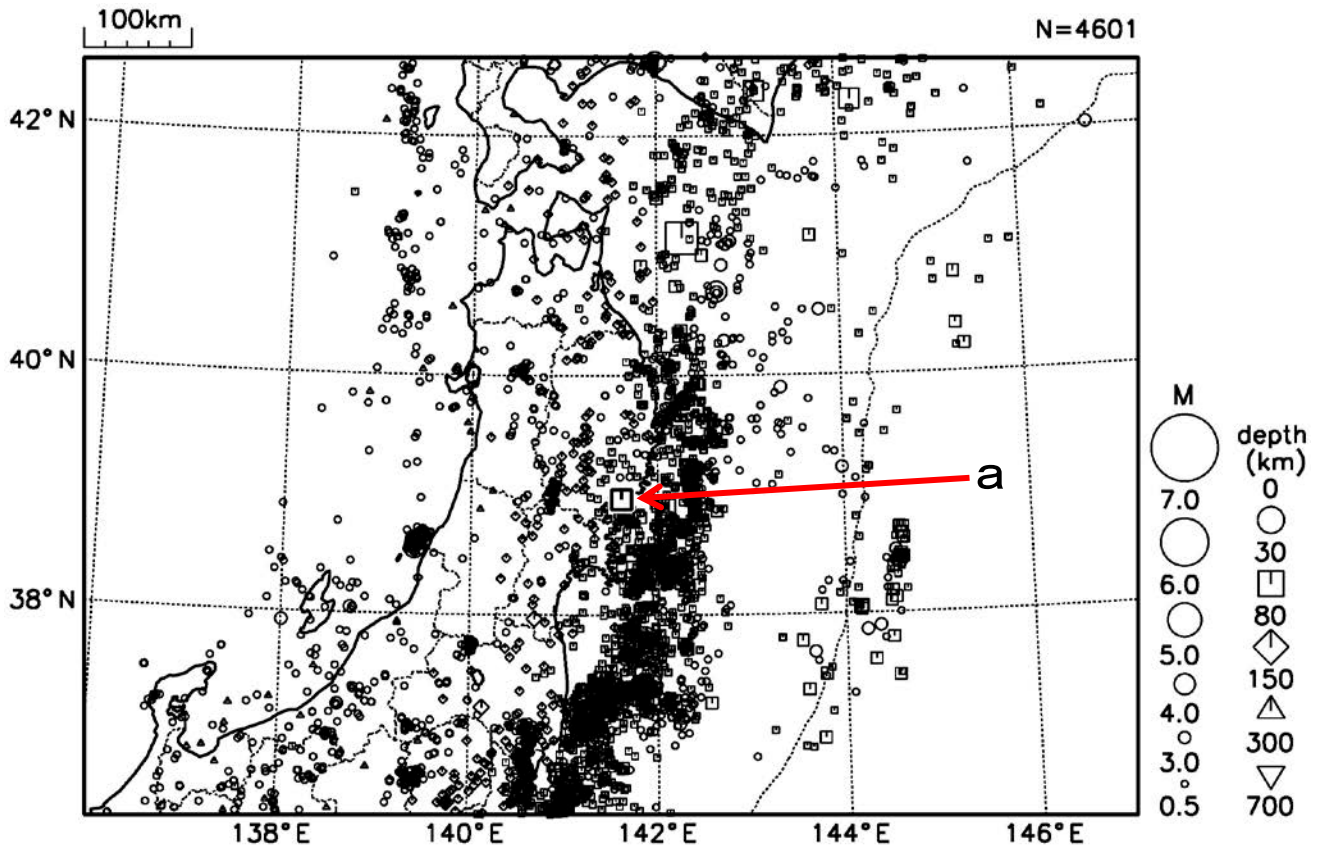


図6 東北地方の震央分布図（2019年7月1日～7月31日、M $\geq$ 0.5）

〔概況〕

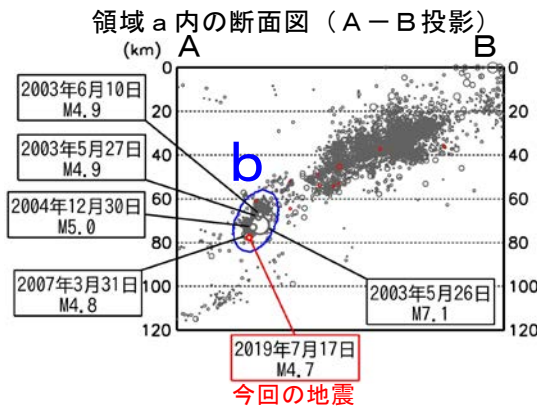
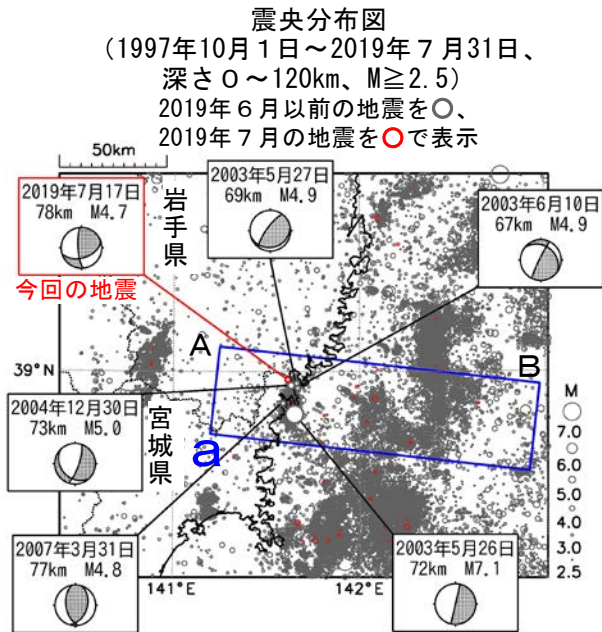
7月に東北地方で震度1以上を観測した地震は34回（6月は58回）であった。
7月中の主な活動は次の通りである。

17日18時00分に宮城県北部の深さ78kmでM4.7の地震（図6中のa）が発生し、岩手県及び宮城県で震度3を観測したほか、東北地方及び茨城県で震度2～1を観測した（p. 7参照）。

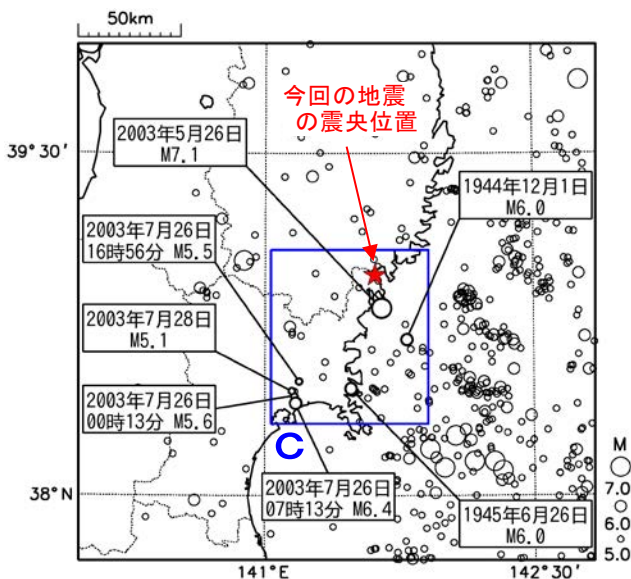
情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸南部〕である。

7 月 17 日 宮城県北部の地震

※情報発表に用いた震央地名は〔岩手県沿岸南部〕である。



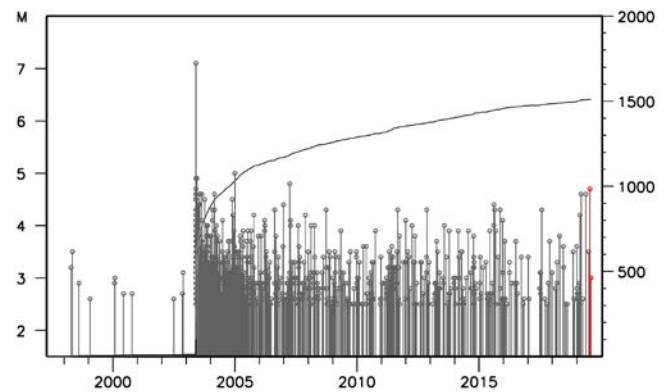
震央分布図
(1922年1月1日～2019年7月31日、
深さ 0～150km、 $M \geq 5.0$)



2019年7月17日18時00分に宮城県北部の深さ78kmでM4.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震は、太平洋プレート内部で発生した。発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型である。

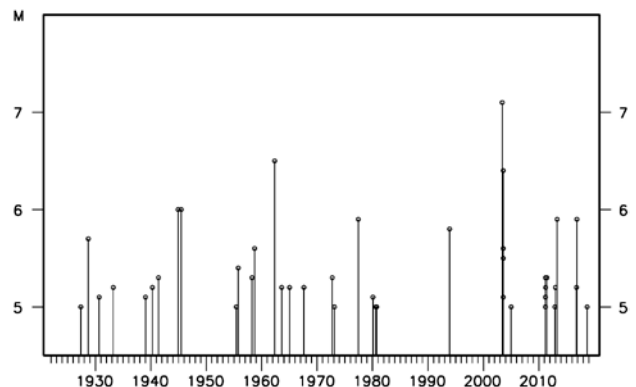
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、2003年5月26日にM7.1の地震（最大震度6弱）が発生し、負傷者174人、住家全壊2棟、半壊21棟、一部破損2,404棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。この地震の発生以降、地震活動が活発化し、M4.0を超える地震がしばしば発生している。

領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0を超える地震が時々発生している。このうち、2003年7月26日07時13分に発生したM6.4の地震（最大震度6強）を最大規模とする一連の地震活動では、負傷者677人、住家全壊1,276棟、半壊3,809棟、一部破損10,976棟の被害が生じた（総務省消防庁による）。

領域 c 内の M-T 図



○関東・中部地方の地震活動

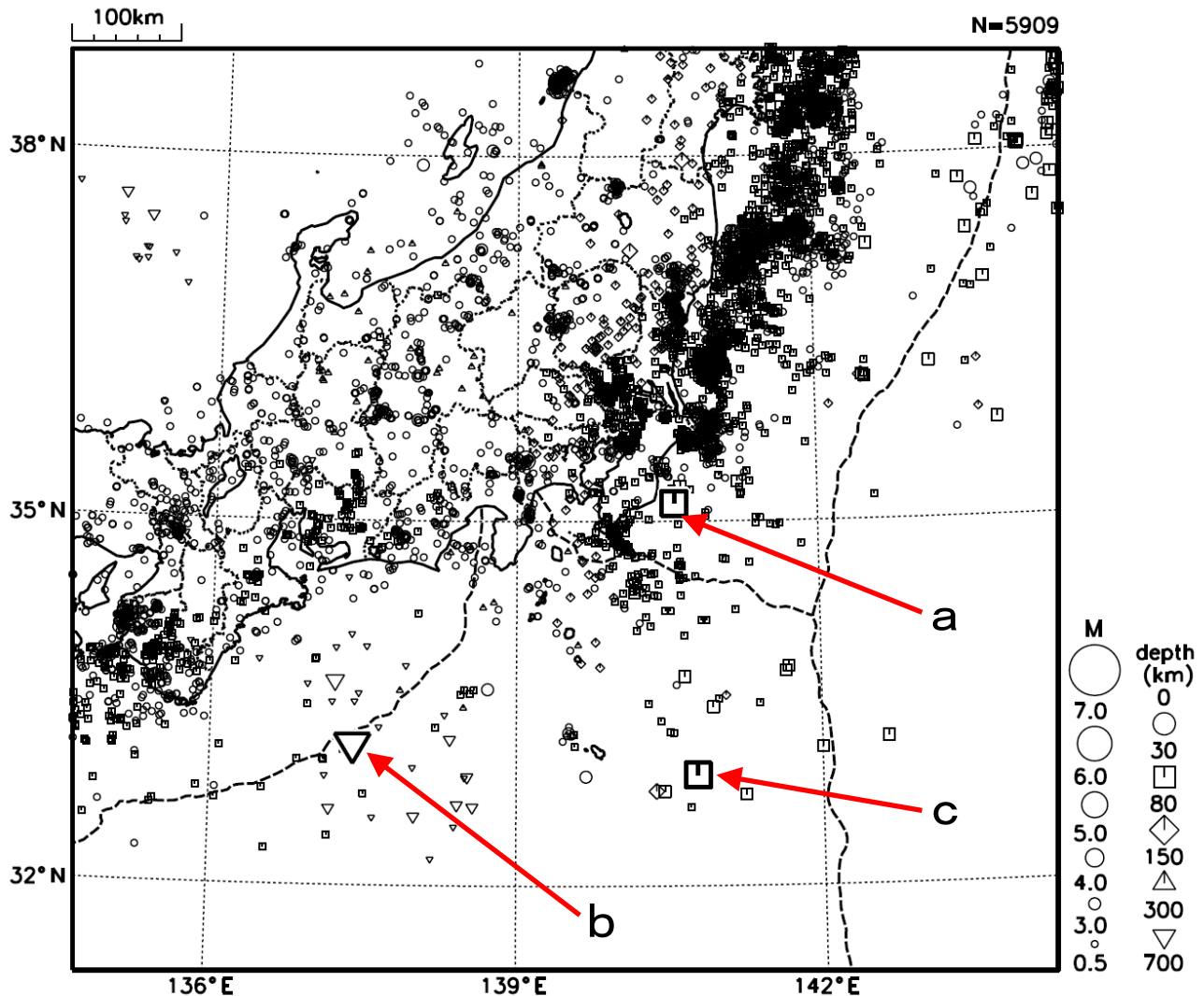


図7 関東・中部地方の震央分布図（2019年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に関東・中部地方（三重県を含む）で震度1以上を観測した地震は51回（6月は90回）であった。7月中の主な活動は次の通りである。

25日07時14分に千葉県東方沖の深さ58kmで $M5.1$ の地震（図7中のa）が発生し、千葉県で最大震度3を観測したほか、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した（p.9参照）。

28日03時31分に三重県南東沖の深さ393kmで $M6.6$ の地震（図7中のb）が発生し、宮城県丸森町で最大震度4を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度3～1を観測した。この地震は沈み込む太平洋プレート内の深いところで発生した地震であり、震央に近い場所よりも、震央から離れた地域で揺れが大きくなった。（p.4、10参照）

30日05時37分に八丈島東方沖で $M5.9$ の地震（図7中のc）が発生し、東京都八丈町で最大震度3を観測したほか、東北地方、関東甲信越地方及び静岡県で震度2～1を観測した（p.13参照）。

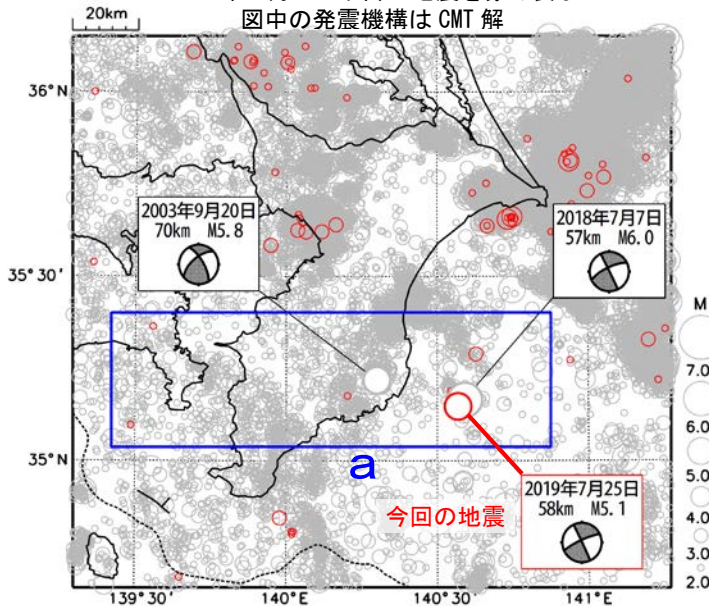
7 月 25 日 千葉県東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～150km、 $M \geq 2.0$)

2019 年 7 月 1 日以降の地震を赤く表示

図中の発震機構は CMT 解

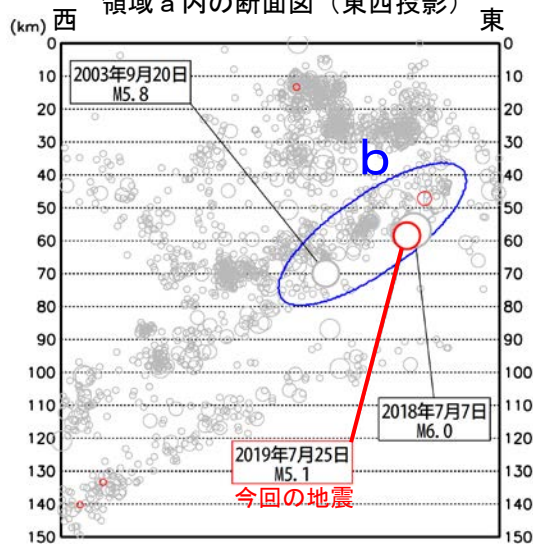


2019 年 7 月 25 日 07 時 14 分に千葉県東方沖の深さ 58km で M5.1 の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT 解) が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

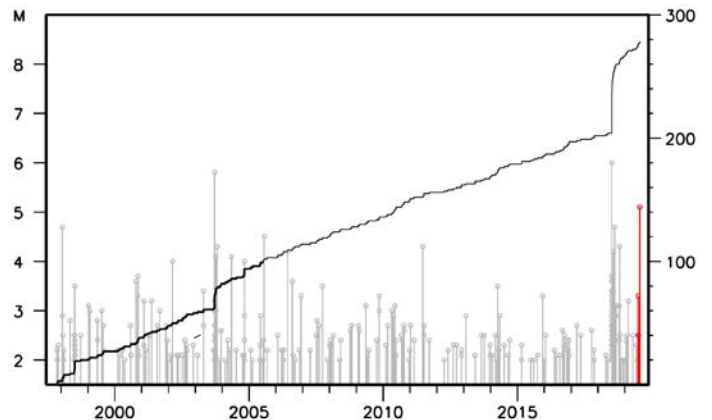
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2018 年 7 月 7 日に M6.0 の地震 (最大震度 5 弱) が発生しており、また、2003 年 9 月 20 日に M5.8 の地震 (最大震度 4) が発生し、負傷者 8 人の被害が生じた (総務省消防庁による)。

1922 年以降の活動をみると、今回の震央付近 (領域 c) では、M6.0 以上の地震が 4 回 (今回の地震を除く) 発生しており、このうち 1987 年 12 月 17 日にフィリピン海プレート内部で発生した千葉県東方沖の地震 (M6.7、最大震度 5) では、死者 2 人、負傷者 161 人、住家全壊 16 棟、住家一部破損 7 万余棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域 a 内の断面図 (東西投影)



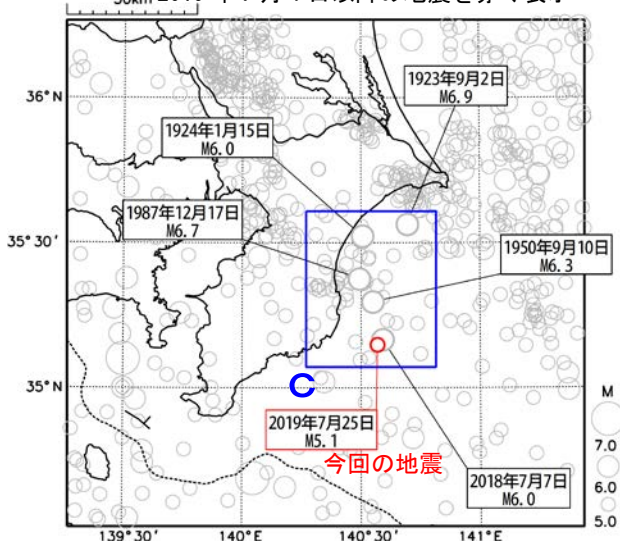
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



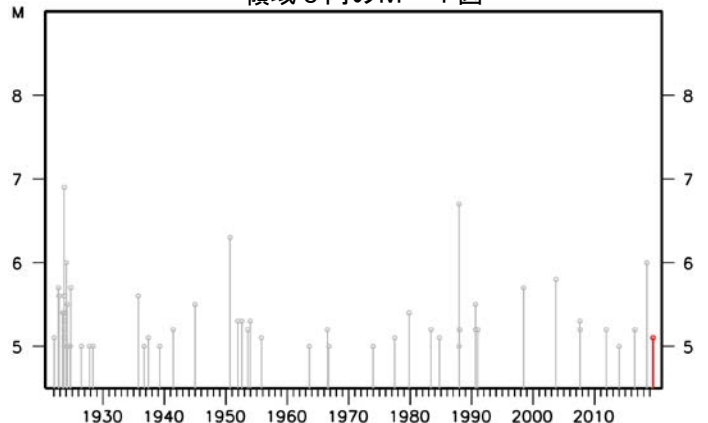
震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～120km、 $M \geq 5.0$)

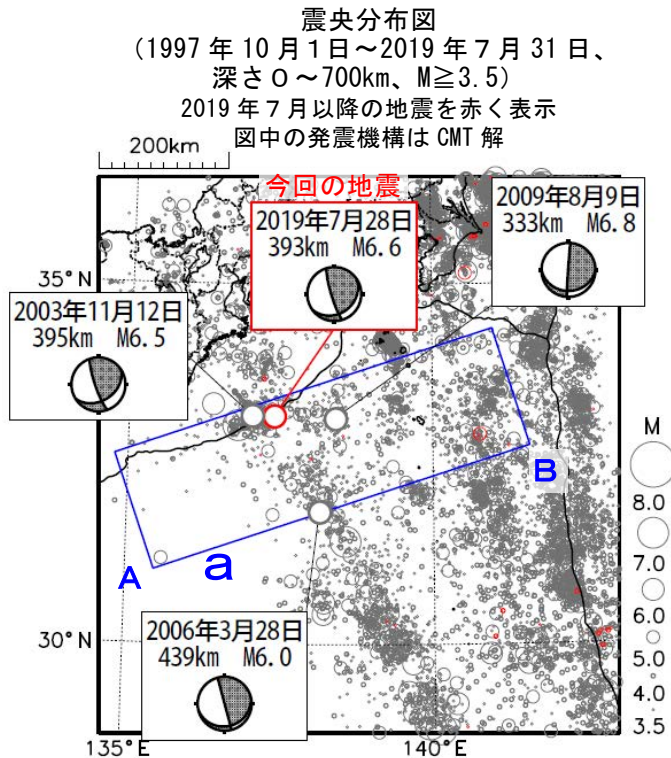
2019 年 7 月 1 日以降の地震を赤く表示



領域 c 内の M-T 図



7 月 28 日 三重県南東沖の地震



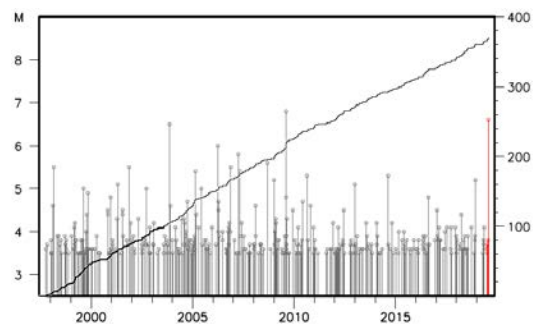
2019 年 7 月 28 日 03 時 31 分に三重県南東沖の深さ 393km で M6.6 の地震（最大震度 4）が発生した。この地震により、宮城県で震度 4 を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度 3～1 を観測した。この地震は太平洋プレート内部の深いところで発生した。発震機構（CMT 解）は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

震央付近よりも、震央から離れた地域で大きな揺れを観測しており、この現象は「異常震域」と呼ばれている。

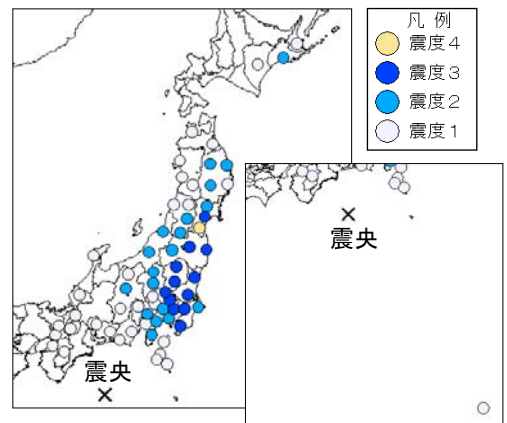
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 b）では、M5.0 以上の地震が時々発生しており、2009 年 8 月 9 日に M6.8 の地震（最大震度 4）が発生した。

1922 年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近から小笠原諸島西方沖にかけて、M7.0 以上の深い地震が時々発生している。

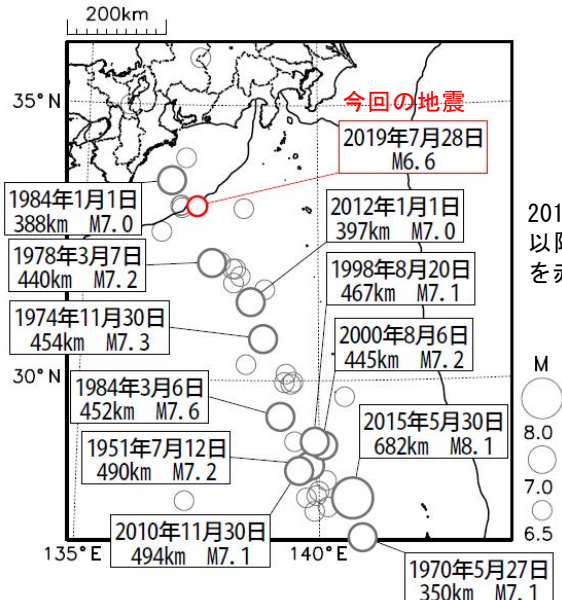
領域 b 内の M-T 図及び回数積算図



今回の地震の震度分布 (地域震度で表示)

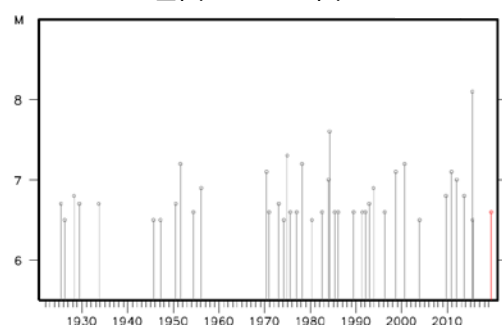


震央分布図
(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 200～700km、 $M \geq 6.5$)



2019 年 7 月以降の地震を赤く表示

左図の M-T 図



【参考】震央付近の場所よりも震央から離れた場所で大きな震度を観測する
地震について

震源が非常に深い場合、震源の真上ではほとんど揺れないのに、震源から遠くはなれた場所で揺れを感じることがあります（次ページ参照）。この現象は、「異常震域」という名称で知られています。原因は、地球内部の岩盤の性質の違いによるものです。

プレートがぶつかり合うようなところでは、陸のプレートの地下深くまで海洋プレートが潜り込んで（沈み込んで）います。通常、地震波は震源から遠くなるほど減衰するものですが、この海洋プレートは地震波をあまり減衰せずに伝えやすい性質を持っています。このため、沈み込んだ海洋プレートのかかなり深い場所で地震が発生すると（深発地震）、真上には地震波があまり伝わらないにもかかわらず、海洋プレートでは地震波はあまり減衰せずに遠くの場所まで伝わります（下図）。その結果、震源直上の地表での揺れ（震度）が小さくとも、震源から遠く離れた場所で震度が大きくなる場合があります。

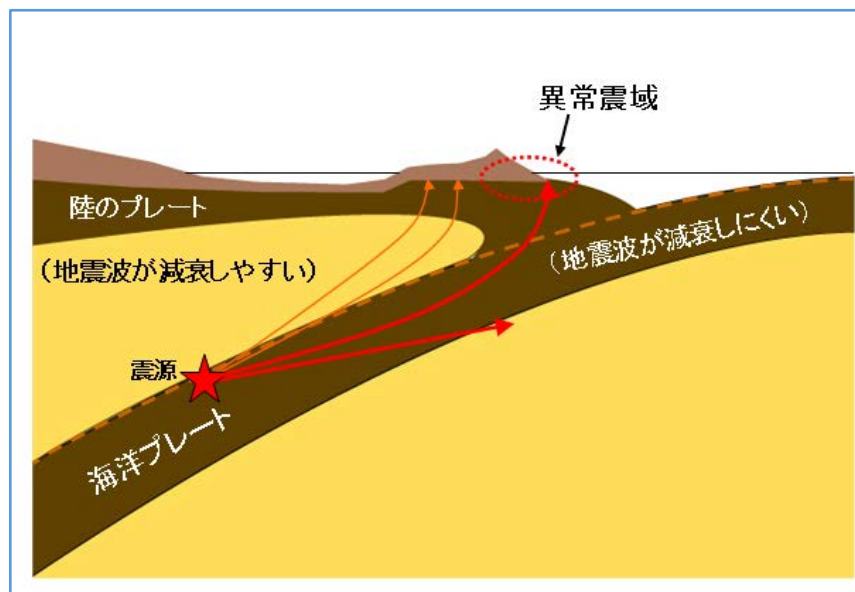
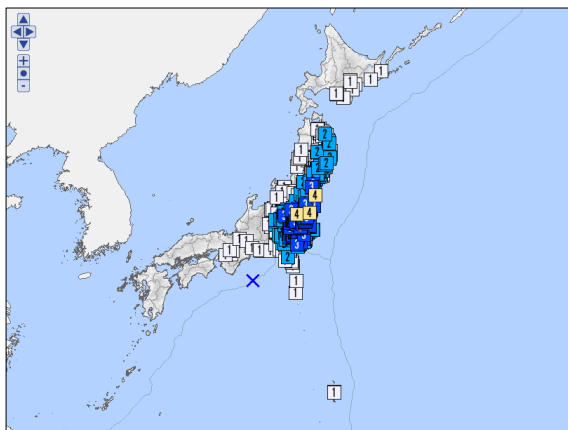
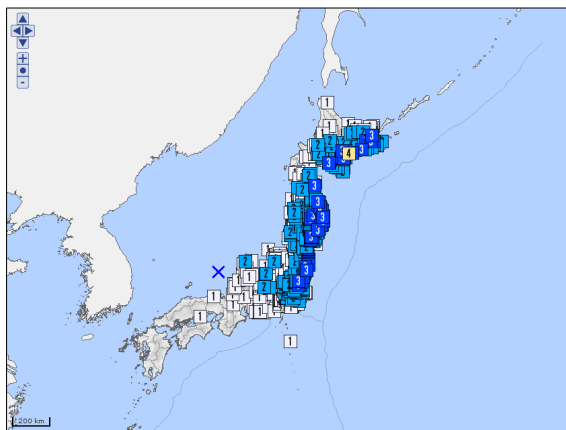


図 深発地震と異常震域

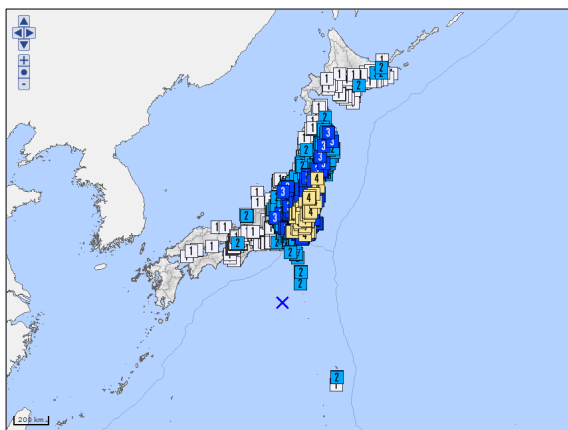
◇ 異常震域のあった過去の地震の震度分布図の例



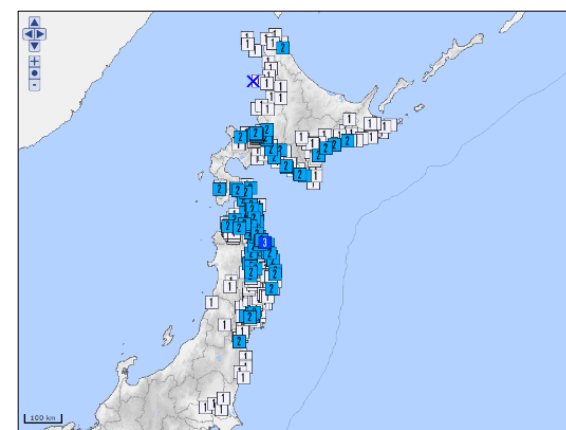
2003 年 11 月 12 日の三重県南東沖の地震
(M6.5、震源の深さ 396km)



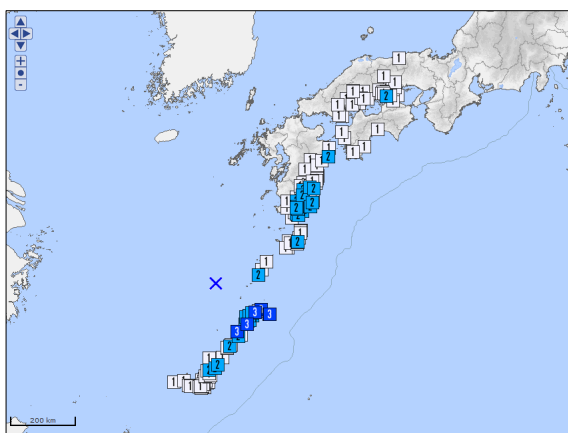
2007 年 7 月 16 日の京都府沖の地震
(M6.7、震源の深さ 374km)



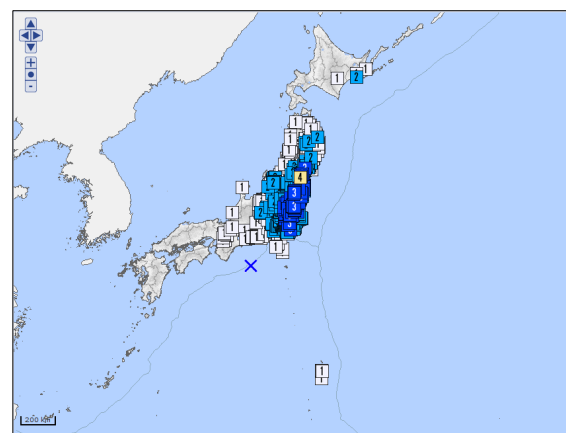
2012 年 1 月 1 日の鳥島近海の地震
(M7.0、震源の深さ 397km)



2016 年 1 月 12 日の北海道北西沖の地震
(M6.2、震源の深さ 265km)



2019 年 7 月 13 日の奄美大島北西沖の地震
(M6.0、震源の深さ 256km)



2019 年 7 月 28 日の三重県南東沖の地震
(M6.6、震源の深さ 393km)

※震度分布図は気象庁の震度データベース検索

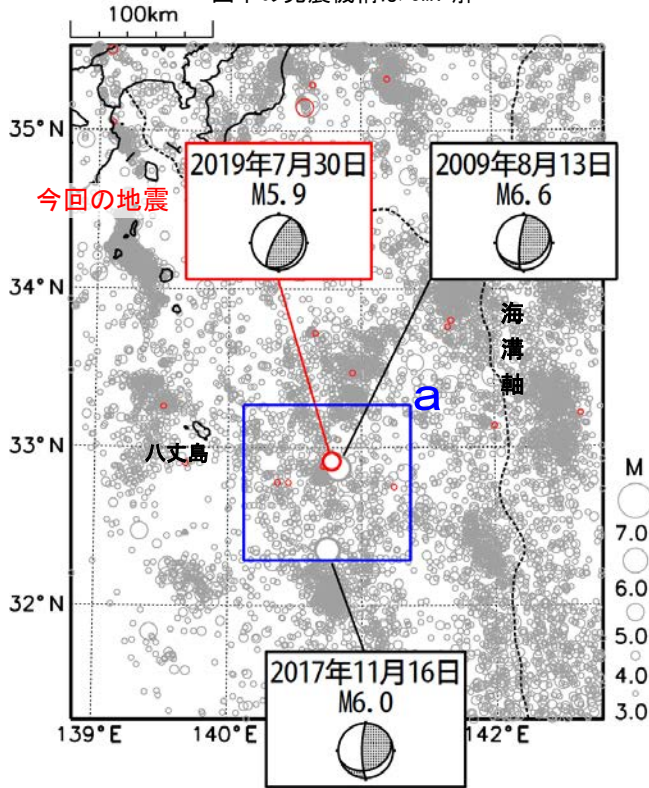
（気象庁ホームページ：<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>）にて検索したものを使用。

※震度分布図の地図に国土交通省国土数値情報のデータを使用している。

7 月 30 日 八丈島東方沖の地震

震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 3.0$)
2019 年 7 月の地震を赤く表示
図中の発震機構は CMT 解

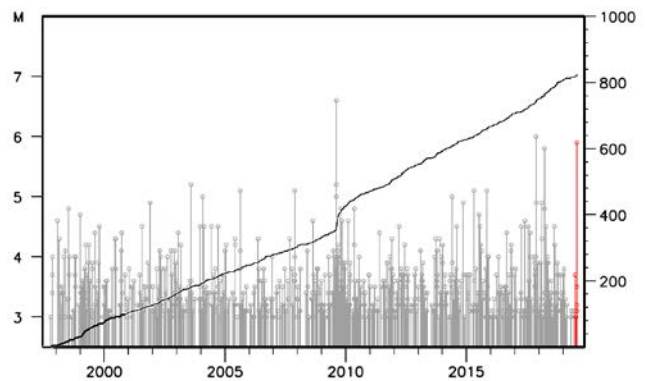


2019 年 7 月 30 日 05 時 37 分に八丈島東方沖で M5.9 の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域 a）では、2009 年 8 月 13 日に M6.6 の地震（最大震度 5 弱）が発生している。この地震の発生後、M5.0 以上の地震が同日中に 2 回発生するなど、地震活動が一時的に活発化した。また、2017 年 11 月 16 日には M6.0 の地震（最大震度 3）が発生した。

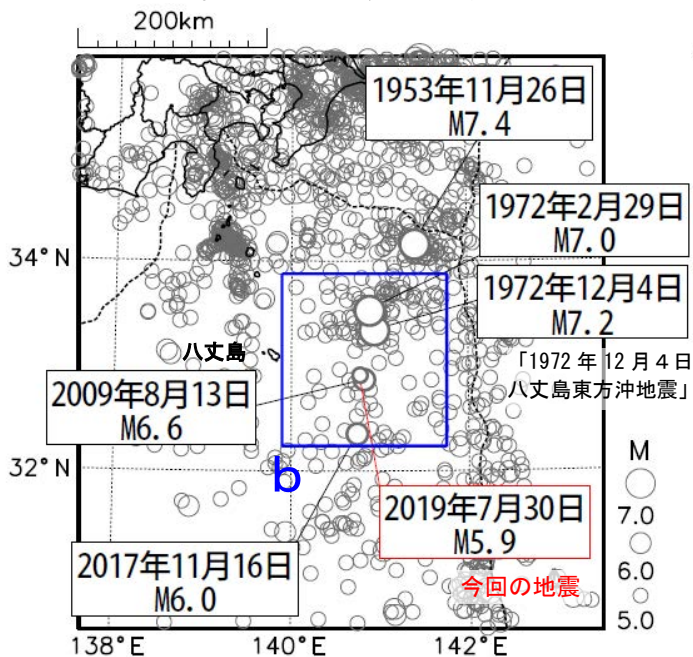
1922 年以降の活動をみると、今回の震央付近（領域 b）では、1972 年 2 月 29 日に M7.0 の地震（最大震度 5）が発生し、千葉県館山市布良で最大 23cm の高さの津波が観測された。また、1972 年 12 月 4 日に M7.2 の地震（最大震度 6、「1972 年 12 月 4 日八丈島東方沖地震」）が発生し、和歌山県串本町袋港で最大 35cm の高さの津波が観測された（いずれの地震も津波の高さは、験震時報（第 38 巻）による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図

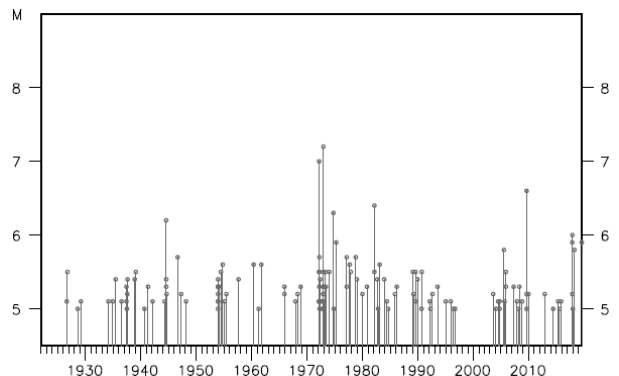


震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～250km、 $M \geq 5.0$)



領域 b 内の M-T 図



○近畿・中国・四国地方の地震活動

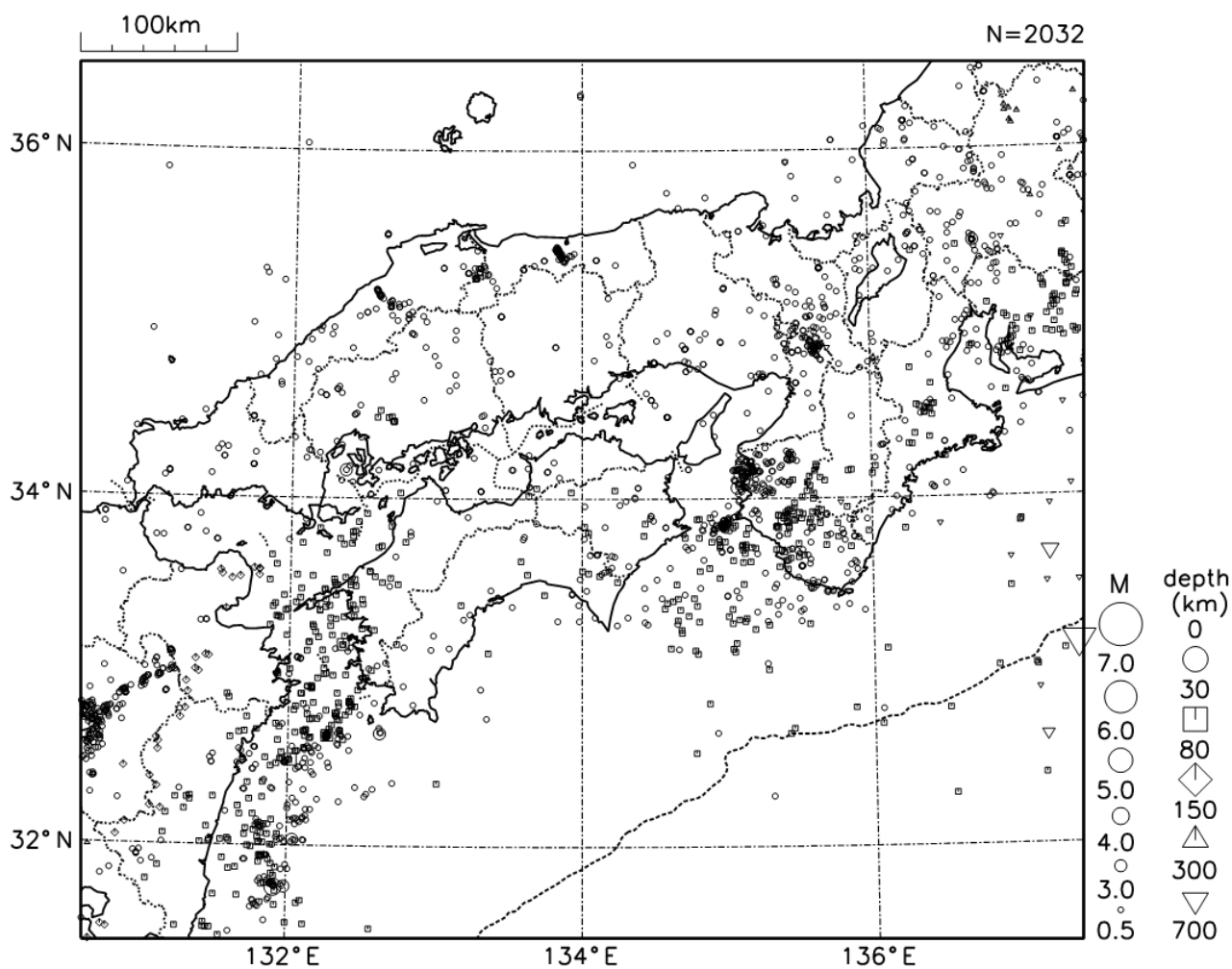


図8 近畿・中国・四国地方の震央分布図（2019年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は11回（6月は19回）であった。
7月中、特に目立った活動はなかった。

○九州地方の地震活動

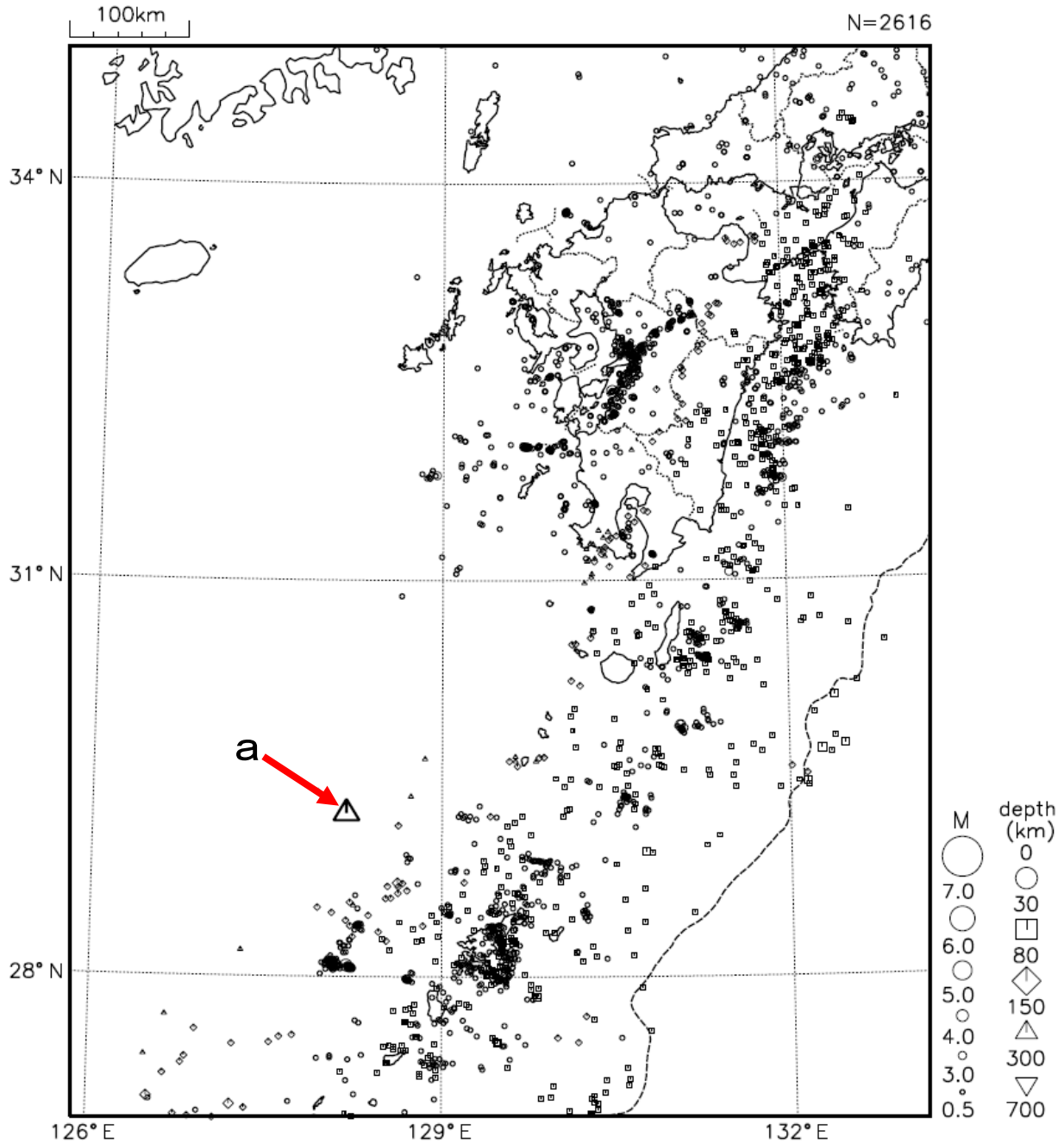


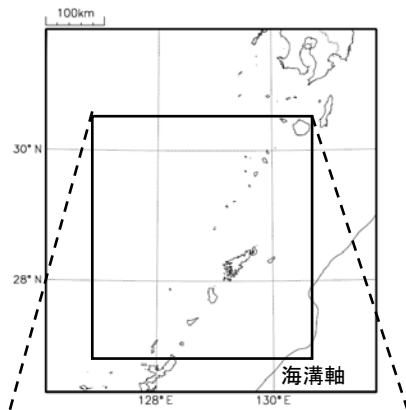
図9 九州地方の震央分布図（2019年7月1日～7月31日、 $M \geq 0.5$ ）

〔概況〕

7月に九州地方で震度1以上を観測した地震は25回（6月は28回）であった。
7月中の主な活動は次のとおりである。

13日09時57分に奄美大島北西沖の深さ256kmで $M6.0$ の地震（図9中のa）が発生し、鹿児島県の奄美市、喜界町などで震度3を観測したほか、中国地方から沖縄地方にかけて震度2～1を観測した（p.16参照）。

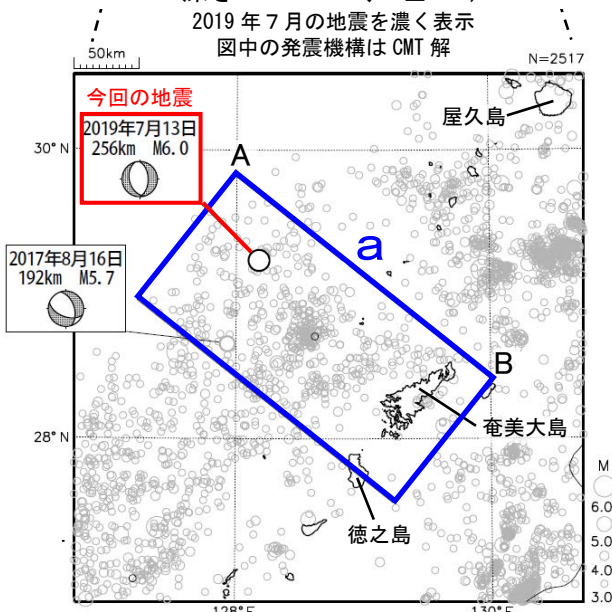
7 月 13 日 奄美大島北西沖の地震



震央分布図

(1997 年 10 月 1 日～2019 年 7 月 31 日
深さ 50～300km、 $M \geq 3.0$)

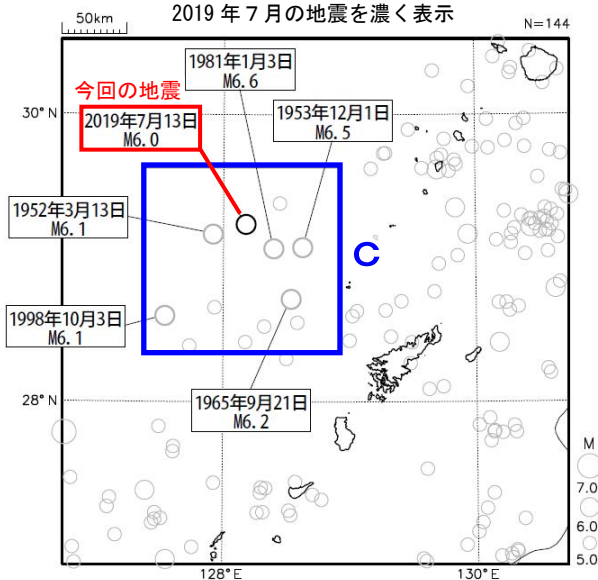
2019 年 7 月の地震を濃く表示
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図

(1922 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 50～300km、 $M \geq 5.0$)

2019 年 7 月の地震を濃く表示

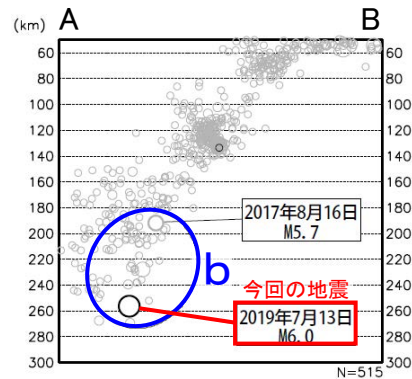


2019年 7 月 13 日 09 時 57 分に奄美大島北西沖の深さ 256km で $M6.0$ の地震 (最大震度 3) が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。発震機構 (CMT 解) は、フィリピン海プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

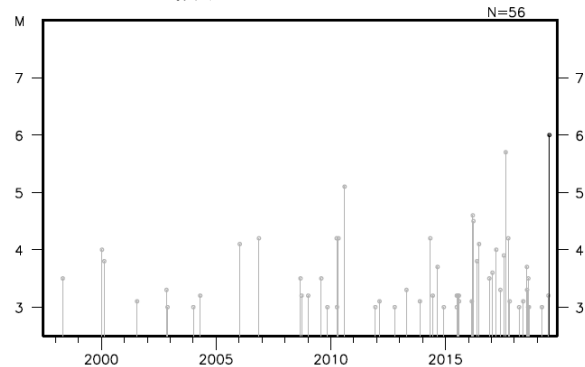
1997 年 10 月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域 b) では、2017 年 8 月 16 日に $M5.7$ の地震 (最大震度 2) が発生している。

1922 年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域 c) では、 $M6.0$ 以上の地震が 5 回発生している。1981 年 1 月 3 日には $M6.6$ の地震 (最大震度 4) が発生した。

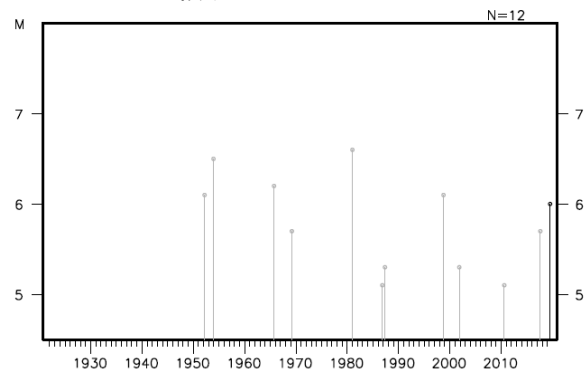
領域 a 内の断面図 (A-B 投影)



領域 b 内の M-T 図



領域 c 内の M-T 図



○沖縄地方の地震活動

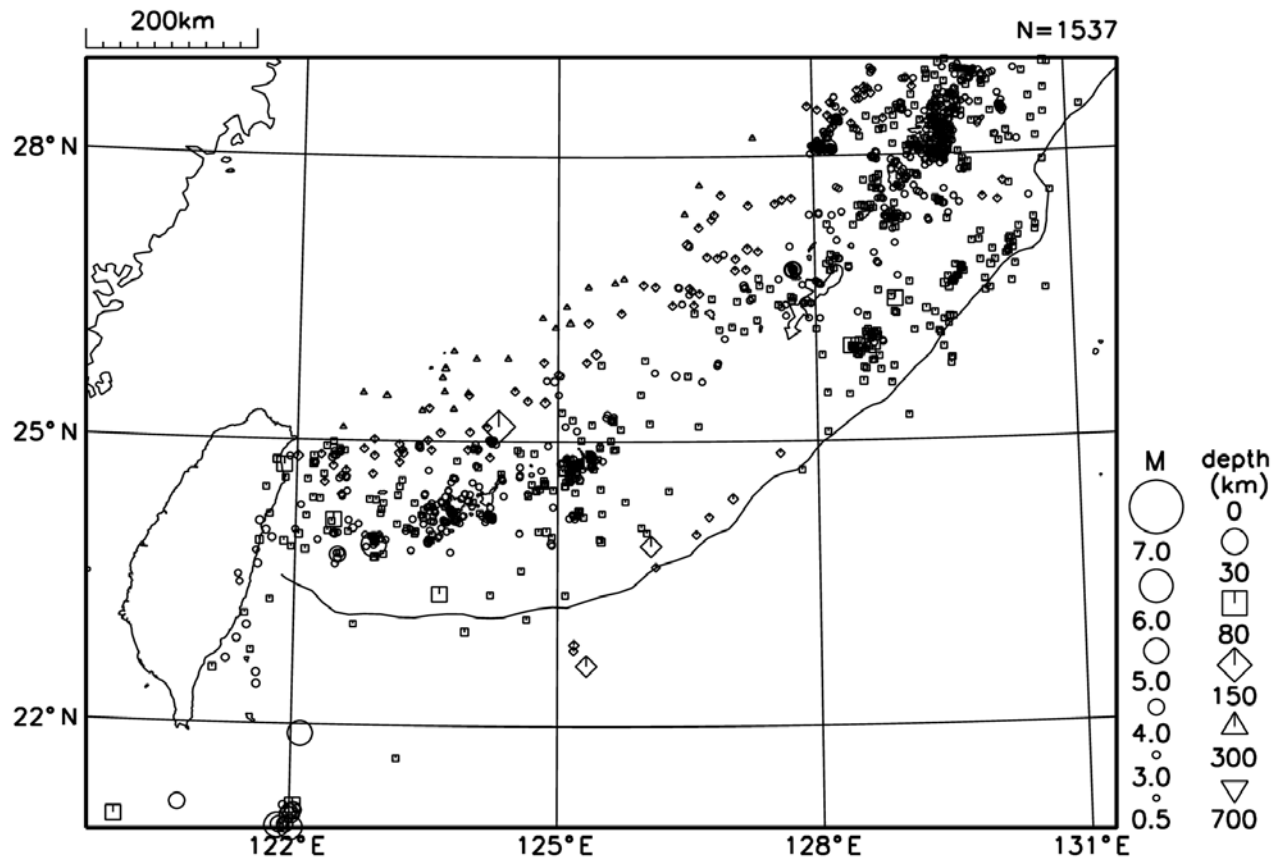


図 10 沖縄地方の震央分布図（2019 年 7 月 1 日～7 月 31 日、 $M \geq 0.5$ ）

[概況]

7 月に沖縄地方で震度 1 以上を観測した地震は 12 回（6 月は 4 回）であった。
7 月中、特に目立った活動はなかった。

○その他の地域の地震活動

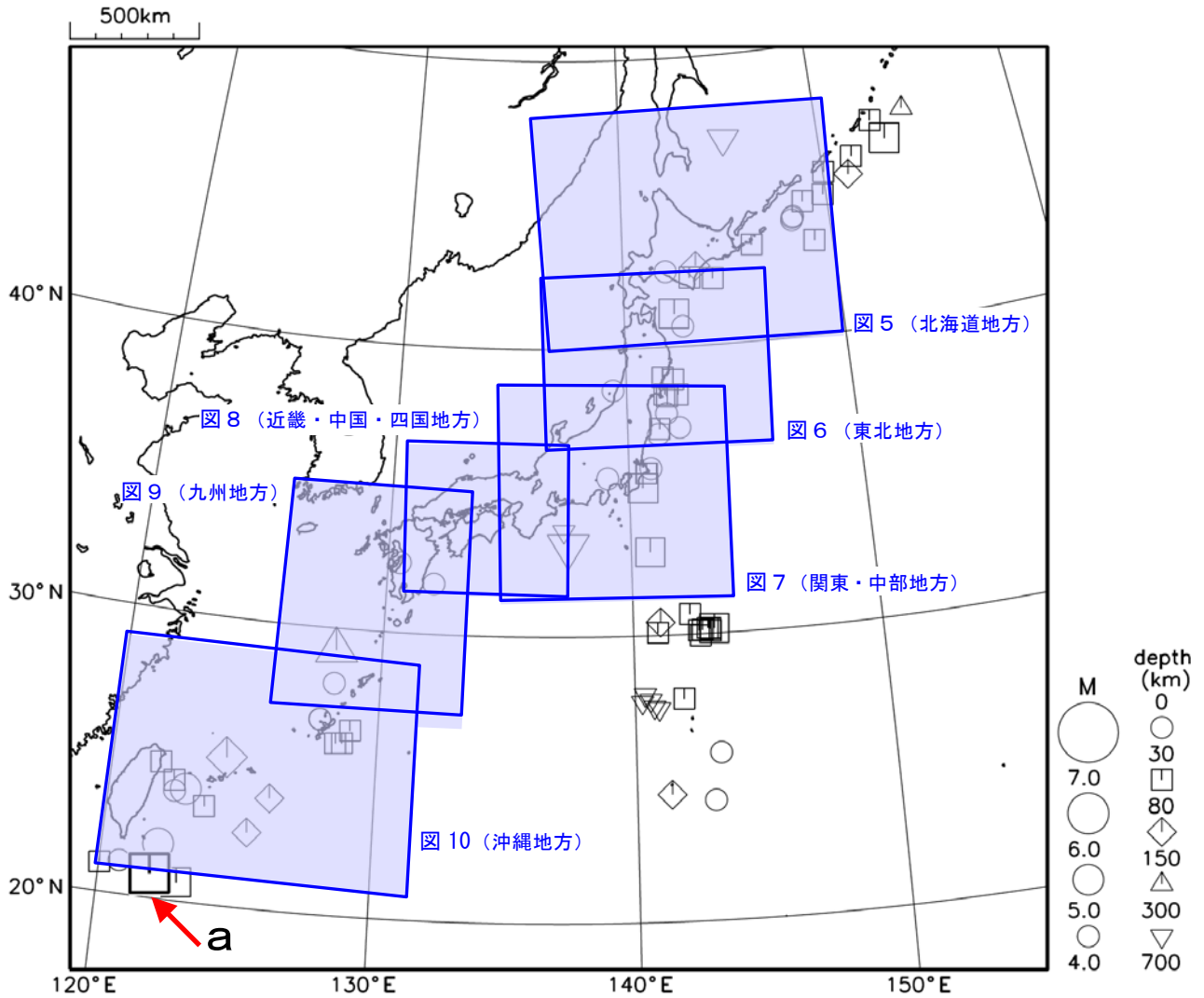


図 11 日本周辺で発生した主な地震の震央分布図（2019 年 7 月 1 日～7 月 31 日、 $M \geq 4.0$ ）

〔概況〕

7 月に日本周辺で発生した $M6.0$ 以上の地震は 3 回であった（6 月は 3 回）。
7 月中に図 5～10 の領域外で発生した主な活動は次のとおりである。

7 月 27 日 08 時 37 分にフィリピン付近で $M6.0$ の地震（震度 1 以上を観測した地点なし、図 11 中の a）が発生した（p. 19 参照）。

● 南海トラフ周辺の地殻活動

令和元年 8 月 7 日に気象庁において第 22 回南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、第 400 回地震防災対策強化地域判定会（定例）を開催し、気象庁は「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として次の内容の南海トラフ地震関連解説情報を発表した。これに関連する資料を p. 22～55 に掲載する。

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時^{（注）}と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

（注）南海トラフ沿いの大規模地震（M8～M9 クラス）は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70～80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から既に70年以上が経過していることから切迫性の高い状態です。

1. 地震の観測状況

（顕著な地震活動に関する現象）

南海トラフ周辺では、特に目立った地震活動はありませんでした。

（ゆっくりすべりに関係する現象）

プレート境界付近を震源とする深部低周波地震（微動）のうち、主なものは以下のとおりです。

- （1）紀伊半島北部から東海：6 月 23 日から 7 月 2 日
- （2）紀伊半島北部：7 月 21 日から 7 月 29 日
- （3）東海：8 月 3 日から継続中
- （4）紀伊半島中部：8 月 3 日から継続中

2. 地殻変動の観測状況

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（4）の深部低周波地震（微動）とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計でわずかな地殻変動を観測しました。また、周辺の傾斜データでも、わずかな変化が見られています。

2018 年春頃から九州北部の G N S S 観測で、また、2018 年秋頃から四国西部の G N S S 観測及びひずみ観測で観測されている、それまでの傾向とは異なる地殻変動は、2019 年 6 月頃から停滞しているように見えます。

（長期的な地殻変動）

G N S S 観測等によると、御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺では長期的な沈降傾向が継続しています。

3. 地殻活動の評価

（ゆっくりすべりに関係する現象）

上記（1）から（4）の深部低周波地震（微動）と地殻変動は、想定震源域のプレート境界深部において発生した短期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。

2018 年春頃からの九州北部の地殻変動及び2018 年秋頃からの四国西部の地殻変動は、日向灘北部及び豊後水道周辺のプレート境界深部における長期的ゆっくりすべりに起因するものと推定しています。この長期的ゆっくりすべりは、2019 年 6 月頃から停滞しているように見えます。

これらの深部低周波地震（微動）、短期的ゆっくりすべり、および長期的ゆっくりすべりは、それぞれ、従来からも繰り返し観測されてきた現象です。

（長期的な地殻変動）

御前崎、潮岬及び室戸岬のそれぞれの周辺で見られる長期的な沈降傾向はフィリピン海プレートの沈み込みに伴うもので、その傾向に大きな変化はありません。

上記観測結果を総合的に判断すると、南海トラフ地震の想定震源域ではプレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催して委員の意見提供等を受け、現在の状況を「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」として取りまとめ南海トラフ地震関連解説情報を発表している。

〔「最近の南海トラフ周辺の地殻活動」についての頁で使われる用語〕

・「想定震源域」

南海トラフ沿いの大規模地震発生時に、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が破壊されると想定される領域。「想定震源域」全体もしくは一部が破壊され则认为られている。

・「クラスタ」、「クラスタ除去」

地震は時間空間的に群(クラスタ: cluster)をなして起きることが多くある。「本震とその後に起きる余震」、「群発地震」などが典型的なクラスタで、余震活動等の影響を取り除いて地震活動全体の推移を見ることを「クラスタ除去」と言う。例えば、相互の震央間の距離が 3 km 以内で、相互の発生時間差が 7 日以内の地震群をクラスタとして扱い、その中の最大の地震をクラスタに含まれる地震の代表とし、地震が 1 つ発生したと扱う。

・「長期的ゆっくりすべり（長期的スロースリップ）」

想定震源域の深部で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界が数ヶ月～数年間かけてゆっくりとすべる現象で、数年～十年程度の間隔で繰り返し発生していると考えられている。例えば、東海地域では、前々回は 2000 年秋頃～2005 年夏頃にかけて発生し、前回は 2013 年はじめ頃から 2017 年はじめ頃にかけて発生した。

・「深部低周波地震（微動）」

深さ約 30km～40km で発生する、通常の地震より長周期の波が卓越する地震を「深部低周波地震」と言う。長野県南部～日向灘にかけては帯状につながる深部低周波地震の震央分布が見られる。深部低周波微動は、P 波や S 波が明瞭ではなく震動が継続するもので、現象的には深部低周波地震と同じであるが、解析手法に違いがあるため、深部低周波地震が観測されない場合にも観測されることがある。

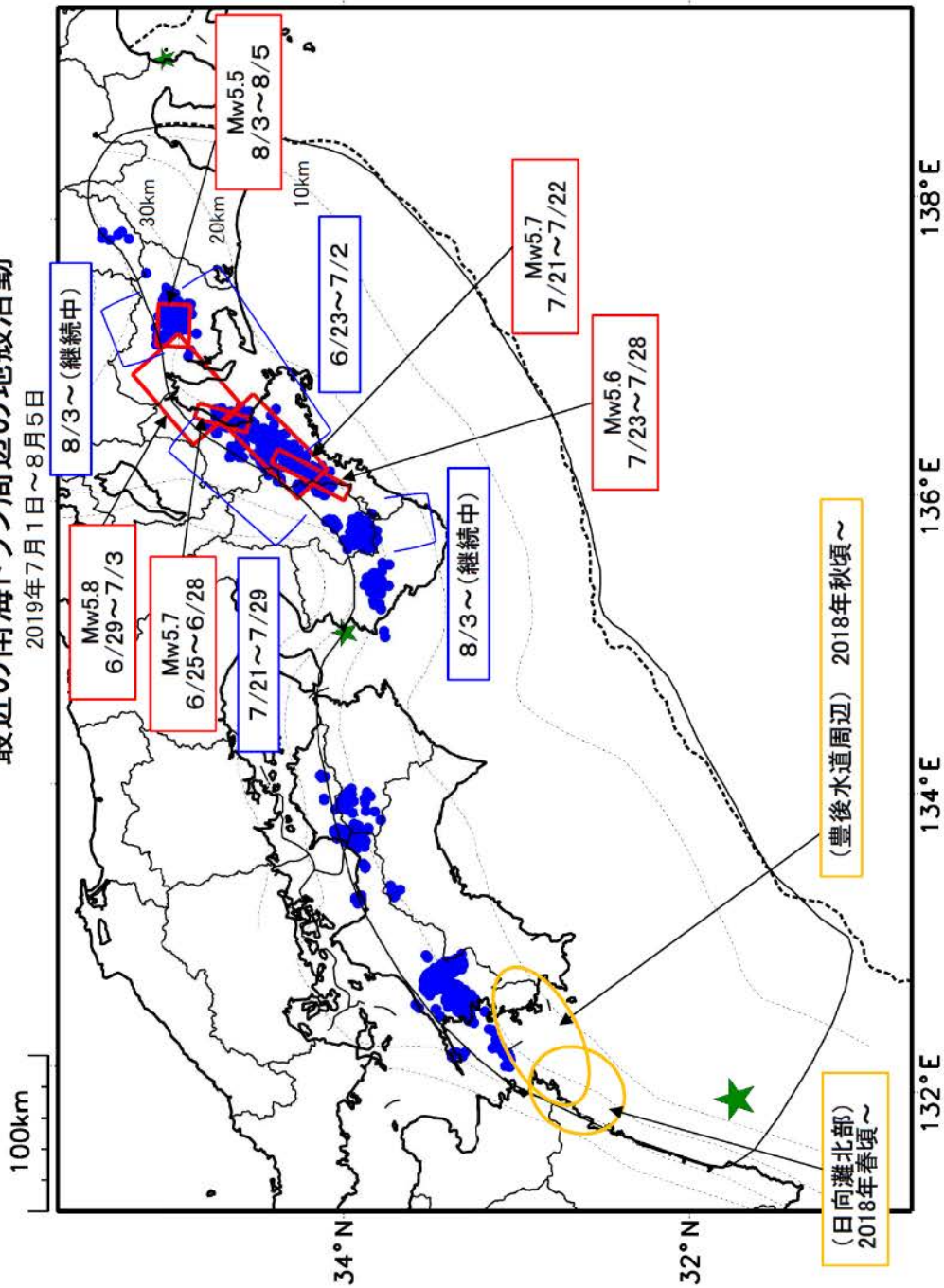
・「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」

「短期的ゆっくりすべり」は、長期的ゆっくりすべりが発生する領域のさらに深部の、深部低周波地震（微動）の発生領域とほぼ同じ領域でのフィリピン海プレートと陸のプレートの境界のすべりと考えられている。数日～1 週間程度継続する「短期的ゆっくりすべり（短期的スロースリップ）」が観測されるときは、ほぼ同時に深部低周波地震（微動）活動が観測されることが多い。短期的ゆっくりすべりは、数ヶ月から 1 年程度の間隔で繰り返し発生している。

注) 地震活動および地殻活動の解析には Hirose et al. (2008)、Baba et al. (2002) によるフィリピン海プレートと陸のプレートの境界データを使用している。

最近の南海トラフ周辺的地殻活動

2019年7月1日～8月5日



※地図中の点線は、Hirose et al.(2008), Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さを示す。

※M5.0以上の地震に吹き出しを付けている。

通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上)……………気象庁の解析結果による。
 深部低周波地震(微動)……………(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)防災科学技術研究所及び気象庁の解析結果による。
 短期的ゆっくりゆっくり……………【東海】産業技術総合研究所及び気象庁の解析結果による。【紀伊半島北部】産業技術総合研究所の解析結果による。
 長期的ゆっくりゆっくり……………【日向灘北部】(豊後水道周辺)国土地理院の解析結果を元におよその場所を表示している。

气象庁作成

令和元年 7 月 1 日～令和元年 8 月 5 日の主な地震活動

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度 3 以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大 震度	発生場所
7/5	16:43	静岡県伊豆地方	5	3.3	3	フィリピン海プレートの地殻内
7/10	06:13	紀伊水道	12	3.7	2	陸のプレートの地殻内
7/27	02:11	日向灘	26	4.3	2	フィリピン海プレートと陸のプレートの境界

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

※太平洋プレートの沈み込みに伴う震源が深い地震は除く

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
■四国東部 7月6日～13日 7月16日～18日 8月5日 ■四国中部 7月1日 7月4日～5日 7月14日 7月28日 7月30日～8月1日 ■四国西部 6月30日～7月2日 7月4日～5日 7月8日～9日 7月13日～15日 7月17日 7月19日～20日 7月25日～27日 7月30日 8月1日～（継続中）	■紀伊半島北部 <u>6月23日～29日</u> ・・・（1） 7月4日 7月12日 <u>7月21日～27日</u> ^{注2）} ・・・（2） 7月30日 8月3日 ■紀伊半島中部 7月27日～29日 <u>8月3日～（継続中）</u> ・・・（4） ■紀伊半島西部 7月3日～5日 7月13日～14日 7月21日 7月28日～29日	<u>6月30日～7月1日</u> ^{注1）} ・・・（1） 7月15日～17日 7月28日～29日 <u>8月3日～（継続中）</u> ・・・（3）

※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数 2 日以上または活動日数 1 日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を **赤字** で示す。

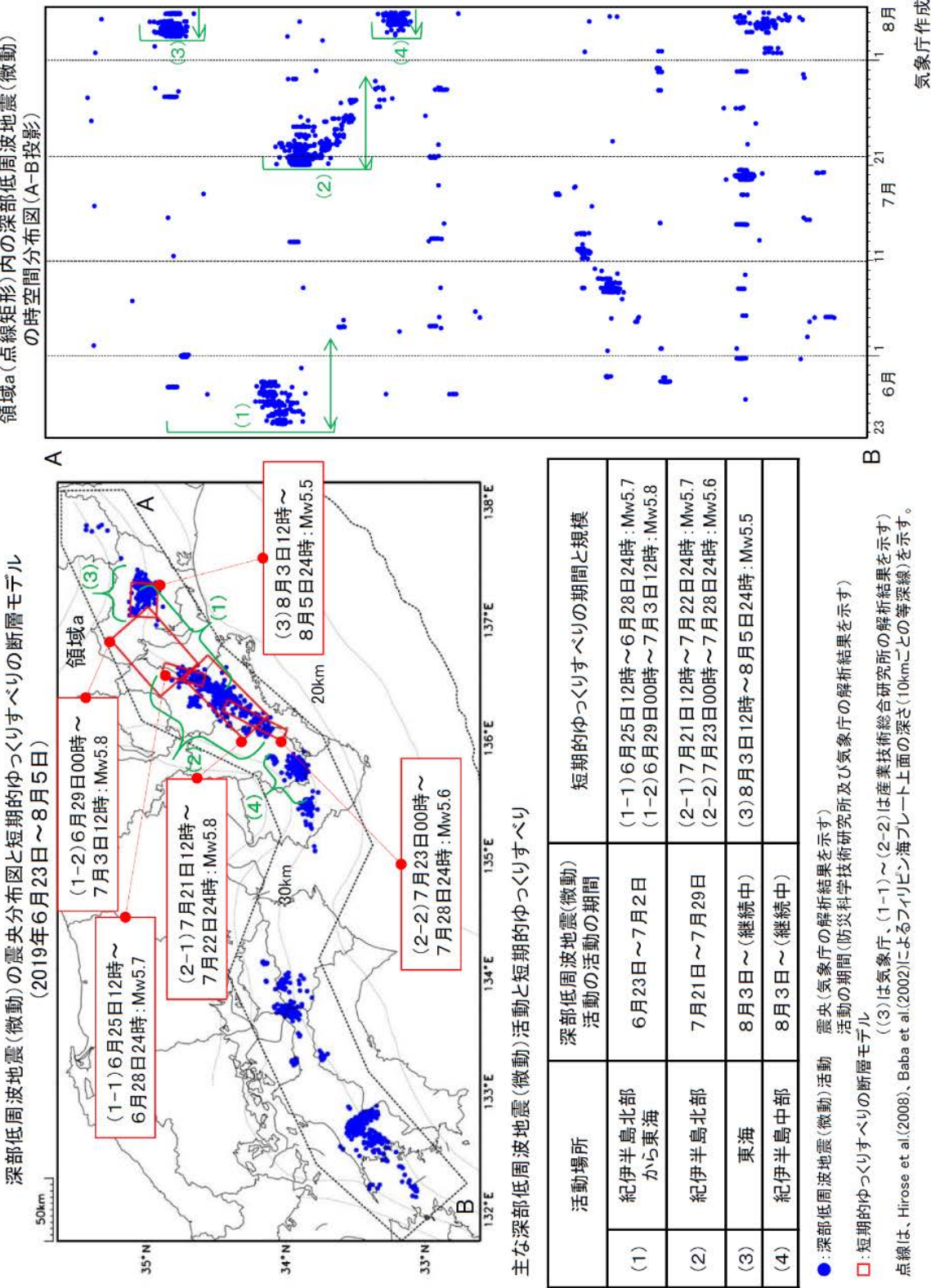
※上の表中（1）～（4）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

注 1） 防災科学技術研究所による解析では、7 月 2 日頃まで継続。

注 2） 防災科学技術研究所による解析では、7 月 29 日頃まで継続。

気象庁作成

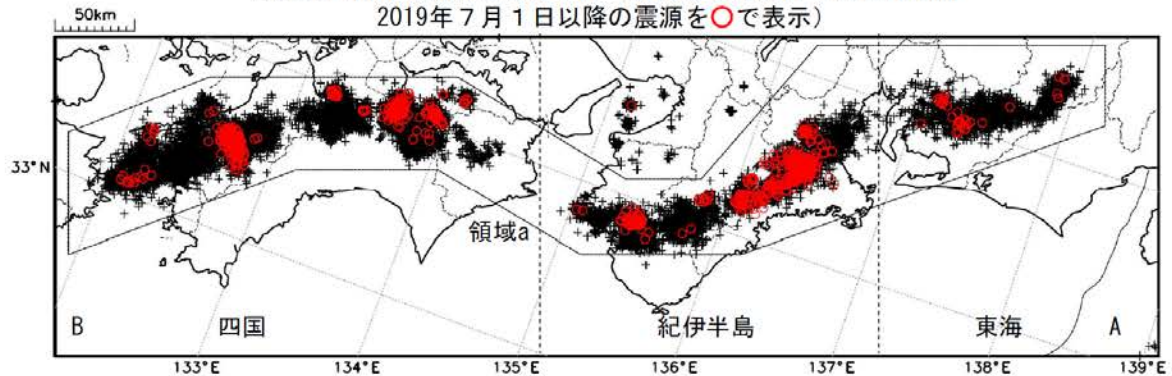
深部低周波地震（微動）活動と短期的ゆっくりすべりの全体概要



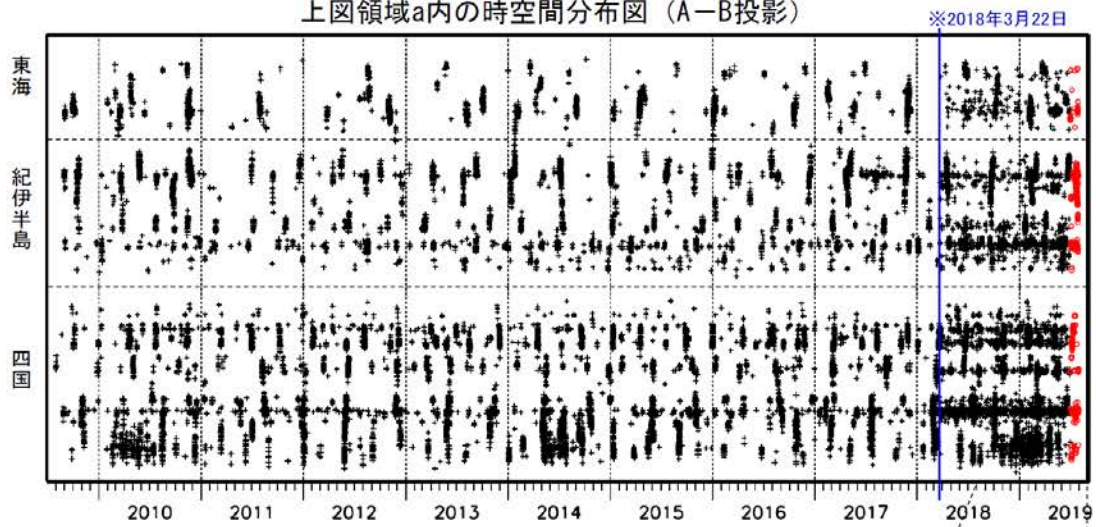
深部低周波地震（微動）活動（2009年 8 月 1 日～2019年 7 月31日）

深部低周波地震（微動）は、「短期的ゆっくりすべり」に密接に関連する現象とみられており、プレート境界の状態の変化を監視するために、その活動を監視している。

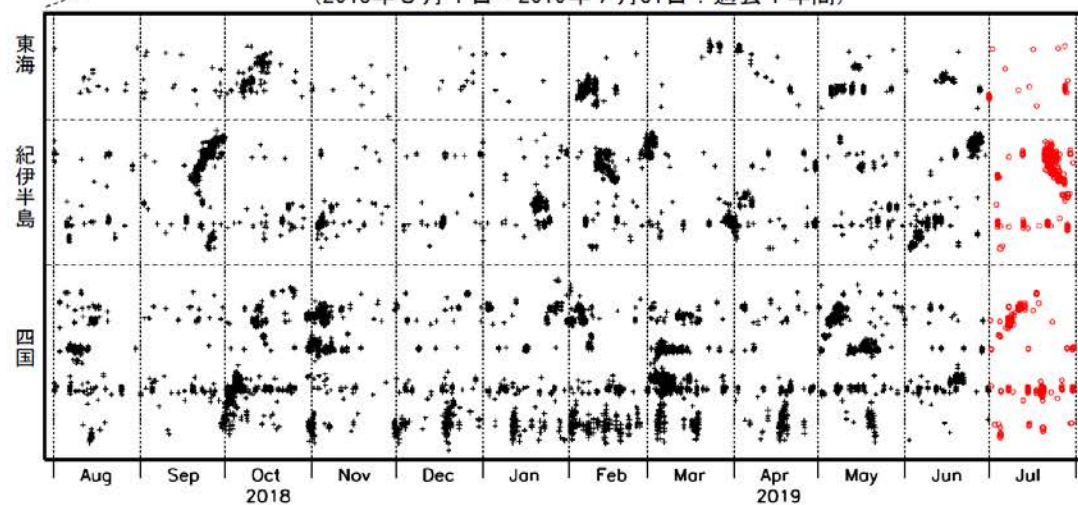
震央分布図（2009年 8 月 1 日～2019年 7 月31日：過去10年間
2019年 7 月 1 日以降の震源を○で表示）



上図領域a内の時空間分布図（A—B投影）



（2018年 8 月 1 日～2019年 7 月31日：過去 1 年間）



※2018年3月22日から、深部低周波地震（微動）の処理方法の変更（Matched Filter法の導入）により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

紀伊半島北部から東海の深部低周波地震(微動)活動と短期的ゆっくりすべり

6月23日から29日にかけて、紀伊半島北部で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)の活動域は、次第に北東へ移動した。深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

6月29日から7月3日にかけて、三重県、愛知県に設置されている複数のひずみ計に変化が現れたが、対応する深部低周波地震(微動)活動は観測されていない。この変化は、短期的ゆっくりすばりに起因すると推定される。

6月30日から7月1日にかけて東海で深部低周波地震(微動)を観測した。

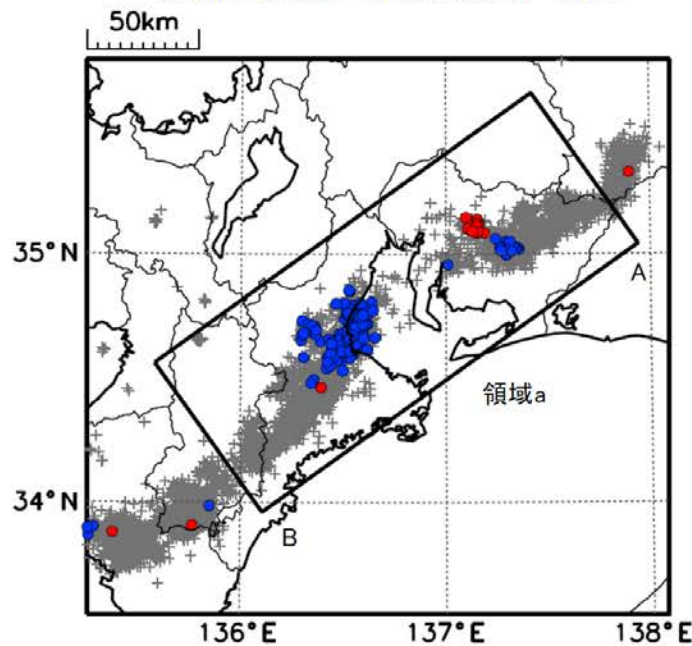
深部低周波地震(微動)活動

震央分布図

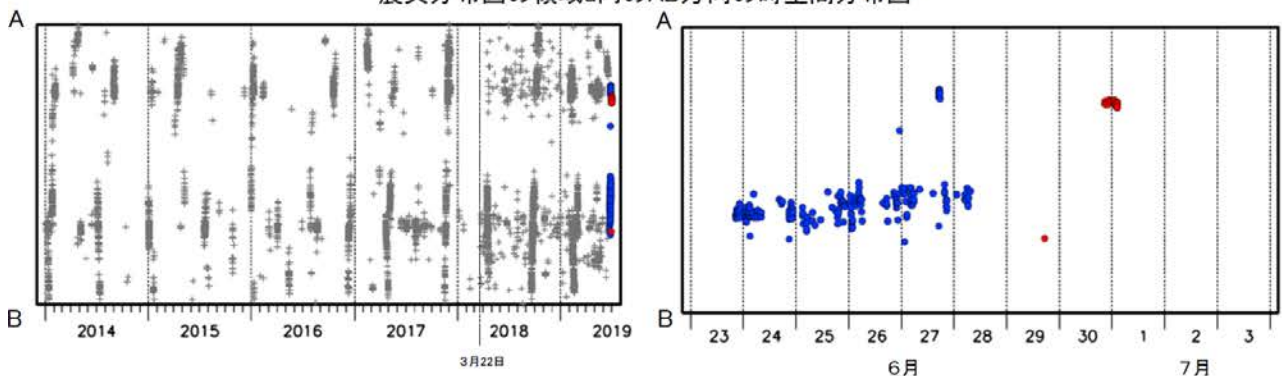
(2014年1月1日～2019年7月3日、深さ0～60km、Mすべて)

灰:2014年1月1日~2019年6月22日、

青:2019年6月23日~28日、赤:6月29日~7月3日



震央分布図の領域a内のAB方向の時空間分布図



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

気象庁作成

紀伊半島・東海地域の深部低周波微動活動状況 (2019 年 7 月)



- 6 月 23 日～7 月 2 日頃に紀伊半島北部から東海地方において、活発な微動活動。
- 7 月 21～29 日頃に紀伊半島北部から南部において、活発な微動活動。
- 8 月 3 日頃より東海地方において、微動活動が開始。

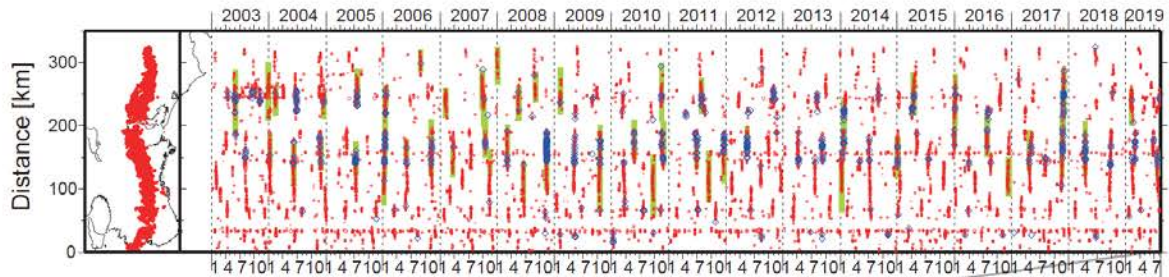


図 1. 紀伊半島・東海地域における 2003 年 1 月～2019 年 8 月 4 日までの深部低周波微動の時空間分布 (上図)。赤丸はエンベロープ相関・振幅ハイブリッド法 (Maeda and Obara, 2009) およびクラスタ処理 (Obara et al., 2010) によって 1 時間毎に自動処理された微動分布の重心である。青菱形は周期 20 秒に卓越する超低周波地震 (Ito et al., 2007) である。黄緑色の太線はこれまでに検出された短期的スロースリップイベント (SSE) を示す。下図は 2019 年 7 月を中心とした期間の拡大図である。6 月 23 日～7 月 2 日頃に、三重県北部から愛知県西部において活発な微動活動がみられた。この活動は三重県北部で開始し、25 日頃に活発化した後、北東方向への活動域の移動が 29 日頃までみられた。29 日頃からは、愛知県西部で活動が開始し、7 月 1 日頃からは活動が低調になった。7 月 21～29 日頃には三重県中部から奈良県南部において活発な活動がみられた。この活動は開始後北および南方向に、それぞれ 23 日および 29 日頃まで活動域の移動がみられた。活動に際し、傾斜変動から短期的 SSE の断層モデルも推定されている。8 月 3 日頃からは愛知県中部において活動が開始し、活発化している。7 月 18～20 日頃には、愛知県西部において小規模な活動がみられた。8 月 4 日頃からは奈良県南部において微動活動が開始している。

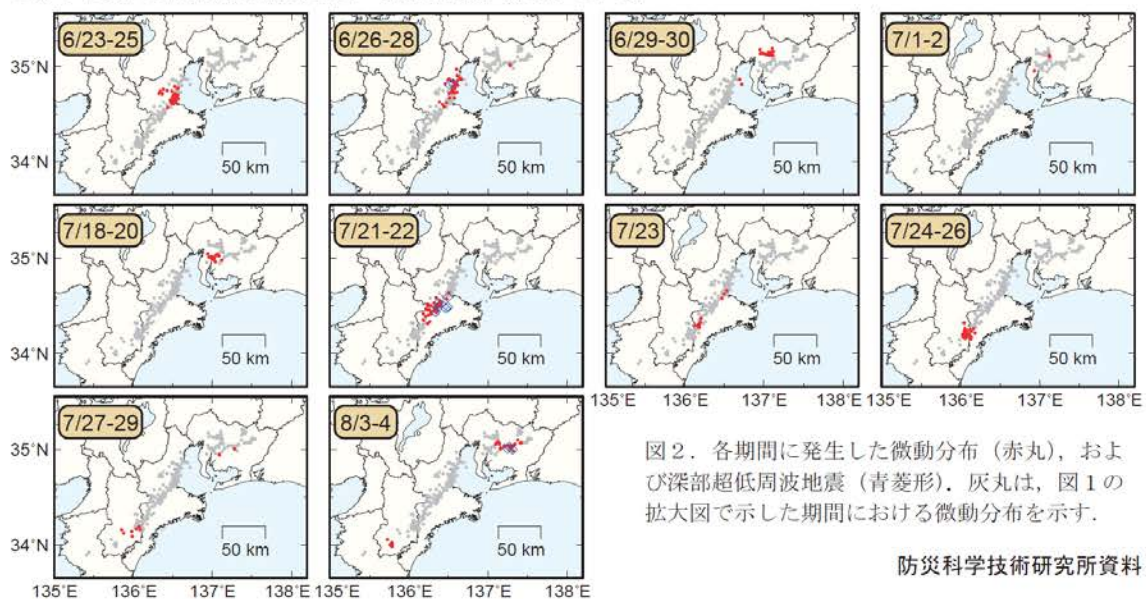
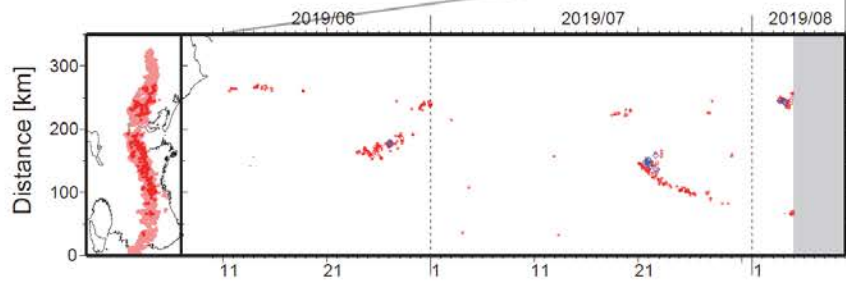


図 2. 各期間に発生した微動分布 (赤丸), および深部超低周波地震 (青菱形). 灰丸は、図 1 の拡大図で示した期間における微動分布を示す。

防災科学技術研究所資料

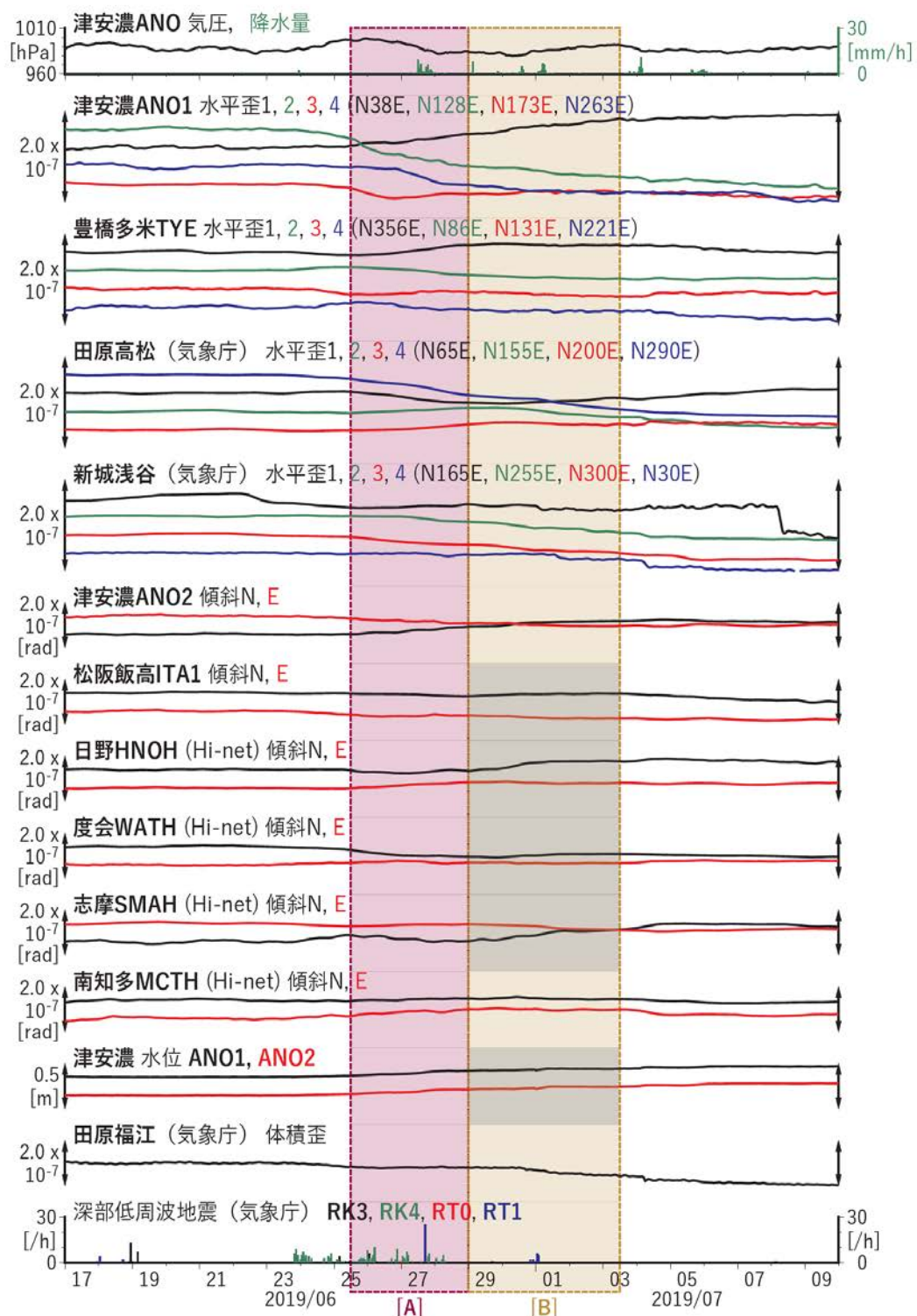
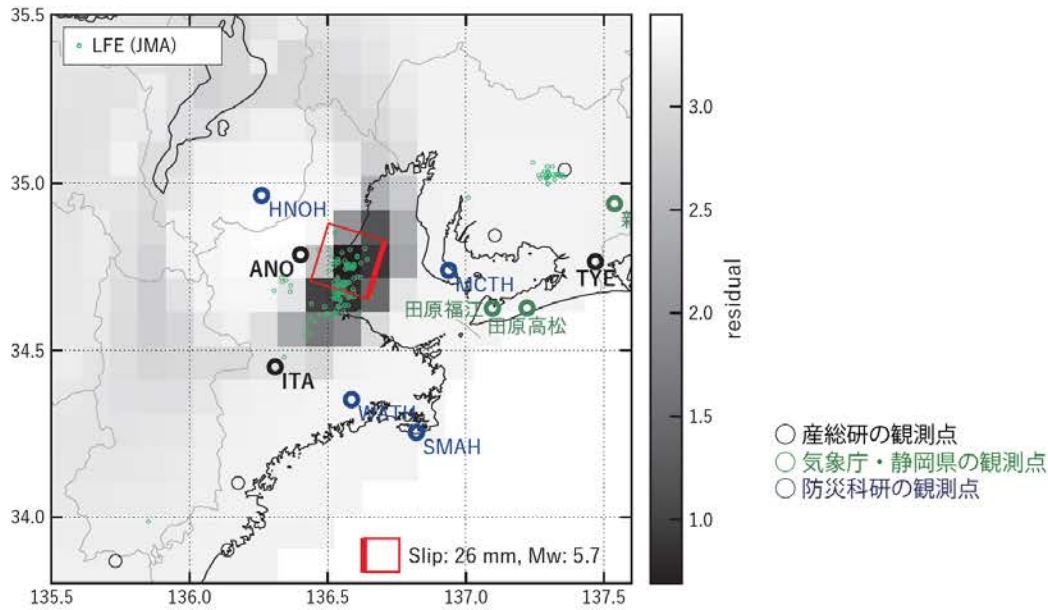


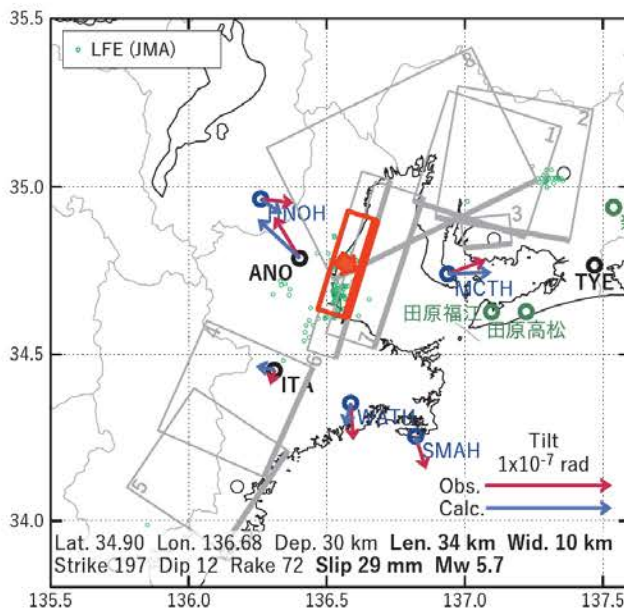
図2 紀伊半島から東海地方における歪・傾斜・地下水観測結果
(2019/06/17 00:00 - 2019/07/10 00:00 (JST))

[A] 2019/06/25PM-28

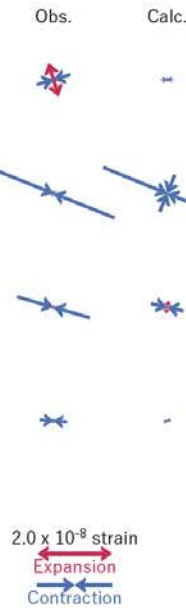
(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

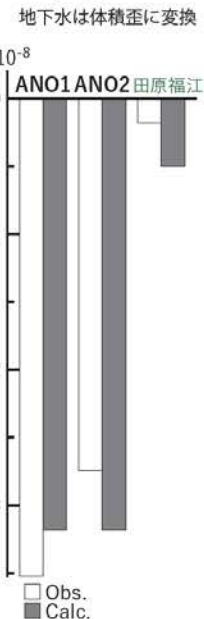


図3 2019/06/25PM-28の歪・傾斜・地下水変化（図2[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

1: 2019/02/03-06AM (Mw5.9), 2: 2019/02/06PM-09AM (Mw5.6), 3: 2019/02/09PM-12AM (Mw5.3)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/02/28-03/01AM (Mw5.7)

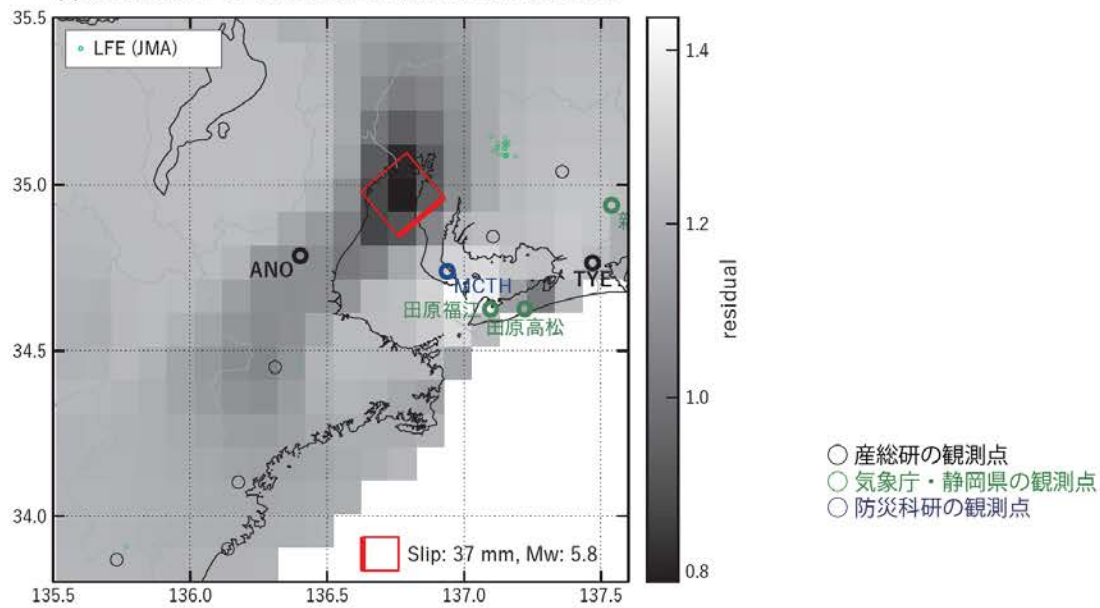
7: 2019/03/01PM-03 (Mw5.6), 8: 2019/04/22PM-23 (Mw5.6)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

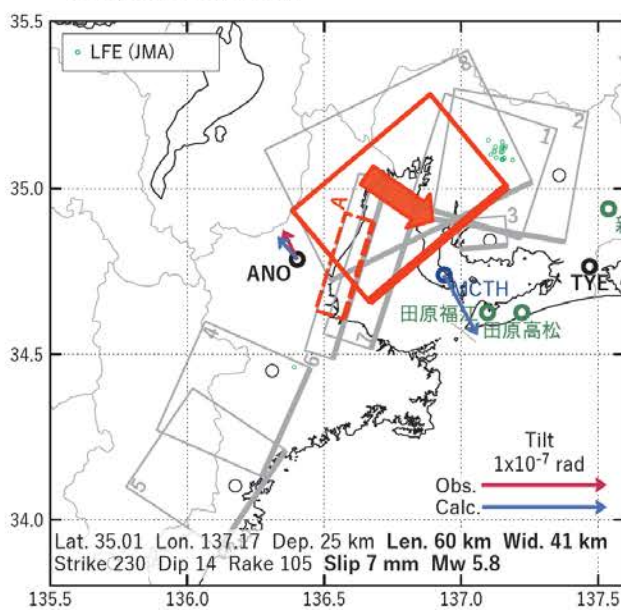
(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。地下水は体積歪に変換して計算している。

[B] 2019/06/29-07/03AM

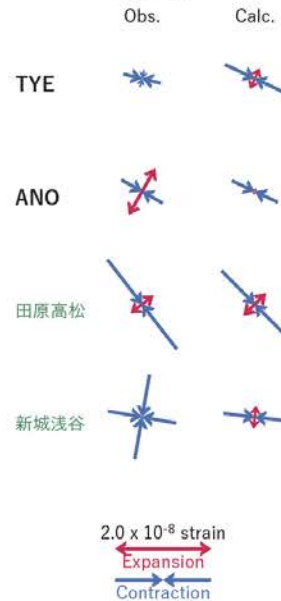
(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪



(b3) 体積歪

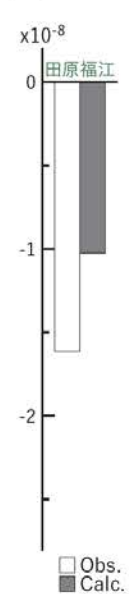


図4 2019/06/29-07/03AMの歪・傾斜変化（図2[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。赤色破線矩形は今回の一連のイベント。

1: 2019/02/03-06AM (Mw5.9), 2: 2019/02/06PM-09AM (Mw5.6), 3: 2019/02/09PM-12AM (Mw5.3)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/02/28-03/01AM (Mw5.7)

7: 2019/03/01PM-03 (Mw5.6), 8: 2019/04/22PM-23 (Mw5.6)

A: 2019/06/25PM-28 (Mw5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

(b3) 体積歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

紀伊半島北部及び中部の深部低周波地震(微動)活動と 短期的ゆっくりすべり

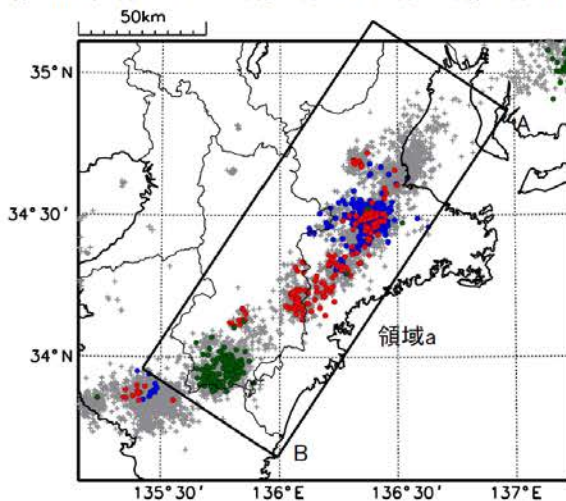
7月21日から27日にかけて、紀伊半島北部で深部低周波地震(微動)を観測した。深部低周波地震(微動)の活動域は、次第に南西へ移動した。

深部低周波地震(微動)活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測した。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

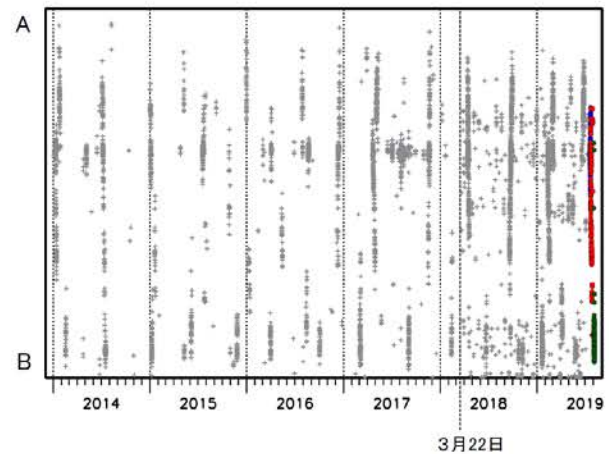
また、8月3日以降、紀伊半島中部で深部低周波地震(微動)を観測している。

深部低周波地震(微動)活動

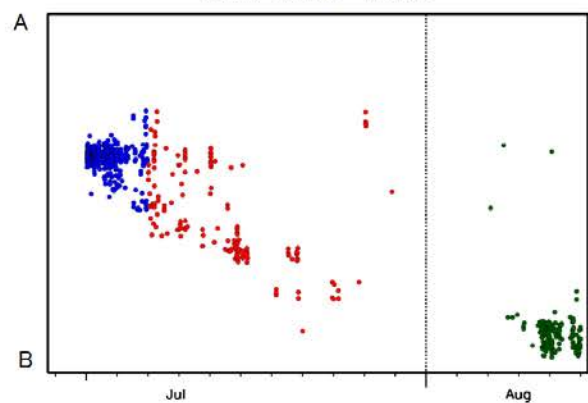
震央分布図
(2014年1月1日～2019年8月5日、深さ0～60km、Mすべて)
青:2019年7月21日～22日、赤:7月23日～8月2日、緑:8月3日～



震央分布図の領域a内のAB方向の時空間分布図



2019年7月20日～8月5日



※2018年3月22日から、深部低周波地震(微動)の処理方法の変更(Matched Filter法の導入)により、それ以前と比較して検知能力が変わっている。

※2019年8月5日の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

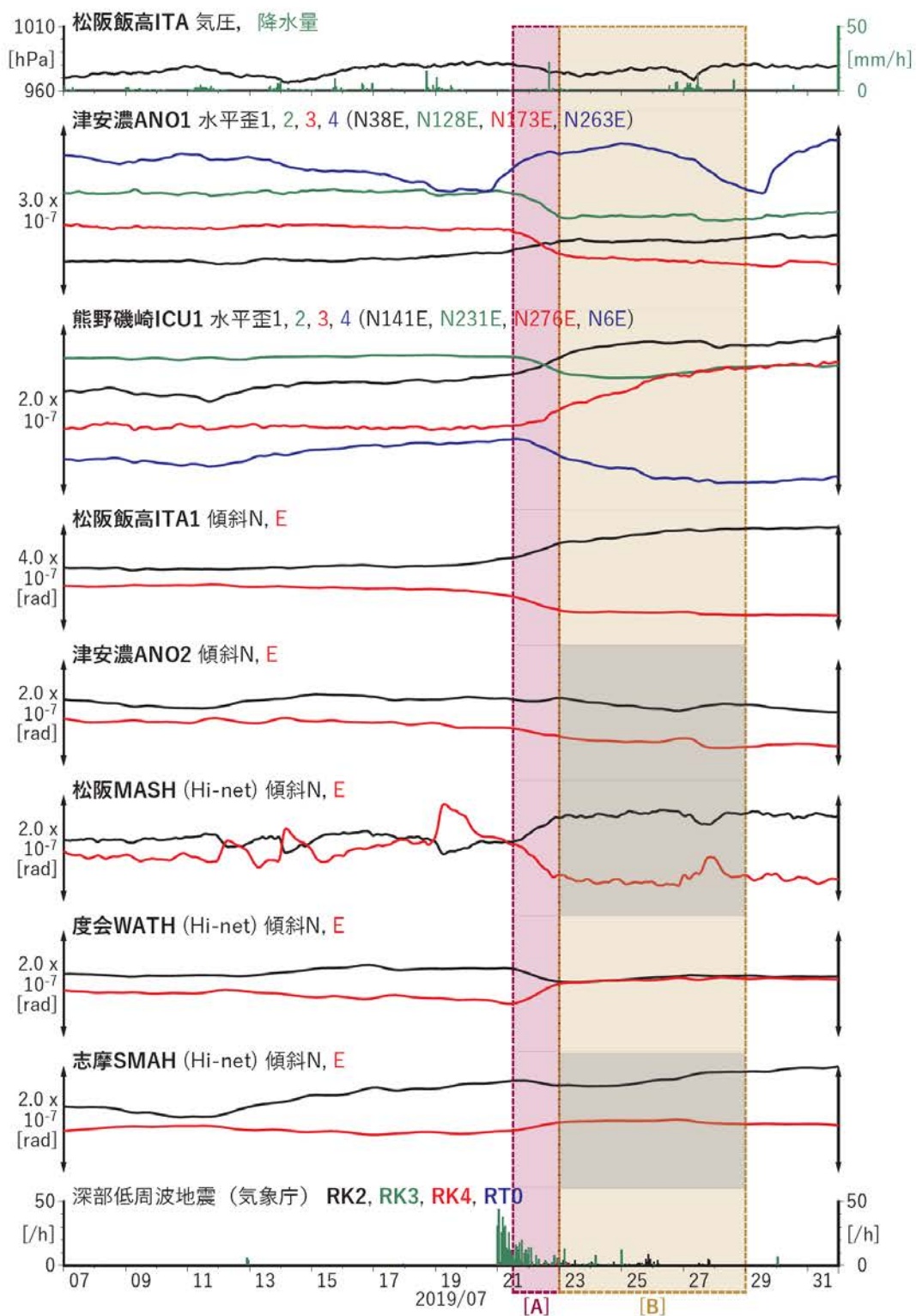
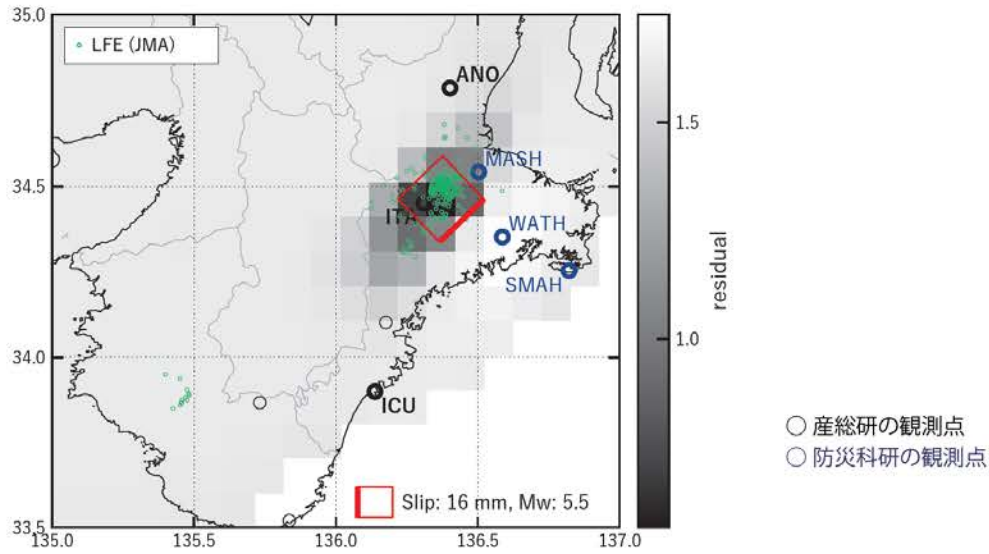


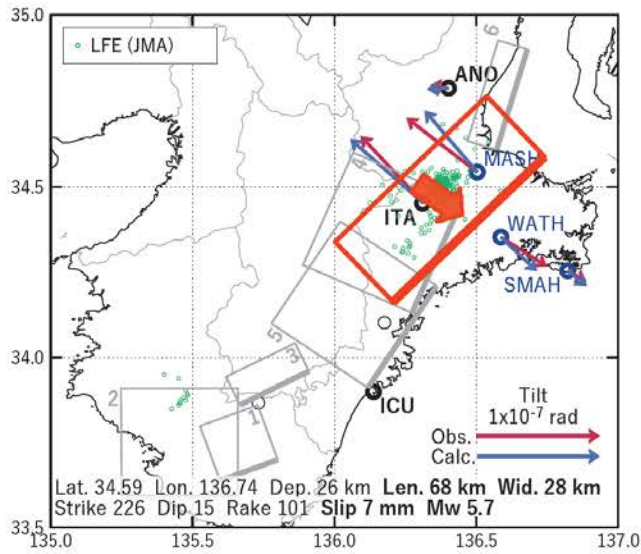
図6 紀伊半島における歪・傾斜観測結果
(2019/07/07 00:00 - 2019/08/01 00:00 (JST))

[A] 2019/07/21PM-22

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

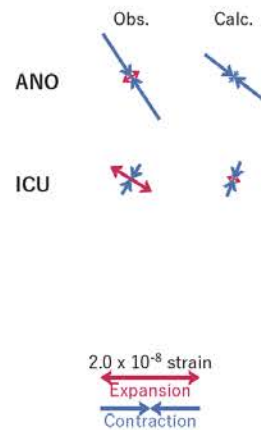


図7 2019/07/21PM-22の歪・傾斜変化（図6[A]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。

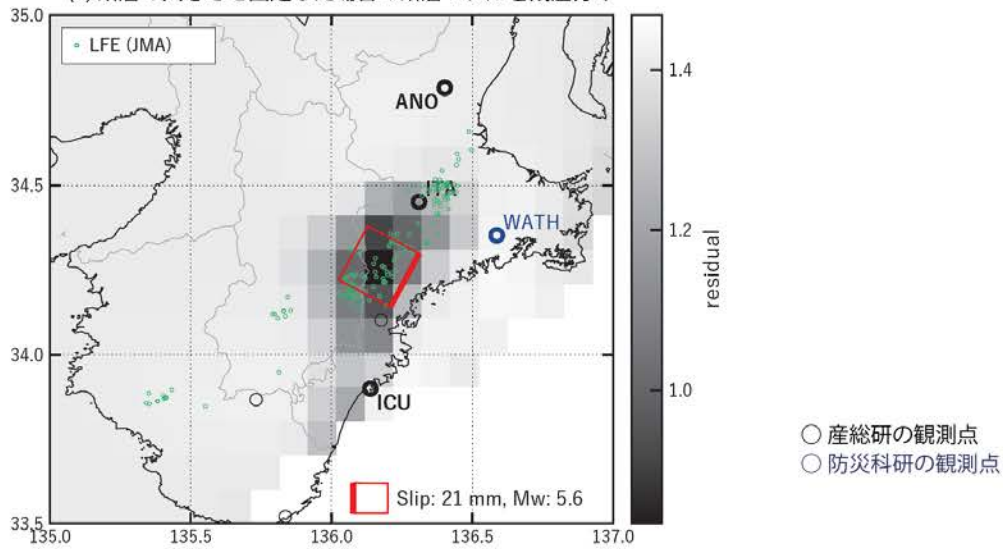
1: 2018/01/04-05 (Mw5.3), 2: 2018/06/22PM-25AM (Mw5.6), 3: 2019/01/19PM-24AM (Mw5.6)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/06/25PM-28 (Mw5.7)

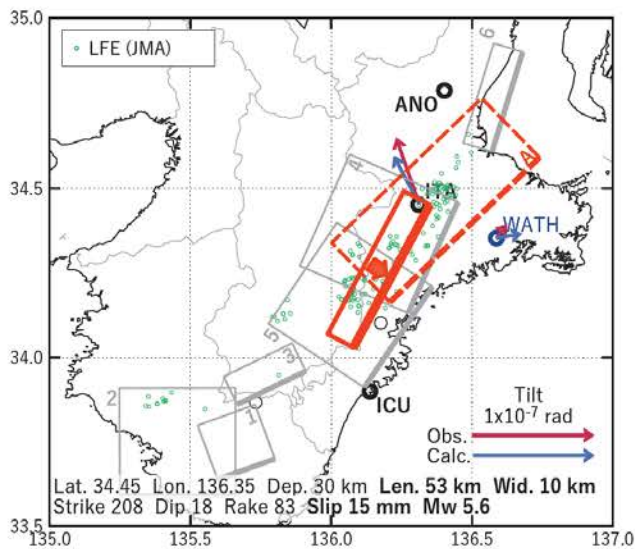
(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

[B] 2019/07/23-28

(a) 断層の大きさを固定した場合の断層モデルと残差分布



(b1) 推定した断層モデル



(b2) 主歪

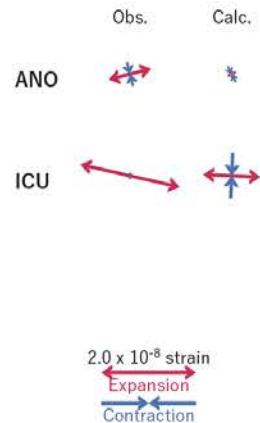


図8 2019/07/23-28の歪・傾斜変化（図6[B]）を説明する断層モデル。

(a) プレート境界面に沿って分布させた20×20kmの矩形断層面を移動させ、各位置で残差の総和を最小とするすべり量を選んだ時の残差の総和の分布。赤色矩形が残差の総和が最小となる断層面の位置。

(b1) (a)の位置付近をグリッドサーチして推定した断層面（赤色矩形）と断層パラメータ。灰色矩形は最近周辺で発生したイベントの推定断層面。赤色破線矩形は今回の一連のイベント。

1: 2018/01/04-05 (Mw5.3), 2: 2018/06/22PM-25AM (Mw5.6), 3: 2019/01/19PM-24AM (Mw5.6)

4: 2019/02/10-15 (Mw5.8), 5: 2019/02/16-18 (Mw5.5), 6: 2019/06/25PM-28 (Mw5.7)

A: 2019/07/21PM-22 (Mw5.7)

(b2) 主歪の観測値と(b1)に示した断層モデルから求めた計算値との比較。

紀伊半島北部の短期的スロースリップ活動状況（2019 年 7 月）



- ・紀伊半島北部を活動域とする短期的スロースリップイベント (M_w 5.8)
- ・2018 年 4 月 (M_w 6.0) 以来約 15 ヶ月ぶり

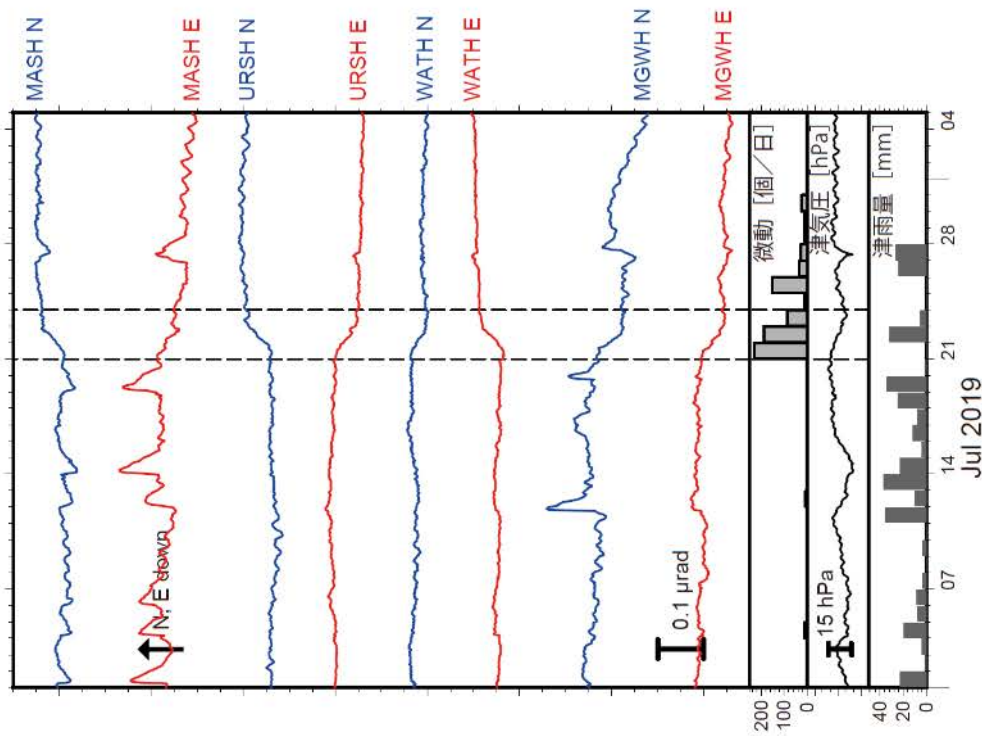


図 1：2019 年 7 月 1 日～8 月 5 日の傾斜時系列。上方向への変化が北・東下がりの傾斜変動を表し，BAYTAP-G により潮汐・気圧応答成分を除去した。7 月 21 日～23 日の傾斜変化ベクトルを図 2 に示す。紀伊半島北部での微動活動度・気象庁津観測点の気圧・雨量をあわせて示す。

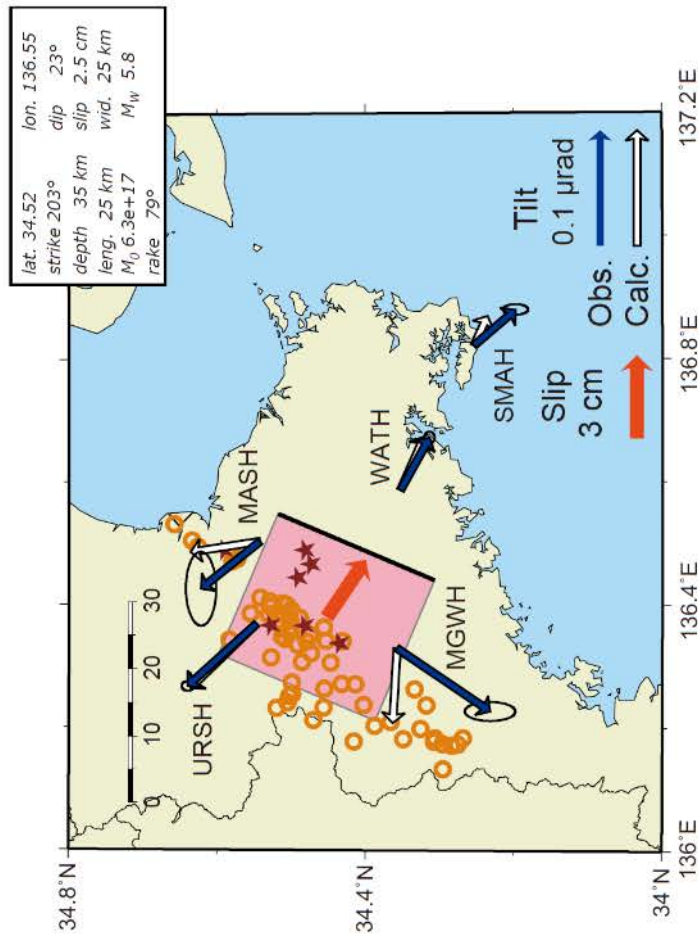
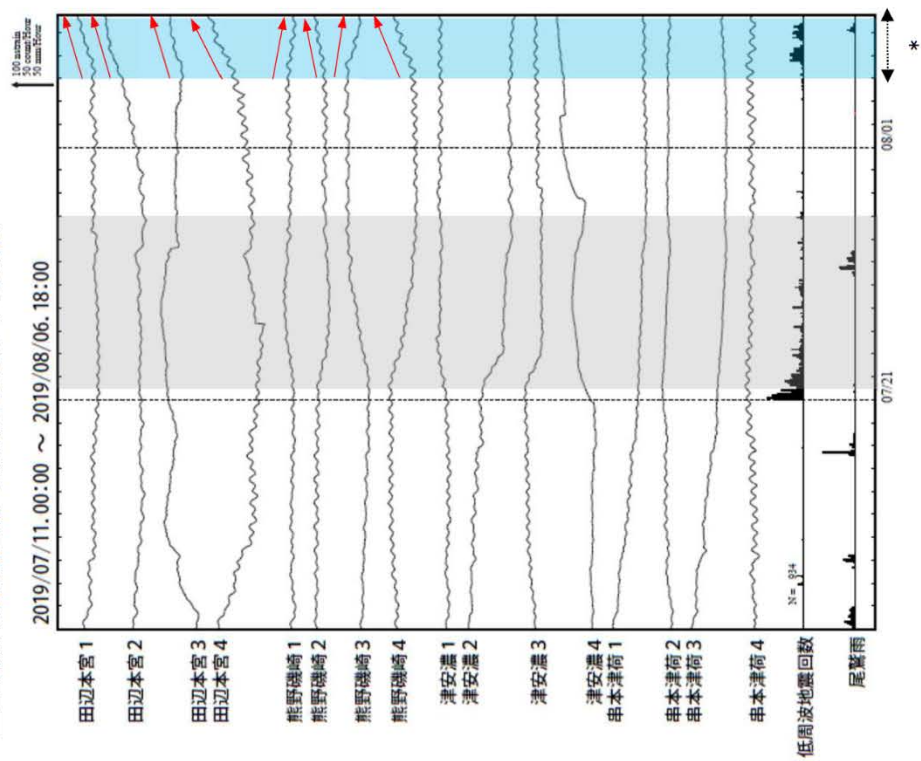


図 2：7 月 21 日～23 日に観測された傾斜変化ベクトル（青矢印）、推定されたスロースリップイベントの断層モデル（赤星・矢印）、モデルから計算される傾斜変化ベクトル（白抜き矢印）を示す。1 時間ごとの微動エネルギーの重心位置（橙丸）、超低周波地震の震央（茶星）もあわせて示す。すべり角はプレート相対運動方向に固定している。

謝辞

気象庁の WEB ページで公開されている気象データを使用させて頂きました。記して感謝いたします。

三重県から和歌山県で観測されたひずみ変化

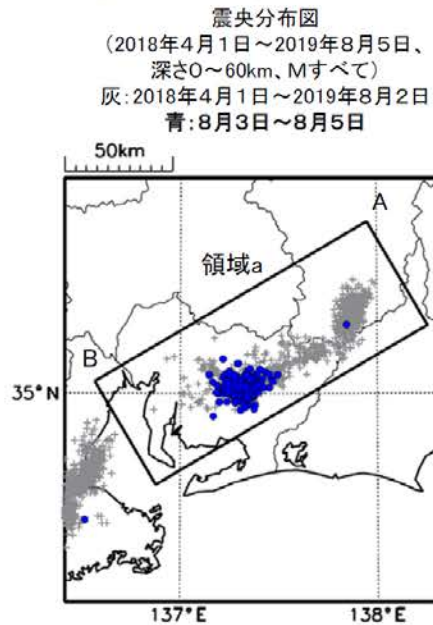


田辺本宮、熊野磯崎、津安濃及び串本津荷は産業技術総合研究所のひずみ計である。

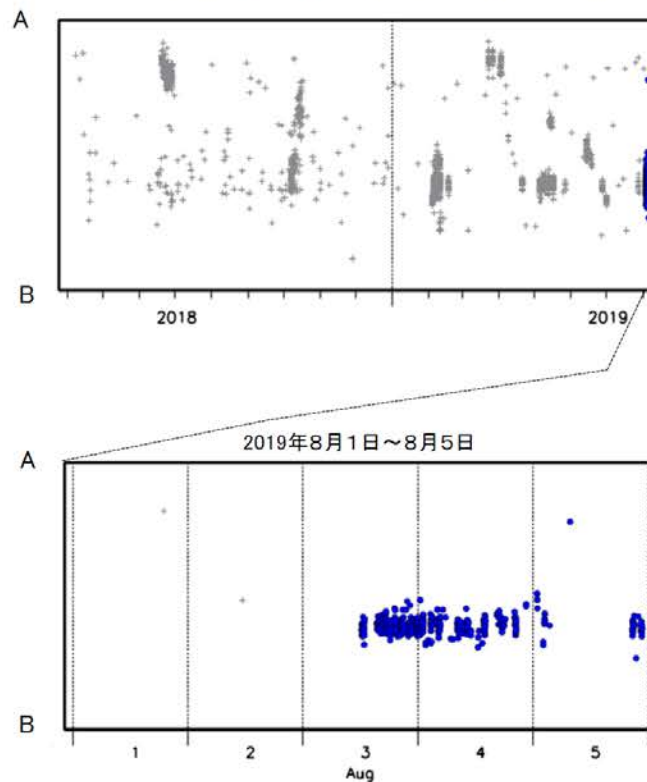
東海の深部低周波地震（微動）活動と 短期的ゆっくりすべり

8月3日以降、東海で深部低周波地震（微動）を観測している。深部低周波地震（微動）活動とほぼ同期して、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これらは、短期的ゆっくりすべりに起因すると推定される。

深部低周波地震（微動）活動



震央分布図の領域a内の時空間分布図（AB投影）

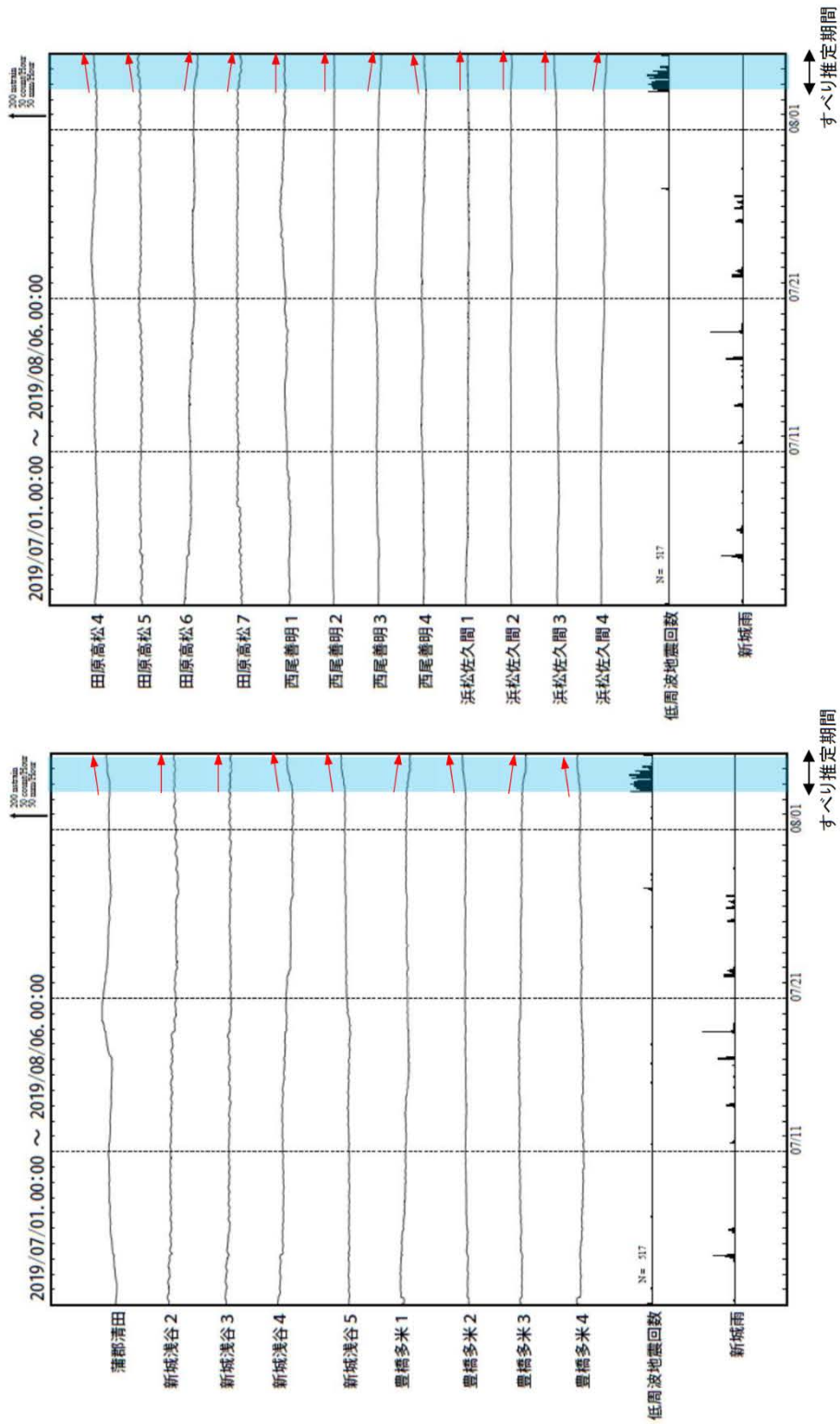


※2019年8月5日の震源要素は、今後の精査で変更する場合がある。

気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり（8月3日12時～8月5日24時）（速報）

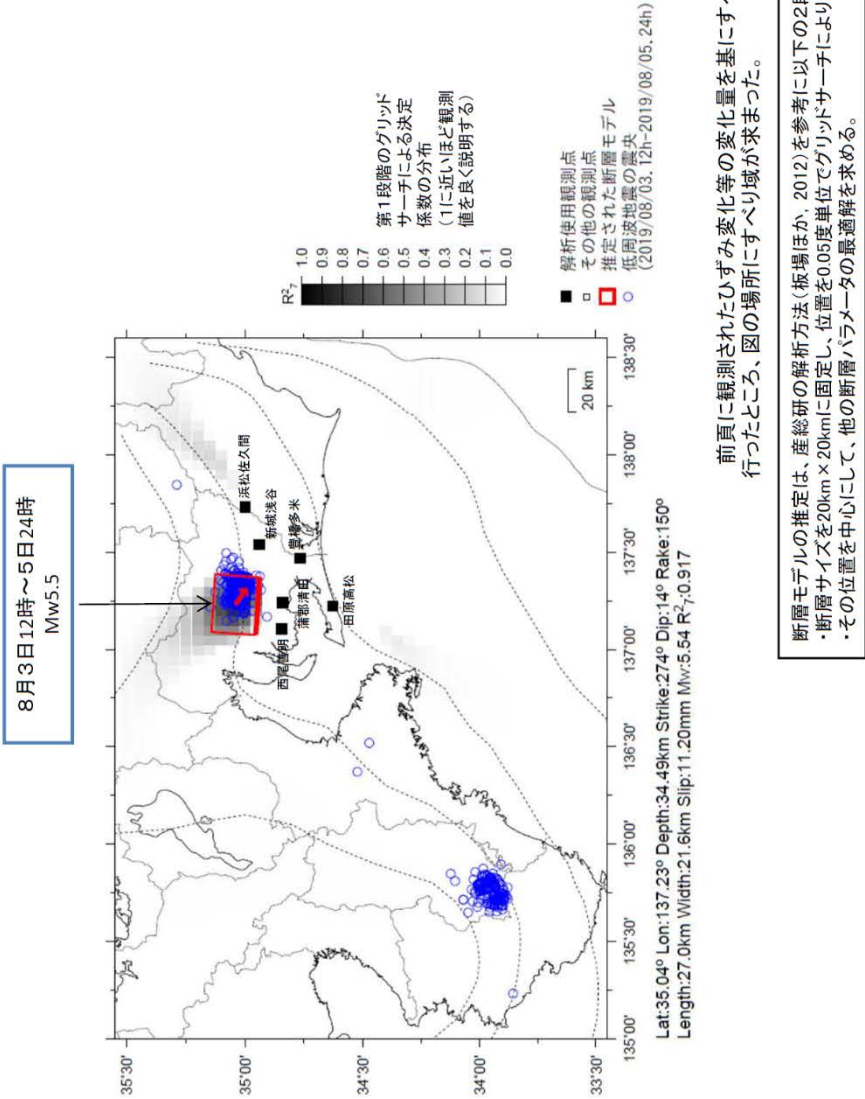
愛知県から静岡県で観測されたひずみ変化



豊橋多米及び西尾善明は産業技術総合研究所のひずみ計である。

気象庁作成

東海で発生した短期的ゆっくりすべり(8月3日12時～8月5日24時)(速報)



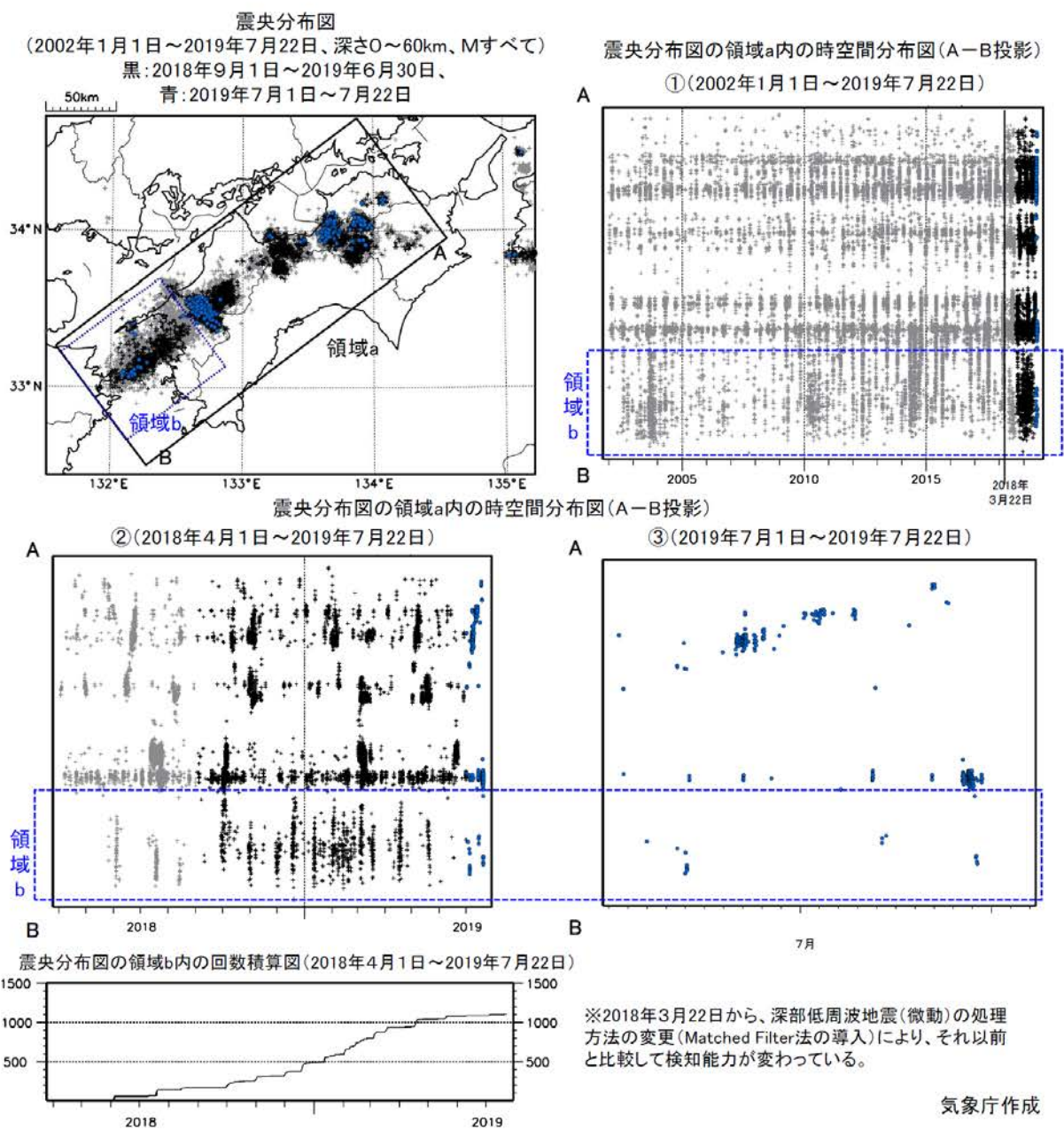
前頁に観測されたひずみ変化等の変化量を基にすべり推定を行なったところ、図の場所にすべり域が求まった。

断層モデルの推定は、産総研の解析方法(坂場ほか, 2012)を参考に以下の2段階で行う。
・断層サイズを20km×20kmに固定し、位置を0.05度単位でグリッドサーチにより推定する。
・その位置を中心にして、他の断層パラメータの最適解を求める。

気象庁作成

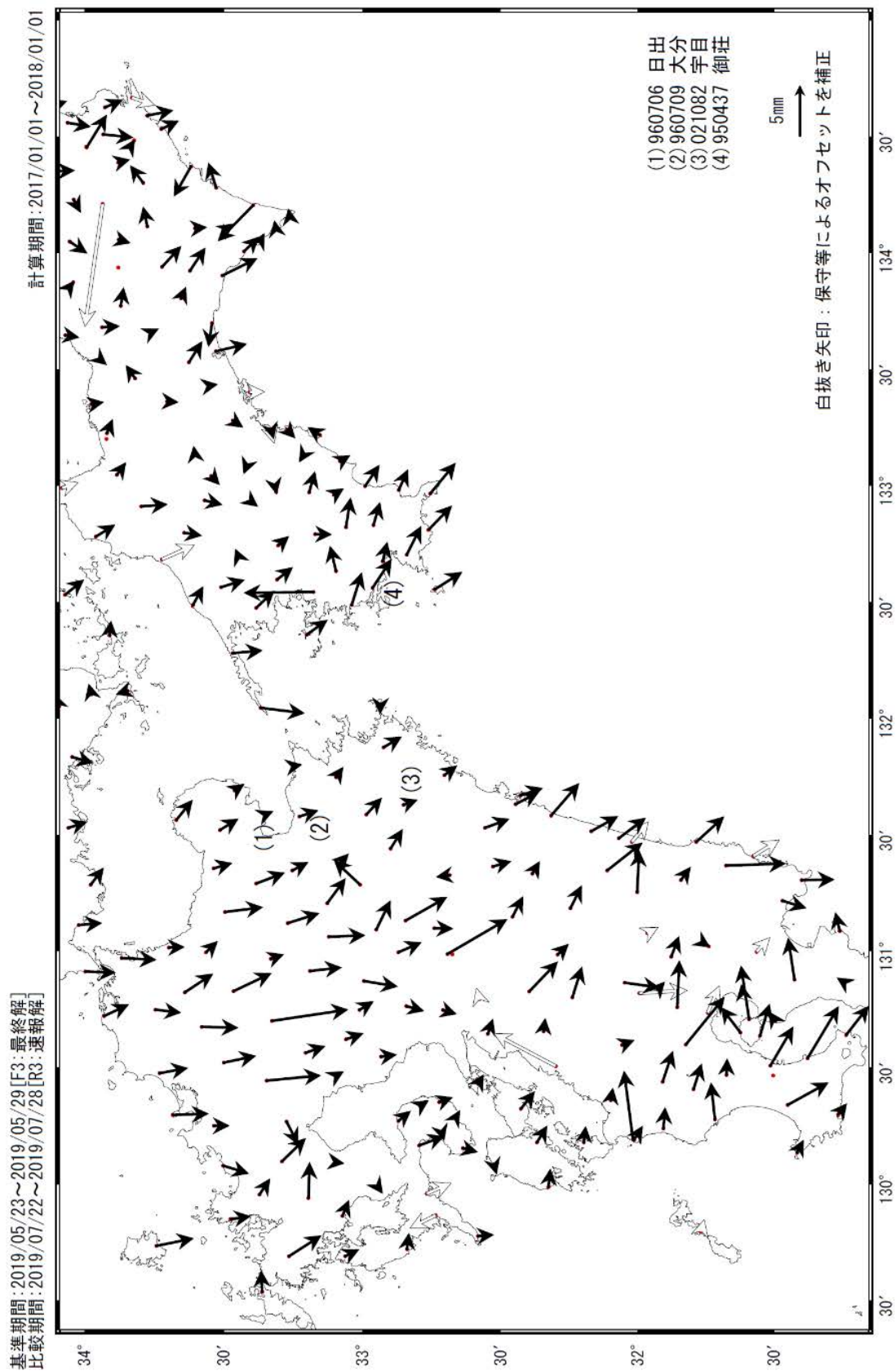
四国の深部低周波地震（微動）活動とゆっくりすべり

四国西部の南西側（領域b：豊後水道とその付近）では、2018年秋頃から深部低周波地震（微動）活動が活発になっていたが、2019年6月頃から減衰傾向がみられる。また、2018年秋頃から、周辺に設置されている複数のひずみ計で地殻変動を観測している。これらは、豊後水道周辺のプレート境界深部において発生している長期的ゆっくりすべりに関係すると推定される。この長期的ゆっくりすべりは、2019年6月頃から停滞しているように見える。



（国土地理院による GNSS 解析）

九州北部・四国西部の非定常水平地殻変動（1次トレンド・年周期・半年周期除去後）



国土地理院

☆ 固定局：福江 (950462)

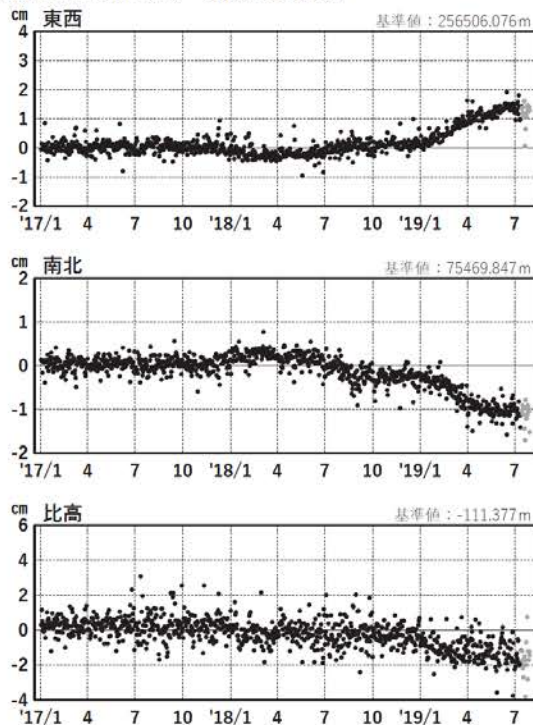
九州北部・四国西部 G N S S 連続観測時系列

1 次トレンド・年周成分・半年周成分除去後グラフ

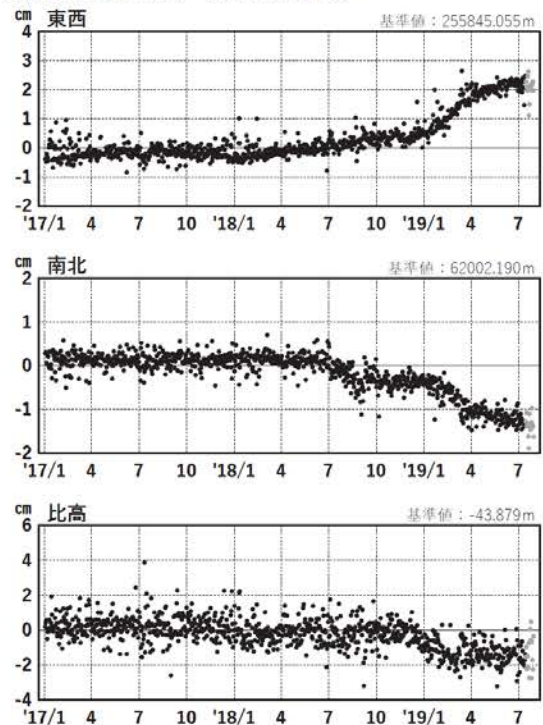
期間: 2017/01/01~2019/07/30 JST

計算期間: 2017/01/01~2018/01/01

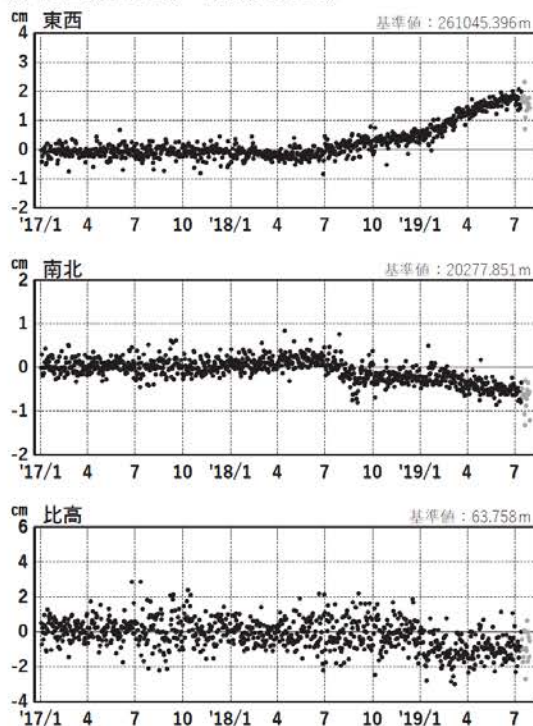
(1) 福江(950462)一日出(960706)



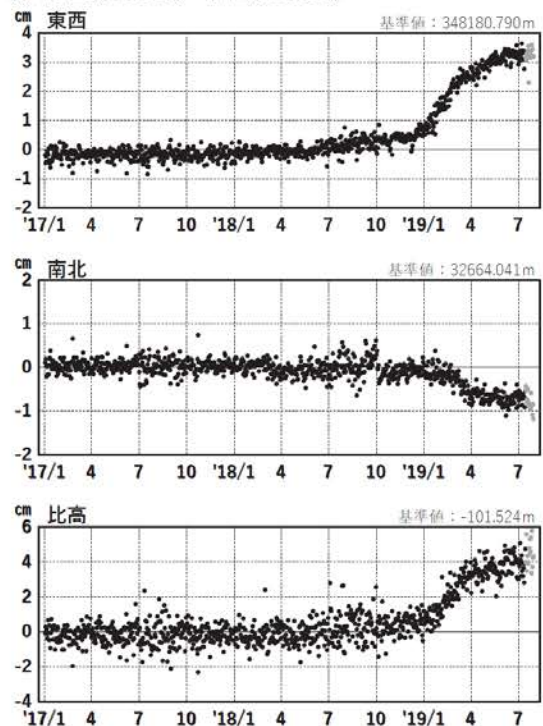
(2) 福江(950462)一大分(960709)



(3) 福江(950462)一字目(021082)



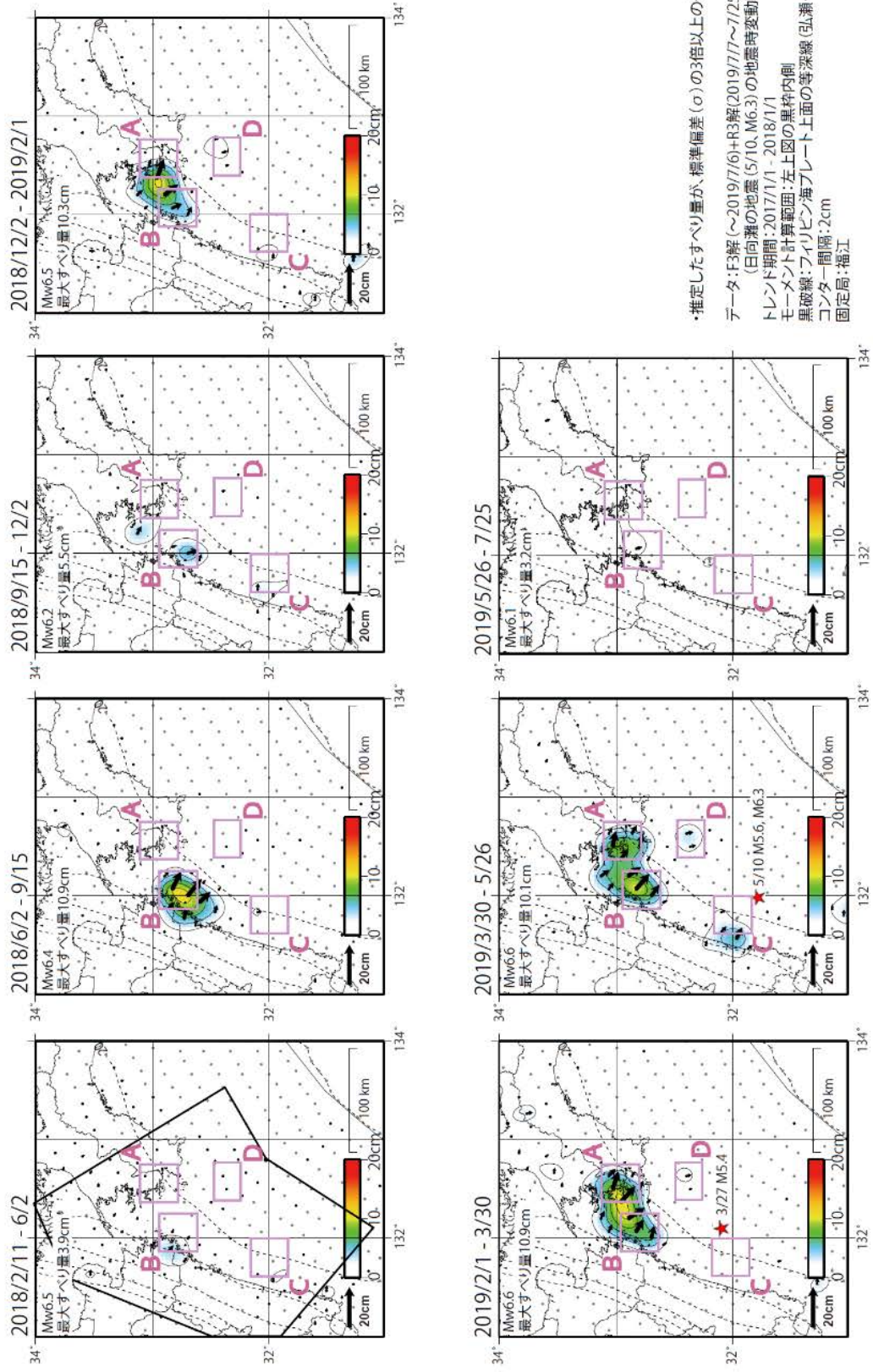
(4) 福江(950462)一御荘(950437)



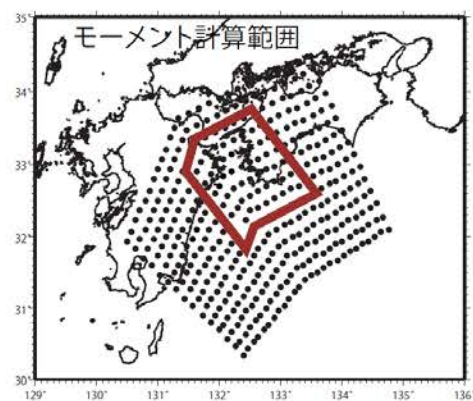
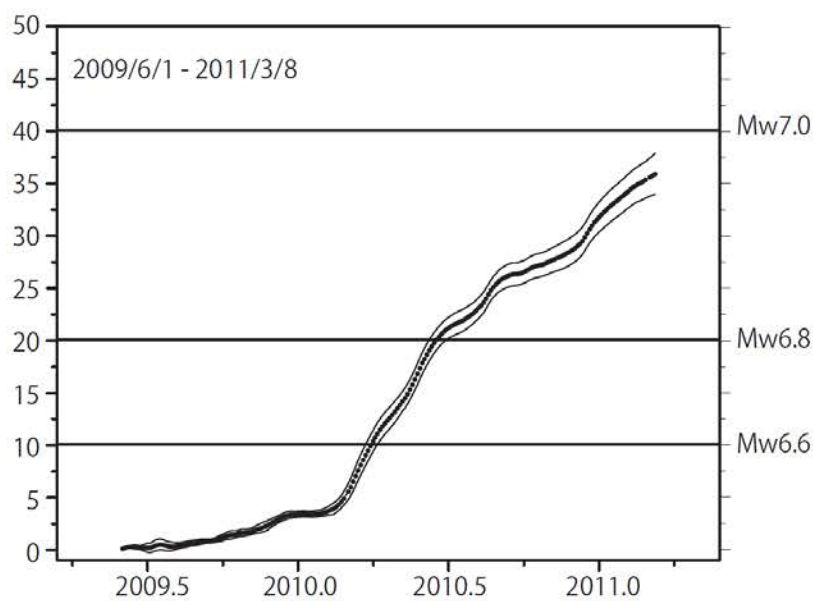
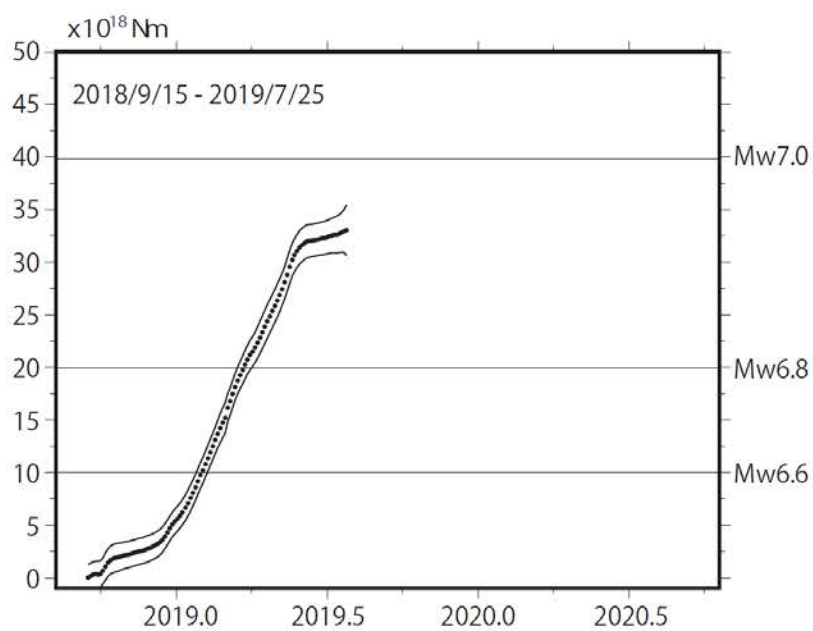
●---[F3:最終解] ●---[R3:速報解]

国土地理院

GNSSデータから推定された日向灘・豊後水道の長期的ゆっくりすべり（暫定）
推定すべり分布



モーメント※ 積算図（試算）



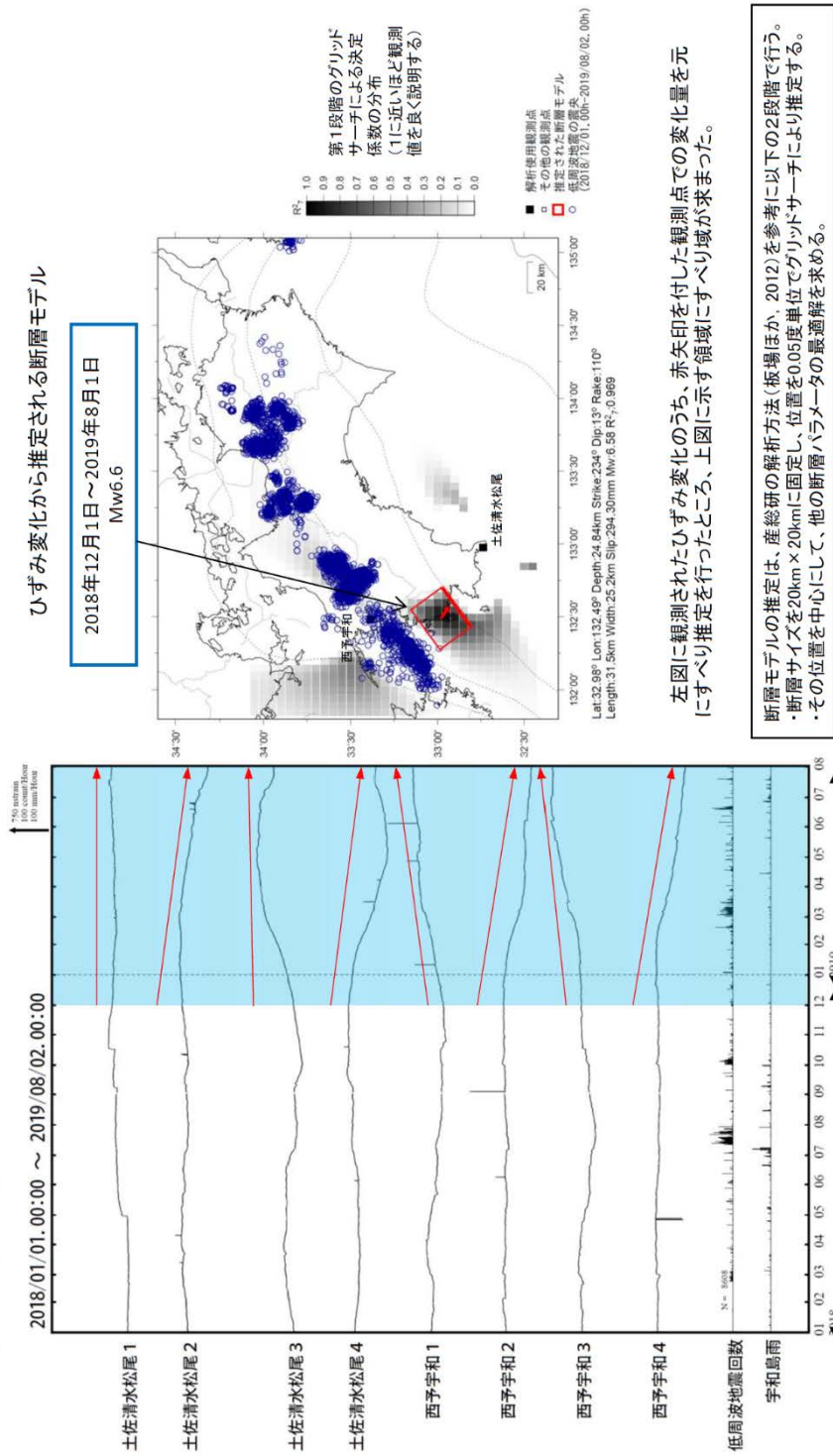
モーメント積算図には、標準偏差 (σ) の3倍を誤差として表示。

※モーメント
断層運動のエネルギーの目安となる量。
地震の場合のMw（モーメント・マグニチュード）
に換算できる。

国土地理院

豊後水道で発生している長期的ゆっくりすべり

愛媛県から高知県で観測されたひびき変化



土佐清水松尾及び西予宇和は産業技術総合研究所のひずみ計である。

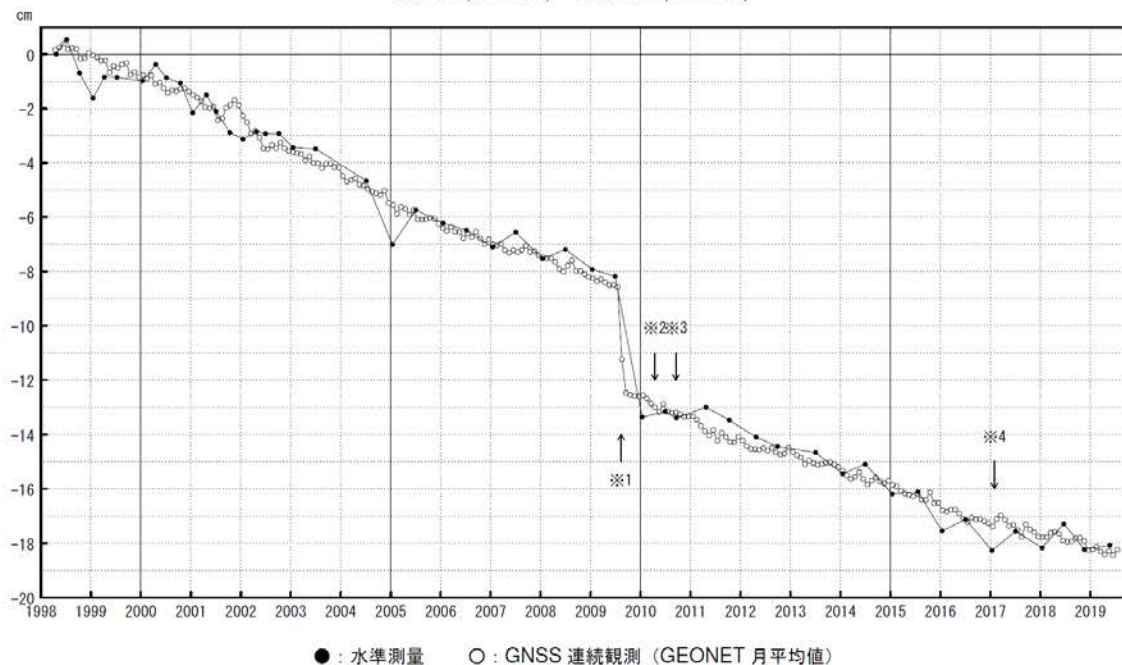
气象庁作成

御前崎 電子基準点の上下変動

水準測量と GNSS 連続観測

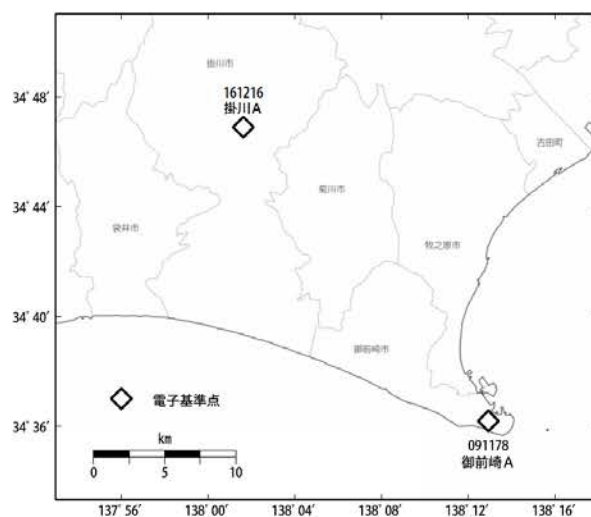
掛川に対して、御前崎が沈降する長期的な傾向が続いている。

掛川 A (161216) - 御前崎 A (091178)



・ 最新のプロット点は 07/01～07/13 の平均。

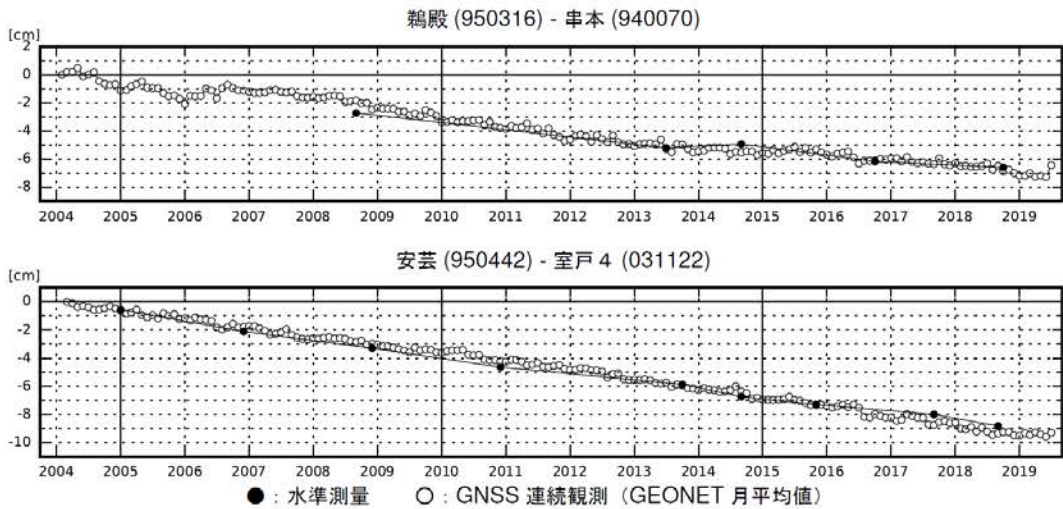
- ※1 電子基準点「御前崎」は 2009 年 8 月 11 日の駿河湾の地震 (M6.5) に伴い、地表付近の局所的な変動の影響を受けた。
- ※2 2010 年 4 月以降は、電子基準点「御前崎」をより地盤の安定している場所に移転し、電子基準点「御前崎 A」とした。上記グラフは電子基準点「御前崎」と電子基準点「御前崎 A」のデータを接続して表示している。
- ※3 水準測量の結果は移転後初めて変動量が計算できる 2010 年 9 月から表示している。
- ※4 2017 年 1 月 30 日以降は、電子基準点「掛川」は移転し、電子基準点「掛川 A」とした。上記グラフは電子基準点「掛川」と電子基準点「掛川 A」のデータを接続して表示している。



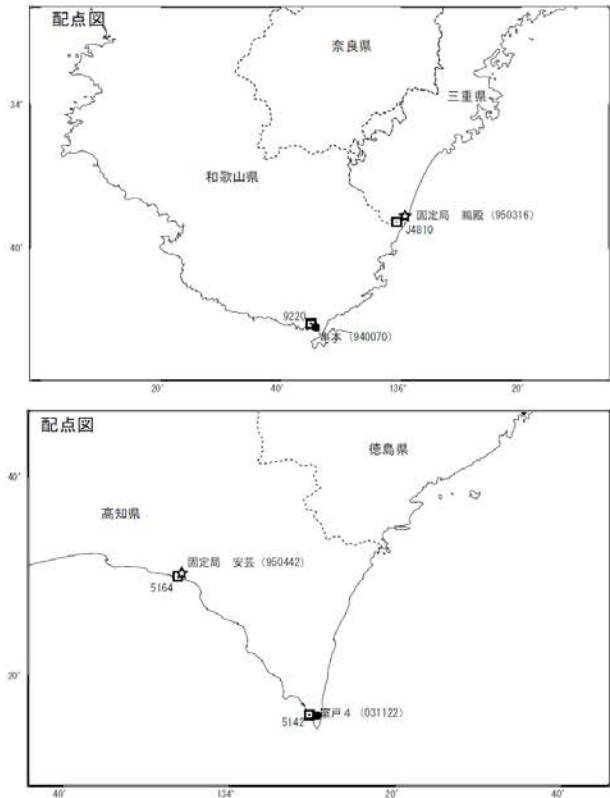
国土地理院

紀伊半島及び室戸岬周辺 電子基準点の上下変動

潮岬周辺及び室戸岬周辺の長期的な沈降傾向が続いている。

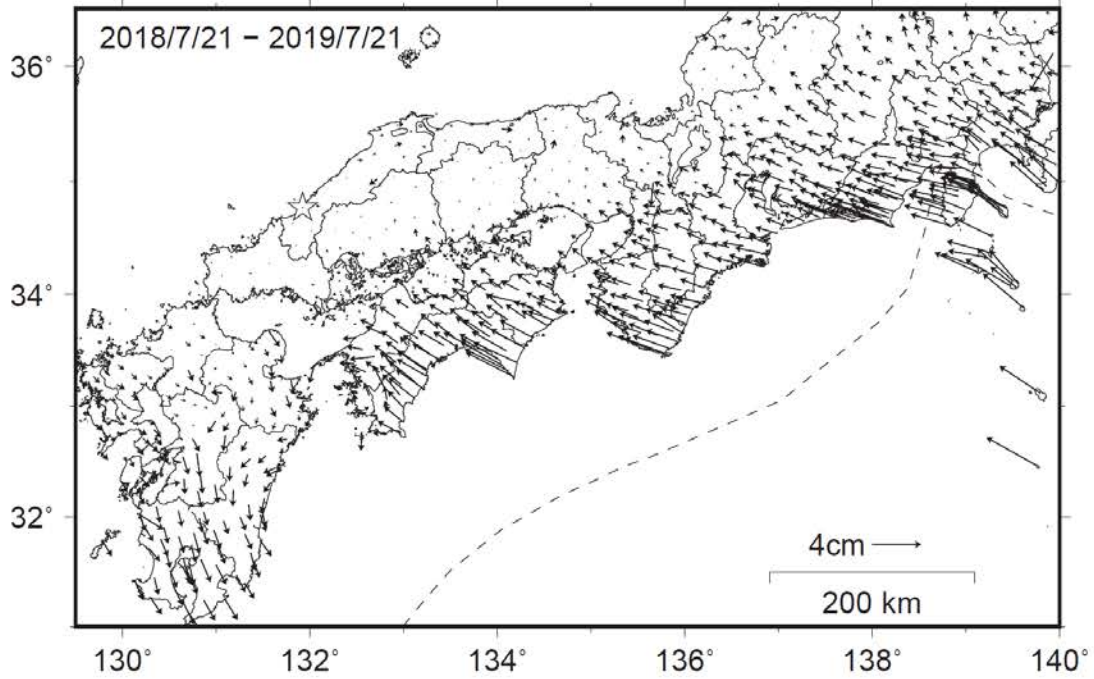


- ・ 最新のプロット点は 7/1～7/13 の平均。
- ・ 水準測量による結果については、最寄りの一等水準点の結果を表示している。

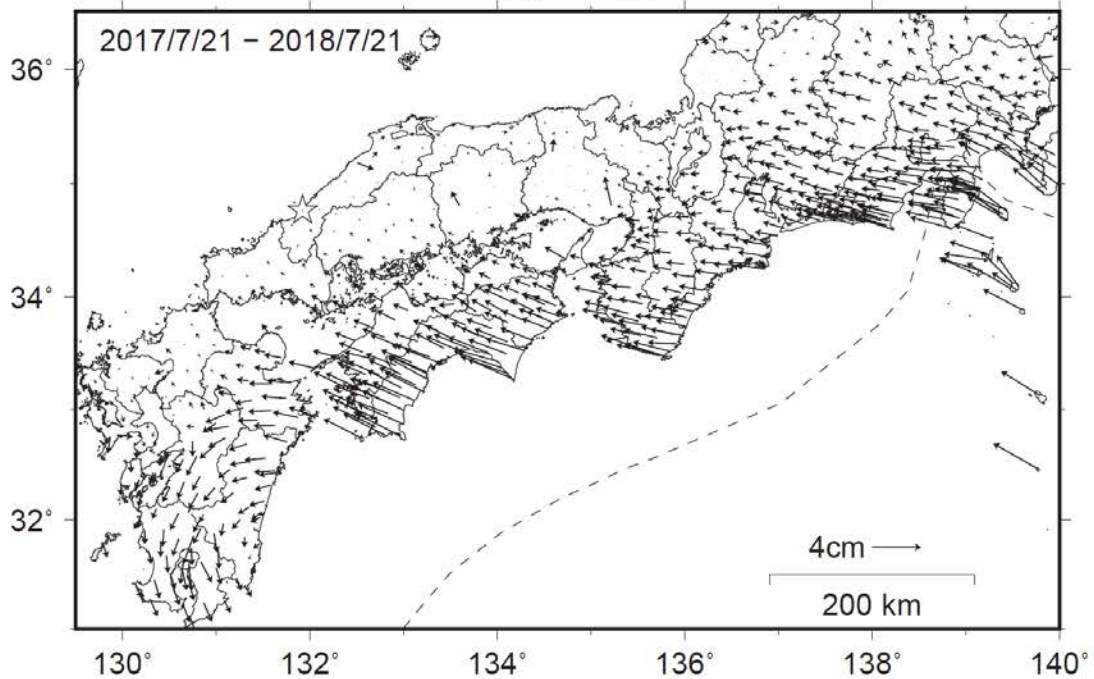


南海トラフ沿いの水平地殻変動【固定局：三隅】

【最近 1 年間】



【1 年前の 1 年間】



・各日付から 6 日間の変動量の平均をとり、その差から 1 年間の変動量を示している。

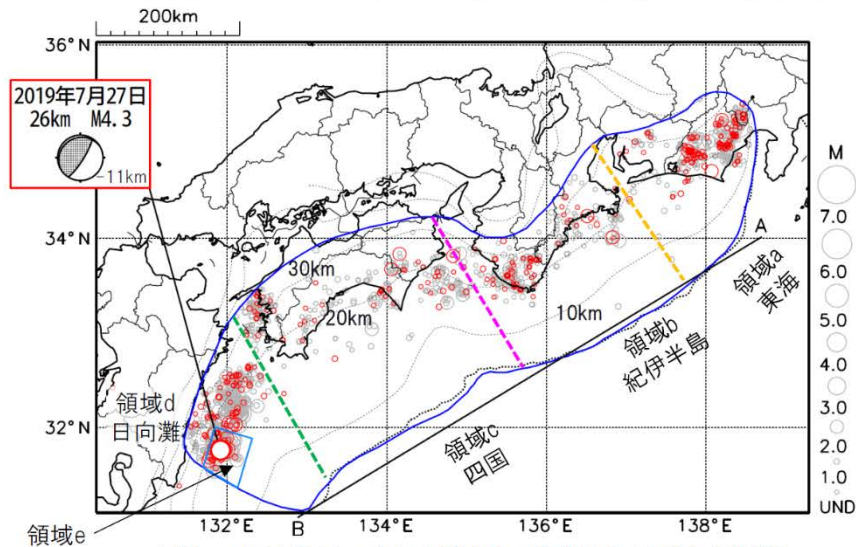
国土地理院

プレート境界とその周辺の地震活動

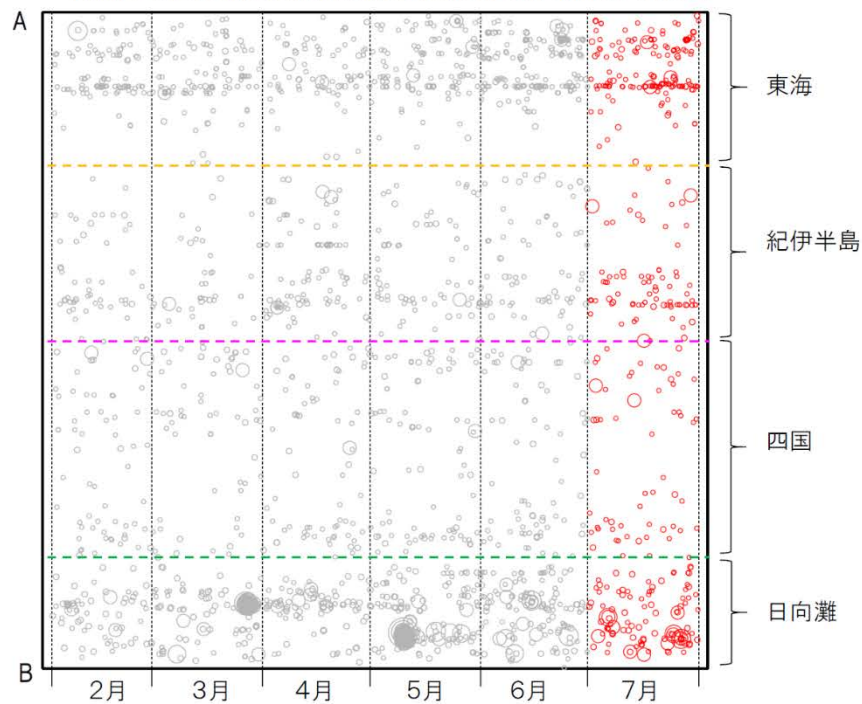
フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。
日向灘の領域e内のみ、深さ20km～30kmの地震を追加している。

震央分布図

（2019年2月1日～2019年7月31日、M全て、2019年7月の地震を赤く表示）



南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図（A-B投影）



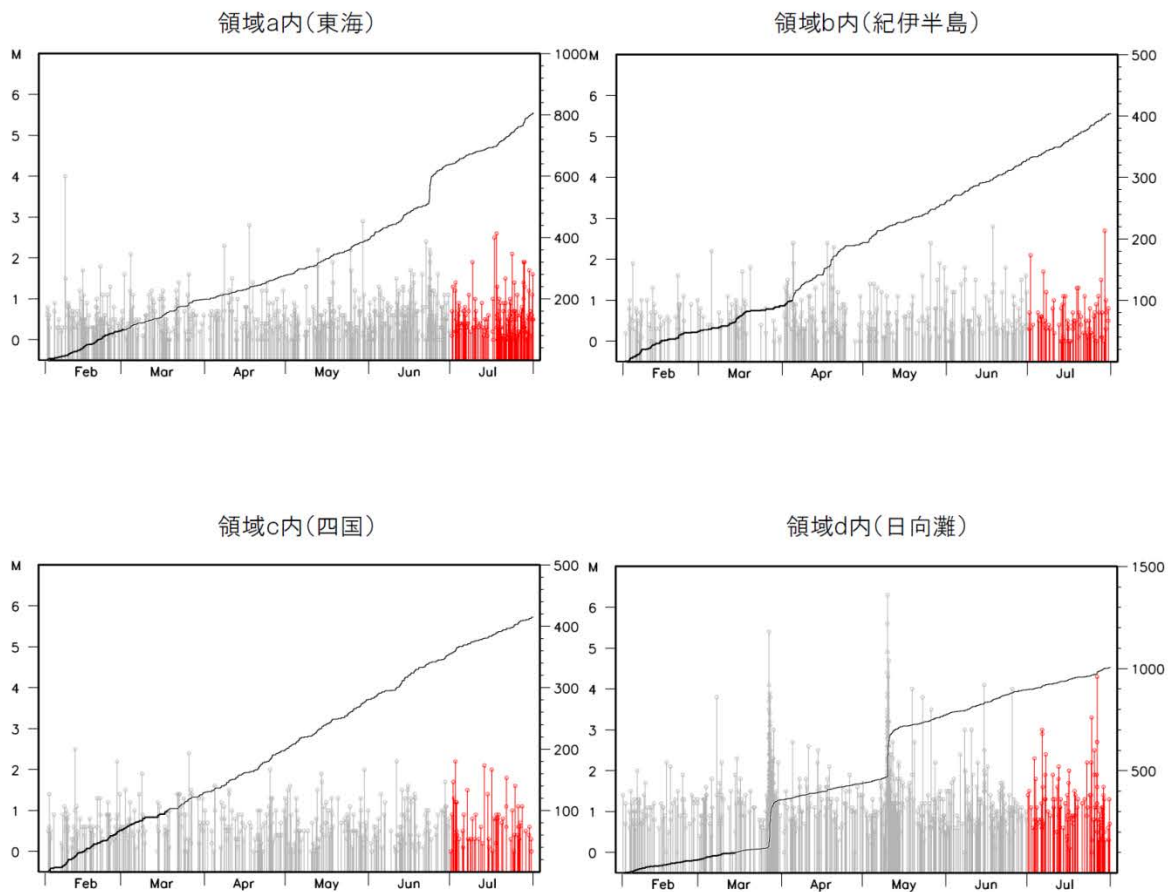
- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間の地震のうち、M3.2以上の地震で想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震に吹き出しを付している。吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差（+は浅い、-は深い）を示す。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

気象庁作成

プレート境界とその周辺の地震活動

フィリピン海プレート上面の深さから±6km未満の地震を表示している。

震央分布図の各領域内のMT図・回数積算図

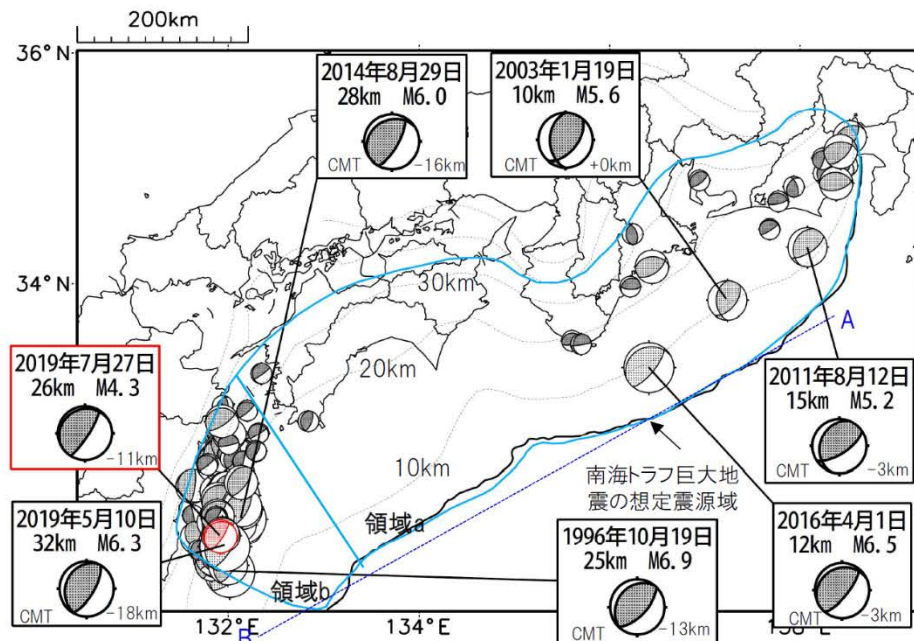


※M全ての地震を表示していることから、検知能力未満の地震も表示しているため、回数積算図は参考として表記している。

気象庁作成

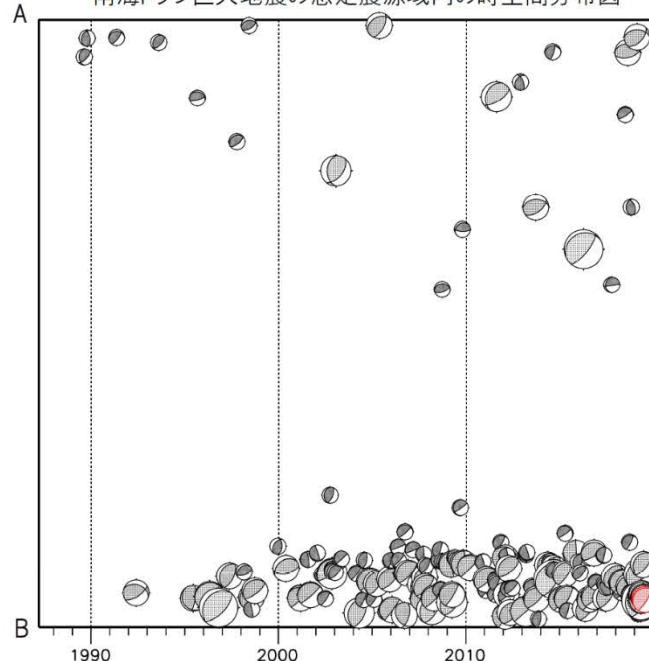
想定南海トラフ地震の発震機構解と類似の型の地震

震央分布図(1987年9月1日～2019年7月31日、M $\geq$ 3.2、2019年7月の地震を赤く表示)



- ・フィリピン海プレート上面の深さは、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)による。震央分布図中の点線は10kmごとの等深線を示す。
- ・今期間に発生した地震(赤)、日向灘のM6.0以上、その他の地域のM5.0以上の地震に吹き出しを付けている。
- ・発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。
- ・吹き出しの右下の数値は、フィリピン海プレート上面の深さからの差を示す。+は浅い、-は深いことを示す。
- ・吹き出しに「CMT」と表記した地震は、発震機構解と深さはCMT解による。Mは気象庁マグニチュードを表記している。
- ・発震機構解の解析基準は、解析当時の観測網等に応じて変遷しているため一定ではない。

南海トラフ巨大地震の想定震源域内の時空間分布図



プレート境界型の地震と類似の型の発震機構解を持つ地震は以下の条件で抽出した。

【抽出条件】

- ・M3.2以上の地震
- ・領域a内(南海トラフの想定最大規模の想定震源域内)で発生した地震
- ・発震機構解が以下の条件を全て満たしたものを抽出した。
 - P軸の傾斜角が45度以下
 - P軸の方位角が65度以上180度以下(※)
 - T軸の傾斜角が45度以上
 - N軸の傾斜角が30度以下
- ※以外の条件は、東海地震と類似の型を抽出する条件と同様
- ・発震機構解は、CMT解と初動解の両方で検索をした。
- ・同一の地震で、CMT解と初動解の両方がある場合はCMT解を選択している。
- ・東海地方から四国地方(領域a)は、フィリピン海プレート上面の深さから±10km未満の地震のみ抽出した。日向灘(領域b)は、+10km～20km未満の震源を抽出した。CMT解はセントロイドの深さを使用した。

気象庁作成

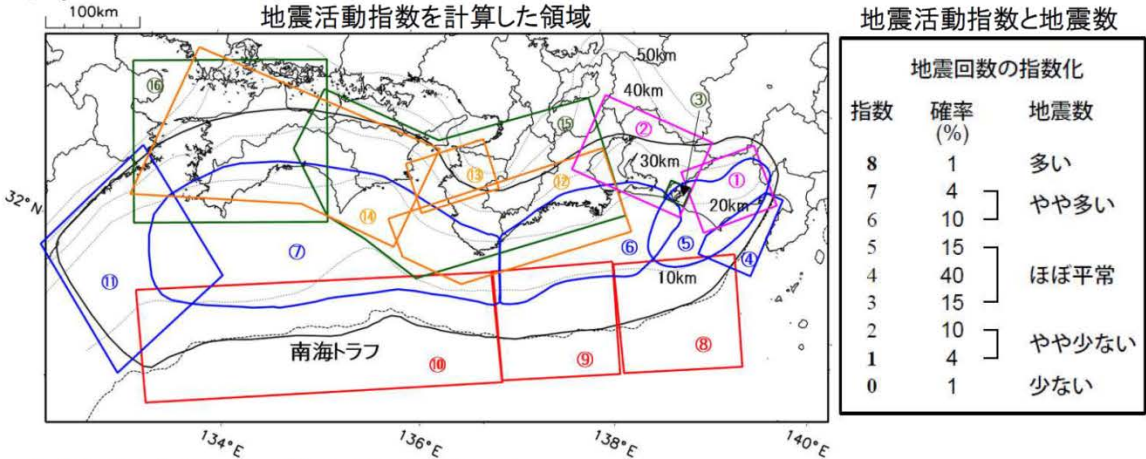
南海トラフ巨大地震の想定震源域とその周辺の地震活動指数

2019年7月31日

領域	①静岡県 中西部		②愛知県		③浜名湖 周辺	④駿河 湾	⑤東海	⑥東南 海	⑦南海
	地	プ	地	プ	プ	全	全	全	全
地震活動指数	8	6	4	5	6	2	5	3	3
平均回数	16.4	18.4	26.5	13.6	13.1	13.3	18.3	19.7	21.2
MLきい値	1.1		1.1		1.1	1.4	1.5	2.0	2.0
クラスタ 除去	距離	3km	3km		3km	10km	10km	10km	10km
	日数	7日	7日		7日	10日	10日	10日	10日
対象期間	60日	90日	60日	30日	360日	180日	90日	360日	90日
深さ	0～ 30km	0～ 60km	0～ 30km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 60km	0～ 100km	0～ 100km

領域	南海トラフ沿い		⑪日向 灘	⑫紀伊 半島	⑬和歌 山	⑭四国	⑮紀伊半 島	⑯四国
	⑧東側	⑩西側	全	地	地	地	プ	プ
	全	全						
地震活動指数	6	4	6	0	1	5	4	7
平均回数	12.0	15.0	20.6	22.8	42.2	30.3	27.6	28.1
MLきい値	2.5	2.5	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5
クラスタ 除去	距離	10km	10km	3km	3km	3km	3km	3km
	日数	10日	10日	7日	7日	7日	7日	7日
対象期間	720日	360日	60日	120日	60日	90日	30日	30日
深さ	0～ 100km	0～ 100km	0～ 100km	0～ 20km	0～ 20km	0～ 20km	20～ 100km	20～ 100km

* 基準期間は、全領域1997年10月1日～2019年7月31日
* 領域欄の「地」は地殻内、「プ」はフィリピン海プレート内で発生した地震であることを示す。ただし、震源の深さから便宜的に分類しただけであり、厳密に分離できていない場合もある。「全」は浅い地震から深い地震まで全ての深さの地震を含む。
* ⑨の領域(三重県南東沖)は、2004年9月5日以降の地震活動の影響で、地震活動指数を正確に計算できないため、掲載していない。

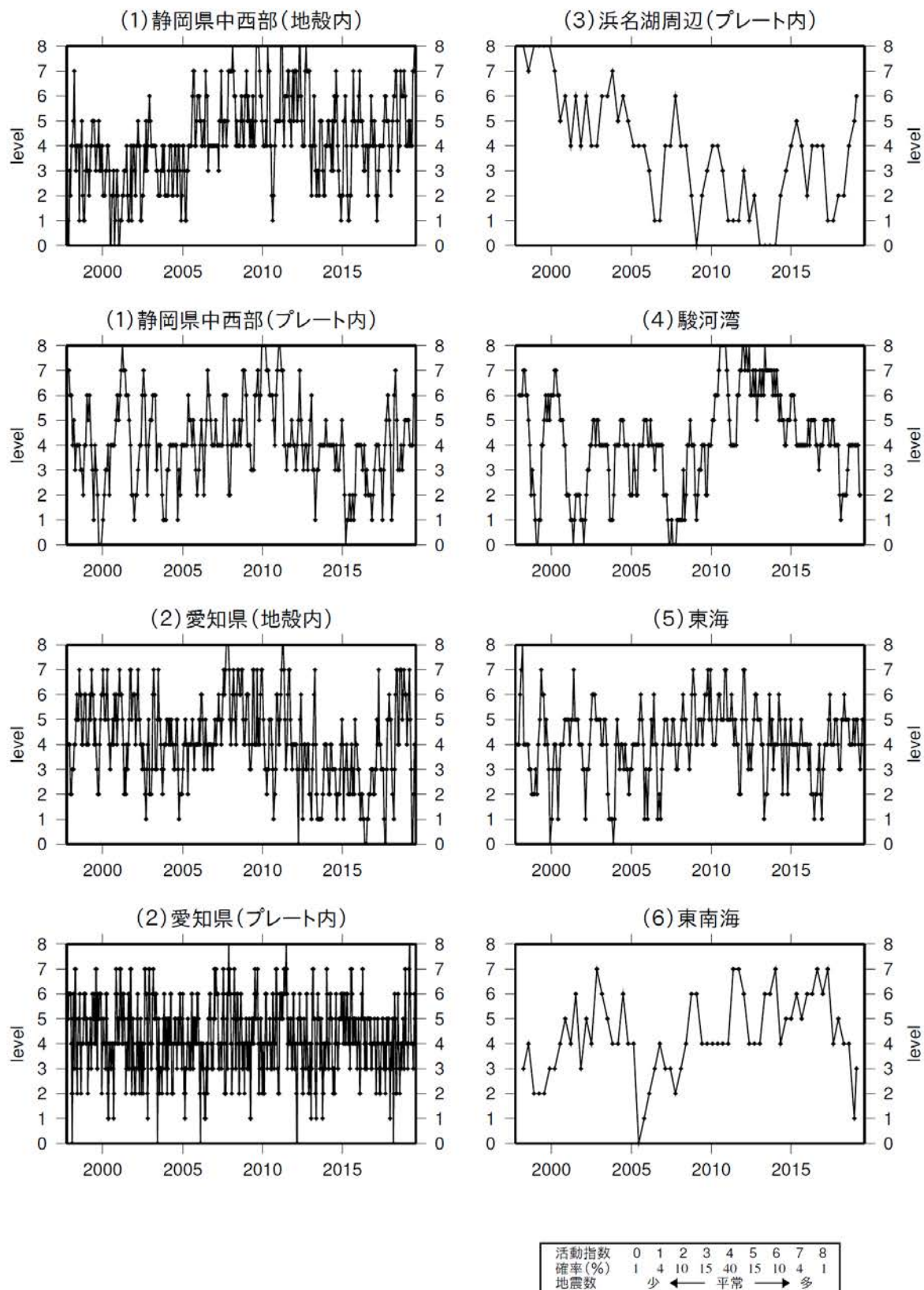


* 黒色実線は、南海トラフ巨大地震の想定震源域を示す。
* Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるプレート境界の等深線を破線で示す。

気象庁作成

地震活動指数一覧

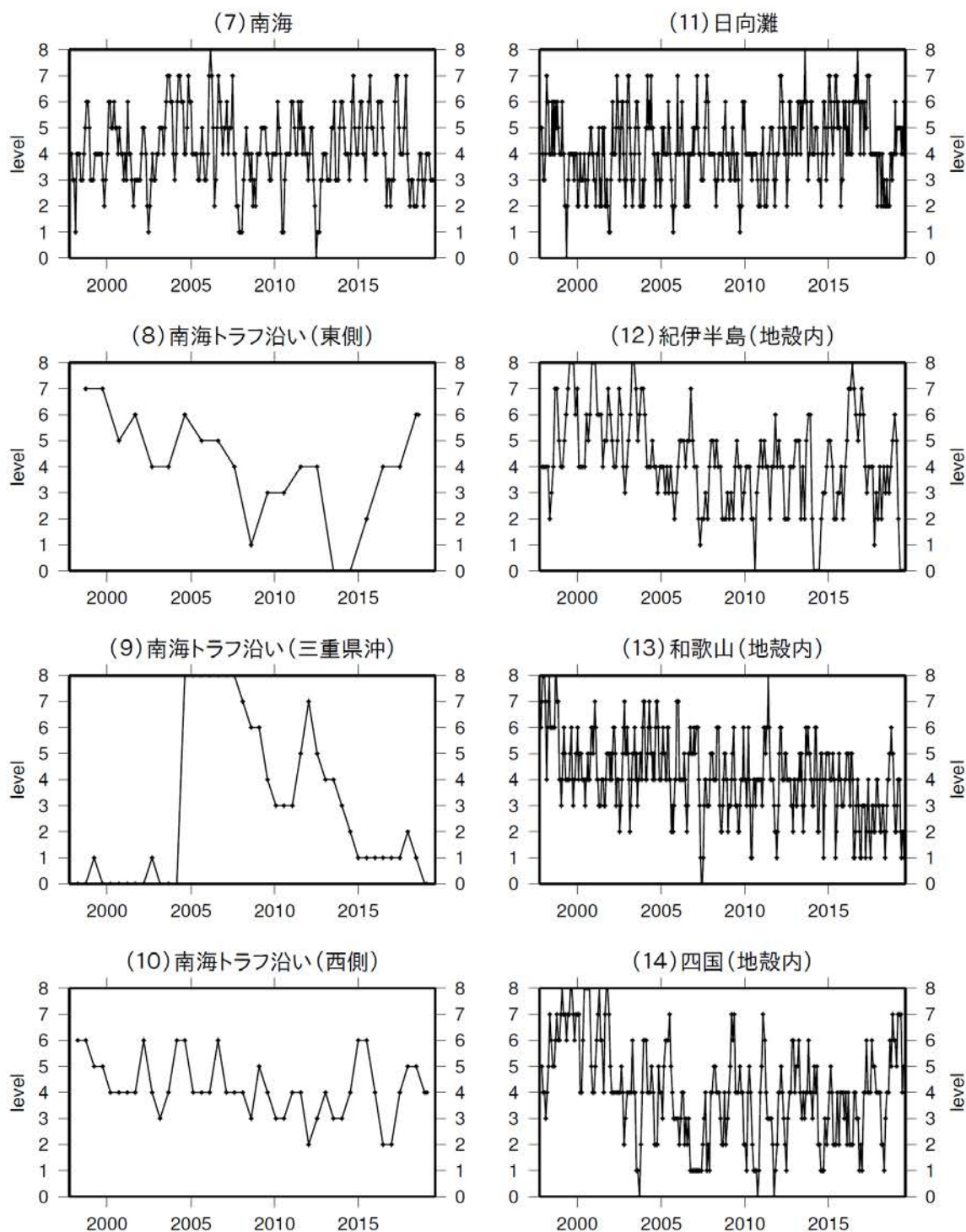
2019年07月31日



気象庁作成

地震活動指数一覧

2019年07月31日

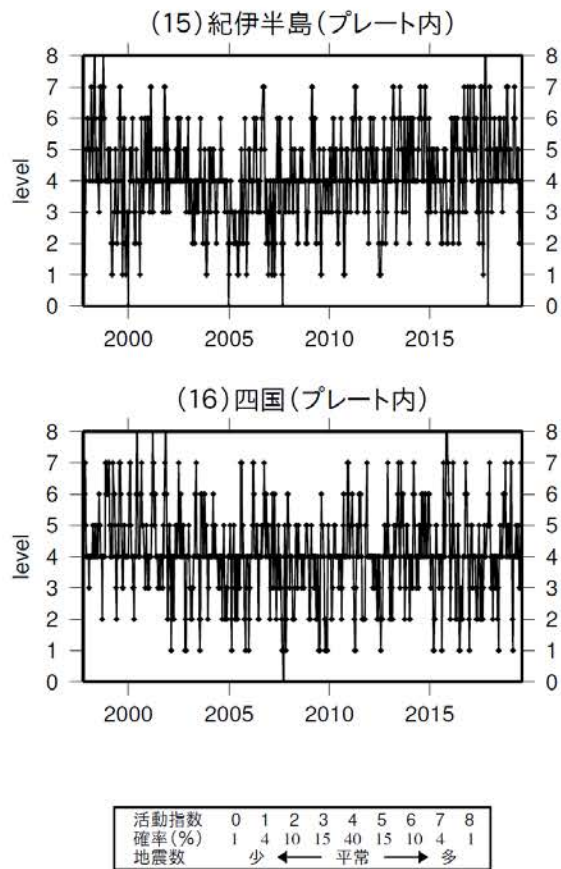


活動指数	0	1	2	3	4	5	6	7	8
確率(%)	1	4	10	15	40	15	10	4	1
地震数	少	←	←	←	←	←	←	←	多

気象庁作成

地震活動指数一覧

2019年07月31日



気象庁作成

● 日本の主な火山活動

全国月間火山概況（令和元年 7 月）

警報・予報事項に変更のあった火山は以下の通りです。その他の火山では、警報・予報事項に変更はありません（令和元年 8 月 8 日 14 時現在）。

浅間山では、8 月 7 日（期間外）に、山頂火口で小規模な噴火が発生し、今後、居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから、同日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 3（入山規制）に引き上げました。

表 1 令和元年 8 月 8 日現在の火山現象に関する警報及び予報の発表状況

特別警報・ 警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	浅間山、桜島
	レベル 2（火口周辺 規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山、阿蘇山、 口永良部島、諏訪之瀬島
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福徳岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山である ことに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、 倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山、岩木山、八甲 田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒 山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、 日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥 陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆 東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈 島、青ヶ島、鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島 山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、 霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、 利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、恐山、 十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳、高原山、 男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、 アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美 寿島、伊豆鳥島、嬬婦岩、海形海山、海德海山、噴火 浅根、北福徳堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿 武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉 池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫 黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、 指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタ ルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山

※印を付した火山は火山現象に関する海上警報も発表

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>



図1 火山現象に関する警報を発表中の火山

【各火山の活動状況及び警報・予報事項】（7月1日～8月8日）

全国の主な火山の活動状況及び警報・予報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、警報・予報事項に変更はありません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））[火口周辺警報（噴火警戒レベル2、火口周辺規制）]

湯釜付近浅部の火山性地震は少ないものの継続して発生しており、湯釜浅部に熱水や火山ガスの供給が続いていることなどから火山活動は高まった状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね1kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

浅間山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル3、入山規制）] ←8月7日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）へ引上げ

8月7日22時08分（期間外）に、山頂火口で小規模な噴火が発生しました。

今後、居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから同日22時30分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを1（活火山であることに留意）から3（入山規制）に引き上げました。

山頂火口から概ね4kmの範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が流されて降るため注意してください。

また、降雨時には土石流にも注意してください。噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

2019 年 5 月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019 年 4 月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS 連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められるものの、大涌谷周辺の短い基線では、6 月頃から伸びが鈍化ないし停滞しています。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた 2018 年 7 月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気を確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体的に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福德岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福德岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

阿蘇山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

阿蘇山では、26 日及び 28 日に噴火が発生しました。26 日 07 時 57 分に発生した噴火では、噴煙は火口縁上 1,600m まで上がりました。28 日に発生した噴火はその後も継続しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、前月と比べ増加し、非常に多い状態でした。また、監視カメラによる観測で火映や火炎¹⁾を確認するなど、中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

桜島〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。噴煙は最高で火口縁上 3,800m まで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 6 合目（南岳山頂火口より 800m から 1,100m）まで達しました。

広域の GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積した状態が継続しており、また、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量がやや多い状態が続いていることから、桜島では今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

口永良部島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

口永良部島では、2 月 3 日以降、噴火は観測されていませんが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

諏訪之瀬島【火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）】

御岳^{おたけ}火口では、今期間、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

（火山の順は日本活火山総覧（第 4 版）による）

- 1) 高温の噴出物が炎のように見える現象です。

資料 1 全国の火山現象に関する特別警報・警報・予報の発表状況のまとめ

(1) 主な活火山

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
北海道地方	アトサヌプリ	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年 3 月23日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	雌阿寒岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 9 月29日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日噴火予報（平常） 2008年11月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 4 月10日噴火予報（レベル 1、平常） 2015年 7 月28日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年11月13日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年11月23日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年12月21日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	大雪山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 3 月18日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	十勝岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年12月16日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年 2 月24日噴火予報（レベル 1、平常）
	樽前山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	倶多楽	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2015年10月 1 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	有珠山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 6 月 9 日噴火予報（レベル 1、平常）
	北海道駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	恵山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年 3 月23日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
東北地方	岩木山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年 7 月26日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	秋田焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2013年 7 月25日噴火予報（レベル 1、平常）
	八甲田山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 7 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	十和田	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常）
	岩手山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	秋田駒ヶ岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年10月27日噴火予報（レベル 1、平常）
	鳥海山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2018年 3 月27日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	栗駒山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 5 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	蔵王山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2015年 4 月13日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年 6 月16日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年 7 月26日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年 1 月30日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年 3 月 6 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
東北地方	吾妻山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年12月12日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2016年10月18日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年 9 月15日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 4 月22日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 5 月 9 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 6 月17日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	安達太良山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	磐梯山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
関東・中部地方	那須岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	日光白根山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年12月 6 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	草津白根山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2018年11月27日噴火予報（活火山であることに留意）
	草津白根山（白根山（湯釜付近））	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2009年 4 月10日噴火予報（レベル 1、平常）切替 2014年 6 月 3 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年 6 月 7 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年 4 月22日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年 9 月21日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年 9 月28日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	草津白根山（本白根山）	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2018年 1 月23日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年 1 月23日火口周辺警報（入山危険） 2018年 3 月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年11月27日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 4 月 5 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	浅間山	火口周辺警報（レベル 3、入山規制）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月 8 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2009年 2 月 1 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2009年 2 月 3 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2009年 4 月 7 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月15日噴火予報（レベル 1、平常） 2015年 6 月11日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年 8 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 8 月 7 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）
	新潟焼山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2011年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	弥陀ヶ原	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 5 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	焼岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2011年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
	乗鞍岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 3 月18日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	御嶽山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2008年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年 9 月27日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2014年 9 月28日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2015年 1 月19日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2015年 3 月31日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2015年 6 月26日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年 8 月21日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	白山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2015年 9 月 2 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	富士山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
関東・中部地方	箱根山	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2009年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常） 2015年 5 月 6 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年 6 月30日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2015年 9 月11日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年11月20日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 5 月19日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）
	伊豆東部火山群	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2011年 3 月31日噴火予報（レベル 1、平常）
伊豆・小笠原諸島	伊豆大島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	新島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 7 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	神津島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2019年 7 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	三宅島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年 3 月31日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年 6 月 5 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	八丈島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2018年 5 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	青ヶ島	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2018年 5 月30日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	ベヨネース列岩	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2017年 3 月24日噴火警報（周辺海域警戒） 2018年10月31日噴火予報（活火山であることに留意）
	西之島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2013年11月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2014年 6 月 3 日火口周辺警報（入山危険） 2014年 6 月11日火口周辺警報（入山危険）切替 2015年 2 月24日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年 2 月17日火口周辺警報（入山危険）切替 2016年 8 月17日火口周辺警報（火口周辺危険） 2017年 2 月14日噴火予報（活火山であることに留意） 2017年 4 月20日火口周辺警報（入山危険） 2018年 6 月20日火口周辺警報（火口周辺危険） 2018年 7 月13日火口周辺警報（入山危険） 2018年10月31日火口周辺警報（火口周辺危険）
	硫黄島	火口周辺警報（火口周辺危険）	2007年12月 1 日火口周辺警報（火口周辺危険）
	福徳岡ノ場	噴火警報（周辺海域警戒）	2007年12月 1 日噴火警報（周辺海域警戒）
九州地方・南西諸島	鶴見岳・伽藍岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年 7 月26日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	九重山	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	阿蘇山	火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2011年 5 月16日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 6 月20日噴火予報（レベル 1、平常） 2013年 9 月25日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2013年10月11日噴火予報（レベル 1、平常） 2013年12月27日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2014年 3 月12日噴火予報（レベル 1、平常） 2014年 8 月30日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2015年 9 月14日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2015年11月24日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2016年10月 8 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2016年12月20日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年 2 月 7 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 3 月12日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 3 月29日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 4 月14日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制）

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び 予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州 地方・ 南西諸島	雲仙岳	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常）
	霧島山	噴火予報（活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2016年12月 6 日噴火予報（活火山であることに留意）
	霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（平常） 2014年10月24日火口周辺警報（火口周辺危険） 2015年 5 月 1 日噴火予報（平常） 2016年 2 月28日火口周辺警報（火口周辺危険） 2016年 3 月29日噴火予報（活火山であることに留意） 2016年12月 6 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2016年12月12日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年 1 月13日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2017年 5 月 9 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年10月31日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2018年 2 月20日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年 4 月19日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2018年 5 月 1 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 4 月18日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	霧島山（新燃岳）	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2008年 8 月22日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2008年10月29日噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 3 月30日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2010年 4 月16日噴火予報（レベル 1、平常） 2010年 5 月 6 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2011年 1 月26日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2011年 1 月31日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 2 月 1 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2011年 3 月22日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2012年 6 月26日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2013年10月22日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年 5 月26日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2017年10月 5 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2017年10月11日火口周辺警報（レベル 3、入山規制） 2017年10月15日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2017年10月31日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2018年 3 月 1 日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2018年 3 月10日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2018年 3 月15日火口周辺警報（レベル 3、入山規制）切替 2018年 6 月28日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 1 月18日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意） 2019年 2 月25日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2019年 4 月 5 日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）
	霧島山（御鉢）	噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）	2007年12月 1 日噴火予報（レベル 1、平常） 2018年 2 月 9 日火口周辺警報（レベル 2、火口周辺規制） 2018年 3 月15日噴火予報（レベル 1、活火山であることに留意）

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

	火山名	特別警報、警報及び予報の発表状況	特別警報、警報及び予報の発表履歴
九州地方・南西諸島	桜島	火口周辺警報 (レベル3、入山規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2012年3月12日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2012年3月21日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2015年9月1日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2015年11月25日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2016年2月5日火口周辺警報（レベル3、入山規制）
	薩摩硫黄島	噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年11月29日噴火予報（レベル1、平常） 2013年6月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2013年7月10日噴火予報（レベル1、平常） 2017年1月5日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2017年2月24日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意） 2018年3月19日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年4月27日噴火予報（レベル1、活火山であることに留意）
	口永良部島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日噴火予報（レベル1、平常） 2011年12月15日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2012年1月20日噴火予報（レベル1、平常） 2014年8月3日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2014年8月7日火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2015年5月29日噴火警報（レベル5、避難） 2015年10月21日噴火警報（レベル5、避難）切替 2016年6月14日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2018年4月18日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2018年8月15日噴火警報（レベル4、避難準備） 2018年8月29日火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2019年6月12日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）
	諏訪之瀬島	火口周辺警報 (レベル2、火口周辺規制)	2007年12月1日火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制）

注）特別警報、警報及び予報の発表履歴欄には、2007 年 12 月 1 日の火山現象に関する警報・予報及び噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示しています。この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示しています。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルを示しています。

（2）その他の活火山

以下の活火山（＊印を除く）では 2007 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。また、＊印の活火山では、活火山として選定された 2011 年 6 月 7 日に噴火予報（平常）を発表し、＊＊印の活火山では、活火山として選定された後の 2017 年 12 月 5 日に噴火予報（活火山であることに留意）を発表しました。その後、いずれも火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

	火山名
北海道地方	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山＊、摩周、雄阿寒岳＊、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山
東北地方	恐山、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳
関東・中部地方	高原山、男体山＊＊、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、アカンダナ山
伊豆・小笠原諸島	利島、御蔵島、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山
中国・九州地方及び南西諸島	三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山

注）2015 年 5 月 18 日から（平常）は（活火山であることに留意）に変更しました。

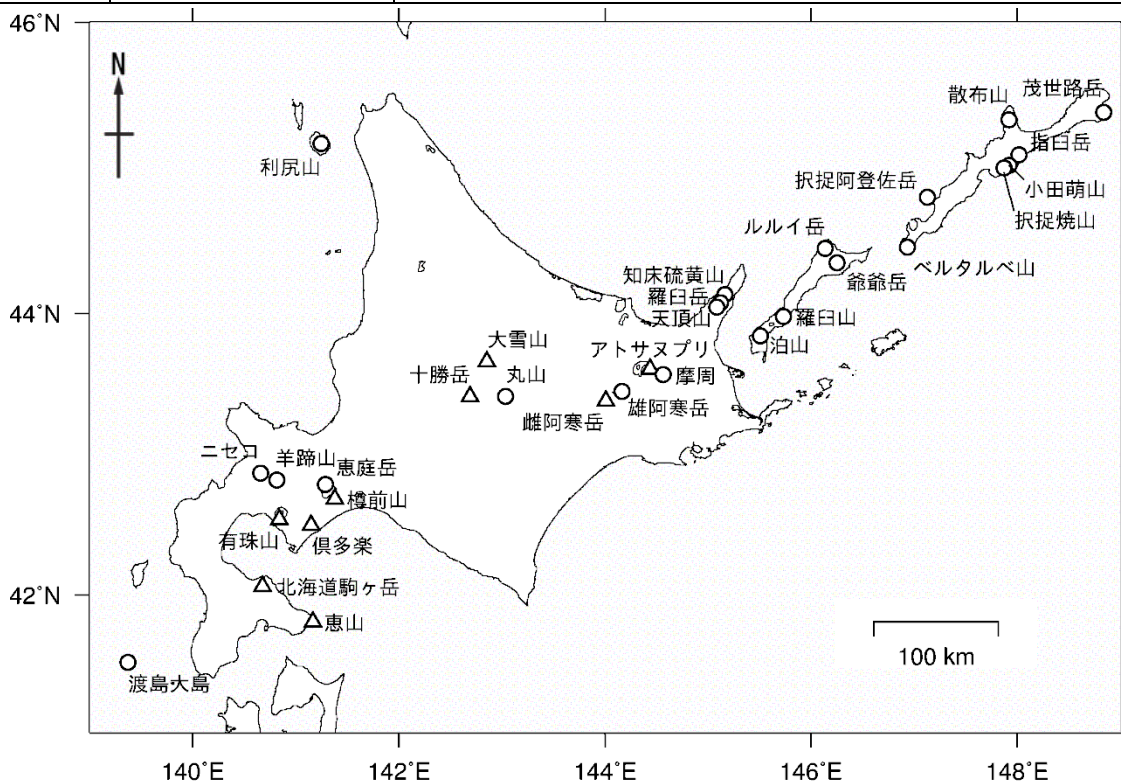
○ 北海道地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 7 月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7月31日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、雌阿寒岳、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



凡 例

噴火警戒レベル対象火山



噴火警報発表中



噴火予報発表中

噴火警戒レベル対象外の火山



噴火警報発表中



噴火予報発表中

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省北海道開発局、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、北海道、地方独立行政法人北海道立総合研究機構地質研究所及び森町のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7 月 1 日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

知床硫黄山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

羅臼岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

天頂山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

摩周〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

アトサヌプリ〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雄阿寒岳〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

雌阿寒岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

大雪山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

十勝岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

2006 年以降継続していた山体浅部の膨張を示す地殻変動は、2017 年秋以降停滞しています。一方、長期的にみると、噴煙高の高い状態、地熱域の拡大や温度上昇、地震の一時的な増加など、火山活動の活発化を示唆する現象が観測されていますので、今後の活動の推移に注意が必要です。

樽前山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は概ね静穏に経過しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

一方、山頂溶岩ドーム周辺では、1999 年以降、高温の状態が続いていますので、突発的な火山ガス等の噴出に注意してください。

倶多楽〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

有珠山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

北海道駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

恵山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 東北地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 7 月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7 月 31 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	岩木山、八甲田山、秋田焼山、岩手山、秋田駒ヶ岳、鳥海山、栗駒山、蔵王山、吾妻山、安達太良山、磐梯山
	活火山であることに留意	恐山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳

各火山の活動状況及び予報警報事項（7 月 1 日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

八甲田山では、30 日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。

その他の予報警報事項に変更はありません。

岩木山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

八甲田山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕 ←30 日に噴火警戒レベル運用開始

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30 日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

十和田〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

岩手山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

秋田駒ヶ岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

山頂付近では火山性地震の活動がやや活発な状況が引き続き認められ、また、女岳^{めだけ}では地熱活動が続



いていることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

鳥海山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

栗駒山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

蔵王山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はありませんでした。

蔵王山では、2013 年以降、時々、火山性地震や火山性微動が発生し、地殻変動がみられています。今後の火山活動の推移に注意してください。

吾妻山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

3 日及び 31 日に実施した現地調査では、大穴火口及びその周辺で熱活動が継続していることを確認しました。地震活動や地殻変動では今期間、火山活動の活発化を示す傾向は認められませんでした。

大穴火口や旧火口周辺では、火山ガスの噴出が認められており、熱活動も継続していることから、火山灰や高温の土砂、熱水等が突発的に噴出する可能性があります。また、硫黄平橋周辺でも火山ガスに注意が必要です。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

安達太良山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

磐梯山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報警報事項に変更はありません。

※噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用しています。

この管内月間火山概況は、仙台管区気象台のホームページ (<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php) でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土交通省東北地方整備局、国土地理院、東北大学、弘前大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、青森県及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

○ 関東・中部地方及び伊豆・小笠原諸島の火山活動

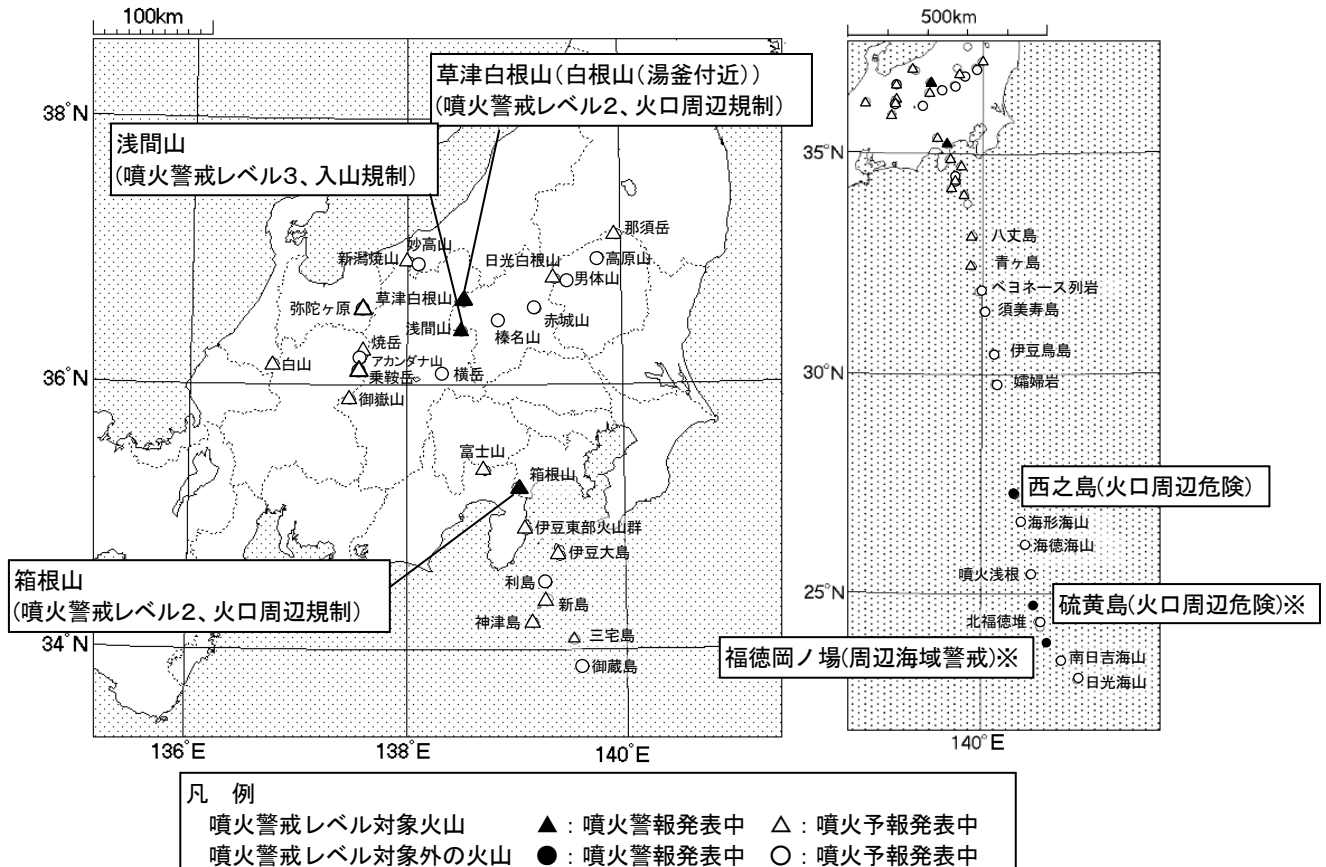
管内月間火山概況（令和元年 7 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（8 月 8 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	浅間山
	レベル 2（火口周辺規制）	草津白根山（白根山（湯釜付近））、箱根山
	火口周辺危険	西之島、硫黄島※
噴火警報（周辺海域）	周辺海域警戒	福德岡ノ場※
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	那須岳、日光白根山、草津白根山（本白根山）、新潟焼山、弥陀ヶ原、焼岳、乗鞍岳、御嶽山、白山、富士山、伊豆東部火山群、伊豆大島、新島、神津島、三宅島、八丈島、青ヶ島
	活火山であることに留意	高原山、男体山、赤城山、榛名山、草津白根山、横岳、妙高山、アカンダナ山、利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、蟠婦岩、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山

※印のついた火山は火山現象に関する海上警報も発表中です。



* 噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、北陸地方整備局、関東地方整備局、中部地方整備局、国土地理院、海上保安庁、海上自衛隊、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、東京都、新潟県、長野県、岐阜県、神奈川県温泉地学研究所及び公益財団法人地震予知総合研究振興会のデータも利用して作成しています。資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7 月 1 日～8 月 8 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりです。

新島、神津島では、30 日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。

浅間山では、8 月 7 日に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 3（入山規制）に引き上げました。

その他の火山では、予報警報事項に変更はありません。

那須岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

日光白根山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

草津白根山（白根山（湯釜付近））〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

湯釜付近浅部の火山性地震は少ないものの継続して発生しており、湯釜浅部に熱水や火山ガスの供給が続いていることなどから火山活動は高まった状態が続いていると考えられます。引き続き、小規模な水蒸気噴火が発生する可能性があります。

湯釜火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側で火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

草津白根山（本白根山）〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動は現在のところ静穏な状態です。

2018 年 1 月のように突発的に噴火が発生したことを踏まえ、今後も火口付近では、突発的な噴出に注意する必要があります。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

浅間山〔噴火予報（噴火警戒レベル 3、入山規制）〕 ←8 月 7 日（期間外）に火口周辺警報を発表し、噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 3（入山規制）に引上げ

8 月 7 日 22 時 08 分（期間外）に、山頂火口で小規模な噴火が発生しました。

今後、居住地域の近くまで影響を及ぼす噴火が発生する可能性があることから同日 22 時 30 分に火口周辺警報を発表して噴火警戒レベルを 1（活火山であることに留意）から 3（入山規制）に引き上げました。

山頂火口から概ね 4 km の範囲では、弾道を描いて飛散する大きな噴石や火砕流に警戒してください。地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が流されて降るため注意してください。

また、降雨時には土石流にも注意してください。噴火に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。

新潟焼山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

噴煙活動及び地震活動は低下した状態が続いています。

しかしながら、新潟焼山はこれまでも噴気活動の活発化を繰り返しているため、今後の活動の推移に注意してください。

弥陀ヶ原〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

立山地獄谷では熱活動が活発な状態が続いています。2012 年 6 月以降の観測で噴気の拡大・活発化や温度の上昇が確認されていますので、今後の火山活動の推移に注意してください。また、この付近では火山ガスに注意してください。

焼岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

7 月 27 日、28 日、8 月 1 日（期間外）に空振を伴う低周波地震が観測されています。山頂付近の噴気活動や地殻変動に現時点では活発化を示す変化は認められていませんが、今回の活動は、山頂付近の微小な地震活動が継続するなか発生しています。今後の火山活動の推移に注意してください。

乗鞍岳〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

御嶽山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

2014 年に噴火が発生した剣ヶ峰山頂の南西側の火口列の 3 つの活発な噴気孔のうち、東側の噴気孔では、噴気の勢いや噴気孔内の温度が明瞭に低下しています。

噴煙活動や山頂直下付近の地震活動は緩やかな低下が続いており、火山活動の静穏化の傾向が続いています。

ただし、2014 年に噴火が発生した火口列の一部の噴気孔では、引き続き噴気が勢いよく噴出しています。状況によっては、火山灰等のごく小規模な噴出が突発的に発生する可能性があります。

噴気活動の活発な噴気孔から概ね 500m の範囲では、突発的な火山灰等のごく小規模な噴出に注意が必要です。

地元自治体等が行う立入規制等に留意し、登山する際はヘルメットを持参するなどの安全対策をしてください。

白山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

富士山〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

箱根山〔火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）〕

2019 年 5 月に増加した地震回数は、その後、徐々に減少しているものの、2019 年 4 月より前の少ない状態に戻っていません。GNSS 連続観測では、箱根山周辺の基線で伸びが認められるものの、大涌谷周辺の短い基線では、6 月頃から伸びが鈍化ないしは停滞しています。また、大涌谷周辺の想定火口域内では活発な噴気活動が続いており、火山活動は高まった状態になっているとみられます。

大涌谷周辺の想定火口域内では、弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。地元自治体の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。噴火時には、風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が風に流されて降るため注意してください。

伊豆東部火山群〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

地殻変動観測によると、短期的な膨張と収縮を繰り返しながら、長期的には地下深部へのマグマ供給によると考えられる島全体の膨張傾向が続いています。ただちに噴火が発生する兆候は認められませんが、長期的には山体の膨張が継続していることから、今後の火山活動の推移に注意してください。

新島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30 日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

神津島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

30 日の噴火警戒レベルの運用開始に伴い、噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）を発表しました。予報事項に変更はありません。

三宅島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山ガス放出量は、2016 年 6 月以降は 1 日あたり数十トン以下に減少しており、少ない状態で経過しています。

主火口における噴煙活動が継続していることから、火口内では火山灰等が突発的に噴出する可能性がありますので、山頂火口内及び主火口から 500m 以内では火山灰噴出に警戒してください。

また、火山ガスの放出がわずかながら継続していることから、風下にあたる地域では火山ガスに注意してください。

八丈島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

青ヶ島〔噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西之島〔火口周辺警報（火口周辺危険）〕

西之島では、噴火が確認されていた 2018 年 7 月中旬ごろに比べ、火山活動は明らかに低下しています。噴火の可能性は低くなっていますが、火口付近に噴気が確認されており、今後の火山活動の推移に注意が必要です。火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。また、これまでの噴火で流れ出た溶岩は、表面が冷え固まっていますが、地形的に崩れやすくなっている可能性が考えられますので、火口から概ね 500m を超える範囲でも注意してください。

硫黄島〔火口周辺警報（火口周辺危険）及び火山現象に関する海上警報〕

GNSS 連続観測によると、隆起を示す地殻変動がみられています。また、硫黄島の島内は全体に地温が高く、多くの噴気地帯や噴気孔があり、過去には各所で小規模な噴火が発生しています。火山活動はやや活発な状態で推移しており、火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、従来から小規模な噴火がみられていた領域では噴火に警戒してください。

福徳岡ノ場〔噴火警報（周辺海域警戒）及び火山現象に関する海上警報〕

海上保安庁、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福徳岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されるなど、活動はやや活発な状態で経過しています。今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物（軽石等）に注意してください。

上記以外の火山の活動状況に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

○ 近畿・中国・四国地方の火山活動

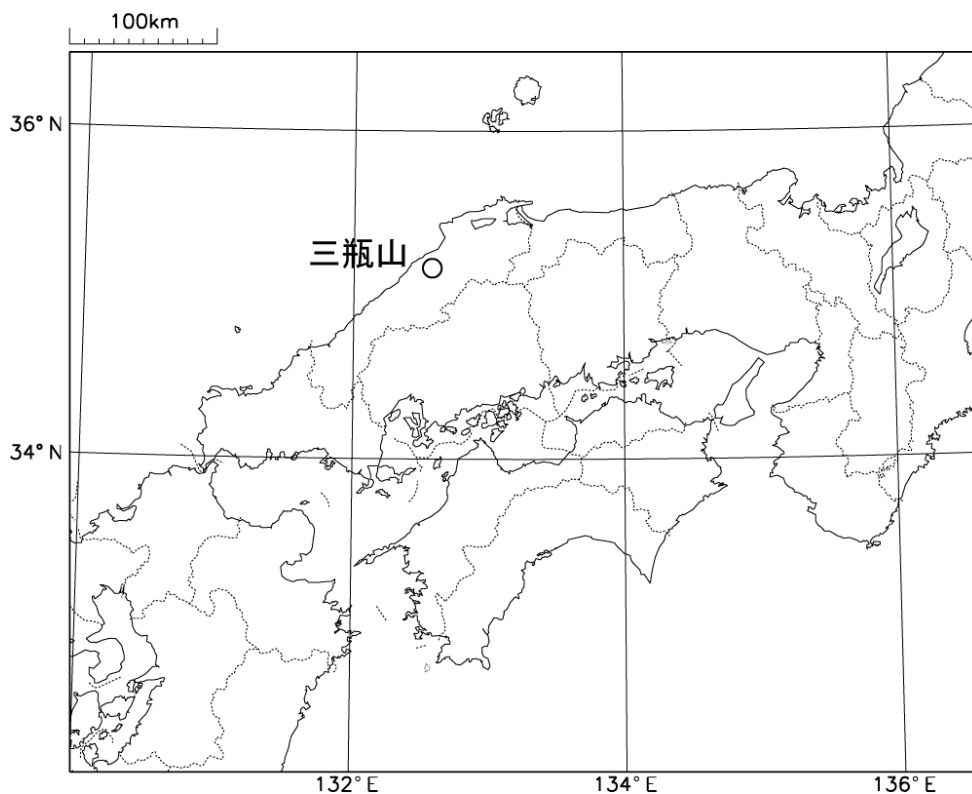
管内月間火山概況（令和元年 7 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
大阪管区气象台地震火山課

噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7 月 31 日現在）

三瓶山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

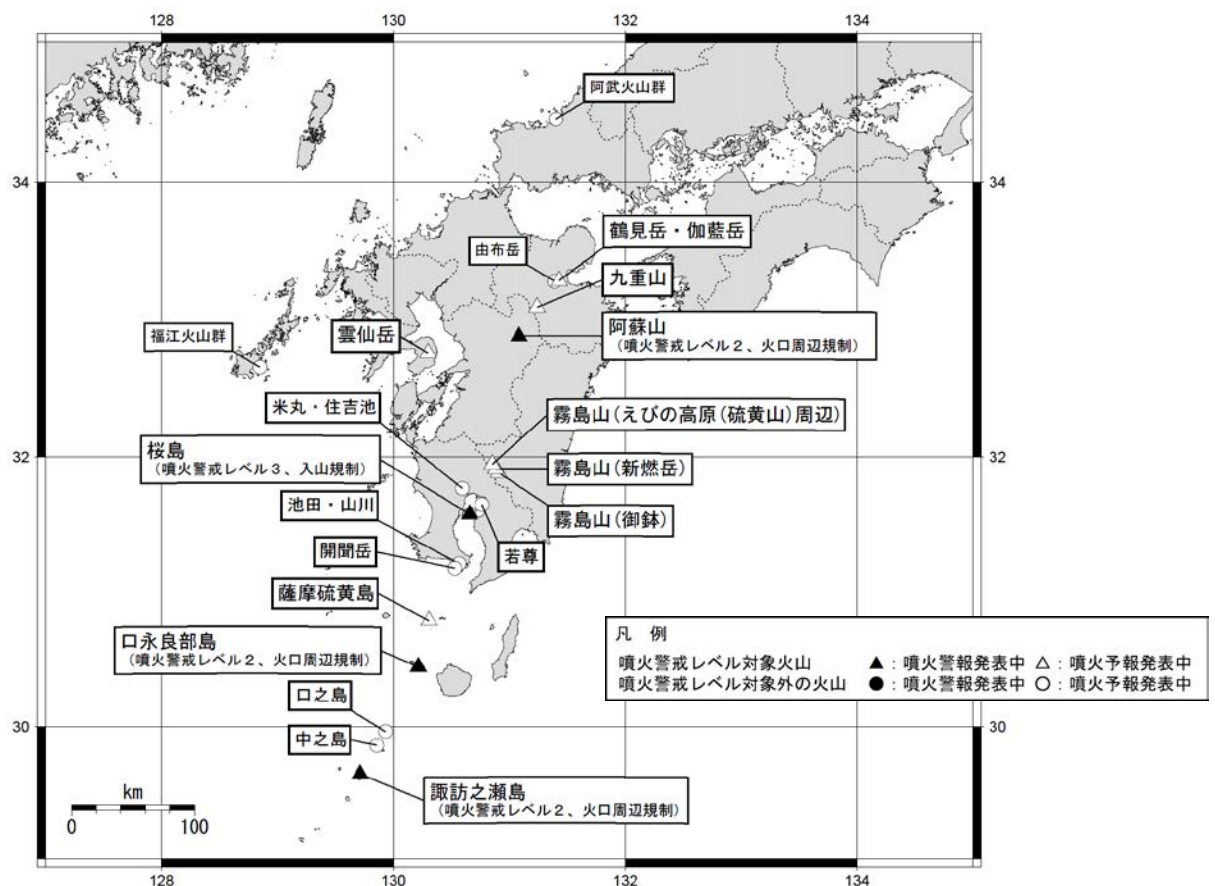
○ 九州地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 7 月）

福岡管区気象台
地域火山監視・警報センター

噴火警報及び噴火予報の発表状況（7 月 31 日現在）

警報・予報	噴火警戒レベル 及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル 3（入山規制）	桜島
	レベル 2（火口周辺規制）	阿蘇山、口永良部島、諏訪之瀬島
噴火予報	レベル 1（活火山であることに留意）	鶴見岳・伽藍岳、九重山、雲仙岳、霧島山（えびの高原（硫黄山）周辺）、霧島山（新燃岳）、霧島山（御鉢）、薩摩硫黄島
	活火山であることに留意	阿武火山群、由布岳、福江火山群、霧島山、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島



噴火警戒レベルは、地域防災計画等でその活用が定められている火山で運用されています。

この管内月間火山概況は福岡管区気象台ホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>）や気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、九州地方整備局、国土地理院、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所、国立研究開発法人産業技術総合研究所、大分県、長崎県、宮崎県、鹿児島県、屋久島町、三島村、十島村及び阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

各火山の活動状況及び予報警報事項（7 月 1 日～31 日）

主な火山の活動及び予報警報事項の状況は以下のとおりで、予報警報事項に変更はありません。

つるみだけ がらんだけ 鶴見岳・伽藍岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

くじゅうさん 九重山 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態で経過しました。

2014 年以降、硫黄山付近の噴気孔群地下の温度上昇を示唆する全磁力の変化がみられており、わずかに火山活動が高まっている可能性があります。今後の火山活動に留意してください。

あそさん 阿蘇山 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

阿蘇山では、26 日及び 28 日に噴火が発生しました。26 日 07 時 57 分に発生した噴火では、噴煙は火口縁上 1,600m まで上がりました。28 日に発生した噴火はその後も継続しています。

火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、前月と比べ増加し、非常に多い状態でした。また、監視カメラによる観測で火映や火炎¹⁾を確認するなど、中岳第一火口内では熱活動の高まった状態が続いています。

このように火山活動が高まっていますので、中岳第一火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。また、火山ガスに注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

うんぜんだけ 雲仙岳 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はありませんが、2010 年頃から普賢岳から平成新山直下の深さ 1～2 km を震源とする火山性地震が時々発生していますので、今後の火山活動に留意してください。

きりしまやま こうげん いおうやま しゅうへん 霧島山（えびの 高原（硫黄山）周辺） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

硫黄山では活発な噴気活動が続いていますが、火山性地震は少ない状態で経過しています。また、GNSS 連続観測では、硫黄山近傍の基線の伸びは 2019 年 2 月頃から停滞しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、現在活発な噴気活動がみられている硫黄山の西側 500 m の噴気地帯から概ね 100m の範囲、及び硫黄山火口内では、熱水・熱泥等が飛散する可能性がありますので注意してください。また、火山ガスにも注意が必要です。地元自治体等が行う立ち入り規制に従うとともに、火口周辺や噴気孔の近くには留まらないでください。

きりしまやま しんもえだけ 霧島山（新燃岳） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

新燃岳では、火山性地震は少ない状態で経過しました。また、GNSS 連続観測では、霧島山の深い場所でのマグマの蓄積を示すと考えられる基線の伸びは 2019 年 2 月以降停滞しています。

火山活動に特段の変化は認められませんが、活火山であることから、火口内及び西側斜面の割れ目付近では、火山灰の噴出や火山ガス等に注意してください。

なお、これまでの噴火により登山道等が危険な状態となっている可能性があるため、引き続き地元自治体等が行う立入規制等に留意してください。

きりしまやま おはち 霧島山（御鉢） [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

さくらじま 桜島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）]

南岳山頂火口では、引き続き噴火（爆発を含む）が発生しています。噴煙は最高で火口縁上 3,800 m まで上がりました。弾道を描いて飛散する大きな噴石は最大で 6 合目（南岳山頂火口より 800m から 1,100m）まで達しました。

広域の GNSS 連続観測では、始良カルデラ（鹿児島湾奥部）の地下深部で長期にわたり供給されたマグマが蓄積した状態が継続しており、また、火山ガス（二酸化硫黄）の 1 日あたりの放出量がやや多い状態が続いていることから、桜島では今後も南岳山頂火口を中心に、噴火活動が継続すると考えられます。

南岳山頂火口及び昭和火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。

風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るため注意してください。爆発に伴う大きな空振によって窓ガラスが割れるなどのおそれがあるため注意してください。なお、今後の降灰状況次第では、降雨時に土石流が発生する可能性がありますので留意してください。

さつまいおうじま

薩摩 硫黄 島 [噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）]

火山性地震は少ない状態でした。火山性微動は観測されていません。

火山活動に特段の変化はありませんが、硫黄岳山頂火口では噴煙活動が続いていますので、火口内では火山灰等が噴出する可能性があります。火口付近では火山ガスに注意してください。なお、地元自治体の実施している立入規制等に留意してください。

くちのえらぶじま

口永良部島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

口永良部島では、2 月 3 日以降、噴火は観測されていませんが、火山ガス（二酸化硫黄）の放出量は、やや多い状態が続いていることから、小規模な噴火の可能性があります。

新岳火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒してください。また、新岳火口から西側の概ね 2 km の範囲では、火砕流に警戒してください。

風下側では、火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

すわのせじま

諏訪之瀬島 [火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）]

御岳 火口では、今期間、噴火は観測されませんでした。

諏訪之瀬島では、長期にわたり噴火を繰り返していることから、今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。風下側では火山灰だけでなく小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

上記以外の火山の活動状況に変化はなく、予報事項に変更はありません。

- 1) 高温の噴出物が炎のように見える現象です。

○ 沖縄地方の火山活動

管内月間火山概況（令和元年 7 月）

気 象 庁 地 震 火 山 部
火山監視・警報センター
沖縄気象台地震火山課

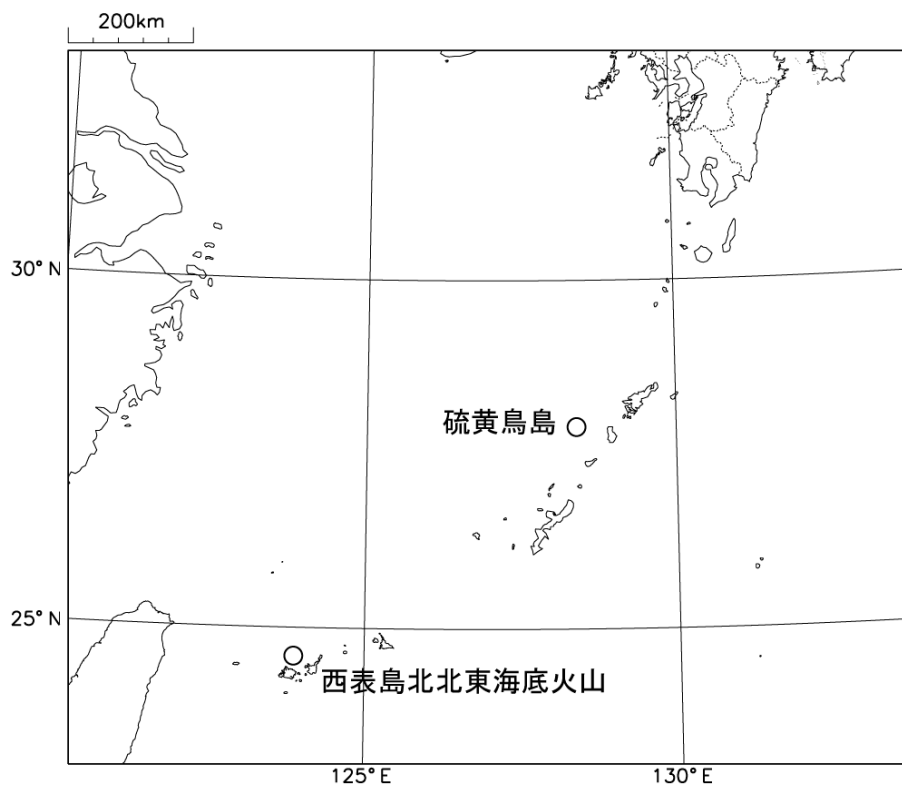
噴火警報及び噴火予報の発表状況と活動状況（7 月 31 日現在）

硫黄島〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。

西表島北北東海底火山〔噴火予報（活火山であることに留意）〕

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。



この管内月間火山概況は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）。

表 令和元年 7 月の火山現象に関する特別警報、警報、予報及び情報等の発表履歴

火山名	特別警報、警報及び予報の状況	発表した火山現象に関する 特別警報・警報・予報・情報等		概 要
		種類、号数等	発表日時	
桜島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 3、入山規制)	解説情報 第 53 号～61 号	1 日、5 日、8 日、 12 日、16 日、19 日、 22 日、26 日、29 日 16 時 00 分	噴火の状況。噴煙、火山性地震・微動等 火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（速報）	4 日 11 時 00 分 28 日 17 時 37 分	噴火発生から 1 時間以内に予想される降 灰量分布や小さな噴石の落下範囲を予 想。
		降灰予報（詳細）	4 日 11 時 18 分 28 日 17 時 52 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される 降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
草津白根山 (白根山(湯 釜付近))	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 61 号～69 号	1 日、5 日、8 日、 12 日、15 日、19 日、 22 日、26 日、29 日 16 時 00 分	火山性地震、地殻変動、湯釜火口内の状 況等火山活動の状況。
箱根山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 24 号～32 号	1 日、5 日、8 日、 12 日、15 日、19 日、 22 日、26 日、29 日 16 時 00 分	火山性地震、地殻変動、噴気等火山活動 の状況。
阿蘇山	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 75 号～84 号	1 日、5 日、8 日、 12 日、16 日、19 日、 22 日 26 日* 16 時 00 分 08 時 40 分 16 時 00 分 29 日 16 時 00 分	火山性地震・微動、地殻変動等火山活動 の状況。 噴火の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
		降灰予報（詳細）	26 日 08 時 44 分 28 日 15 時 18 分 31 日 10 時 13 分	噴火発生から 6 時間先までに予想される 降灰量分布や降灰開始時刻を予想。
口永良部島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 69 号～77 号	1 日、5 日、8 日、 12 日、16 日、19 日、 22 日、26 日、29 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。 現地調査による火山ガス等の状況。
諏訪之瀬島	火口周辺警報 (噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)	解説情報 第 27 号～30 号	5 日、12 日、19 日、 26 日 16 時 00 分	噴煙、火山性地震等火山活動の状況。
焼岳	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	解説情報 第 1 号～4 号	27 日* 17 時 25 分 28 日 16 時 10 分 29 日 09 時 30 分 30 日 16 時 00 分	空振を伴う低周波地震の発生状況や表面 現象等の火山活動の状況。

八甲田山	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	噴火予報	30 日 15 時 00 分	噴火警戒レベルの運用を開始。
新島	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	噴火予報	30 日 15 時 00 分	噴火警戒レベルの運用を開始。
神津島	噴火予報 (噴火警戒レベル 1、活火山であるこ とに留意)	噴火予報	30 日 15 時 00 分	噴火警戒レベルの運用を開始。

注 1) 表中、解説情報とは「火山の状況に関する解説情報」のことである。

注 2) 草津白根山（白根山（湯釜付近））、阿蘇山、桜島、口永良部島、諏訪之瀬島においては、毎日 02 時から 3 時間毎に 8 回降灰予報（定時）を発表している。

*を付した解説情報については、併せて臨時に火山活動解説資料を発表している。

● 世界の主な地震

令和元年（2019 年）7 月に世界で発生したマグニチュード（M）6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布を図 1 に示す。また、その震源要素等を表 1 に示す。

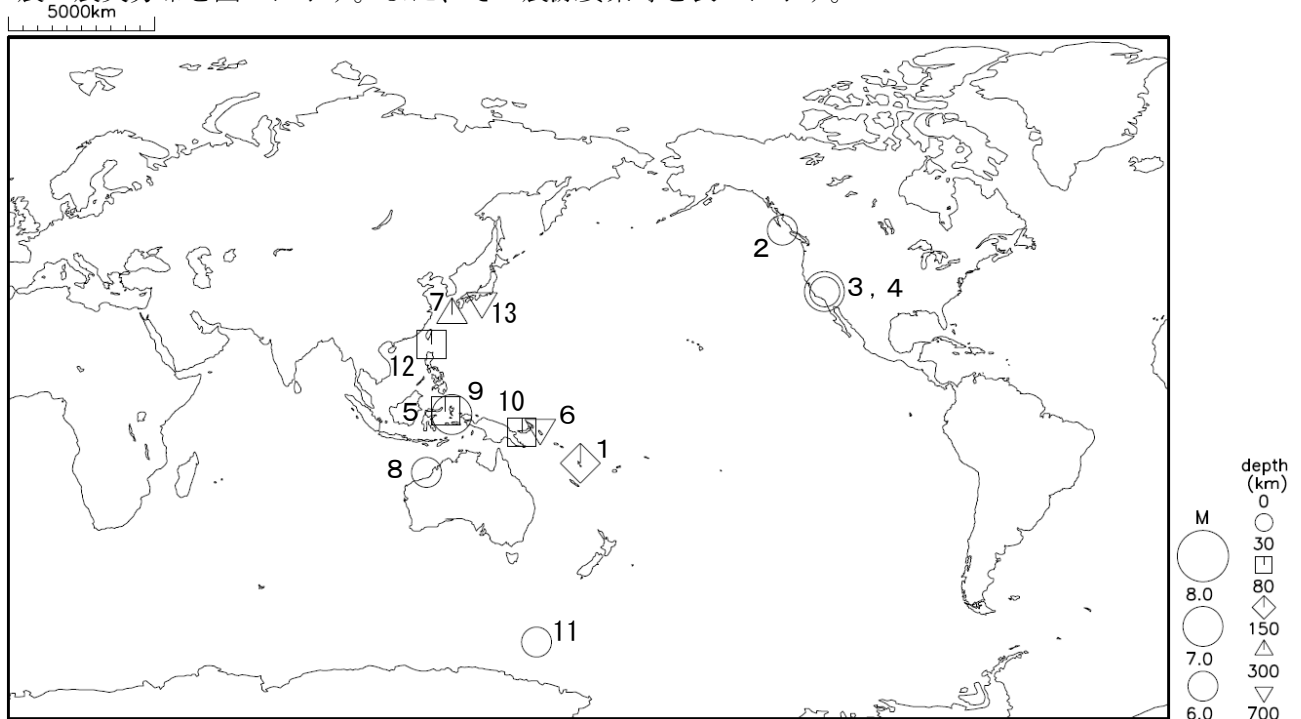


図 1 令和元年（2019 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震央分布

表 1 令和元年（2019 年）7 月に世界で発生した M6.0 以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	地震発生時刻	緯度	経度	深さ (km)	mb	Mj	Mw	震央地名	備考 (被害状況など)	北西	遠地
1	07月02日02時13分	S15° 26.2′	E167° 31.4′	97			6.0	バヌアツ諸島			
2	07月04日13時30分	N51° 13.2′	W130° 30.9′	10			6.2	カナダ、クイーンシャーロット諸島			
3	07月05日02時33分	N35° 42.3′	W117° 30.3′	11			6.4	米国、カリフォルニア州中部			
4	07月06日12時19分	N35° 46.1′	W117° 35.9′	8			(7.0)	米国、カリフォルニア州中部			○
5	07月08日00時08分	N 0° 30.7′	E126° 11.3′	35			6.9	モルツカ海北部		○	
6	07月12日02時08分	S 4° 39.4′	E155° 13.7′	507			6.0	ブーゲンビルーソロモン諸島			
7	07月13日09時57分	N29° 14.1′	E128° 10.7′	256		6.0	(6.1)	奄美大島北西沖			
8	07月14日14時39分	S18° 12.1′	E120° 20.2′	10			6.6	オーストラリア、ウェスタンオーストラリア			
9	07月14日18時10分	N 0° 31.7′	E128° 05.5′	10			(7.2)	インドネシア、ハルマヘラ	死者6人		○
10	07月15日17時21分	S 5° 59.4′	E149° 33.1′	59			6.2	パプアニューギニア、ニューブリテン			
11	07月23日19時33分	S61° 17.6′	E154° 03.7′	10			6.0	パレニー諸島			
12	07月27日08時37分	N20° 50.5′	E121° 54.2′	31		6.0	(6.0)	フィリピン付近	死者9人など		
13	07月28日03時31分	N33° 09.6′	E137° 23.8′	393		6.6	(6.3)	三重県南東沖		○	

- ・震源要素は米国地質調査所(USGS)ホームページの” Earthquake Archive Search & URL Builder” (<http://earthquake.usgs.gov/earthquakes/search/>) による（2019 年 7 月 31 日現在）。ただし、日本付近で発生した地震の震源要素、Mj の欄に記載したマグニチュード、Mw の欄に括弧を付して記載したモーメントマグニチュードは、気象庁による。
- ・被害状況は、出典のないものは OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）、国内は、総務省消防庁による。
- ・地震発生時刻は日本時間〔日本時間＝協定世界時＋9 時間〕である。
- ・「北西」欄の○印は、気象庁が北西太平洋域に提供している北西太平洋津波情報（NWPTA）（※）を発表したことを表す。
- ※気象庁ホームページの「国際的な津波監視体制」（<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/nwpta.html>）参照。
- ・「遠地」欄の○印は、気象庁が「遠地地震に関する情報」を発表したことを表す。
- ・深さに「*」を付したものは、気象庁による CMT 解のセントロイドの深さを表す。

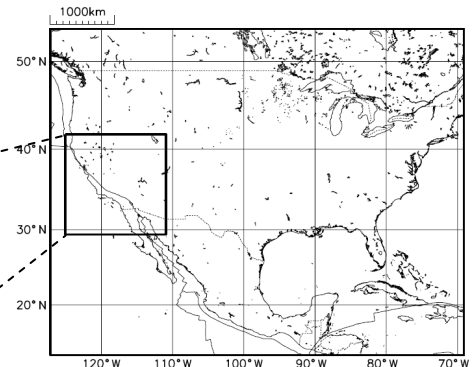
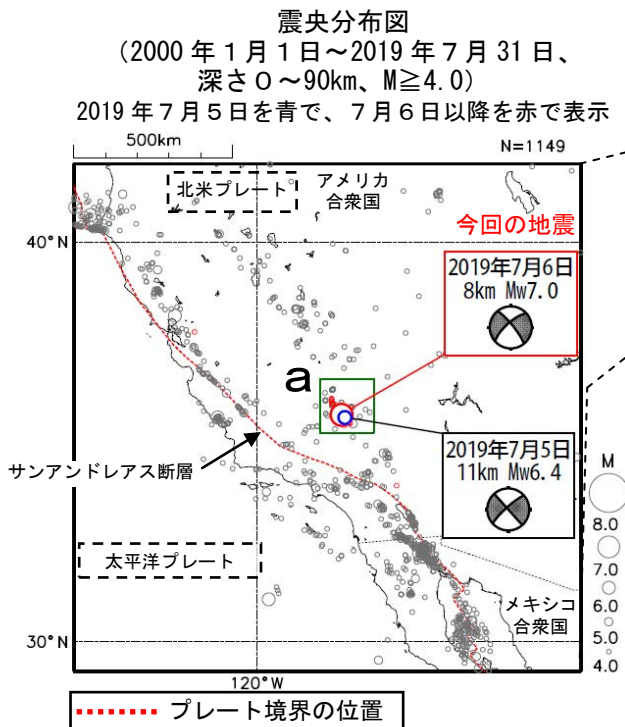
7 月 6 日 カリフォルニア州中部の地震

2019 年 7 月 6 日 12 時 19 分（日本時間、以下同じ）に、北米西部、カリフォルニア州中部の深さ 8 km で Mw7.0 の地震が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、東西方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である。

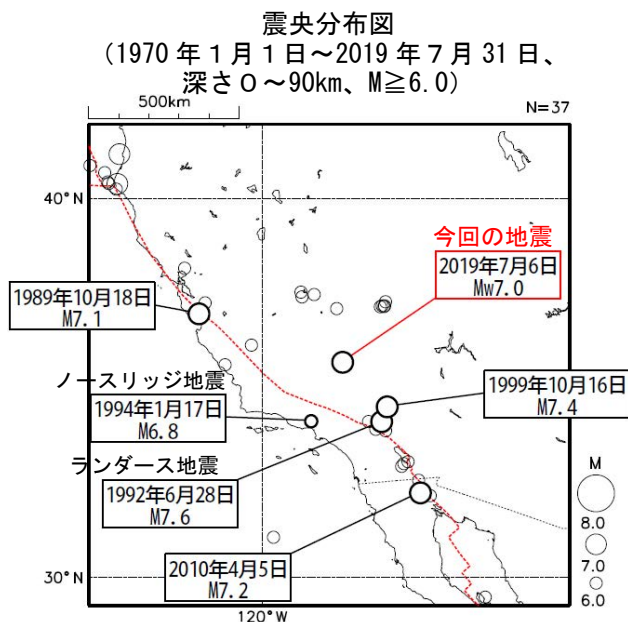
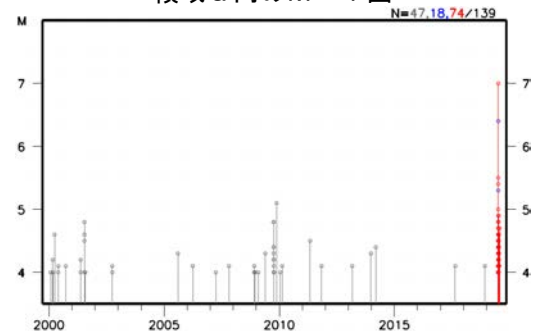
気象庁は、この地震により、同日 12 時 52 分に遠地地震に関する情報（津波の心配なし）を発表した。

なお、今回の地震の震央付近では、今回の地震が発生した前日の 7 月 5 日 02 時 33 分に Mw6.4 の地震が発生している。

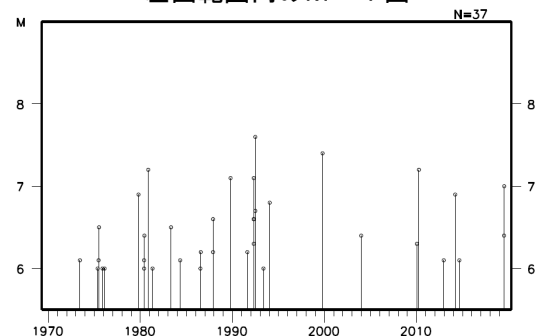
1970 年以降の地震活動を見ると、カリフォルニア州では Mw7.0 以上の地震が時々発生している。1992 年 6 月 28 日に発生した Mw7.6 の地震（ランダース地震）では、死者 1 人、負傷者約 400 人等の被害が生じた。また、1994 年 1 月 17 日に発生した Mw6.8 の地震（ノースリッジ地震）では、死者 60 人、負傷者約 9000 人等の被害が生じた。



領域 a 内の M-T 図



左図範囲内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の地震について、発震機構は Global CMT、その他の震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (7 月 31 日現在)。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。被害は宇津の「世界の被害地震の表」による。

* 参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

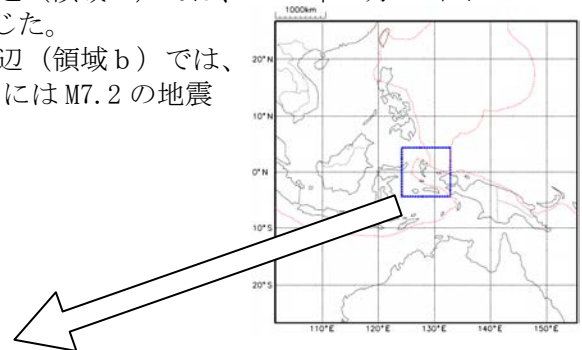
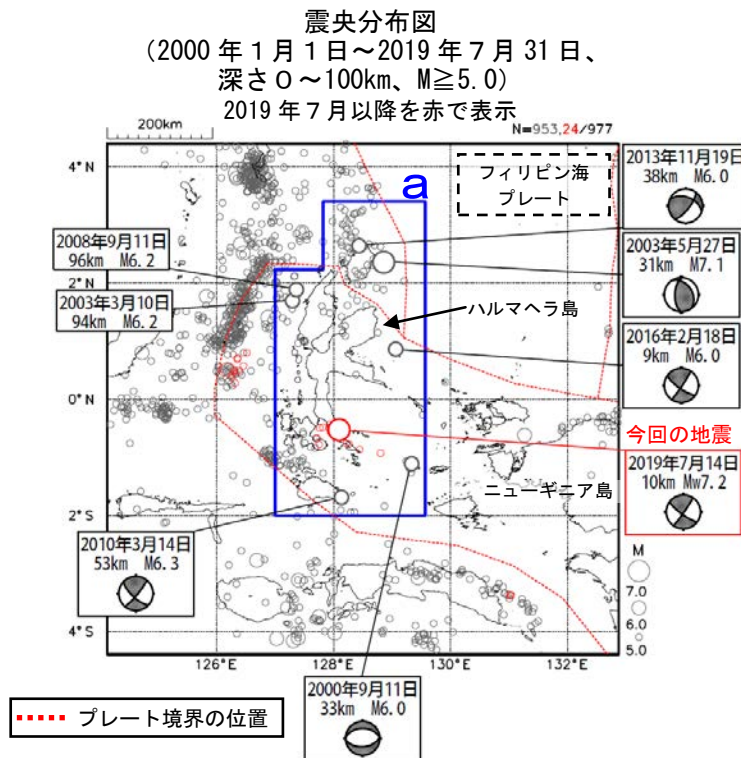
7 月 14 日 インドネシア、ハルマヘラの地震

2019 年 7 月 14 日 18 時 10 分（日本時間、以下同じ）に、インドネシア、ハルマヘラの深さ 10km で Mw7.2 の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁による CMT 解）は、東西方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。この地震により、死者 6 人の被害が生じた。

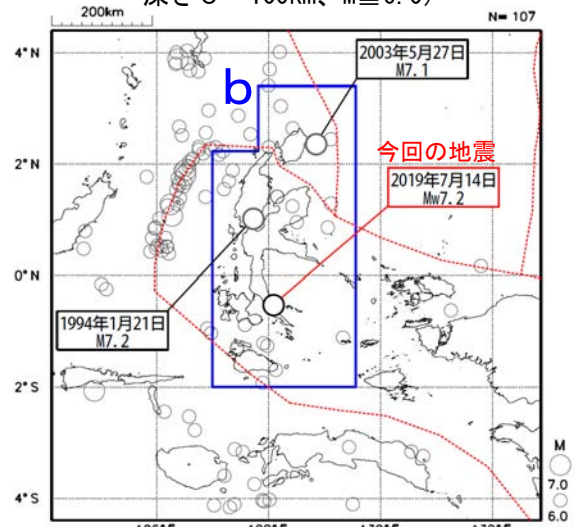
気象庁は、この地震により、同日 18 時 41 分に遠地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

2000 年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、2003 年 5 月 27 日に Mw7.1 の地震が発生し、死者 1 人、負傷者 7 人などの被害が生じた。

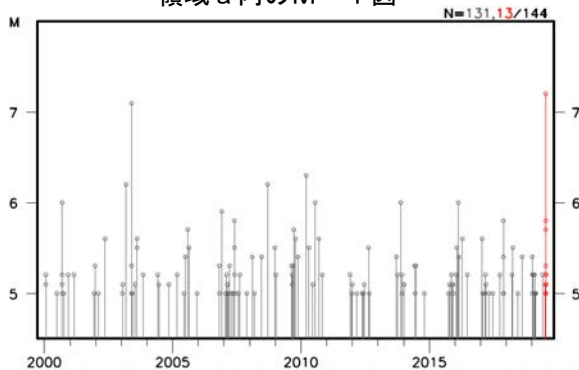
1970 年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、M6.0 以上の地震が時々発生している。1994 年 1 月 21 日には Mw7.2 の地震が発生し、死者 7 人、負傷者 40 人などの被害が生じた。



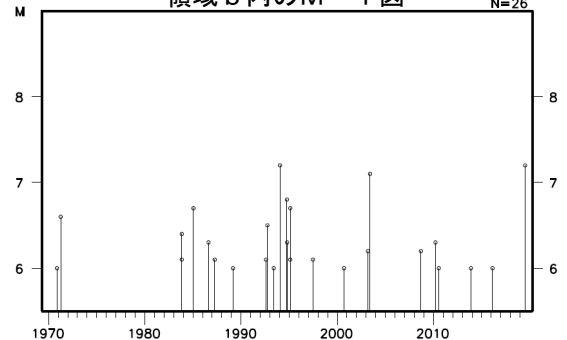
震央分布図
(1970 年 1 月 1 日～2019 年 7 月 31 日、
深さ 0～100km、M $\geq$ 6.0)



領域 a 内の M-T 図



領域 b 内の M-T 図



※本資料中、今回の地震の発震機構及び Mw は気象庁、その他の地震の発震機構は Global CMT による。また、1970 年以降の地震の M 及び震源要素は米国地質調査所 (USGS) による (2019 年 7 月 31 日現在)。プレート境界の位置は Bird (2003) *より引用。今回の地震の被害については、OCHA (国連人道問題調整事務所) による。それ以外の地震の被害は宇津の「世界の被害地震の表」(宇津 (1990), Utsu (2002), 宇津 (2004, 改定・更新版)) による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.

宇津徳治, 1990, 世界の被害地震の表 (古代から 1989 年まで), 宇津徳治, 東京, 243 p.

Utsu, T., 2002, A list of deadly earthquakes in the World: 1500–2000, in *International Handbook of Earthquake and Engineering Seismology Part A*, edited by Lee, W.K., Kanamori, H., Jennings, P.C., and Kisslinger, C., pp. 691–717, Academic Press, San Diego.

宇津徳治, 2004, 世界の被害地震の表 (古代から 2002 年まで), 宇津徳治先生を偲ぶ会, 東京, 電子ファイル最終版. 改定・更新版: <http://iisee.kenken.go.jp/utsu/index.html>.

● 世界の主な火山活動

令和元年（2019 年）7 月に顕著な被害を伴った噴火が報告された主な火山（日本を除く）*は以下のとおり。

ストロンボリ（Stromboli） イタリア 標高 924m

3 日に爆発的噴火が発生した。この噴火に伴い、噴煙が山頂から 4 km まで上がり、溶岩の流下や噴石の飛散が発生したほか、火砕流が発生し海に達した。この噴火で観光客が 1 名死亡し、複数のけが人が出た。その後も活発な噴火活動が継続した。



図 令和元年（2019 年）7 月に顕著な被害を伴った噴火が発生した主な火山（日本を除く）*

* 米国スミソニアン自然史博物館のホームページ “Global Volcanism Program | Smithsonian / USGS Weekly Volcanic Activity Report” (http://www.volcano.si.edu/reports_weekly.cfm) による。日付は全て現地時間。火山名の読み方は、原則として気象庁：「火山観測指針（参考編）」による。

● 付録 1. 震度 1 以上を観測した地震の表

※ 震度データは、震度データベース検索 [気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqdb/data/shindo/index.php>] で確認できる。震源要素及び震度は再調査後、修正することがある。確定した震源要素は地震月報（カタログ編）[気象庁ホームページ: <http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/bulletin/index.html>] に掲載する。

※ 震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度（平成 25 年 12 月 地震・火山月報（防災編）の付録 2 参照）を記す。なお、* のついている地点は、地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点、（注）を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。また、本文中で震源の深さに CMT 解による深さを採用している場合があり、本表の震源決定による深さと異なる場合がある。震度 3 以上を観測した地震については、震源要素を **太字** で表示する。

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 09 37	青森県東方沖 北海道	41° 08.9' N	142° 16.9' E	51km	M: 5.2
		2 様似町栄町*=2.3 函館市新浜町*=2.1 えりも町えりも岬*=2.0 函館市泊町*=1.6 浦河町潮見=1.5 1 新冠町北星町*=1.4 浦河町築地*=1.4 新ひだか町静内山手町=1.3 安平町早来北進*=1.3 厚真町鹿沼=1.2 新ひだか町静内御幸町*=1.0 新ひだか町三石旭町*=1.0 浦河町野深=1.0 千歳市若草*=1.0 十勝大樹町東本通*=1.0 広尾町並木通=1.0 別海町常盤=1.0 函館市日ノ浜町*=1.0 むかわ町穂別*=0.9 広尾町白樺通=0.8 標津町北 2 条*=0.8 江別市緑町*=0.8 新千歳空港=0.8 札幌東区元町*=0.8 函館市美原=0.7 札幌北区篠路*=0.7 日高地方日高町門別*=0.7 千歳市支笏湖温泉*=0.7 標茶町塘路*=0.7 帯広市東 6 条*=0.6 十勝清水町南 4 条=0.6 苫小牧市末広町=0.6 帯広市東 4 条=0.6				
		青森県				
		2 野辺地町野辺地*=2.2 野辺地町田狭沢*=2.1 階上町道仏*=2.1 平内町小湊=2.0 七戸町森ノ上*=2.0 青森南部町苦米地*=2.0 八戸市南郷*=1.9 東北町上北南*=1.9 八戸市湊町=1.9 八戸市内丸*=1.9 東通村砂子又沢内*=1.9 五戸町古館=1.8 むつ市金曲=1.7 むつ市金谷*=1.7 おいらせ町中下田*=1.7 おいらせ町上明堂*=1.5 東北町塔ノ沢山*=1.5 五戸町倉石中市*=1.5				
		岩手県				
		1 七戸町七戸*=1.4 六戸町犬落瀬*=1.4 青森南部町沖田面*=1.4 むつ市川内町*=1.4 三沢市桜町*=1.3 むつ市大畑町中島*=1.3 東通村砂子又蒲谷地=1.3 六ヶ所村尾駁=1.2 三戸町在府小路町*=1.1 青森市花園=1.0 東通村尻屋*=1.0 東通村白糠*=1.0 平内町東田沢*=1.0 十和田市奥瀬*=1.0 青森市中央*=0.9 十和田市西二番町*=0.9 六ヶ所村出戸=0.7 佐井村長後*=0.7 蓬田村蓬田*=0.7 つがる市木造*=0.6 八戸市島守=0.5				
		宮城県				
		2 盛岡市薮川*=1.5 1 軽米町軽米*=1.4 二戸市浄法寺町*=1.3 八幡平市田頭*=1.2 盛岡市渋民*=1.0 岩手洋野町種市=0.9 九戸村伊保内*=0.9 岩手洋野町大野*=0.7 盛岡市山王町=0.7 二戸市福岡=0.7 二戸市石切所*=0.7 宮古市区界*=0.6 宮古市田老*=0.6 葛巻町葛巻元木=0.6 八幡平市大更=0.6 北上市相去町*=0.6 宮古市川井*=0.5				
2	1 10 04	宮城県沖 岩手県	38° 17.6' N	141° 45.6' E	56km	M: 4.1
		1 一関市千蔵町*=1.2 一関市室根町*=1.2 一関市東山町*=0.9 住田町世田米*=0.9 一関市花泉町*=0.8 一関市大東町=0.8 大船渡市猪川町=0.6 奥州市前沢*=0.6 一関市藤沢町*=0.5 陸前高田市高田町*=0.5				
		宮城県				
		1 大崎市田尻*=1.2 石巻市桃生町*=1.2 名取市増田*=1.1 石巻市大街道南*=1.0 利府町利府*=1.0 仙台宮城野区苦竹*=0.9 涌谷町新町裏=0.9 石巻市泉町=0.8 岩沼市桜*=0.8 宮城川崎町前川*=0.7 東松島市矢本*=0.7 気仙沼市笹が陣*=0.7 亘理町下小路*=0.6 登米市中田町=0.6 仙台区区将監*=0.6 南三陸町歌津*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 栗原市高清水*=0.6 東松島市小野*=0.6 松島町高城=0.6 大河原町新南*=0.6 栗原市若柳*=0.6 栗原市栗駒=0.5 登米市東和町*=0.5 登米市南方町*=0.5 石巻市北上町*=0.5				
		福島県				
		1 飯館村伊丹沢*=0.7 川俣町五百田*=0.5				
3	1 10 10	安芸灘 広島県	34° 09.6' N	132° 22.1' E	13km	M: 3.1
		2 江田島市大柿町*=1.5 1 江田島市沖美町*=1.3 江田島市能美町*=0.9 呉市二河町*=0.8 江田島市江田島町*=0.7 呉市音戸町*=0.7 広島中区羽衣町*=0.6				
		山口県				
		1 岩国市横山*=1.2 岩国市今津=0.7 和木町和木*=0.7 周防大島町久賀*=0.5				
4	1 11 23	千葉県東方沖 千葉県	35° 17.3' N	140° 37.7' E	47km	M: 3.3
		1 長南町総合グラウンド=1.3 長南町長南*=1.3 山武市埴谷*=0.5				
5	1 16 21	和歌山県北部 和歌山県	34° 12.7' N	135° 09.8' E	7km	M: 2.6
		1 和歌山市一番丁*=1.1				
6	1 23 53	渡島地方東部 北海道	41° 53.4' N	140° 58.8' E	9km	M: 2.0
		1 函館市川汲町*=0.5				
7	2 00 20	新潟県中越地方 新潟県	37° 13.9' N	138° 37.2' E	14km	M: 3.2
		2 柏崎市高柳町岡野町*=2.3 上越市大島区岡*=1.6 上越市浦川原区釜淵*=1.6 十日町市松代*=1.5 1 上越市吉川区原之町*=1.4 上越市大潟区土底浜*=1.2 上越市安塚区安塚*=1.2 上越市牧区柳島*=0.9 上越市清里区荒牧*=0.9 上越市木田*=0.8 上越市頸城区百間町*=0.8 上越市大手町=0.7 上越市柿崎区柿崎*=0.7 十日町市水口沢*=0.7 長岡市小国町法坂*=0.6 上越市三和区井ノ口*=0.6				
8	2 04 03	沖縄本島近海 沖縄県	26° 38.5' N	127° 09.9' E	14km	M: 3.4
		1 粟国村役場*=0.6 粟国村浜=0.5				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
9	2 10 00	宮城県沖 岩手県 宮城県	38° 22.0' N	141° 40.0' E	52km	M: 4.0 2 一関市室根町*=1.6 1 住田町世田米*=1.4 大船渡市大船渡町=1.1 一関市千厩町*=1.1 一関市花泉町*=1.0 大船渡市猪川町=1.0 一関市藤沢町*=1.0 一関市東山町*=0.8 釜石市中妻町*=0.8 一関市大東町=0.8 陸前高田市高田町*=0.7 大船渡市盛町*=0.6 2 石巻市桃生町*=1.6 気仙沼市笹が陣*=1.5 1 涌谷町新町裏=1.3 大崎市田尻*=1.3 東松島市矢本*=1.3 石巻市北上町*=1.2 登米市東和町*=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.1 石巻市泉町=1.1 石巻市大街道南*=1.1 女川町女川浜*=1.1 南三陸町歌津*=1.0 気仙沼市赤岩=1.0 仙台宮城野区苦竹*=0.9 南三陸町志津川=0.9 岩沼市桜*=0.8 東松島市小野*=0.8 登米市南方町*=0.8 栗原市若柳*=0.7 石巻市雄勝町*=0.7 気仙沼市本吉町西川内=0.6 登米市迫町*=0.5 登米市中田町=0.5 松島町高城=0.5 利府町利府*=0.5 名取市増田*=0.5
10	2 15 34	福島県沖 福島県	36° 58.9' N	141° 19.2' E	30km	M: 4.1 1 いわき市三和町=1.2 檜葉町北田*=1.1 福島広野町下北迫大谷地原*=0.5
11	3 02 15	新潟県下越沖 新潟県	38° 37.2' N	139° 24.9' E	12km	M: 3.4 2 村上市府屋*=2.2 1 村上市寒川*=1.1
12	3 11 28	岩手県沖 岩手県	39° 31.9' N	142° 12.6' E	51km	M: 3.5 1 宮古市鯨ヶ崎=0.8 宮古市五月町*=0.7
13	3 14 05	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 15.2' N	130° 30.4' E	6km	M: 2.2 1 球磨村渡*=1.4 芦北町芦北=0.6
14	3 23 24	新潟県上越地方 新潟県	37° 00.2' N	138° 23.0' E	13km	M: 2.1 1 上越市清里区荒牧*=0.7
15	4 02 38	天草灘 鹿児島県	31° 59.4' N	129° 55.8' E	12km	M: 2.8 1 薩摩川内市上鶴町*=0.5
16	4 03 06	根室半島南東沖 北海道	43° 20.9' N	146° 09.3' E	49km	M: 4.3 3 根室市落石東*=3.2 2 根室市牧の内*=2.0 根室市瑛瑠瑠*=2.0 中標津町丸山*=1.6 根室市弥栄=1.5 1 浜中町茶内*=1.4 別海町常盤=1.4 根室市豊里=1.4 別海町本別海*=1.1 標茶町塘路*=1.1 根室市厚床*=1.1 斜里町ウトロ香川*=1.0 標津町北2条*=0.9
17	4 09 04	東京湾 千葉県 東京都 神奈川県	35° 37.5' N	140° 02.2' E	67km	M: 3.8 1 市原市姉崎*=0.7 千葉中央区中央港=0.5 1 調布市西つづじヶ丘*=0.8 東京港区海岸=0.8 東京渋谷区本町*=0.7 東京千代田区大手町=0.6 東京中野区中野*=0.5 1 横浜鶴見区馬場*=0.9 横浜港北区日吉本町*=0.8 三浦市城山町*=0.7 川崎川崎区宮前町*=0.6 相模原中央区上溝*=0.6
18	5 09 58	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 16.3' N	130° 30.6' E	7km	M: 2.3 1 球磨村渡*=0.5
19	5 12 52	岐阜県美濃中西部 岐阜県	35° 33.1' N	137° 02.8' E	5km	M: 2.2 1 川辺町中川辺*=1.0
20 (注) (注)	5 15 04 5 15 04 5 15 03	静岡県西部 静岡県西部 静岡県西部 静岡県	34° 52.0' N 34° 52.0' N 34° 52.0' N	137° 52.7' E 137° 52.7' E 137° 52.8' E	14km 13km 13km	M: 3.2 M: 3.0 M: 2.8 1 島田市川根町家山=1.1 浜松天竜区春野町*=1.0 掛川市長谷*=0.9 浜松天竜区佐久間町*=0.9
21	5 16 43	静岡県伊豆地方 静岡県	35° 02.8' N	139° 06.1' E	5km	M: 3.3 3 熱海市網代=2.5 2 伊豆市中伊豆グラウンド=1.6 熱海市泉*=1.5 1 熱海市中央町*=1.2 東伊豆町奈良本*=1.2 函南町平井*=0.8 河津町田中*=0.7 伊豆の国市四日町*=0.7 伊豆の国市長岡*=0.6 三島市東本町=0.6 伊東市大原=0.5 長泉町中土狩*=0.5 神奈川県 1 湯河原町中央=1.2 真鶴町岩*=0.7
22	5 20 26	福島県沖 宮城県	37° 11.7' N	142° 15.7' E	22km	M: 4.7 1 岩沼市桜*=1.3 石巻市桃生町*=1.2 宮城川崎町前川*=1.2 亘理町下小路*=1.2 角田市角田*=1.1 白石市亘理町*=1.1 蔵王町円田*=1.1 利府町利府*=1.1 山元町浅生原*=1.0 名取市増田*=1.0 大河原町新南*=1.0 登米市迫町*=0.9 東松島市矢本*=0.9 丸森町島屋*=0.8 石巻市大街道南*=0.8 大崎市田尻*=0.8 登米市南方町*=0.7 宮城加美町中新田*=0.7 宮城美里町木間塚*=0.7 大崎市古川三日町=0.7 登米市米山町*=0.7 七ヶ宿町関*=0.7 仙台宮城野区五輪=0.6 栗原市築館*=0.6 村田町村田*=0.6 登米市登米町*=0.6 松島町高城=0.6 登米市中田町=0.5 栗原市高清水*=0.5

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		山形県 福島県 1 高島町高島*=0.8 米沢市林泉寺*=0.7 1 玉川村小高*=1.4 国見町藤田*=1.3 相馬市中村*=1.2 新地町谷地小屋*=1.2 田村市大越町*=1.1 双葉町両竹*=1.1 いわき市三和町=0.9 天栄村下松本*=0.8 福島市松木町=0.8 郡山市湖南町*=0.8 浪江町幾世橋=0.8 郡山市朝日=0.7 白河市新白河*=0.7 須賀川市八幡山*=0.6				
23	6 03 19	長野県北部 長野県 1 千曲市上山田温泉*=1.0 千曲市杭瀬下*=1.0 長野市箱清水=0.7 長野市鶴賀緑町*=0.6	36° 36.4' N	138° 17.7' E	1km	M: 2.7
24	6 07 33	青森県東方沖 青森県 1 階上町道仏*=0.6	40° 44.7' N	142° 12.3' E	47km	M: 3.1
25	6 11 50	種子島近海 鹿児島県 1 中種子町野間*=0.5	30° 24.7' N	131° 15.6' E	28km	M: 3.3
26	6 14 37	鳥取県中部 鳥取県 1 倉吉市葵町*=1.3 北栄町土下*=1.0 湯梨浜町久留*=0.7	35° 25.9' N	133° 49.5' E	7km	M: 2.3
27	7 02 17	長野県南部 長野県 1 木曽町開田高原西野*=1.0	35° 55.0' N	137° 35.4' E	8km	M: 2.5
28	7 03 51	千葉県東方沖 茨城県 2 稲敷市須賀津*=1.6 1 潮来市辻*=1.4 稲敷市結佐*=1.2 神栖市溝口*=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 稲敷市伊佐津*=1.0 潮来市堀之内=1.0 稲敷市江戸崎甲*=1.0 神栖市波崎*=1.0 茨城鹿嶋市宮中*=0.9 龍ヶ崎市役所*=0.9 取手市寺田*=0.9 笠間市石井*=0.9 利根町布川=0.8 行方市麻生*=0.8 筑西市舟生=0.7 かすみがうら市上土田*=0.7 土浦市常名=0.7 石岡市柿岡=0.7 坂東市岩井=0.5 千葉県 2 旭市南堀之内*=2.2 多古町多古=2.1 東金市日吉台*=2.0 芝山町小池*=1.9 香取市仁良*=1.9 長南町総合グラウンド=1.8 九十九里町片貝*=1.8 山武市松尾町富士見台=1.8 成田市役所*=1.8 匝瑳市八日市場ハ*=1.7 一宮町一宮=1.7 旭市萩園*=1.7 山武市蓮沼二*=1.7 山武市埴谷*=1.7 長南町長南*=1.7 横芝光町宮川*=1.6 横芝光町栗山*=1.6 山武市殿台*=1.6 千葉中央区千葉市役所*=1.6 市原市姉崎*=1.6 四街道市鹿渡*=1.6 匝瑳市今泉*=1.5 千葉中央区都町*=1.5 千葉花見川区花島町*=1.5 成田国際空港=1.5 成田市中台*=1.5 香取市役所*=1.5 千葉佐倉市海隣寺町*=1.5 旭市ニ*=1.5 山武市松尾町五反田*=1.5 1 銚子市小畑新町=1.4 東金市東新宿=1.4 旭市高生*=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.4 山武市蓮沼ハ*=1.4 成田市松子*=1.4 市原市国分寺台中央*=1.4 富里市七栄*=1.4 東金市東岩崎*=1.3 大網白里市大網*=1.3 印西市美瀬*=1.3 千葉稲毛区園生町*=1.3 香取市佐原平田=1.2 千葉若葉区小倉台*=1.2 千葉緑区おゆみ野*=1.2 成田市名古屋=1.2 八千代市大和田新田*=1.2 印西市笠神*=1.2 千葉中央区中央港=1.2 千葉美浜区ひび野=1.1 八街市八街*=1.1 神崎町神崎本宿*=1.1 香取市羽根川*=1.1 白井市復*=1.1 香取市岩部*=1.1 東庄町笹川*=1.0 白子町関*=1.0 長柄町桜谷*=1.0 銚子市若宮町*=1.0 栄町安食台*=1.0 銚子市川口町=0.9 酒々井町中央台*=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.9 いすみ市国府台*=0.9 浦安市日の出=0.8 千葉美浜区稲毛海岸*=0.7 君津市久留里市場*=0.7 成田市猿山*=0.7 勝浦市墨名=0.6 埼玉県 1 宮代町笠原*=0.7 東京都 1 東京足立区神明南*=0.6 東京千代田区大手町=0.5 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.8 三浦市城山町*=0.8	35° 39.2' N	140° 44.0' E	48km	M: 4.3
29	7 05 34	福岡県北西沖 福岡県 1 糸島市志摩初=0.5	33° 47.0' N	130° 05.6' E	12km	M: 3.2
30	7 09 56	熊本県熊本地方 熊本県 2 熊本西区春日=1.8 1 熊本北区植木町*=1.3 合志市竹迫*=1.2 菊池市泗水町*=1.2 玉東町木葉*=1.1 嘉島町上島*=1.1 玉名市天水町*=1.0 菊池市旭志*=1.0 合志市御代志*=1.0 熊本中央区大江*=1.0 熊本南区富合町*=1.0 山鹿市鹿央町*=1.0 熊本美里町永富*=0.9 益城町惣領*=0.9 菊池市隈府*=0.8 熊本東区佐土原*=0.8 熊本南区城南町*=0.7 大津町引水*=0.7 宇城市松橋町=0.7 菊陽町久保田*=0.6 宇城市不知火町*=0.5 玉名市横島町*=0.5	32° 46.5' N	130° 38.9' E	13km	M: 3.1
31	7 19 02	栃木県南部 栃木県 1 宇都宮市明保野町=0.6	36° 25.4' N	139° 47.1' E	88km	M: 3.3
32	7 21 02	熊本県天草・芦北地方 熊本県 2 芦北町芦北=1.6 1 水俣市陣内*=1.0 津奈木町小津奈木*=1.0 球磨村渡*=0.9 水俣市牧ノ内*=0.8	32° 15.2' N	130° 30.7' E	5km	M: 2.7
33	8 17 20	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校*=1.3	36° 38.6' N	140° 55.9' E	49km	M: 3.5
34	8 18 51	島根県東部 島根県 2 安来市伯太町東母里*=1.5 鳥取県 1 鳥取南部町天勝寺*=1.1 日南町生山*=0.8 鳥取南部町天萬*=0.8	35° 18.1' N	133° 17.0' E	7km	M: 2.8
35	8 19 18	千葉県南東沖 千葉県 1 館山市北条*=1.2 館山市長須賀=1.1 南房総市谷向*=1.1 南房総市岩糸*=0.8 鴨川市横渚*=0.8	34° 50.6' N	139° 58.7' E	54km	M: 3.8

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
36	8 22 54	勝浦市墨名=0.6 鴨川市八色=0.5 東京都 1 伊豆大島町波浮港*=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町*=0.5 静岡県 1 東伊豆町奈良本*=0.8				
		神奈川県西部 35° 30.3' N 139° 05.1' E 23km M: 4.3				
		東京都 3 国分寺市戸倉=2.5 2 町田市本町田*=2.4 町田市忠生*=2.2 国分寺市本多*=2.1 小平市小川町*=2.0 八王子市石川町*=2.0 檜原村本宿*=2.0 町田市森野*=1.9 日野市神明*=1.9 八王子市堀之内*=1.9 日の出町平井*=1.8 調布市西つつじヶ丘*=1.7 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.7 東京府中市寿町*=1.7 小金井市本町*=1.6 あきる野市伊奈*=1.5 八王子市大横町=1.5 青梅市日向和田*=1.5 1 東大和市中央*=1.4 多摩市関戸*=1.4 青梅市東青梅=1.4 昭島市田中町*=1.3 西東京市中町*=1.3 東京府中市朝日町*=1.3 羽村市緑ヶ丘*=1.3 武蔵村山市本町*=1.2 東京千代田区大手町=1.2 清瀬市中里*=1.2 檜原村役場*=1.2 東京中央区勝どき*=1.1 東京世田谷区三軒茶屋*=1.1 東京練馬区光が丘*=1.1 国立市富士見台*=1.1 狛江市和泉本町*=1.1 東京中野区中野*=1.0 東京練馬区東大泉*=1.0 東村山市本町*=0.9 多摩市鶴牧*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.9 東京北区西ヶ原*=0.9 東京国際空港=0.9 東京世田谷区成城*=0.9 調布市小島町*=0.8 稲城市東長沼*=0.8 東京江戸川区中央=0.8 立川市泉町*=0.8 福生市福生*=0.7 東京杉並区桃井*=0.7 東京港区海岸=0.7 東京世田谷区中町*=0.7 東京品川区平塚*=0.7 東京渋谷区宇田川町*=0.7 東京渋谷区本町*=0.7 東京品川区北品川*=0.6 三鷹市野崎*=0.6 東京杉並区阿佐谷=0.6 清瀬市中清戸*=0.6 東京大田区多摩川*=0.6 東京新宿区上落合*=0.6 東京文京区大塚*=0.6 東京江東区枝川*=0.6 東京港区白金*=0.5 東京葛飾区立石*=0.5 東京江東区越中島*=0.5 武蔵野市緑町*=0.5 東京世田谷区世田谷*=0.5				
		神奈川県 3 横浜旭区川井宿町*=2.8 相模原中央区上溝*=2.8 中井町比奈窪*=2.7 相模原中央区水郷田名*=2.7 相模原緑区中野*=2.7 海老名市大谷*=2.6 厚木市中町*=2.6 綾瀬市深谷*=2.5 横浜青葉区市ヶ尾町*=2.5 2 藤沢市打戻*=2.4 相模原中央区中央=2.4 愛川町角田*=2.3 横浜港南区丸山台東部*=2.3 相模原緑区大島*=2.3 三浦市城山町*=2.2 大磯町月京*=2.2 伊勢原市伊勢原*=2.2 松田町松田惣領*=2.2 横浜緑区十日市場町*=2.2 平塚市浅間町*=2.2 相模原緑区小淵*=2.2 相模原緑区橋本*=2.2 秦野市曾屋=2.1 横浜瀬谷区三ツ境*=2.1 寒川町宮山*=2.1 横浜旭区今宿東町*=2.1 座間市相武台*=2.0 清川村煤ヶ谷*=2.0 横浜瀬谷区中屋敷*=2.0 相模原南区相模大野*=2.0 横浜戸塚区鳥が丘*=2.0 小田原市荻窪*=2.0 山北町山北*=2.0 横浜泉区岡津町*=1.9 横浜泉区和泉町*=1.9 二宮町中里*=1.9 相模原南区磯部*=1.9 横浜青葉区榎が丘*=1.9 川崎宮前区宮前平*=1.9 相模原緑区与瀬*=1.9 相模原緑区久保沢*=1.9 秦野市平沢*=1.9 横浜旭区上白根町*=1.9 横浜磯子区磯子*=1.8 厚木市下津古久*=1.8 神奈川大井町金子*=1.8 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.8 藤沢市大庭*=1.7 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.7 川崎麻生区片平*=1.7 横浜中区山手町=1.6 大和市下鶴間*=1.6 横浜戸塚区戸塚町*=1.6 箱根町湯本*=1.5 湯河原町中央=1.5 横浜鶴見区末広町*=1.5 横浜神奈川区広台太田町*=1.5 横浜南区大岡*=1.5 横浜緑区鴨居*=1.5 横浜港北区日吉本町*=1.5 1 横浜中区山下町*=1.4 横浜中区山吹町*=1.4 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.4 横浜磯子区洋光台*=1.4 横浜金沢区白帆*=1.4 横浜港北区大倉山*=1.4 横浜港北区綱島西*=1.4 川崎宮前区野川*=1.4 南足柄市関本*=1.4 横浜鶴見区馬場*=1.3 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.3 開成町延沢*=1.3 真鶴町岩*=1.3 横浜金沢区釜利谷南*=1.2 横浜旭区大池町*=1.2 横浜都筑区池辺町*=1.2 横須賀市坂本町*=1.2 藤沢市辻堂東海岸*=1.2 横須賀市光の丘=1.1 横浜金沢区寺前*=1.1 相模原緑区若柳=1.1 横浜青葉区美しが丘*=1.1 川崎川崎区宮前町*=1.1 横浜中区日本大通*=1.1 川崎麻生区万福寺*=1.1 鎌倉市御成町*=0.9 横浜都筑区茅ヶ崎*=0.9 藤沢市朝日町*=0.7 小田原市久野=0.6 川崎中原区小杉陣屋町=0.5				
		山梨県 3 上野原市役所*=2.5 2 大月市御太刀*=2.2 大月市大月=2.1 富士川町鯉沢*=1.7 都留市上谷*=1.7 道志村役場*=1.6 上野原市秋山*=1.5 富士河口湖町船津=1.5 1 富士河口湖町長浜*=1.4 笛吹市八代町南*=1.3 山梨北杜市長坂町*=1.3 上野原市四方津=1.3 西桂町小沼*=1.3 忍野村忍草*=1.3 山中湖村山中*=1.3 甲州市大和町初鹿野*=1.2 丹波山村丹波*=1.2 大月市役所*=1.1 笛吹市境川町藤壘*=1.0 甲州市塩山上於曽*=0.9 甲州市役所*=0.9 中央市成島*=0.9 富士吉田市上吉田*=0.9 富士吉田市下吉田*=0.9 鳴沢村役場*=0.9 富士河口湖町勝山*=0.9 甲府市相生*=0.8 甲斐市篠原*=0.8 甲州市勝沼町勝沼*=0.8 甲斐市下今井*=0.7 笛吹市春日居町寺本*=0.7 富士河口湖町役場*=0.7 小菅村小菅小学校*=0.7 山梨市牧丘町窪平*=0.7 山梨北杜市明野町*=0.6 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.5 甲州市塩山下於曽=0.5 甲府市古閑町*=0.5 笛吹市御坂町夏目原*=0.5				
		静岡県 2 小山町藤曲*=2.2 富士市大淵*=1.9 熱海市泉*=1.7 富士市吉永*=1.5 1 富士宮市野中*=1.0 御殿場市萩原=1.0 静岡清水区蒲原新栄*=0.9 熱海市中央町*=0.7 東伊豆町奈良本*=0.7 伊豆市中伊豆グラウンド=0.7 富士市永田町*=0.7 御殿場市茱萸沢*=0.7 伊豆の国市長岡*=0.6 富士宮市弓沢町=0.6 裾野市石脇*=0.6 三島市東本町=0.5				
		群馬県 1 邑楽町中野*=0.5				
		埼玉県 1 さいたま北区宮原*=1.3 川越市旭町=1.1 入間市豊岡*=1.1 新座市野火止*=1.1 さいたま大宮区天沼町*=1.0 所沢市北有楽町*=1.0 東松山市市ノ川*=0.8 東松山市松葉町*=0.8 越生町越生*=0.8 川島町下八ツ林*=0.8 狭山市入間川*=0.8 嵐山町杉山*=0.6 飯能市征矢町*=0.6 富士見市鶴馬*=0.5 埼玉三芳町藤久保*=0.5 さいたま浦和区高砂=0.5 毛呂山町中央*=0.5 埼玉美里町木部*=0.5				
		千葉県 1 木更津市富士見*=1.2 南房総市富浦町青木*=1.1 富津市下飯野*=0.9 浦安市日の出=0.9 市原市姉崎*=0.8 習志野市鷺沼*=0.7 鴨川市横渚*=0.5				
		長野県 1 長野川上村大深山*=0.6				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
37	8 23 01	福岡県北西沖 佐賀県 1 唐津市西城内=0.7 唐津市竹木場*=0.5	33° 46.9' N	130° 05.5' E	12km	M: 3.4
38	8 23 37	豊後水道 愛媛県 高知県 1 宇和島市丸穂*=0.7 1 宿毛市桜町*=0.7	33° 09.3' N	132° 21.9' E	37km	M: 3.0
39	9 01 24	茨城県沖 茨城県 2 日立市助川小学校*=1.8 1 日立市役所*=0.9 水戸市栗崎町*=0.7 常陸太田市町屋町=0.7 笠間市石井*=0.7 高萩市安良川*=0.6 常陸大宮市山方*=0.6 常陸大宮市上小瀬*=0.6 城里町小勝*=0.6 常陸大宮市北町*=0.5 常陸大宮市野口*=0.5 高萩市本町*=0.5	36° 27.8' N	141° 02.7' E	44km	M: 3.6
40	9 03 35	与那国島近海 沖縄県 1 与那国町久部良=0.5	23° 47.6' N	122° 29.1' E	24km	M: 4.8
41	9 07 23	東京湾 千葉県 2 千葉緑区おゆみ野*=1.9 八千代市大和田新田*=1.5 1 千葉稲毛区園生町*=1.4 船橋市湊町*=1.4 千葉中央区都町*=1.3 千葉花見川区花島町*=1.3 習志野市鷺沼*=1.2 長南町長南*=1.1 千葉美浜区稲毛海岸*=1.1 千葉中央区中央港=1.0 千葉中央区千葉市役所*=1.0 四街道市鹿渡*=1.0 千葉美浜区ひび野=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=0.8 長南町総合グラウンド=0.8 千葉若葉区小倉台*=0.8 栄町安食台*=0.7 君津市久留里市場*=0.7 白井市復*=0.7 成田市中台*=0.6 浦安市日の出=0.5 市川市南八幡*=0.5 印西市大森*=0.5 一宮町一宮=0.5 大網白里市大網*=0.5 茨城県 1 取手市寺田*=0.5 坂東市岩井=0.5 東京都 1 東京千代田区大手町=1.0	35° 35.0' N	139° 56.8' E	21km	M: 3.3
42	9 08 24	山形県沖 山形県 新潟県 1 鶴岡市温海*=0.7 鶴岡市温海川=0.7 1 村上市府屋*=1.3	38° 39.8' N	139° 26.6' E	15km	M: 3.5
43 (注)	9 12 56 9 12 57	熊本県天草・芦北地方 熊本県天草・芦北地方 熊本県 1 球磨村渡*=1.2 芦北町芦北=0.9	32° 15.2' N 32° 15.1' N	130° 30.1' E 130° 30.2' E	5km 4km	M: 2.6 M: 2.2
44	9 13 40	福島県沖 福島県 1 双葉町両竹*=0.9 浪江町幾世橋=0.7	37° 25.0' N	141° 46.7' E	47km	M: 3.6
45	9 20 33	オホーツク海南部 北海道 2 函館市新浜町*=1.5 1 別海町常盤=1.1 函館市泊町*=0.7 厚岸町真栄*=0.7 標茶町塘路*=0.6 根室市落石東*=0.5 青森県 2 階上町道仏*=1.9 1 八戸市南郷*=1.2 むつ市大畑町中島*=1.2 東通村砂子又沢内*=1.2 野辺地町野辺地*=1.0 八戸市湊町=0.8 東通村砂子又蒲谷地=0.8 五戸町古館=0.7 三沢市桜町*=0.7 東北町上北南*=0.7 青森南部町苦米地*=0.6 外ヶ浜町蟹田*=0.6 岩手県 1 盛岡市薮川*=0.9 久慈市枝成沢=0.7	47° 04.4' N	145° 16.8' E	489km	M: 5.6
46	10 02 13	千葉県東方沖 千葉県 1 長南町総合グラウンド=0.8	35° 36.8' N	141° 00.4' E	14km	M: 3.3
47	10 06 13	紀伊水道 和歌山県 2 有田川町下津野*=1.8 湯浅町青木*=1.7 由良町里*=1.6 紀美野町下佐々*=1.6 和歌山広川町広*=1.6 和歌山日高町高家*=1.5 日高川町土生*=1.5 1 御坊市菌=1.4 有田市初島町*=1.3 海南市下津*=1.2 和歌山市一番丁*=1.1 有田市箕島=1.0 紀の川市貴志川町神戸*=0.8 和歌山市男野芝丁=0.7 みなべ町芝*=0.6 みなべ町土井=0.5 有田川町中井原*=0.5	34° 03.6' N	135° 04.1' E	12km	M: 3.7
48	10 17 22	山形県沖 新潟県 山形県 2 村上市府屋*=1.8 1 鶴岡市温海川=1.0 鶴岡市温海*=0.9	38° 37.7' N	139° 25.5' E	11km	M: 3.5
49	10 20 33	岐阜県美濃中西部 岐阜県 2 岐阜市京町*=2.2 大野町大野*=2.0 各務原市川島河田町*=1.9 岐阜山県市美山支所*=1.9 岐阜南町八剣*=1.9 本巣市下真桑*=1.8 岐阜市加納二之丸=1.8 岐阜山県市高富*=1.6 瑞穂市別府*=1.5 瑞穂市宮田*=1.5 1 美濃市役所*=1.4 笠松町司町*=1.4 本巣市三橋*=1.4 本巣市文殊*=1.3 関市洞戸市場*=1.3 岐阜山県市大門*=1.3 北方町北方*=1.2 岐阜市柳津町*=1.2 関市若草通り*=1.1 大垣市墨俣町*=1.1 神戸町神戸*=1.0 関市武芸川町*=1.0 岐阜池田町六之井*=0.9 関市上之保*=0.9 岐阜山県市谷谷運動場=0.9 坂祝町取組*=0.9 美濃加茂市太田町=0.8 羽島市竹鼻町*=0.8 富加町滝田*=0.8 揖斐川町三輪=0.8 揖斐川町東津汲*=0.8 恵那市上矢作町*=0.7 土岐市泉町*=0.7 川辺町中川辺*=0.7 各務原市那加桜町*=0.6 瑞浪市上平町*=0.6 可児市広見*=0.6 揖斐川町東杉原*=0.6 揖斐川町中籠橋*=0.6 本巣市根尾*=0.6 揖斐川町谷汲*=0.6 揖斐川町春日*=0.6 八百津町八百津*=0.6	35° 28.1' N	136° 44.0' E	9km	M: 3.6

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
50	11 05 19	愛知県	美濃加茂市西町* $\approx$ 0.5 土岐市肥田* $\approx$ 0.5 関ヶ原町関ヶ原* $\approx$ 0.5 関市板取* $\approx$ 0.5 大垣市丸の内* $\approx$ 0.5 2 一宮市千秋=2.4 1 一宮市木曽川町* $\approx$ 1.4 名古屋西区八筋町* $\approx$ 1.2 清須市春日振形* $\approx$ 1.2 北名古屋市西之保* $\approx$ 1.2 一宮市西五城* $\approx$ 1.1 大山市五郎丸* $\approx$ 1.0 一宮市緑* $\approx$ 0.9 愛知江南市赤童子町* $\approx$ 0.9 名古屋守山区西新* $\approx$ 0.8 名古屋東区筒井* $\approx$ 0.8 名古屋北区萩野通* $\approx$ 0.8 あま市七宝町* $\approx$ 0.8 蟹江町蟹江本町* $\approx$ 0.7 清須市清洲* $\approx$ 0.7 あま市甚目寺* $\approx$ 0.7 稲沢市稲府町* $\approx$ 0.6 稲沢市平和町* $\approx$ 0.6 岩倉市川井町* $\approx$ 0.6 名古屋中区県庁* $\approx$ 0.6 名古屋守山区下志段味* $\approx$ 0.6 清須市西枇杷島町花咲* $\approx$ 0.5 岡崎市檜山町* $\approx$ 0.5			
		長野県	1 長野高森町下市田* $\approx$ 1.2 阿智村清内路* $\approx$ 1.1 木曽町日義* $\approx$ 0.8 飯田市上郷黒田* $\approx$ 0.6			
		宮城県沖 宮城県	38° 53.2' N 142° 05.0' E 45km M: 4.1 2 気仙沼市唐桑町* $\approx$ 1.5 大崎市田尻* $\approx$ 1.5 1 南三陸町志津川=1.4 気仙沼市笹が陣* $\approx$ 1.3 石巻市桃生町* $\approx$ 1.3 気仙沼市赤岩=1.0 石巻市北上町* $\approx$ 0.9 南三陸町歌津* $\approx$ 0.6 石巻市泉町=0.5			
51	11 09 13	岩手県	1 大船渡市大船渡町=1.4 釜石市中妻町* $\approx$ 1.0 一関市室根町* $\approx$ 1.0 大船渡市猪川町=0.9 一関市藤沢町* $\approx$ 0.9 一関市千厩町* $\approx$ 0.9 釜石市只越町=0.8 陸前高田市高田町* $\approx$ 0.8 住田町世田米* $\approx$ 0.8 花巻市大迫町=0.8 遠野市青笹町* $\approx$ 0.7			
		千葉県東方沖 千葉県	35° 43.8' N 141° 00.0' E 13km M: 3.1 1 銚子市小畑新町=0.7			
		岩手県沖 岩手県	39° 38.8' N 142° 04.8' E 86km M: 3.6 1 一関市千厩町* $\approx$ 0.6 釜石市只越町=0.5 釜石市中妻町* $\approx$ 0.5 宮古市区界* $\approx$ 0.5 一関市室根町* $\approx$ 0.5			
53	11 16 04	新潟県下越沖 新潟県	38° 33.1' N 139° 24.0' E 11km M: 4.3 3 村上市府屋* $\approx$ 3.0 村上市寒川* $\approx$ 2.8 2 関川村下関* $\approx$ 1.5 1 粟島浦村笹畑=1.3 村上市岩船駅前* $\approx$ 1.2 村上市岩沢* $\approx$ 1.2 粟島浦村日ノ見山* $\approx$ 1.1 長岡市上岩井* $\approx$ 0.9 村上市片町* $\approx$ 0.9 十日町市松代* $\approx$ 0.7 阿賀野市姥ヶ橋* $\approx$ 0.7 新発田市乙次* $\approx$ 0.6 村上市山口* $\approx$ 0.6 阿賀町鹿瀬中学校* $\approx$ 0.6 出雲崎町米田=0.5 胎内市黒川* $\approx$ 0.5			
54	11 20 31	山形県	2 鶴岡市温海川=2.3 鶴岡市温海* $\approx$ 1.9 鶴岡市道田町* $\approx$ 1.8 庄内町狩川* $\approx$ 1.5 1 鶴岡市上山添* $\approx$ 1.4 鶴岡市馬場町=1.3 三川町横山* $\approx$ 1.3 大蔵村肘折* $\approx$ 1.2 戸沢村古口* $\approx$ 1.2 西川町大井沢* $\approx$ 1.2 飯豊町上原* $\approx$ 1.2 鶴岡市下名川* $\approx$ 1.2 中山町長崎* $\approx$ 1.1 酒田市亀ヶ崎=1.0 庄内町清川* $\approx$ 1.0 西川町海味* $\approx$ 1.0 山辺町緑ヶ丘* $\approx$ 1.0 鶴岡市藤島* $\approx$ 0.9 鶴岡市羽黒町* $\approx$ 0.8 庄内町余目* $\approx$ 0.8 酒田市山田* $\approx$ 0.8 大蔵村清水* $\approx$ 0.7 河北町谷地=0.7 大江町左沢* $\approx$ 0.6 米沢市林泉寺* $\approx$ 0.6 山形小国町岩井沢=0.5 山形小国町小国小坂町* $\approx$ 0.5 上山市河崎* $\approx$ 0.5 酒田市宮野浦* $\approx$ 0.5			
		宮城県	1 大崎市古川三日町=0.8 仙台青葉区作並* $\approx$ 0.8 宮城美里町北浦* $\approx$ 0.7 岩沼市桜* $\approx$ 0.7 名取市増田* $\approx$ 0.6 大崎市鳴子* $\approx$ 0.5 大崎市古川大崎=0.5			
		秋田県	1 仙北市西木町上桧木内* $\approx$ 0.5			
55	12 06 21	熊本県天草・芦北地方 熊本県	32° 12.3' N 130° 25.2' E 5km M: 1.9 1 水俣市陣内* $\approx$ 0.9			
56	13 01 52	与那国島近海 沖縄県	23° 54.2' N 122° 53.8' E 29km M: 5.5 2 与那国町久部良=1.9 与那国町役場* $\approx$ 1.9 1 与那国町祖納=1.4 竹富町船浮=1.3 石垣市新栄町* $\approx$ 0.9 竹富町黒島=0.8 竹富町大原=0.8 竹富町波照間=0.7 石垣市平久保=0.7 石垣市登野城=0.6			
		熊本県熊本地方 熊本県	32° 41.8' N 130° 40.3' E 12km M: 2.4 1 熊本西区春日=0.9 宇城市不知火町* $\approx$ 0.6			
		奄美大島北西沖 鹿児島県	29° 14.1' N 128° 10.7' E 256km M: 6.0 3 奄美市名瀬港町=2.8 奄美市笠利町里* $\approx$ 2.7 天城町平土野* $\approx$ 2.7 喜界町滝川=2.6 瀬戸内町請島* $\approx$ 2.6 喜界町湾* $\approx$ 2.5 2 瀬戸内町与路島* $\approx$ 2.4 瀬戸内町加計呂麻島* $\approx$ 2.1 瀬戸内町西古見=2.0 鹿屋市串良町岡崎* $\approx$ 1.9 大崎町仮宿* $\approx$ 1.9 錦江町田代支所* $\approx$ 1.9 肝付町北方* $\approx$ 1.8 奄美市名瀬幸町* $\approx$ 1.8 宇検村湯湾* $\approx$ 1.7 鹿屋市吾平町麓* $\approx$ 1.7 奄美市住用町西仲間* $\approx$ 1.7 鹿屋市新栄町=1.7 鹿屋市札元* $\approx$ 1.7 瀬戸内町古仁屋* $\approx$ 1.6 鹿屋市輝北町上百引* $\approx$ 1.6 肝付町新富* $\approx$ 1.6 大和村思勝* $\approx$ 1.6 伊仙町伊仙* $\approx$ 1.6 錦江町田代麓=1.5 鹿児島十島村悪石島* $\approx$ 1.5 和泊町和泊* $\approx$ 1.5 南種子町中之上* $\approx$ 1.5 1 南大隅町佐多伊座敷* $\approx$ 1.4 鹿児島十島村諏訪之瀬島* $\approx$ 1.4 知名町瀬利寛=1.4 錦江町城元* $\approx$ 1.3 南種子町西之* $\approx$ 1.3 龍郷町屋入=1.3 龍郷町浦* $\approx$ 1.3 和泊町国頭=1.3 与論町茶花* $\approx$ 1.3 霧島市福山町牧之原* $\approx$ 1.2 東串良町川西* $\approx$ 1.2 徳之島町亀津* $\approx$ 1.2 志布志市志布志町志布志=1.1 鹿児島十島村中之島徳之尾=1.1 中種子町野間* $\approx$ 1.1 南大隅町根占* $\approx$ 1.1 曽於市大隅町中之内* $\approx$ 1.1 屋久島町宮之浦* $\approx$ 1.0 鹿児島市東郡元=1.0 天城町当部=1.0 鹿児島市喜入町* $\approx$ 0.9 屋久島町小瀬田=0.8 屋久島町平内=0.8 屋久島町尾之間* $\approx$ 0.7 垂水市田神* $\approx$ 0.7 志布志市有明町野井倉* $\approx$ 0.7 西之表市住吉=0.7 知名町知名* $\approx$ 0.6 南種子町中之下=0.6 西之表市西之表=0.5 西之表市役所* $\approx$ 0.5			
57	13 09 57	岡山県	2 倉敷市児島小川町* $\approx$ 1.5 1 岡山南区片岡* $\approx$ 1.4 玉野市宇野* $\approx$ 1.3 倉敷市船穂町* $\approx$ 1.2 倉敷市玉島阿賀崎* $\approx$ 1.1 岡山南区浦安南町* $\approx$ 0.9 浅口市金光町* $\approx$ 0.9 岡山東区西大寺南* $\approx$ 0.8 赤磐市上市=0.8 岡山中区浜* $\approx$ 0.8 矢掛町矢掛* $\approx$ 0.7 岡山東区瀬戸町* $\approx$ 0.7 早島町前潟* $\approx$ 0.7 瀬戸内市長船町* $\approx$ 0.6			

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		大分県 倉敷市水島北幸町※=0.6 和気町矢田※=0.5 真庭市下方※=0.5 岡山北区御津金川※=0.5 2 佐伯市蒲江蒲江浦=1.6 1 佐伯市上浦※=1.3 宮崎県 2 日南市南郷町南町※=1.8 宮崎市高岡町内山※=1.7 宮崎市松橋※=1.7 都城市姫城町※=1.6 都城市高崎町大牟田※=1.6 串間市都井※=1.5 1 宮崎市霧島=1.4 日南市中央通※=1.3 都城市菖蒲原=1.3 延岡市北川町川内名白石※=1.3 宮崎美郷町田代※=1.3 日南市吾田東※=1.2 小林市真方=1.2 小林市野尻町東麓※=1.2 高原町西麓※=1.1 都城市山之口町花木※=1.1 宮崎市橘通東※=1.1 国富町本庄※=1.1 西都市上の宮※=1.0 高千穂町三田井=1.0 高鍋町上江※=0.9 新富町上富田=0.9 宮崎都農町役場※=0.9 宮崎市田野町体育館※=0.9 綾町南俣健康センター※=0.8 小林市中原※=0.8 延岡市北方町卯※=0.8 日南市油津=0.7 川南町川南※=0.7 椎葉村総合運動公園※=0.6 串間市奈留=0.5 沖縄県 2 国頭村奥=1.8 今帰仁村仲宗根※=1.6 国頭村辺土名※=1.5 1 中城村当間※=1.4 恩納村恩納※=1.3 座間味村座間味※=1.3 うるま市石川石崎※=1.3 南城市佐敷字佐敷※=1.3 久米島町比嘉※=1.3 名護市港※=1.2 本部町役場※=1.2 沖縄市美里※=1.2 宜野座村宜野座※=1.1 西原町与那城※=1.1 うるま市みどり町※=1.1 うるま市与那城饒辺※=1.1 久米島町謝名堂=1.1 名護市豊原=1.0 八重瀬町東風平※=1.0 南城市知念久手堅※=1.0 与那原町上与那原※=0.9 南風原町兼城※=0.9 うるま市与那城平安座※=0.9 宜野湾市野嵩※=0.9 渡名喜村渡名喜※=0.8 渡嘉敷村渡嘉敷※=0.7 那覇市樋川=0.7 那覇空港=0.6 伊平屋村我喜屋=0.6 名護市宮里=0.5 読谷村座喜味=0.5 鳥取県 1 鳥取市吉方=0.7 広島県 1 呉市安浦町※=1.0 大崎上島町東野※=0.9 安芸高田市向原町※=0.9 三原市円一町=0.7 尾道市向島町※=0.7 呉市川尻町※=0.7 大竹市小方※=0.7 府中町大通り※=0.7 世羅町西上原※=0.6 安芸高田市向原町長田※=0.6 三原市本郷南※=0.5 香川県 1 土庄町甲=1.2 高松市扇町※=0.7 愛媛県 1 伊方町湊浦※=1.3 西予市明浜町※=1.0 高知県 1 黒潮町佐賀※=1.2 高知市本町=1.0 高知市丸ノ内※=0.9 宿毛市桜町※=0.9 山口県 1 周防大島町東和総合支所※=0.6 周防大島町久賀※=0.5				
58	13 17 40	茨城県南部 36° 04.7' N 140° 00.1' E 66km M: 3.3 茨城県 1 かすみかがうら市上土田※=0.6 笠間市石井※=0.6 城里町小勝※=0.6 石岡市柿岡=0.6 筑西市門井※=0.5 土浦市常名=0.5 水戸市内原町※=0.5 栃木県 1 佐野市高砂町※=1.3 宇都宮市明保野町=1.0 栃木市大平町富田※=0.8 小山市神鳥谷※=0.7 真岡市石島※=0.7 下野市笹原※=0.7 佐野市中町※=0.7 栃木市旭町=0.6 真岡市田町※=0.5 栃木市岩舟町静※=0.5 佐野市葛生東※=0.5 群馬県 1 板倉町板倉=1.4				
59	13 20 16	熊本県天草・芦北地方 32° 15.9' N 130° 30.3' E 5km M: 2.2 熊本県 1 芦北町芦北=0.6				
60	13 21 57	詳細不明 東京都 1 小笠原村父島三日月山=0.5				
61	13 22 02	青森県東方沖 40° 54.8' N 141° 49.5' E 69km M: 3.1 青森県 1 階上町道仏※=1.1 八戸市湊町=0.7 東通村砂子又沢内※=0.7				
62	14 04 15	鹿児島県薩摩地方 32° 14.7' N 130° 17.8' E 10km M: 2.7 熊本県 1 水俣市陣内※=0.9 鹿児島県 1 長島町鷹巣※=0.7 長島町獅子島※=0.6				
63	14 06 43	岩手県沖 40° 22.6' N 142° 15.7' E 41km M: 3.3 青森県 1 階上町道仏※=0.5				
64	14 12 24	奄美大島近海 27° 50.8' N 129° 49.0' E 43km M: 3.8 鹿児島県 1 奄美市笠利町里※=0.7				
65	14 22 15	長野県南部 35° 52.4' N 137° 42.3' E 10km M: 2.1 長野県 1 木曽町新開※=0.8 木曽町日義※=0.5				
66	14 22 23	十勝地方中部 42° 45.5' N 143° 25.3' E 107km M: 4.0 北海道 3 浦幌町桜町※=2.5 2 豊頃町茂岩本町※=2.2 帯広市東6条※=1.8 十勝池田町西1条※=1.8 新得町2条※=1.8 十勝大樹町生花※=1.8 本別町向陽町※=1.6 釧路市音別町中園※=1.6 1 帯広市東4条=1.4 本別町北2丁目=1.4 更別村更別※=1.4 幕別町本町※=1.2 音更町元町※=1.2 中札内村東2条※=1.2 十勝清水町南4条=1.2 根室市厚床※=1.2 幕別町忠類錦町※=1.1 芽室町東2条※=1.1 鹿追町東町※=1.0 広尾町並木通=1.0 足寄町南1条※=1.0 釧路市音別町尺別=0.9 釧路市阿寒町中央※=0.9 釧路町別保※=0.9 標茶町塘路※=0.9 弟子屈町弟子屈※=0.9 根室市落石東※=0.9 浦河町築地※=0.8 土幌町土幌※=0.8 白糠町西1条※=0.8 安平町早来北進※=0.8 十勝大樹町東本通※=0.8 鶴居村鶴居東※=0.7 広尾町白樺通=0.7 別海町常盤=0.7 幕別町忠類明和=0.7 安平町追分柏が丘※=0.7 浦河町潮見=0.6 えりも町目黒※=0.6 新ひだか町静内山手町=0.5 上土幌町清水谷※=0.5				
67	15 01 30	千葉県東方沖 35° 38.1' N 140° 40.0' E 50km M: 3.6 茨城県 2 稲敷市須賀津※=1.6				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県	1 潮来市辻＊=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 稲敷市伊佐津＊=1.0 稲敷市結佐＊=0.9 潮来市堀之内=0.8 茨城鹿嶋市宮中＊=0.8 稲敷市江戸崎甲＊=0.6 2 香取市仁良＊=2.0 旭市南堀之内＊=1.8 匝瑳市今泉＊=1.7 香取市役所＊=1.6 山武市松尾町富士見台=1.6 旭市高生＊=1.5 山武市殿台＊=1.5 山武市松尾町五反田＊=1.5 1 旭市ニ＊=1.4 匝瑳市八日市場ハ＊=1.4 山武市蓮沼ニ＊=1.4 山武市埴谷＊=1.4 成田市松子＊=1.4 香取市岩部＊=1.3 横芝光町栗山＊=1.3 多古町多古=1.3 山武市蓮沼ハ＊=1.3 香取市佐原諏訪台＊=1.3 芝山町小池＊=1.2 成田国際空港=1.2 東金市日吉台＊=1.2 香取市佐原平田=1.1 旭市萩園＊=1.1 成田市役所＊=1.1 東庄町笹川＊=1.1 一宮町一宮=1.0 成田市名古屋=1.0 神崎町神崎本宿＊=1.0 横芝光町宮川＊=0.9 東金市東新宿=0.9 千葉中央区都町＊=0.8 長南町総合グラウンド=0.8 長南町長南＊=0.8 大網白里市大網＊=0.7 銚子市小畑新町=0.6 市原市姉崎＊=0.5			
68	15 02 59	岐阜県飛騨地方 岐阜県	36° 03.3′ N	137° 34.4′ E	8km	M: 2.4 1 高山市高根町＊=1.1
69	15 03 31	和歌山県北部 和歌山県	34° 08.5′ N	135° 08.9′ E	5km	M: 2.2 1 海南市下津＊=0.8 有田市初島町＊=0.6
70	16 01 38	埼玉県北部 群馬県 埼玉県	36° 06.4′ N	139° 41.2′ E	85km	M: 3.2 1 伊勢崎市西久保町＊=0.8 渋川市吹屋＊=0.8 前橋市粕川町＊=0.7 伊勢崎市東町＊=0.6 桐生市元宿町＊=0.6 桐生市黒保根町＊=0.6 沼田市利根町＊=0.6 板倉町板倉=0.5 邑楽町中野＊=0.5 1 東松山市松葉町＊=0.7 滑川町福田＊=0.7 本庄市児玉町=0.6 加須市大利根＊=0.5
71	16 06 35	青森県東方沖 青森県 岩手県	40° 41.9′ N	142° 39.3′ E	26km	M: 4.0 1 東北町上北南＊=0.5 1 盛岡市薮川＊=0.7
72	16 15 33	岩手県内陸南部 秋田県	39° 01.8′ N	140° 52.8′ E	8km	M: 3.1 1 東成瀬村樺川＊=0.5
73	17 00 25	福島県沖 福島県	37° 10.4′ N	141° 23.3′ E	47km	M: 4.3 3 檜葉町北田＊=3.1 福島広野町下北迫大谷地原＊=2.9 富岡町本岡＊=2.9 2 いわき市三和町＊=2.4 双葉町両竹＊=2.4 相馬市中村＊=2.3 白河市新白河＊=2.3 大熊町野上＊=2.2 田村市大越町＊=2.1 郡山市湖南町＊=2.0 浪江町幾世橋=2.0 天栄村下松本＊=1.9 いわき市平四ツ波＊=1.9 泉崎村泉崎＊=1.9 田村市船引町=1.9 須賀川市岩瀬支所＊=1.9 田村市都路町＊=1.9 国見町藤田＊=1.8 玉川村小高＊=1.8 川内村上川内早渡＊=1.8 田村市常葉町＊=1.8 小野町中通＊=1.8 小野町小野新町＊=1.8 葛尾村落合落合＊=1.8 川内村下川内=1.7 田村市滝根町＊=1.7 川俣町五百田＊=1.7 中島村滑津＊=1.7 二本松市金色＊=1.7 福島広野町下北迫苗代替＊=1.7 棚倉町棚倉中居野=1.6 浅川町浅川＊=1.6 福島伊達市霊山町＊=1.6 二本松市油井＊=1.6 白河市大信＊=1.6 いわき市平梅本＊=1.6 南相馬市小高区＊=1.6 福島伊達市梁川町＊=1.5 須賀川市八幡山＊=1.5 大玉村南小屋=1.5 白河市表郷＊=1.5 平田村永田＊=1.5 西郷村熊倉＊=1.5 飯館村伊丹沢＊=1.5 須賀川市八幡町＊=1.5 1 鏡石町不時沼＊=1.4 石川町長久保＊=1.4 古殿町松川新桑原＊=1.4 いわき市錦町＊=1.4 南相馬市鹿島区栴窪=1.4 南相馬市鹿島区西町＊=1.4 本宮市白岩＊=1.3 川内村上川内小山平＊=1.3 矢祭町戸塚＊=1.3 南相馬市原町区高見町＊=1.3 白河市郭内=1.3 大玉村玉井＊=1.3 本宮市本宮＊=1.3 新地町谷地小屋＊=1.2 南相馬市原町区三島町=1.2 二本松市針道＊=1.2 福島伊達市月館町＊=1.2 猪苗代町千代田＊=1.2 福島市飯野町＊=1.2 いわき市小名浜=1.2 郡山市開成＊=1.2 須賀川市長沼支所＊=1.1 矢祭町東館＊=1.1 郡山市朝日=1.1 桑折町東大隅＊=1.1 福島市五老内町＊=1.1 白河市東＊=1.0 福島市桜木町＊=1.0 福島伊達市前川原＊=1.0 古殿町松川横川=0.9 南相馬市原町区本町＊=0.9 福島市松木町=0.9 福島伊達市保原町＊=0.8 塙町塙＊=0.8 天栄村湯本支所＊=0.6 猪苗代町城南=0.6 三春町大町＊=0.6 宮城県 2 岩沼市桜＊=1.6 山元町浅生原＊=1.6 1 宮城川崎町前川＊=1.4 蔵王町円田＊=1.3 大河原町新南＊=1.2 柴田町船岡=1.2 名取市増田＊=1.1 角田市角田＊=1.0 石巻市桃生町＊=1.0 塩竈市旭町＊=0.9 宮城加美町中新田＊=0.8 白石市亘理町＊=0.8 仙台空港=0.8 亘理町下小路＊=0.8 仙台若林区遠見塚＊=0.8 仙台泉区将監＊=0.8 登米市中田町=0.7 大崎市松山＊=0.7 丸森町上滝=0.7 七ヶ宿町関＊=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 大崎市田尻＊=0.7 栃木県 2 那須町寺子＊=1.5 1 栃木那珂川町小川＊=1.2 大田原市湯津上＊=1.0 宇都宮市明保野町=1.0 那須烏山市中央=1.0 芳賀町祖母井＊=0.9 宇都宮市中里町＊=0.8 茂木町茂木＊=0.8 栃木那珂川町馬頭＊=0.7 真岡市石島＊=0.6 真岡市田町＊=0.5 大田原市黒羽田町=0.5 山形県 1 米沢市アルカディア=0.7 米沢市林泉寺＊=0.6 茨城県 1 日立市助川小学校＊=1.4 大子町池田＊=1.4 常陸太田市大中町＊=1.3 笠間市石井＊=1.3 水戸市内原町＊=1.2 常陸大宮市山方＊=1.2 城里町小勝＊=1.2 日立市十王町友部＊=1.1 東海村東海＊=1.1 常陸大宮市北町＊=1.1 常陸大宮市上小瀬＊=1.1 高萩市安良川＊=1.0 常陸大宮市野口＊=1.0 北茨城市磯原町＊=1.0 土浦市常名=1.0 水戸市千波町＊=0.9 水戸市栗崎町＊=0.9 笠間市笠間＊=0.9 筑西市門井＊=0.9 桜川市岩瀬＊=0.9 常陸太田市町屋町=0.9 常陸太田市高柿町＊=0.8 城里町石塚＊=0.8 北茨城市中郷町＊=0.8 ひたちなか市南神敷台＊=0.8 笠間市中央＊=0.7 日立市役所＊=0.7 桜川市羽田＊=0.7 水戸市金町=0.7 常陸大宮市高部＊=0.7 ひたちなか市東石川＊=0.6 石岡市柿岡=0.6 笠間市下郷＊=0.6 高萩市本町＊=0.6 稲敷市江戸崎甲＊=0.5 小美玉市小川＊=0.5 小美玉市堅倉＊=0.5 城里町阿波山＊=0.5 常陸太田市町田町＊=0.5 取手市寺田＊=0.5

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
74	17 00 36	茨城県沖 茨城県 1 高萩市安良川※=0.5	36° 26.8' N	140° 59.7' E	45km	M: 3.3
75	17 15 59	天草灘 鹿児島県 1 薩摩川内市上甕町※=1.2	32° 00.8' N	129° 42.3' E	11km	M: 3.3
76	17 18 00	宮城県北部 岩手県 3 一関市室根町※=2.9 2 一関市藤沢町※=2.4 平泉町平泉※=2.3 住田町世田米※=2.2 矢巾町南矢幅※=2.2 奥州市江刺※=2.2 奥州市胆沢※=2.2 北上市相去町※=2.2 一関市千厩町※=2.2 一関市東山町※=2.2 奥州市水沢大鐘町=2.1 大船渡市猪川町=2.1 大船渡市大船渡町=2.1 奥州市衣川※=2.0 西和賀町沢内川舟※=2.0 釜石市中妻町※=2.0 遠野市青笹町※=1.9 釜石市只越町=1.8 盛岡市薮川※=1.8 北上市柳原町=1.8 奥州市水沢佐倉河※=1.8 陸前高田市高田町※=1.7 盛岡市山王町=1.7 花巻市大迫町=1.7 金ヶ崎町西根※=1.7 一関市大東町=1.7 盛岡市渋民※=1.6 山田町大沢※=1.6 普代村銅屋※=1.6 遠野市宮守町※=1.6 花巻市材木町※=1.6 一関市花泉町※=1.6 花巻市東和町※=1.6 紫波町紫波中央駅前※=1.5 大船渡市盛町※=1.5 1 山田町八幡町=1.4 八幡平市田頭※=1.4 花巻市石鳥谷町※=1.4 西和賀町川尻※=1.4 奥州市前沢※=1.4 滝沢市鶴飼※=1.3 宮古市区界※=1.3 宮古市田老※=1.3 花巻市大迫総合支所※=1.2 西和賀町沢内太田※=1.2 一関市川崎町※=1.2 盛岡市馬場町※=1.1 八幡平市大更=1.0 宮古市川井※=1.0 宮古市鉾ヶ崎=0.9 宮古市五月町※=0.9 野田村野田※=0.9 葛巻町葛巻元木=0.8 田野畑村田野畑=0.8 一関市竹山町※=0.8 久慈市枝成沢=0.8 宮古市茂市※=0.8 久慈市川崎町=0.7 岩手町五日市※=0.7 大槌町小鍬※=0.7 九戸村伊保内※=0.7 雫石町千刈田=0.7 久慈市長内町※=0.6 岩手野郎町種市=0.5 宮城県 3 南三陸町志津川=3.4 気仙沼市赤岩=3.0 石巻市桃生町※=2.6 2 気仙沼市笹が陣※=2.4 気仙沼市唐桑町※=2.4 涌谷町新町裏=2.4 登米市豊里町※=2.4 亘理町下小路※=2.4 塩竈市旭町※=2.4 石巻市泉町=2.3 石巻市大街道南※=2.3 石巻市北上町※=2.3 大崎市古川大崎=2.3 登米市登米町※=2.2 南三陸町歌津※=2.2 栗原市一迫※=2.1 登米市中田町=2.1 仙台青葉区作並※=2.1 登米市東和町※=2.1 東松島市矢本※=2.1 色麻町四竈※=2.0 大崎市田尻※=2.0 大崎市鳴子※=1.9 栗原市栗駒=1.9 石巻市相野谷※=1.9 岩沼市桜※=1.9 登米市米山町※=1.9 仙台青葉区大倉=1.9 栗原市高清水※=1.9 宮城加美町中新田※=1.8 仙台区区将監※=1.8 登米市迫町※=1.8 登米市津山町※=1.8 栗原市花山※=1.8 栗原市瀬峰※=1.8 名取市増田※=1.8 気仙沼市本吉町津谷※=1.8 大崎市鹿島台※=1.7 登米市南方町※=1.7 石巻市前谷地※=1.7 登米市石越町※=1.7 宮城川崎町前川※=1.7 東松島市小野※=1.7 松島町高城=1.7 大崎市古川三日町=1.7 宮城加美町小野田※=1.6 大崎市古川旭※=1.6 大崎市松山※=1.6 気仙沼市本吉町西川内=1.6 角田市角田※=1.6 栗原市若柳※=1.6 仙台区宮城野区苦竹※=1.6 宮城美里町木間塚※=1.5 栗原市鶯沢※=1.5 石巻市鮎川浜※=1.5 栗原市築館※=1.5 1 宮城美里町北浦※=1.4 石巻市雄勝町※=1.4 利府町利府※=1.4 大郷町粕川※=1.4 栗原市金成※=1.3 仙台北空港=1.3 蔵王町円田※=1.3 仙台区宮城野区五輪=1.3 石巻市大瓜=1.3 仙台区林区遠見塚※=1.2 大崎市岩出山※=1.2 宮城加美町宮崎※=1.2 女川町女川浜※=1.2 柴田町船岡=1.2 丸森町鳥屋※=1.2 仙台北白区山田※=1.1 仙台青葉区雨宮※=1.1 多賀城市中央※=1.1 仙台青葉区落合※=1.1 大河原町新南※=1.1 大衡村大衡※=1.1 栗原市志波姫※=1.1 七ヶ浜町東宮浜※=1.0 村田町村田※=0.8 丸森町上滝=0.7 白石市亘理町※=0.7 富谷市富谷※=0.7 青森県 2 階上町道仏※=1.8 1 八戸市南郷※=1.0 青森南部町苦米地※=1.0 五戸町古館=0.7 八戸市湊町=0.7 八戸市内丸※=0.6 秋田県 2 大仙市高梨※=2.1 大仙市大曲花園町※=2.0 横手市大雄※=1.9 大仙市刈和野※=1.6 湯沢市川連町※=1.5 1 横手市雄物川町今宿=1.4 秋田美郷町六郷東根=1.4 東成瀬村田子内※=1.3 大仙市神宮寺※=1.3 仙北市西木町上桧木内※=1.2 湯沢市佐竹町※=1.2 湯沢市沖鶴=1.1 湯沢市皆瀬※=1.1 大仙市北長野※=1.1 仙北市角館町東勝楽丁=1.1 横手市中央町※=1.0 横手市大森町※=1.0 仙北市角館町小勝田※=1.0 羽後町西馬音内※=1.0 秋田市雄和新波※=1.0 東成瀬村椿川※=0.9 大仙市南外※=0.9 大仙市太田町太田※=0.9 秋田市河辺和田※=0.9 横手市安田柳堤地内※=0.8 横手市増田町増田※=0.8 秋田美郷町土崎※=0.8 横手市平鹿町浅舞※=0.8 横手市十字町※=0.7 横手市山内土淵※=0.7 湯沢市寺沢※=0.7 仙北市田沢湖生保内上清水※=0.6 秋田市雄和女米木=0.6 大仙市協和境唐松岳※=0.5 由利本荘市鳥海町伏見※=0.5 福島県 2 田村市大越町※=1.7 相馬市中村※=1.6 福島伊達市霊山町※=1.5 1 国見町藤田※=1.4 双葉町両竹※=1.4 飯館村伊丹沢※=1.4 南相馬市原町区三島町=1.4 二本松市針道※=1.3 川俣町五百田※=1.3 いわき市三和町=1.3 南相馬市鹿島区西町※=1.3 玉川村小高※=1.2 田村市都路町※=1.2 田村市滝根町※=1.2 檜葉町北田※=1.2 新地町谷地小屋※=1.2 南相馬市鹿島区栃窪=1.2 南相馬市原町区高見町※=1.2 川内村上川内早渡※=1.1 浪江町幾世橋=1.1 南相馬市小高区※=1.1 平田村永田※=1.0 田村市船引町=1.0 富岡町本岡※=1.0 二本松市油井※=1.0 南相馬市原町区本町※=1.0 福島伊達市梁川町※=0.9 福島伊達市保原町※=0.9 本宮市本宮※=0.9 福島市松木町=0.9 福島市桜木町※=0.9 福島市五老内町※=0.9 川内村下川内=0.9 小野町中通※=0.9 田村市常葉町※=0.9 本宮市白岩※=0.8 須賀川市八幡山※=0.8 福島広野町下北迫大谷地原※=0.8 須賀川市岩瀬支所※=0.8 川内村上川内小山平※=0.8 天栄村下松本※=0.7 棚倉町棚倉中居野=0.7 葛尾村落合落合※=0.7 小野町小野新町※=0.7 浅川町浅川※=0.6 福島伊達市月館町※=0.6 大熊町野上※=0.6 いわき市平四ツ波※=0.6 郡山市朝日=0.5 郡山市湖南町※=0.5 白河市新白河※=0.5 山形県 1 河北町谷地=1.1 天童市老野森※=1.0 中山町長崎※=1.0 尾花沢市若葉町※=1.0 最上町向町※=0.9 東根市中央※=0.9 大蔵村肘折※=0.8 村山市中央※=0.8 山辺町緑ヶ丘※=0.8 河北町役場※=0.8 戸沢村古口※=0.7 上山市河崎※=0.7 大蔵村清水※=0.6 舟形町舟形※=0.5 大石町緑町※=0.5 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.6 笠間市石井※=0.6	38° 57.9' N	141° 36.8' E	78km	M: 4.7
77	18 22 39	茨城県沖 茨城県 1 日立市助川小学校※=0.7 ひたちなか市南神敷台※=0.5	36° 12.7' N	141° 00.1' E	45km	M: 3.2

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
78	19 14 19	千葉県北西部 千葉県 2 千葉県中央区中央港=2.1 千葉県中央区都町*=1.8 船橋市湊町*=1.7 千葉花見川区花島町*=1.6 千葉県中央区千葉市役所*=1.6 千葉緑区おゆみ野*=1.5 1 千葉稲毛区園生町*=1.4 長南町長南*=1.2 千葉美浜区稲毛海岸*=1.2 市原市姉崎*=1.2 浦安市日の出=1.2 千葉美浜区ひび野=1.1 千葉若葉区小倉台*=1.1 習志野市鷺沼*=1.0 長南町総合グラウンド=1.0 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.0 東金市日吉台*=1.0 八千代市大和田新田*=0.9 山武市埴谷*=0.8 東金市東新宿=0.8 白井市復*=0.8 君津市久留里市場*=0.7 埼玉県 1 草加市中央*=0.7 東京都 1 東京北区神谷*=1.0 東京江戸川区船堀*=1.0 東京渋谷区本町*=0.9 東京足立区伊興*=0.9 東京千代田区大手町=0.9 東京世田谷区三軒茶屋*=0.9 東京足立区神明南*=0.8 東京江戸川区鹿骨*=0.8 東京北区西ヶ原*=0.8 東京大田区本羽田*=0.7 東京江戸川区中央=0.7 東京中央区勝どき*=0.7 東京港区海岸=0.7 東京品川区平塚*=0.6 東京杉並区桃井*=0.6 東京目黒区中央町*=0.6 調布市西つつじヶ丘*=0.6 東京葛飾区金町*=0.6 東京品川区北品川*=0.5 東京新宿区上落合*=0.5 東京世田谷区成城*=0.5 東京江東区越中島*=0.5 神奈川県 1 横浜港北区日吉本町*=1.0 川崎川崎区中島*=0.6	35° 37.2' N 140° 07.0' E 68km M: 3.6			
79	19 21 05	国後島付近 北海道 2 根室市牧の内*=1.7 1 根室市瑤瑤瑠*=1.4 根室市厚床*=1.0 根室市落石東*=0.9 別海町常盤=0.7	43° 24.1' N 145° 43.9' E 72km M: 3.8			
80	20 03 00	宮城県沖 岩手県 1 一関市室根町*=1.4 一関市千厩町*=1.1 陸前高田市高田町*=1.1 大船渡市猪川町=1.0 大船渡市大船渡町=0.9 一関市大東町=0.8 一関市東山町*=0.8 奥州市胆沢*=0.7 一関市藤沢町*=0.6 釜石市中妻町*=0.6 住田町世田米*=0.6 宮城県 1 登米市東和町*=0.9 気仙沼市笹が陣*=0.6	38° 56.1' N 141° 59.0' E 54km M: 3.7			
81	20 10 27	茨城県沖 茨城県 2 水戸市金町=1.5 1 水戸市千波町*=1.2 東海村東海*=1.2 常陸大宮市野口*=1.2 水戸市内原町*=1.1 常陸大宮市上小瀬*=1.1 ひたちなか市東石川*=1.1 日立市助川小学校*=1.0 常陸太田市高柿町*=1.0 水戸市栗崎町*=1.0 城里町小勝*=1.0 土浦市常名=1.0 笠間市石井*=0.9 常陸大宮市北町*=0.9 常陸太田市町屋町=0.8 ひたちなか市南神敷台*=0.8 茨城鹿嶋市鉢形=0.8 茨城鹿嶋市宮中*=0.8 桜川市羽田*=0.8 小美玉市堅倉*=0.7 常陸太田市町田町*=0.7 那珂市福田*=0.7 那珂市瓜連*=0.7 筑西市門井*=0.7 常陸大宮市山方*=0.6 かすみがうら市上土田*=0.6 土浦市藤沢*=0.5 稲敷市江戸崎甲*=0.5 鉾田市汲上*=0.5 小美玉市上玉里*=0.5 福島県 1 浅川町浅川*=0.8 棚倉町棚倉中居野=0.7 千葉県 1 千葉中央区都町*=0.7	36° 22.9' N 140° 46.8' E 56km M: 3.7			
82	20 12 56	宮城県南部 福島県 2 大熊町大川原*=1.5 1 田村市船引町=1.3 南相馬市小高区*=1.3 相馬市中村*=1.2 新地町谷地小屋*=1.1 川内村上川内早渡*=1.0 檜葉町北田*=0.9 双葉町両竹*=0.9 田村市常葉町*=0.9 二本松市針道*=0.9 川内村下川内=0.8 田村市都路町*=0.8 南相馬市原町区高見町*=0.8 南相馬市鹿島区西町*=0.8 いわき市三和町=0.8 浪江町幾世橋=0.7 大熊町野上*=0.7 岩手県 1 一関市室根町*=0.5 宮城県 1 亘理町下小路*=1.1 岩沼市桜*=1.0 塩竈市旭町*=0.9 名取市増田*=0.8 大崎市松山*=0.8 仙台空港=0.8 山元町浅生原*=0.8 南三陸町志津川=0.7 気仙沼市赤岩=0.5	37° 58.0' N 140° 41.3' E 104km M: 3.8			
83	20 17 45	奄美大島近海 鹿児島県 1 奄美市名瀬港町=1.0 奄美市名瀬幸町*=0.5	28° 23.3' N 129° 25.9' E 20km M: 2.9			
84	21 10 31	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市藤沢町*=0.8 一関市千厩町*=0.7 一関市室根町*=0.5 1 石巻市桃生町*=1.3 石巻市北上町*=1.0	38° 20.9' N 142° 15.0' E 31km M: 4.2			
85	21 23 01	十勝沖 北海道 2 十勝池田町西 1 条*=1.9 十勝大樹町生花*=1.9 浜中町茶内*=1.8 幕別町本町*=1.7 浦幌町桜町*=1.7 1 広尾町並木通=1.4 標津町北 2 条*=1.4 別海町本別海*=1.3 別海町西春別*=1.2 足寄町南 1 条*=1.2 釧路市阿寒町中央*=1.1 標茶町塘路*=1.1 幕別町忠類錦町*=1.1 別海町常盤=1.1 えりも町目黒*=1.1 弟子屈町弟子屈*=1.1 根室市厚床*=1.1 豊頃町茂岩本町*=1.0 白糠町西 1 条*=1.0 十勝大樹町東本通*=0.9 本別町北 2 丁目=0.9 根室市落石東*=0.9 本別町向陽町*=0.9 釧路市幸町=0.8 広尾町白樺通=0.8 釧路町別保*=0.8 鶴居村鶴居東*=0.7 新得町 2 条*=0.7 根室市瑤瑤瑠*=0.7 函館市泊町*=0.7 浦河町潮見=0.6 帯広市東 6 条*=0.6 根室市牧の内*=0.5 浦河町築地*=0.5 浜中町湯沸=0.5 標茶町川上*=0.5 中標津町養老牛=0.5 青森県 1 東通村砂子又沢内*=1.1	42° 17.5' N 144° 10.7' E 70km M: 4.4			
86	21 23 07	紀伊水道 和歌山県 1 有田市初島町*=1.4 海南市下津*=1.1 有田市箕島=0.5	34° 08.7' N 135° 05.8' E 8km M: 2.6			
87	22 06 13	沖縄本島近海 沖縄県 2 本部町役場*=1.9 今帰仁村仲宗根*=1.6	26° 48.1' N 127° 44.0' E 16km M: 4.0			

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
88	22 06 15	1 恩納村恩納*0.9 国頭村辺土名*0.7 名護市港*0.6 沖縄本島近海 沖縄県 26° 48.3' N 127° 44.3' E 17km M: 4.2 2 今帰仁村仲宗根*1.5 1 本部町役場*1.4 恩納村恩納*1.1 伊江村東江前*0.9 名護市港*0.6 沖縄市美里*0.6 国頭村辺土名*0.5				
89	22 06 37	1 本部町役場*0.9 今帰仁村仲宗根*0.8 伊江村東江前*0.5 沖縄本島近海 沖縄県 26° 48.1' N 127° 44.5' E 16km M: 4.0				
90	22 07 18	1 本部町役場*1.0 沖縄本島近海 沖縄県 26° 48.3' N 127° 44.3' E 15km M: 3.4				
91	22 10 39	熊本県天草・芦北地方 32° 25.8' N 130° 29.7' E 11km M: 4.0 熊本県 3 八代市坂本町*3.0 八代市平山新町=2.8 芦北町田浦町*2.8 芦北町芦北=2.6 上天草市松島町*2.6 上天草市姫戸町*2.6 2 五木村甲*2.1 球磨村渡*2.0 上天草市大矢野町=2.0 八代市泉支所*1.8 八代市松江城町*1.8 上天草市龍ヶ岳町*1.8 天草市有明町*1.8 天草市五和町*1.8 あさぎり町免田東*1.7 宇城市不知火町*1.6 玉名市天水町*1.6 天草市倉岳町*1.6 あさぎり町須恵*1.6 宇土市浦田町*1.6 熊本美里町永富*1.6 和水町江田*1.5 宇城市豊野町*1.5 水俣市牧ノ内*1.5 津奈木町小津奈木*1.5 氷川町島地*1.5 1 八代市千丁町*1.4 宇城市小川町*1.4 熊本西区春日=1.4 八代市泉町=1.3 あさぎり町岡原*1.3 水俣市陣内*1.3 八代市鏡町*1.3 宇城市三角町*1.3 天草市栖本町*1.2 八代市東陽町*1.2 水上村岩野*1.1 山都町浜町*1.1 甲佐町豊内*1.1 湯前町役場*1.1 人吉市西間下町=1.0 人吉市蟹作町*1.0 錦町一武*1.0 熊本高森町高森*1.0 多良木町上球磨消防署*1.0 宇城市松橋町=1.0 玉名市横島町*1.0 山鹿市鹿央町*1.0 菊池市旭志*1.0 御船町御船*1.0 熊本北区植木町*0.9 多良木町多良木=0.9 玉東町木葉*0.9 西原村小森*0.9 山江村山田*0.8 嘉島町上島*0.8 山鹿市菊鹿町*0.8 熊本美里町馬場*0.8 山鹿市鹿北町*0.8 あさぎり町上*0.8 熊本中央区大江*0.7 菊池市隈府*0.7 玉名市中尾*0.7 氷川町宮原*0.7 あさぎり町深田*0.7 熊本南区城南町*0.6 山鹿市鹿本町*0.6 天草市牛深町=0.6 宮崎県 2 椎葉村下福良*1.7 1 延岡市北川町川内名白石*1.4 西都市上の宮*1.4 宮崎都農町役場*1.3 椎葉村総合運動公園*1.2 延岡市北方町卯*1.0 宮崎美郷町田代*1.0 小林市真方=1.0 小林市中原*0.9 川南町川南*0.9 高千穂町寺迫*0.8 日之影町岩井川*0.8 えびの市加久藤*0.7 高千穂町三田井=0.7 国富町本庄*0.6 日向市大王谷運動公園=0.6 高鍋町上江*0.6 綾町南俣健康センター*0.5 日向市東郷町山陰*0.5 諸塚村家代*0.5 小林市野尻町東麓*0.5 新富町上富田=0.5 宮崎市霧島=0.5 福岡県 1 みやま市高田町*1.3 八女市矢部村*0.7 大牟田市昭和町*0.5 佐賀県 1 佐賀市三瀬*0.9 長崎県 1 南島原市口之津町*1.4 雲仙市小浜町雲仙=1.3 南島原市加津佐町*1.1 南島原市北有馬町*0.7 南島原市布津町*0.7 雲仙市雲仙出張所*0.7 南島原市南有馬町*0.6 鹿児島県 1 伊佐市大口島嶽*1.4 さつま町宮之城保健センタ*1.3 さつま町神子*1.2 長島町獅子島*1.1 長島町伊唐島*1.1 薩摩川内市祁答院町*1.1 伊佐市大口山野=1.1 さつま町宮之城屋地=1.0 伊佐市菱刈前目*1.0 長島町鷹巣*0.8 薩摩川内市中郷=0.5 鹿児島出水市野田町*0.5				
92	22 13 08	1 銚子市小畑新町=1.1 銚子市若宮町*1.1 香取市仁良*0.9 旭市萩園*0.8 銚子市川口町=0.6 千葉県東方沖 千葉県 35° 46.0' N 141° 03.3' E 27km M: 3.5				
93	22 14 40	1 東通村砂子又沢内*0.9 階上町道仏*0.7 青森県東方沖 青森県 41° 28.8' N 142° 00.1' E 62km M: 3.5				
94	23 01 13	1 礼文町上泊崎=0.5 礼文町船泊*0.5 北海道北西沖 北海道 45° 29.4' N 140° 58.3' E 4km M: 2.0				
95	23 05 47	2 石垣市美崎町*1.8 石垣市新栄町*1.7 石垣市登野城=1.7 竹富町大原=1.6 宮古島市伊良部長浜*1.5 1 宮古島市下地*1.3 多良間村仲筋*1.2 石垣市伊原間*1.2 宮古島市伊良部国仲=1.1 多良間村塩川=1.1 宮古島市城辺福北=1.1 石垣市平久保=1.0 宮古島市平良狩俣*1.0 竹富町黒島=1.0 宮古島市平良池間=0.9 宮古島市平良西里*0.9 宮古島市平良下里=0.9 竹富町船浮=0.9 石垣市新川=0.8 竹富町波照間=0.7 宮古島市城辺福西*0.7 宮古島北西沖 沖縄県 25° 09.6' N 124° 18.9' E 111km M: 5.0				
96	23 09 10	2 芝山町小池*1.7 九十九里町片貝*1.6 東金市日吉台*1.6 山武市塩谷*1.5 1 旭市南堀之内*1.4 多古町多古=1.4 横芝光町富川*1.4 横芝光町栗山*1.4 山武市松尾町富士見台=1.4 山武市松尾町五反田*1.4 香取市役所*1.3 香取市仁良*1.3 長南町総合グラウンド=1.3 匝瑳市八日市場ハ*1.3 山武市殿台*1.3 匝瑳市今泉*1.3 成田市松子*1.3 山武市蓮沼ニ*1.2 旭市萩園*1.2 東金市東新宿=1.2 成田国際空港=1.2 成田市役所*1.2 香取市佐原諏訪台*1.2 旭市ニ*1.1 長南町長南*1.1 成田市名古屋=1.1 東金市東岩崎*1.1 山武市蓮沼ハ*1.1 四街道市鹿渡*1.1 香取市佐原平田=1.0 千葉佐倉市海隣寺町*1.0 一宮町一宮=1.0 旭市高生*0.9 銚子市小畑新町=0.9 市原市姉崎*0.9 富里市七栄*0.9 神崎町神崎本宿*0.9 八千代市大和田新田*0.8 大網白里市大網*0.7 千葉中央区都町*0.7 千葉中央区中央港=0.6 東庄町笹川*0.6 銚子市川口町=0.6 千葉県東方沖 千葉県 35° 39.6' N 140° 45.0' E 49km M: 4.2				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		茨城県 1 稲敷市須賀津＊=1.3 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 潮来市辻＊=0.9 稲敷市江戸崎甲＊=0.8 稲敷市伊佐津＊=0.8 茨城鹿嶋市宮中＊=0.6 潮来市堀之内=0.5 利根町布川=0.5 神奈川県 1 三浦市城山町＊=1.0 横浜磯子区洋光台＊=0.6				
97	23 10 38	オホーツク海南部 北海道 1 斜里町ウトロ香川＊=0.9	44° 54.4' N	145° 27.5' E	30km	M: 3.6
98	23 15 28	千葉県北西部 千葉県 2 千葉中央区中央港=1.7 船橋市湊町＊=1.6 千葉花見川区花島町＊=1.5 1 千葉中央区都町＊=1.4 千葉稲毛区園生町＊=1.4 市原市姉崎＊=1.4 千葉緑区おゆみ野＊=1.3 長南町総合グラウンド=1.3 長南町長南＊=1.2 千葉中央区千葉市役所＊=1.2 東金市日吉台＊=1.2 千葉若葉区小倉台＊=1.1 君津市久留里市場＊=1.1 東金市東新宿=1.0 八千代市大和田新田＊=1.0 四街道市鹿渡＊=1.0 白井市復＊=1.0 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.0 習志野市鷺沼＊=1.0 山武市埴谷＊=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=0.9 市川市南八幡＊=0.9 東金市東岩崎＊=0.9 木更津市富士見＊=0.9 千葉美浜区ひび野=0.9 一宮町一宮=0.8 九十九里町片貝＊=0.8 山武市蓮沼ニ＊=0.7 大網白里市大網＊=0.6 浦安市日の出=0.5 茨城県 1 坂東市岩井=0.7 埼玉県 1 春日部市粕壁＊=0.8 久喜市青葉＊=0.5 東京都 1 東京北区西ヶ原＊=0.9 東京葛飾区金町＊=0.8 東京江戸川区中央=0.8 八王子市堀之内＊=0.8 東京千代田区大手町=0.7 東京大田区多摩川＊=0.7 調布市西つつじヶ丘＊=0.7 東京江戸川区鹿骨＊=0.6 東京江戸川区船堀＊=0.6 東京杉並区桃井＊=0.6 東京新宿区上落合＊=0.6 東京北区神谷＊=0.6 東京足立区神明南＊=0.6 東京葛飾区立石＊=0.6 東京新宿区百人町＊=0.6 西東京市中町＊=0.5 東京江東区越中島＊=0.5 東京荒川区東尾久＊=0.5 東京中央区勝どき＊=0.5 東京世田谷区成城＊=0.5 町田市森野＊=0.5 国分寺市戸倉=0.5 神奈川県 1 横浜緑区十日市場町＊=1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.0 横浜旭区今宿東町＊=1.0 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.0 横浜青葉区市ヶ尾町＊=1.0 三浦市城山町＊=1.0 横浜港南区丸山台東部＊=0.9 横浜旭区川井宿町＊=0.9 横浜青葉区榎が丘＊=0.9 相模原中央区上溝＊=0.9 横浜鶴見区末広町＊=0.8 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.8 横浜中区山手町=0.7 大和市下鶴間＊=0.7 横須賀市光の丘=0.6 静岡県 1 伊豆市中伊豆グラウンド=0.6 富士宮市野中＊=0.6	35° 38.4' N	140° 09.8' E	67km	M: 3.9
99	23 21 34	福島県会津 福島県 2 檜枝岐村上河原＊=2.0	37° 04.9' N	139° 20.7' E	8km	M: 2.8
100	24 00 08	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.8 上天草市大矢野町=0.5	32° 45.9' N	130° 37.4' E	9km	M: 2.8
101	24 10 23	茨城県南部 茨城県 1 坂東市岩井=1.2 坂東市馬立＊=1.0 坂東市役所＊=0.9 城里町小勝＊=0.9 土浦市常名=0.9 筑西市舟生=0.8 筑西市門井＊=0.8 桜川市岩瀬＊=0.7 桜川市羽田＊=0.7 土浦市藤沢＊=0.7 笠間市下郷＊=0.6 取手市寺田＊=0.6 筑西市海老ヶ島＊=0.6 つくば市小茎＊=0.6 笠間市笠間＊=0.6 水戸市内原町＊=0.6 笠間市石井＊=0.6 稲敷市江戸崎甲＊=0.6 石岡市柿岡=0.5 つくばみらい市福田＊=0.5 小美玉市上玉里＊=0.5 つくば市天王台＊=0.5 栃木県 1 真岡市石島＊=0.9 下野市田中＊=0.9 足利市大正町＊=0.8 宇都宮市明保野町=0.8 下野市笹原＊=0.6 栃木市旭町=0.5 群馬県 1 邑楽町中野＊=1.0 板倉町板倉=0.9 前橋市堀越町＊=0.7 渋川市赤城町＊=0.7 伊勢崎市西久保町＊=0.6 太田市西本町＊=0.6 埼玉県 1 本庄市児玉町=1.0 加須市騎西＊=0.9 宮代町笠原＊=0.9 久喜市下早見=0.6 熊谷市江南＊=0.5 加須市大利根＊=0.5 春日部市金崎＊=0.5 千葉県 1 野田市東宝珠花＊=0.6 八千代市大和田新田＊=0.5	36° 04.9' N	139° 52.7' E	45km	M: 3.4
102	24 18 33	千葉県東方沖 茨城県 1 茨城鹿嶋市鉢形=0.6 茨城鹿嶋市宮中＊=0.6 千葉県 1 銚子市川口町=0.5 銚子市小畑新町=0.5	35° 48.7' N	140° 56.6' E	25km	M: 3.2
103	25 02 49	新潟県下越沖 新潟県 1 村上市府屋＊=0.5	38° 34.6' N	139° 24.9' E	11km	M: 2.4
104	25 04 14	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 41.5' N	130° 42.7' E	17km	M: 2.6
105	25 07 10	宮城県沖 岩手県 1 一関市大東町=1.0 一関市千厩町＊=0.9 一関市藤沢町＊=0.9 大船渡市大船渡町=0.7 住田町世田米＊=0.7 一関市東山町＊=0.6 釜石市中妻町＊=0.6 花巻市大迫町=0.6 一関市室根町＊=0.5 宮城県 1 気仙沼市笹が陣＊=0.8	38° 47.4' N	142° 02.2' E	54km	M: 3.7
106	25 07 14	千葉県東方沖 千葉県 3 長南町長南＊=3.3 勝浦市新宮＊=3.2 館山市長須賀=3.1 鴨川市横渚＊=3.1 長南町総合グラウンド=3.0 勝浦市墨名=2.9 いすみ市岬町長者＊=2.8 いすみ市国府台＊=2.8 鴨川市八色=2.6 館山市北条＊=2.6 大多喜町大多喜＊=2.6 市原市姉崎＊=2.6 睦沢町下之郷＊=2.6 君津市久留里市場＊=2.5 2 東金市日吉台＊=2.4 九十九里町片貝＊=2.4 大網白里市大網＊=2.4 長生村本郷＊=2.3 山武市松尾町富士見台=2.3 山武市埴谷＊=2.3 一宮町一宮=2.3 千葉中央区都町＊=2.3 千葉美浜区ひび野=2.3 山武市松尾町五反田＊=2.2 茂原市道表＊=2.2 横芝光町栗山＊=2.2 千葉若葉区小倉台＊=2.2 山武市殿台＊=2.2 鴨川市内浦=2.2 いすみ市大原＊=2.2 南房総市谷向＊=2.2	35° 08.8' N	140° 34.1' E	58km	M: 5.1

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		横芝光町宮川*=2.1 東金市東新宿=2.1 芝山町小池*=2.1 東金市東岩崎*=2.1 多古町多古=2.1 白子町関*=2.1 長柄町桜谷*=2.1 君津市久保*=2.0 御宿町須賀*=2.0 四街道市鹿渡*=2.0 南房総市白浜町白浜*=2.0 木更津市富士見*=2.0 山武市蓮沼ニ*=2.0 千葉花見川区花島町*=1.9 南房総市上堀=1.9 成田国際空港=1.9 南房総市岩糸*=1.9 浦安市猫実*=1.9 千葉緑区おゆみ野*=1.9 鋸南町下佐久間*=1.9 千葉中央区千葉市役所*=1.8 鴨川市天津*=1.8 浦安市日の出=1.8 千葉中央区中央港=1.8 成田市中台*=1.7 南房総市富浦町青木*=1.7 千葉佐倉市海隣寺町*=1.7 八千代市大和田新田*=1.7 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷*=1.7 八街市八街*=1.7 神崎町神崎本宿*=1.7 千葉稲毛区園生町*=1.7 山武市蓮沼ハ*=1.7 袖ヶ浦市坂戸市場*=1.7 香取市仁良*=1.7 千葉美浜区稲毛海岸*=1.7 香取市役所*=1.6 富津市下飯野*=1.6 旭市南堀之内*=1.6 船橋市湊町*=1.6 野田市鶴奉*=1.6 印西市大森*=1.6 白井市復*=1.6 富里市七栄*=1.6 木更津市太田=1.6 成田市名古屋=1.5 印西市笠神*=1.5 成田市役所*=1.5 旭市萩園*=1.5 市原市国分寺台中央*=1.5 流山市平和台*=1.5 香取市佐原平田=1.5 松戸市西馬橋*=1.5 1 旭市高生*=1.4 匝瑺市八日市場ハ*=1.4 匝瑺市今泉*=1.4 香取市羽根川*=1.4 野田市東宝珠花*=1.4 習志野市鷺沼*=1.4 柏市旭町=1.4 南房総市和田町*=1.4 南房総市千倉町瀬戸*=1.4 香取市佐原諏訪台*=1.3 成田市松子*=1.3 銚子市若宮町*=1.3 市川市南八幡*=1.2 柏市柏*=1.2 印西市美瀬*=1.2 旭市ニ*=1.2 酒々井町中央*=1.1 栄町安食台*=1.1 香取市岩部*=1.1 成田市猿山*=1.1 銚子市小畑新町=1.0 柏市大島田*=1.0 我孫子市我孫子*=1.0 銚子市川口町=0.9 茨城県 2 稲敷市結佐*=1.8 取手市藤代*=1.8 つくばみらい市福田*=1.6 小美玉市上玉里*=1.6 つくばみらい市加藤*=1.6 河内町源清田*=1.5 坂東市岩井=1.5 稲敷市伊佐津*=1.5 取手市井野*=1.5 潮来市辻*=1.5 1 取手市寺田*=1.4 稲敷市須賀津*=1.4 筑西市舟生=1.3 神栖市波崎*=1.3 石岡市柿岡=1.3 潮来市堀之内=1.3 龍ヶ崎市役所*=1.3 神栖市溝口*=1.2 笠間市石井*=1.2 常総市水海道諏訪町*=1.2 阿見町中央*=1.2 利根町布川=1.2 稲敷市江戸崎甲*=1.2 稲敷市役所*=1.2 つくば市小茎*=1.2 茨城鹿嶋市鉢形=1.2 笠間市中央*=1.1 石岡市若宮*=1.1 かすみがうら市大和田*=1.1 美浦村受領*=1.1 小美玉市小川*=1.1 鉾田市汲上*=1.1 常総市新石下*=1.1 土浦市常名=1.1 つくば市天王台*=1.1 土浦市藤沢*=1.1 茨城鹿嶋市宮中*=1.0 牛久市中央*=1.0 行方市麻生*=1.0 桜川市岩瀬*=1.0 小美玉市堅倉*=0.9 水戸市内原町*=0.8 鉾田市鉾田=0.7 ひたちなか市南神敷台*=0.7 埼玉県 2 久喜市青葉*=1.7 春日部市谷原新田*=1.7 吉川市きよみ野*=1.7 宮代町笠原*=1.7 加須市大利根*=1.7 さいたま緑区中尾*=1.6 久喜市菖蒲*=1.6 1 春日部市粕壁*=1.4 春日部市金崎*=1.4 狭山市入間川*=1.4 越谷市越ヶ谷*=1.4 三郷市中央*=1.4 幸手市東*=1.4 さいたま大宮区天沼町*=1.4 草加市中央*=1.3 八潮市中央*=1.3 久喜市下早見=1.3 松伏町松伏*=1.3 久喜市栗橋*=1.3 入間市豊岡*=1.2 志木市中宗岡*=1.2 和光市広沢*=1.2 富士見市鶴馬*=1.2 川口市三ツ和*=1.2 さいたま中央区下落合*=1.2 さいたま浦和区高砂=1.2 さいたま南区別所*=1.2 さいたま北区宮原*=1.1 久喜市鷲宮*=1.1 さいたま大宮区大門*=1.1 白岡市千駄野*=1.1 加須市騎西*=1.1 加須市北川辺*=1.1 鴻巣市吹上富士見*=1.1 川口市青木*=1.0 所沢市北有楽町*=1.0 鴻巣市中央*=1.0 川島町下八ツ林*=1.0 蕨市中央*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 熊谷市大里*=1.0 さいたま見沼区堀崎*=0.9 加須市三俣*=0.9 さいたま桜区道場*=0.9 鴻巣市川里*=0.8 朝霞市本町*=0.8 吉見町下細谷*=0.8 伊奈町小室*=0.8 埼玉三芳町藤久保*=0.8 新座市野火止*=0.8 さいたま浦和区常盤*=0.7 さいたま西区指扇*=0.7 羽生市東*=0.7 行田市本丸*=0.7 川越市旭町=0.7 行田市南河原*=0.7 毛呂山町中央*=0.6 上尾市本町*=0.6 蓮田市黒浜*=0.6 桶川市泉*=0.6 埼玉美里町木部*=0.5 ふじみ野市福岡*=0.5 鶴ヶ島市三ツ木*=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.8 町田市本町田*=1.6 東京国際空港=1.5 東京江戸川区船堀*=1.5 調布市西つつじヶ丘*=1.5 東村山市本町*=1.5 国分寺市本多*=1.5 1 東京新宿区上落合*=1.4 東京大田区本羽田*=1.4 東京足立区神明南*=1.4 八王子市堀之内*=1.4 小平市小川町*=1.4 三宅村坪田=1.4 東京中央区勝どき*=1.3 東京江東区青海=1.3 東京大田区多摩川*=1.3 東京足立区伊興*=1.3 町田市忠生*=1.3 三宅村神着=1.3 国分寺市戸倉=1.2 伊豆大島町波浮港*=1.2 東京利島村東山=1.2 東京港区海岸=1.2 東京江東区越中島*=1.2 東京江東区東陽*=1.2 東京江東区森下*=1.2 東京江東区亀戸*=1.2 東京江東区枝川*=1.2 東京品川区平塚*=1.2 東京世田谷区三軒茶屋*=1.2 東京世田谷区成城*=1.2 東京渋谷区本町*=1.2 東京北区神谷*=1.2 東京荒川区荒川*=1.2 東京荒川区東尾久*=1.2 東京江戸川区中央=1.2 東京中野区中野*=1.1 東京北区西ヶ原*=1.1 東京板橋区高島平*=1.1 東京葛飾区立石*=1.1 東京葛飾区金町*=1.1 東京江戸川区鹿骨*=1.1 小金井市本町*=1.1 日野市神明*=1.1 東京港区白金*=1.1 東大和市中央*=1.1 東京台東区千束*=1.1 新島村本村*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京渋谷区宇田川町*=1.1 神津島村金長=1.0 神津島村役場*=1.0 伊豆大島町差木地=1.0 東京新宿区西新宿=1.0 新島村大原=1.0 東京新宿区百人町*=1.0 東京墨田区東向島*=1.0 東京練馬区東大泉*=1.0 東京足立区千住中居町*=1.0 八王子市石川町*=1.0 東京府中市朝日町*=1.0 昭島市田中町*=1.0 東京大田区大森東*=1.0 東京中央区築地*=1.0 西東京市中町*=1.0 多摩市関戸*=1.0 狛江市和泉本町*=0.9 清瀬市中里*=0.9 東京文京区本郷*=0.9 東京文京区大塚*=0.9 東京世田谷区世田谷*=0.9 東京墨田区横川=0.9 東京世田谷区中町*=0.9 東京墨田区吾妻橋*=0.9 東京千代田区富士見*=0.9 東京千代田区麴町*=0.9 東京杉並区桃井*=0.9 東京杉並区高井戸*=0.9 町田市森野*=0.9 御蔵島村西川=0.8 東京文京区スポーツセンタ*=0.8 東京中央区日本橋兜町*=0.8 東京板橋区板橋*=0.8 東京品川区広町*=0.8 東京目黒区中央町*=0.8 三鷹市野崎*=0.7 東京中野区江古田*=0.7 伊豆大島町元町=0.7 東京豊島区南池袋*=0.7 三宅村阿古*=0.7 八王子市大横町=0.6 東京練馬区光が丘*=0.6 新島村式根島=0.6 東京港区芝公園*=0.5 東京杉並区阿佐谷=0.5 清瀬市中清戸*=0.5 神奈川県 2 横浜戸塚区島が丘*=1.9 横浜港南区丸山台東部*=1.9 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.9 川崎宮前区宮前平*=1.9 湯河原町中央=1.9 横浜中区山手町=1.8 横浜中区山下町*=1.8 三浦市城山町*=1.8 厚木市中町*=1.8 横浜磯子区洋光台*=1.7 横浜港北区日吉本町*=1.7 藤沢市長後*=1.7 小田原市荻窪*=1.7 横浜神奈川区広台太田町*=1.6 横浜中区山吹町*=1.6				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		横浜旭区川井宿町※=1.6 川崎川崎区宮前町※=1.6 横須賀市光の丘=1.6 藤沢市打戻※=1.6 横浜保土ヶ谷区上菅田町※=1.5 横浜金沢区白帆※=1.5 横浜金沢区寺前※=1.5 横浜金沢区金利谷南※=1.5 横浜泉区和泉町※=1.5 海老名市大谷※=1.5 綾瀬市深谷※=1.5 中井町比奈窪※=1.5 真鶴町岩※=1.5 1 横浜鶴見区末広町※=1.4 横浜西区浜松町※=1.4 横浜磯子区磯子※=1.4 横浜戸塚区戸塚町※=1.4 横浜緑区十日市場町※=1.4 横浜緑区鴨居※=1.4 横浜瀬谷区三ツ境※=1.4 横浜青葉区榎が丘※=1.4 川崎川崎区中島※=1.4 川崎宮前区野川※=1.4 藤沢市朝日町※=1.4 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.4 大和市下鶴間※=1.4 清川村煤ヶ谷※=1.4 相模原南区相模大野※=1.4 横浜鶴見区馬場※=1.3 横浜港北区大倉山※=1.3 横浜港北区綱島西※=1.3 横浜旭区大池町※=1.3 横浜旭区今宿東町※=1.3 横浜瀬谷区中屋敷※=1.3 横浜青葉区市ケ尾町※=1.3 横浜都筑区池辺町※=1.3 平塚市浅間町※=1.3 鎌倉市御成町※=1.3 藤沢市大庭※=1.3 秦野市曾屋=1.3 愛川町角田※=1.3 横浜鶴見区鶴見※=1.2 横浜西区みなとみらい※=1.2 横浜中区日本大通※=1.2 横浜戸塚区平戸町※=1.2 横浜旭区上白根町※=1.2 横浜栄区桂台南※=1.2 横浜泉区岡津町※=1.2 川崎川崎区千鳥町※=1.2 川崎中原区小杉陣屋町=1.2 藤沢市辻堂東海岸※=1.2 逗子市桜山※=1.2 松田町松田惣領※=1.2 箱根町湯本※=1.2 相模原緑区橋本※=1.2 川崎幸区戸手本町※=1.1 葉山町堀内※=1.1 南足柄市関本※=1.1 神奈川大井町金子※=1.1 相模原中央区上溝※=1.1 相模原緑区中野※=1.1 川崎高津区下作延※=1.0 横須賀市坂本町※=1.0 横浜南区六ツ川※=1.0 横浜保土ヶ谷区神戸町※=1.0 相模原中央区水郷田名※=1.0 相模原緑区久保沢※=1.0 山北町山北※=0.9 大磯町月京※=0.9 秦野市平沢※=0.9 相模原南区磯部※=0.8 小田原市久野=0.8 川崎多摩区登戸※=0.7 2 伊豆市中伊豆グラウンド=2.2 東伊豆町奈良本※=2.0 1 伊豆の国市長岡※=1.4 富士宮市野中※=1.4 河津町田中※=1.3 熱海市網代=1.2 伊東市大原=1.0 西伊豆町宇久須※=1.0 富士宮市弓沢町=1.0 東伊豆町稲取※=0.9 函南町平井※=0.9 三島市東本町=0.9 富士市吉永※=0.9 伊豆の国市四日町※=0.8 伊豆の国市田京※=0.8 富士市大淵※=0.8 御殿場市萩原=0.8 熱海市泉※=0.7 伊豆市八幡※=0.7 長泉町中土狩※=0.7 藤枝市岡部町岡部※=0.7 沼津市戸田※=0.6 富士市永田町※=0.6 宮城県 1 丸森町鳥屋※=0.6 栃木県 1 益子町益子=1.1 真岡市石島※=1.0 真岡市田町※=0.7 宇都宮市明保野町=0.5 群馬県 1 沼田市白沢町※=0.9 渋川市赤城町※=0.9 邑楽町中野※=0.9 板倉町板倉=0.6 千代田町赤岩※=0.6 前橋市粕川町※=0.5 沼田市西倉内町=0.5 安中市安中※=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.9 山梨県 1 富士川町鯉沢※=1.4 忍野村忍草※=1.3 山中湖村山中※=1.1 都留市上谷※=1.0 上野原市役所※=1.0 西桂町小沼※=1.0 富士河口湖町長浜※=1.0 山梨北杜市長坂町※=0.9 大月市御太刀※=0.9 道志村役場※=0.9 富士河口湖町船津=0.8 甲府市相生※=0.6 甲府市古関町※=0.6 大月市大月=0.6 甲府市飯田=0.5 長野県 1 茅野市葛井公園※=0.8 長野南牧村海ノ口※=0.7 佐久市中込※=0.6				
107	25 14 22	宮城県沖 岩手県 宮城県 1 一関市千厩町※=1.3 一関市室根町※=1.3 一関市東山町※=1.1 住田町世田米※=0.9 一関市藤沢町※=0.7 北上市相去町※=0.7 大船渡市大船渡町=0.7 平泉町平泉※=0.6 1 栗原市栗駒=0.9 登米市中田町=0.8 気仙沼市唐桑町※=0.7 気仙沼市笹が陣※=0.6 大崎市鳴子※=0.5 石巻市北上町※=0.5	38° 48.9' N	141° 48.6' E	65km	M: 3.7
108	25 15 10	石狩地方中部 北海道 1 札幌手稲区前田※=1.0 札幌南区定山溪温泉※=0.8 札幌北区太平※=0.6	43° 02.6' N	141° 13.5' E	7km	M: 2.6
109	26 08 08	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 郡上市八幡町旭※=0.5	35° 48.3' N	136° 57.4' E	9km	M: 2.3
110	26 20 31	福井県嶺北 福井県 1 越前市栗田部※=0.6	35° 56.0' N	136° 19.9' E	6km	M: 2.2
111	26 23 40	釧路沖 北海道 1 根室市厚床※=1.1 根室市牧の内※=1.0 根室市落石東※=0.5 根室市瑠瑠瑠※=0.5	43° 00.6' N	145° 17.2' E	88km	M: 3.6
112	27 02 11	日向灘 宮崎県 2 宮崎市松橋※=1.6 1 宮崎美郷町田代※=1.4 宮崎市霧島=1.4 高鍋町上江※=1.3 川南町川南※=1.2 国富町本庄※=1.2 宮崎市橋通東※=1.1 宮崎市高岡町内山※=1.1 西都市上の宮※=1.1 小林市真方=1.0 高千穂町三田井=1.0 宮崎市田野町体育館※=0.9 西都市聖陵町※=0.9 延岡市北方町卯※=0.7 日南市吾田東※=0.7 宮崎都農町役場※=0.7 綾町南俣健康センター※=0.7 木城町高城※=0.7 新富町上富田=0.7 日向市大王谷運動公園=0.6 門川町本町※=0.6 延岡市天神小路=0.6 都城市菖蒲原=0.6 椎葉村総合運動公園※=0.6 熊本県 1 熊本美里町永富※=0.6 大分県 1 佐伯市蒲江蒲江浦=0.5 鹿児島県 1 錦江町田代支所※=1.1 鹿屋市新栄町=0.6 大崎町仮宿※=0.6	31° 45.4' N	131° 54.9' E	26km	M: 4.3
113	28 03 31	三重県南東沖 宮城県 4 丸森町鳥屋※=3.6 3 角田市角田※=2.9 岩沼市桜※=2.8 松島町高城=2.7 大河原町新南※=2.6 亘理町下小路※=2.5 2 宮城美里町木間塚※=2.4 登米市迫町※=2.3 山元町浅生原※=2.1 仙台空港=2.1 名取市増田※=2.1 大崎市松山※=2.0 大崎市田尻※=2.0 登米市南方町※=2.0 涌谷町新町裏=2.0 蔵王町円田※=2.0 登米市米山町※=2.0 石巻市大街道南※=2.0 東松島市矢本※=1.9 白石市亘理町※=1.9 石巻市桃生町※=1.9 大崎市鹿島台※=1.8 仙台宮城野区苦竹※=1.8 登米市中田町=1.8	33° 09.6' N	137° 23.8' E	393km	M: 6.6

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度 (計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		利府町利府*=1.8 大崎市古川三日町=1.8 大崎市古川旭*=1.7 登米市登米町*=1.7 村田町村田*=1.7 石巻市前谷地*=1.7 宮城川崎町前川*=1.7 石巻市相野谷*=1.6 仙台若林区遠見塚*=1.6 栗原市若柳*=1.6 塩竈市旭町*=1.6 南三陸町志津川=1.5 宮城美里町北浦*=1.5 仙台青葉区落合*=1.5 1 気仙沼市赤岩=1.4 宮城加美町中新田*=1.4 色麻町四竈*=1.4 大崎市古川大崎=1.4 柴田町船岡=1.4 仙台青葉区雨宮*=1.4 仙台宮城野区五輪=1.4 仙台太白区山田*=1.4 大郷町粕川*=1.4 仙台泉区将監*=1.3 石巻市北上町*=1.3 大衡村大衡*=1.3 気仙沼市笹が陣*=1.3 東松島市小野*=1.2 大崎市三本木*=1.2 丸森町上滝=1.2 気仙沼市唐桑町*=1.2 栗原市清水*=1.2 栗原市築館*=1.1 栗原市志波姫*=1.1 栗原市一迫*=1.1 七ヶ浜町東宮浜*=1.1 大和町吉岡*=1.1 宮城加美町小野田*=1.1 登米市石越町*=1.0 宮城加美町宮崎*=0.9 大崎市岩出山*=0.9 富谷市富谷*=0.9 栗原市花山*=0.9 栗原市金成*=0.9 石巻市大瓜=0.8 多賀城市中央*=0.8 栗原市栗駒=0.8 栗原市鶯沢*=0.8 栗原市瀬峰*=0.8 石巻市泉町=0.8 七ヶ宿町関*=0.7 登米市東和町*=0.7 仙台青葉区大倉=0.7 南三陸町歌津*=0.7 気仙沼市本吉町津谷*=0.7 女川町女川浜*=0.6 石巻市鮎川浜*=0.6 3 双葉町両竹*=3.1 浪江町幾世橋=3.1 南相馬市小高区*=3.1 大熊町野上*=2.8 大熊町大川原*=2.8 いわき市平梅本*=2.7 中島村滑津*=2.7 玉川村小高*=2.6 いわき市錦町*=2.6 白河市東*=2.6 檜葉町北田*=2.6 泉崎村泉崎*=2.6 いわき市三和町=2.5 白河市表郷*=2.5 田村市滝根町*=2.5 2 郡山市朝日=2.4 国見町藤田*=2.4 田村市大越町*=2.4 いわき市小名浜=2.4 南相馬市鹿島区西町*=2.4 新地町谷地小屋*=2.3 棚倉町棚倉中居野=2.3 相馬市中村*=2.3 福島広野町下北迫大谷地原*=2.3 富岡町本岡*=2.3 川内村上川内早渡*=2.3 矢吹町一本木*=2.2 白河市新白河*=2.2 浅川町浅川*=2.2 古殿町松川新桑原*=2.2 二本松市針道*=2.2 猪苗代町千代田*=2.2 福島伊達市前川原*=2.2 福島市五老内町*=2.2 鏡石町不時沼*=2.2 郡山市湖南町*=2.1 須賀川市八幡山*=2.1 南相馬市原町区三島町=2.1 南相馬市原町区高見町*=2.1 南相馬市原町区本町*=2.1 須賀川市八幡町*=2.1 福島市松木町=2.1 湯川村清水田*=2.1 福島市桜木町*=2.1 福島広野町下北迫苗代替*=2.1 田村市常葉町*=2.0 いわき市平四ツ波*=2.0 桑折町東大隅*=2.0 郡山市開成*=2.0 矢祭町東館*=2.0 田村市船引町=2.0 須賀川市岩瀬支所*=2.0 白河市郭内=1.9 小野町中通*=1.9 白河市大信*=1.9 川俣町五百田*=1.9 大玉村南小屋=1.9 白河市八幡小路*=1.9 西郷村熊倉*=1.9 石川町長久保*=1.9 川内村上川内小山平*=1.9 二本松市油井*=1.9 葛尾村落合落合*=1.9 会津坂下町市中三番甲*=1.8 川内村下川内=1.8 小野町小野新町*=1.8 須賀川市長沼支所*=1.8 天栄村下松本*=1.8 飯館村伊丹沢*=1.8 猪苗代町城南=1.8 平田村永田*=1.7 福島伊達市保原町*=1.7 福島伊達市霊山町*=1.7 会津美里町新鶴庁舎*=1.7 大玉村玉井*=1.7 棚倉町棚倉館ヶ丘*=1.6 喜多方市塩川町*=1.6 本宮市本宮*=1.6 本宮市白岩*=1.6 矢祭町戸塚*=1.6 南相馬市鹿島区柗笹=1.5 喜多方市御清水*=1.5 1 塙町塙*=1.4 古殿町松川横川=1.4 三春町大町*=1.4 福島市飯野町*=1.3 二本松市金色*=1.3 鮫川村赤坂中野*=1.3 福島伊達市梁川町*=1.3 福島伊達市月館町*=1.3 南会津町田島=1.2 喜多方市松山町*=1.1 下郷町塩生*=1.1 会津美里町本郷庁舎*=1.0 天栄村湯本支所*=1.0 二本松市小浜*=0.9 3 茨城町小堤*=3.0 つくばみらい市加藤*=3.0 笠間市中央*=3.0 小美玉市上玉里*=2.8 石岡市柿岡=2.8 筑西市舟生=2.8 つくばみらい市福田*=2.8 常陸太田市金井町*=2.8 笠間市石井*=2.8 日立市助川小学校*=2.7 桜川市真壁*=2.7 常総市新石下*=2.7 北茨城市中郷町*=2.6 城里町小勝*=2.6 土浦市常名=2.6 水戸市内原町*=2.6 石岡市八郷*=2.6 日立市十王町友部*=2.6 取手市井野*=2.5 河内町源清田*=2.5 東海村東海*=2.5 筑西市門井*=2.5 桜川市岩瀬*=2.5 鉾田市汲上*=2.5 小美玉市小川*=2.5 土浦市藤沢*=2.5 笠間市笠間*=2.5 石岡市若宮*=2.5 2 高萩市安良川*=2.4 笠間市下郷*=2.4 小美玉市堅倉*=2.4 下妻市鬼怒*=2.4 取手市藤代*=2.4 坂東市馬立*=2.4 行方市玉造*=2.4 かすみがうら市上土田*=2.3 神栖市溝口*=2.3 桜川市羽田*=2.3 水戸市千波町*=2.3 常陸大宮市北町*=2.3 常陸大宮市野口*=2.3 那珂市福田*=2.3 茨城古河市下大野*=2.3 利根町布川=2.3 ひたちなか市東石川*=2.2 常陸大宮市山方*=2.2 城里町石塚*=2.2 城里町阿波山*=2.2 土浦市田中*=2.2 下妻市本城町*=2.2 水戸市金町=2.2 つくば市天王台*=2.2 つくば市小茎*=2.2 坂東市岩井=2.2 水戸市栗崎町*=2.2 稲敷市結佐*=2.2 筑西市海老ヶ島*=2.2 常陸太田市高柿町*=2.2 かすみがうら市大和田*=2.2 行方市山田*=2.2 北茨城市磯原町*=2.2 常総市水海道諏訪町*=2.2 ひたちなか市南神敷台*=2.2 取手市寺田*=2.1 高萩市本町*=2.1 潮来市堀之内=2.1 阿見町中央*=2.1 筑西市下中山*=2.1 日立市役所*=2.1 常陸太田市町屋町=2.1 鉾田市鉾田=2.1 鉾田市造谷*=2.1 龍ヶ崎市役所*=2.1 大子町池田*=2.0 常陸大宮市中富町=2.0 美浦村受領*=2.0 境町旭町*=2.0 那珂市瓜連*=2.0 坂東市山*=2.0 稲敷市江戸崎甲*=2.0 稲敷市役所*=2.0 茨城古河市仁連*=2.0 結城市結城*=2.0 行方市麻生*=2.0 坂東市役所*=1.9 稲敷市伊佐津*=1.9 牛久市中央*=1.9 つくば市研究学園*=1.9 茨城鹿嶋市鉢形=1.9 潮来市辻*=1.9 守谷市大柏*=1.9 常陸大宮市上小瀬*=1.8 稲敷市須賀津*=1.8 茨城鹿嶋市宮中*=1.8 常陸太田市町田町*=1.8 五霞町小福田*=1.8 茨城古河市長谷町*=1.8 神栖市波崎*=1.7 常陸太田市大中町*=1.7 八千代町菅谷*=1.6 ひたちなか市山ノ上町=1.6 常陸大宮市高部*=1.6 1 大洗町磯浜町*=1.4 3 宇都宮市明保野町=3.1 高根沢町石末*=2.9 真岡市石島*=2.8 宇都宮市中岡本町*=2.7 鹿沼市晃望台*=2.7 壬生町通町*=2.7 下野市田中*=2.7 下野市笹原*=2.7 大田原市湯津上*=2.6 栃木市岩舟町静*=2.6 野木町丸林*=2.6 益子町益子=2.5 2 那須町寺子*=2.4 栃木市旭町=2.4 栃木市藤岡町藤岡*=2.4 佐野市高砂町*=2.4 真岡市田町*=2.4 栃木さくら市氏家*=2.4 宇都宮市中里町*=2.3 栃木市万町*=2.3 鹿沼市口栗野*=2.3 小山市神鳥谷*=2.3 真岡市荒町*=2.3 栃木市大平町富田*=2.2 栃木市西方町本城*=2.2 佐野市中町*=2.2 佐野市葛生東*=2.2 上三川町しらさぎ*=2.2 市貝町市塙*=2.2 芳賀町祖母井*=2.2 那須塩原市塩原庁舎*=2.1 宇都宮市旭*=2.1 栃木市都賀町家中*=2.1 鹿沼市今宮町*=2.1 小山市中央町*=2.1 茂木町茂木*=2.1 那須烏山市中央=2.1 下野市大松山*=2.1 日光市芹沼*=2.0 宇都宮市塙田*=2.0 佐野市田沼町*=2.0 栃木那珂川町小川*=2.0				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		栃木さくら市喜連川＊=1.9 那須烏山市大金＊=1.9 足利市大正町＊=1.9 矢板市本町＊=1.9 塩谷町玉生＊=1.9 那須塩原市あたご町＊=1.8 日光市足尾町中才＊=1.8 大田原市本町＊=1.8 茂木町北高岡天矢場＊=1.7 日光市瀬川=1.7 日光市鬼怒川温泉大原＊=1.7 日光市湯元＊=1.7 日光市御幸町＊=1.7 那須塩原市鍋掛＊=1.7 日光市黒部＊=1.6 那須塩原市共壘社＊=1.6 栃木那珂川町馬頭＊=1.5 1 日光市藤原庁舎＊=1.4 日光市今市本町＊=1.4 大田原市黒羽田町=1.4 日光市中宮祠=1.3 那須塩原市藁沼=1.3 那須烏山市役所＊=1.3 日光市足尾町通洞＊=1.2 那須塩原市中塩原＊=1.0 3 春日部市谷原新田＊=2.9 春日部市粕壁＊=2.6 さいたま緑区中尾＊=2.6 加須市大利根＊=2.5 2 熊谷市大里＊=2.4 宮代町笠原＊=2.4 鴻巣市吹上富士見＊=2.3 川口市中青木分室＊=2.3 吉川市きよみ野＊=2.3 川島町下八ツ林＊=2.3 加須市北川辺＊=2.2 久喜市下早見=2.2 春日部市金崎＊=2.2 さいたま大宮区天沼町＊=2.2 越谷市越ヶ谷＊=2.1 八潮市中央＊=2.1 富士見市鶴馬＊=2.1 幸手市東＊=2.1 さいたま南区別所＊=2.1 さいたま岩槻区本丸＊=2.1 加須市三俣＊=2.1 行田市南河原＊=2.0 加須市騎西＊=2.0 久喜市青葉＊=2.0 久喜市栗橋＊=2.0 吉見町下細谷＊=2.0 川口市青木＊=2.0 狭山市入間川＊=2.0 草加市中央＊=2.0 志木市中宗岡＊=2.0 杉戸町清地＊=2.0 松伏町松伏＊=2.0 さいたま北区宮原＊=2.0 さいたま中央区下落合＊=2.0 戸田市上戸田＊=1.9 桶川市泉＊=1.9 三郷市中央＊=1.9 伊奈町小室＊=1.9 さいたま見沼区堀崎＊=1.9 さいたま浦和区高砂=1.9 岡崎市千駄野＊=1.9 熊谷市妻沼＊=1.9 行田市本丸＊=1.9 東松山市松葉町＊=1.9 鴻巣市中央＊=1.9 久喜市鷺宮＊=1.9 さいたま桜区道場＊=1.8 久喜市菖蒲＊=1.8 川口市三ツ和＊=1.8 上尾市本町＊=1.8 蕨市中央＊=1.8 新座市野火止＊=1.7 本庄市児玉町=1.7 東松山市市ノ川＊=1.7 埼玉美里町木部＊=1.7 埼玉三芳町藤久保＊=1.6 毛呂山町中央＊=1.6 越生町越生＊=1.6 滑川町福田＊=1.6 さいたま西区指扇＊=1.6 熊谷市江南＊=1.6 所沢市北有楽町＊=1.6 ふじみ野市福岡＊=1.6 朝霞市本町＊=1.6 和光市広沢＊=1.6 羽生市東＊=1.6 北本市本町＊=1.6 鴻巣市川里＊=1.6 鶴ヶ島市三ツ木＊=1.6 入間市豊岡＊=1.5 川越市旭町=1.5 さいたま大宮区大門＊=1.5 蓮田市黒浜＊=1.5 さいたま浦和区常盤＊=1.5 熊谷市宮町＊=1.5 1 深谷市岡部＊=1.4 深谷市川本＊=1.4 深谷市花園＊=1.4 川越市新宿町＊=1.4 坂戸市千代田＊=1.4 嵐山町杉山＊=1.3 ときがわ町桃木＊=1.3 長瀬町野上下郷＊=1.3 熊谷市桜町=1.3 小川町大塚＊=1.2 ふじみ野市大井＊=1.2 深谷市仲町＊=1.2 秩父市近戸町＊=1.1 秩父市熊木町＊=1.1 本庄市本庄＊=1.1 上里町七本木＊=1.1 ときがわ町玉川＊=1.1 所沢市並木＊=1.1 日高市南平沢＊=1.1 秩父市上町=1.1 横瀬町横瀬＊=1.0 小鹿野町小鹿野＊=1.0 鳩山町大豆戸=1.0 東秩父村御堂＊=0.9 埼玉神川町下阿久原＊=0.9 皆野町皆野＊=0.8 長瀬町本野上＊=0.8 小鹿野町役場両神庁舎＊=0.8 寄居町寄居＊=0.8 飯能市名栗＊=0.8 飯能市征矢町＊=0.7 秩父市荒川＊=0.7 秩父市吉田＊=0.6 飯能市双柳＊=0.6 3 市原市姉崎＊=2.6 印西市大森＊=2.6 印西市笠神＊=2.5 木更津市富士見＊=2.5 鴨川市八色=2.5 鴨川市横渚＊=2.5 2 野田市鶴奉＊=2.4 香取市役所＊=2.3 千葉中央区都町＊=2.3 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=2.3 浦安市日の出=2.3 千葉花見川区花島町＊=2.2 千葉美浜区ひび野=2.2 市川市南八幡＊=2.2 船橋市湊町＊=2.2 松戸市西馬橋＊=2.2 柏市旭町=2.2 白井市復＊=2.2 君津市久留里市場＊=2.2 鋸南町下佐久間＊=2.2 南房総市岩糸＊=2.2 東金市日吉台＊=2.1 旭市南堀之内＊=2.1 長南町長南＊=2.1 香取市羽根川＊=2.1 千葉中央区中央港=2.1 成田市中台＊=2.1 柏市柏＊=2.1 流山市平和台＊=2.1 我孫子市我孫子＊=2.1 館山市長須賀=2.1 館山市北条＊=2.1 南房総市谷向＊=2.1 千葉佐倉市海隣寺町＊=2.0 八千代市大和田新田＊=2.0 浦安市猫実＊=2.0 栄町安食台＊=2.0 君津市久保＊=2.0 いすみ市岬町長者＊=2.0 旭市ニ＊=2.0 長南町総合グラウンド=2.0 印西市美瀬＊=1.9 勝浦市墨名=1.9 勝浦市新官＊=1.9 多古町多古=1.9 東庄町笹川＊=1.9 横芝光町栗山＊=1.9 山武市蓮沼ニ＊=1.9 山武市埴谷＊=1.9 千葉中央区千葉市役所＊=1.9 野田市東宝珠花＊=1.9 成田市名古屋=1.9 習志野市鷺沼＊=1.9 成田市役所＊=1.8 柏市大島田＊=1.8 東金市東新宿=1.8 東金市東岩崎＊=1.8 旭市高生＊=1.8 香取市佐原平田=1.8 富津市下飯野＊=1.8 香取市仁良＊=1.8 横芝光町宮川＊=1.8 山武市蓮沼ハ＊=1.8 大網白里市大網＊=1.8 千葉稲毛区園生町＊=1.8 千葉緑区おゆみ野＊=1.8 山武市殿台＊=1.7 山武市松尾町五反田＊=1.7 いすみ市国府台＊=1.7 南房総市千倉町瀬戸＊=1.7 千葉若葉区小倉台＊=1.7 銚子市若宮町＊=1.7 旭市萩園＊=1.7 成田国際空港=1.7 神崎町神崎本宿＊=1.7 芝山町小池＊=1.7 一宮町一宮=1.7 白子町関＊=1.7 匝瑳市今泉＊=1.7 四街道市鹿渡＊=1.7 八街市八街＊=1.7 山武市松尾町富士見台=1.7 富里市七栄＊=1.7 木更津市太田=1.7 市原市国分寺台中央＊=1.6 香取市佐原諏訪台＊=1.6 香取市岩部＊=1.6 酒々井町中央＊=1.6 大多喜町大多喜＊=1.6 茂原市道表＊=1.6 南房総市富浦町青木＊=1.6 千葉美浜区稲毛海岸＊=1.6 九十九里町片貝＊=1.6 成田市松子＊=1.6 睦沢町下之郷＊=1.6 松戸市根本＊=1.5 成田市猿山＊=1.5 長生村本郷＊=1.5 匝瑳市八日市場ハ＊=1.5 1 袖ヶ浦市坂戸市場＊=1.4 いすみ市大原＊=1.4 南房総市白浜町白浜＊=1.4 南房総市和田町＊=1.4 銚子市川口町=1.3 長柄町桜谷＊=1.3 御宿町須賀＊=1.3 南房総市上堀=1.3 銚子市小畑新町=1.2 鴨川市天津＊=1.1 鴨川市内浦=1.0 3 東京千代田区大手町=2.7 東京荒川区荒川＊=2.5 2 東京荒川区東尾久＊=2.4 東京国際空港=2.3 東京北区西ヶ原＊=2.3 東京江戸川区中央=2.3 東京墨田区東向島＊=2.2 東京北区神谷＊=2.2 西東京市中町＊=2.2 東京中央区勝どき＊=2.1 東京江東区森下＊=2.1 東京世田谷区三軒茶屋＊=2.1 東京渋谷区宇田川町＊=2.1 東京足立区神明南＊=2.1 東京足立区千住中居町＊=2.1 東京足立区伊興＊=2.1 東京江戸川区船堀＊=2.1 町田市本町田＊=2.1 東京文京区本郷＊=2.0 東京台東区千束＊=2.0 東京江東区越中島＊=2.0 東京江東区亀戸＊=2.0 東京渋谷区本町＊=2.0 東京葛飾区立石＊=2.0 東京江戸川区鹿骨＊=2.0 調布市西つづじヶ丘＊=2.0 東京港区海岸=1.9 東京港区白金＊=1.9 東京新宿区上落合＊=1.9 東京台東区東上野＊=1.9 東京江東区枝川＊=1.9 東京品川区北品川＊=1.9 東京品川区平塚＊=1.9 東京中野区中野＊=1.9 東京練馬区東大泉＊=1.9 東京葛飾区金町＊=1.9 小平市小川町＊=1.9 東京目黒区中央町＊=1.8 東京大田区本羽田＊=1.8 東京板橋区高島平＊=1.8 東京練馬区光が丘＊=1.8 清瀬市中里＊=1.8 東京千代田区麹町＊=1.8 東京港区南青山＊=1.8 東京新宿区百人町＊=1.8 東京文京区大塚＊=1.8 東京墨田区横川=1.8 東京江東区青海=1.8 東京江東区東陽＊=1.8 八王子市堀之内＊=1.7 町田市忠生＊=1.7 東京千代田区富士見＊=1.7 東京中央区築地＊=1.7 東京中央区日本橋兜町＊=1.7 東京文京区スポーツセンタ＊=1.7 東京墨田区吾妻橋＊=1.7				
		埼玉県				
		千葉県				
		東京都				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		東京大田区多摩川*=1.7 東京世田谷区世田谷*=1.7 東京世田谷区成城*=1.7 東京杉並区桃井*=1.7 東京板橋区相生町*=1.7 東京世田谷区中町*=1.6 東京杉並区高井戸*=1.6 小金井市本町*=1.6 日野市神明*=1.6 東村山市本町*=1.6 国分寺市戸倉=1.6 八王子市石川町*=1.5 東京中野区江古田*=1.5 東村山市美住町*=1.5 東京中野区中央*=1.5 国分寺市本多*=1.5 東大和市中央*=1.5 1 東京港区芝公園*=1.4 東京新宿区西新宿=1.4 東京豊島区南池袋*=1.4 東京足立区中央本町*=1.4 三鷹市野崎*=1.4 東京府中市朝日町*=1.4 昭島市田中町*=1.4 狛江市和泉本町*=1.4 多摩市関戸*=1.4 稲城市東長沼*=1.4 小笠原村母島=1.4 東京品川区広町*=1.3 東京大田区大森東*=1.3 東京杉並区阿佐谷=1.3 東京板橋区板橋*=1.3 武蔵野市吉祥寺東町*=1.3 調布市小島町*=1.3 清瀬市中清戸*=1.3 東京府中市寿町*=1.2 町田市森野*=1.2 瑞穂町箱根ヶ崎*=1.2 青梅市日向和田*=1.2 武蔵野市緑町*=1.2 武蔵村山市本町*=1.1 羽村市緑ヶ丘*=1.1 あきる野市伊奈*=1.1 八王子市大横町=1.1 立川市泉町*=1.1 国立市富士見台*=1.1 東京大田区蒲田*=1.0 新島村大原=1.0 小笠原村父島三日月山=1.0 多摩市鶴牧*=1.0 福生市福生*=0.9 神津島村役場*=0.9 新島村式根島=0.9 三宅村坪田=0.9 小笠原村父島西町=0.9 青梅市東青梅=0.8 新島村本村*=0.8 日の出町平井*=0.7 檜原村本宿*=0.7 神津島村金長=0.7 伊豆大島町波浮港*=0.7 御蔵島村西川=0.7 2 釧路町別保*=1.5 北海道 1 帯広市東4条=0.8 別海町常盤=0.6 標茶町塘路*=0.5 岩手県 2 矢巾町南矢幅*=1.8 普代村銅屋*=1.8 盛岡市薮川*=1.8 滝沢市鶴飼*=1.5 一関市室根町*=1.5 1 釜石市中妻町*=1.4 一関市花泉町*=1.4 一関市千厩町*=1.3 一関市藤沢町*=1.3 奥州市江刺*=1.3 住田町世田米*=1.3 大船渡市大船渡町=1.3 北上市相去町*=1.2 野田村野田*=1.2 奥州市前沢*=1.2 奥州市水沢大鐘町=1.1 宮古市田老*=1.1 八幡平市田頭*=1.1 久慈市川崎町=1.0 奥州市水沢佐倉河*=1.0 花巻市石鳥谷町*=1.0 一関市東山町*=1.0 陸前高田市高田町*=0.9 遠野市青笹町*=0.9 山田町大沢*=0.9 奥州市衣川*=0.9 大船渡市猪川町=0.8 北上市柳原町=0.8 山田町八幡町=0.8 一関市竹山町*=0.8 盛岡市山王町=0.7 八幡平市大更=0.7 大船渡市盛町*=0.7 宮古市五月町*=0.7 久慈市枝成沢=0.6 一関市大東町=0.6 花巻市大迫町=0.5 宮古市川井*=0.5 釜石市只越町=0.5 山形県 2 中山町長崎*=1.9 村山市中央*=1.7 南陽市三間通*=1.6 高畠町高畠*=1.5 上山市河崎*=1.5 1 山辺町緑ヶ丘*=1.4 山形川西町上小松*=1.4 天童市老野森*=1.3 米沢市林泉寺*=1.3 酒田市亀ヶ崎=1.2 最上町向町*=1.2 河北町谷地=1.2 河北町役場*=1.2 山形小国町小国小坂町*=1.2 鶴岡市藤島*=1.1 西川町大井沢*=1.1 山形小国町岩井沢=1.1 米沢市金池*=1.0 三川町横山*=1.0 米沢市アルカディア=1.0 酒田市飛鳥*=1.0 東根市中央*=0.9 米沢市駅前=0.9 飯豊町椿*=0.8 鶴岡市温海川=0.7 群馬県 2 板倉町板倉=2.4 邑楽町中野*=2.3 桐生市黒保根町*=2.2 館林市美園町*=2.1 群馬明和町新里*=2.1 渋川市赤城町*=2.0 大泉町日の出*=2.0 沼田市の白沢町*=1.9 片品村東小川=1.9 館林市城町*=1.9 渋川市吹屋*=1.9 千代田町赤岩*=1.9 桐生市元宿町*=1.8 太田市西本町*=1.8 安中市松井田町*=1.7 吉岡町下野田*=1.7 沼田市の西倉内町=1.6 沼田市の下久屋町*=1.6 前橋市富士見町*=1.6 安中市安中*=1.6 高崎市高松町*=1.5 桐生市新里町*=1.5 伊勢崎市西久保町*=1.5 1 沼田市利根町*=1.4 前橋市粕川町*=1.4 桐生市織姫町=1.4 太田市浜町*=1.4 太田市粕川町*=1.4 太田市大原町*=1.4 渋川市石原*=1.4 藤岡市中栗須*=1.4 甘楽町小幡*=1.4 群馬昭和村糸井*=1.3 前橋市堀越町*=1.3 高崎市吉井町吉井川*=1.3 渋川市北橋町*=1.3 みどり市東町*=1.3 みどり市大間々町*=1.3 高崎市新町*=1.2 伊勢崎市東町*=1.2 太田市新田金井町*=1.2 富岡市七日市=1.2 富岡市妙義町*=1.2 みどり市笠懸町*=1.2 渋川市有馬*=1.1 渋川市伊香保町*=1.1 草津町草津*=1.1 前橋市鼻毛石町*=1.1 高崎市箕郷町*=1.1 伊勢崎市境*=1.1 伊勢崎市今泉町*=1.0 片品村鎌田*=1.0 藤岡市鬼石*=1.0 神流町生利*=1.0 榛東村新井*=0.9 玉村町下新田*=0.9 みなかみ町布施*=0.9 前橋市駒形町*=0.8 前橋市大手町*=0.8 高崎市足門町*=0.8 高崎町下室田*=0.7 群馬高山村中山*=0.7 東吾妻町奥田*=0.7 前橋市昭和町=0.7 渋川市村上*=0.7 みなかみ町後閑*=0.6 東吾妻町本宿*=0.6 神流町神ヶ原*=0.5 群馬上野村川和*=0.5 高崎市倉沢町*=0.5 川場村谷地*=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区広台太田町*=2.2 横浜中区山吹町*=2.2 横浜戸塚区鳥が丘*=2.2 横浜中区山手町=2.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=2.1 横浜港北区日吉本町*=2.1 厚木市下津古久*=2.1 横浜旭区川井宿町*=2.0 横浜緑区十日市場町*=2.0 横浜青葉区市ケ尾町*=2.0 川崎川崎区宮前町*=2.0 厚木市中町*=2.0 横浜港南区丸山台東部*=1.9 横浜青葉区榎が丘*=1.9 川崎川崎区千鳥町*=1.9 川崎中原区小杉町*=1.9 川崎宮前区宮前平*=1.9 川崎宮前区野川*=1.9 藤沢市長後*=1.9 藤沢市辻堂東海岸*=1.9 海老名市大谷*=1.9 横浜区山下町*=1.8 横浜港北区大倉山*=1.8 横浜瀬谷区三ツ境*=1.8 横浜青葉区美しが丘*=1.8 横浜都筑区池辺町*=1.8 二宮町中里*=1.8 横浜鶴見区末広町*=1.7 横浜西区みなとみらい*=1.7 横浜中区日本大通*=1.7 横浜戸塚区戸塚町*=1.7 横浜緑区鴨居*=1.7 横浜泉区和泉町*=1.7 藤沢市打戻*=1.7 相模原中央区水郷田名*=1.7 相模原南区相模大野*=1.7 横浜鶴見区鶴見*=1.6 横浜鶴見区馬場*=1.6 横浜西区浜松町*=1.6 横浜磯子区磯子*=1.6 横浜磯子区洋光台*=1.6 横浜金沢区白帆*=1.6 横浜金沢区釜利谷南*=1.6 横浜旭区上白根町*=1.6 横浜瀬谷区中屋敷*=1.6 横浜栄区小菅ヶ谷*=1.6 横浜泉区岡津町*=1.6 川崎川崎区中島*=1.6 川崎中原区小杉陣屋町=1.6 川崎麻生区片平*=1.6 横須賀市光の丘=1.6 平塚市浅間町*=1.6 藤沢市大庭*=1.6 三浦市城山町*=1.6 清川村煤ヶ谷*=1.6 相模原緑区橋本*=1.6 横浜南区六ツ川*=1.5 藤沢市朝日町*=1.5 横浜金沢区寺前*=1.5 大和市下鶴間*=1.5 綾瀬市深谷*=1.5 横浜港北区綱島西*=1.5 横浜戸塚区平戸町*=1.5 神奈川大井町金子*=1.5 湯河原町中央=1.5 愛川町角田*=1.5 相模原中央区上溝*=1.5 横浜旭区今宿東町*=1.5 1 横浜保土ヶ谷区神戸町*=1.4 横浜旭区大池町*=1.4 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.4 川崎幸区戸手本町*=1.4 秦野市曾屋=1.4 伊勢原市伊勢原*=1.4 中井町比奈窪*=1.4 相模原緑区中野*=1.4 川崎高津区下作延*=1.3 川崎多摩区登戸*=1.3 寒川町宮山*=1.3 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.2 座間市相武台*=1.2 松田町松田惣領*=1.2 川崎麻生区万福寺*=1.1 横須賀市坂本町*=1.1 鎌倉市御成町*=1.1 相模原南区磯部*=1.1 相模原緑区久保沢*=1.1 秦野市平沢*=1.0				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 (計 測 震 度)	緯度	経度	深さ	規模
		新潟県 南足柄市関本*=1.0 逗子市桜山*=0.9 大磯町月京*=0.9 山北町山北*=0.9 横浜栄区桂台南*=0.9 箱根町湯本*=0.8 相模原緑区小淵*=0.5 小田原市久野=0.5 2 燕市秋葉町*=1.9 新潟中央区美咲町=1.9 新潟西区寺尾東*=1.9 三条市西裏館*=1.8 新潟中央区新潟市役所*=1.8 南魚沼市六日町=1.7 加茂市幸町*=1.6 新潟東区下木戸*=1.6 新潟江南区泉町*=1.6 新潟南区白根*=1.6 田上町原ヶ崎新田*=1.5 刈羽村割町新田*=1.5 1 村上市岩船駅前*=1.4 長岡市浦*=1.3 長岡市小島谷*=1.3 三条市新堀*=1.3 燕市分水桜町*=1.2 十日町市松之山*=1.1 見附市昭和町*=1.1 弥彦村矢作*=1.1 阿賀野市姥ヶ橋*=1.1 新潟空港=1.1 長岡市山古志竹沢*=1.0 長岡市寺泊敦ヶ菅根*=1.0 長岡市中之島*=1.0 出雲崎町米田=1.0 燕市吉田西太田*=1.0 五泉市太田*=1.0 新潟西蒲区役所=1.0 新潟西蒲区巻甲*=1.0 関川村下関*=0.9 南魚沼市塩沢庁舎*=0.9 胎内市新和町=0.8 長岡市与板町与板*=0.7 山梨県 2 忍野村忍草*=1.9 山中湖村山中*=1.6 1 甲府市相生*=1.2 上野原市役所*=1.2 甲府市飯田=1.0 甲州市塩山上於曾*=1.0 大月市御太刀*=1.0 山梨北杜市長坂町*=0.9 甲州市塩山下於曾*=0.9 富士吉田市上吉田*=0.9 富士河口湖町船津=0.9 大月市大月=0.7 山梨北杜市健康ランド須玉*=0.6 丹波山村丹波*=0.5 長野県 2 諏訪市湖岸通り=2.3 諏訪市高島*=2.2 佐久市中込*=1.8 長野南牧村海ノ口*=1.8 軽井沢町追分=1.6 御代田町役場*=1.5 1 長野市豊野町豊野*=1.3 茅野市葛井公園*=1.2 中野市豊津*=1.1 軽井沢町長倉*=1.1 原村役場*=1.1 長野市箱清水=1.0 飯綱町芋川*=1.0 佐久市臼田*=1.0 下諏訪町役場*=1.0 上田市築地=0.9 小諸市文化センター*=0.9 長野市大岡*=0.8 坂城町坂城*=0.8 飯綱町牟礼*=0.8 佐久市甲*=0.8 富士見町落合*=0.8 佐久穂町畑*=0.8 南箕輪村役場*=0.8 立科町芦田*=0.7 飯田市高羽町=0.7 長野市戸隠*=0.7 千曲市杭瀬下*=0.7 飯田市大久保町*=0.6 箕輪町中箕輪*=0.6 佐久市下小田切=0.6 東御市大日向*=0.6 北相木村役場*=0.5 中野市三好町*=0.5 東御市県*=0.5 小布施町小布施*=0.5 静岡県 2 伊豆の国市四日町*=2.0 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.3 富士市吉永*=1.3 静岡清水町堂庭*=1.3 伊豆の国市長岡*=1.2 長泉町中土狩*=1.2 東伊豆町奈良本*=1.1 沼津市御幸町*=1.1 沼津市高島本町*=1.0 御殿場市萩原=1.0 浜松西区舞阪町*=1.0 浜松南区江之島町*=1.0 熱海市網代=0.9 伊東市大原=0.9 函南町平井*=0.9 裾野市佐野*=0.9 静岡清水区千歳町=0.9 西伊豆町仁科*=0.8 三島市大社町*=0.8 袋井市新屋=0.8 湖西市吉美*=0.8 浜松西区雄踏*=0.8 焼津市本町*=0.7 静岡葵区追手町県庁*=0.7 掛川市長谷*=0.7 浜松中区元城町*=0.7 浜松浜北区西美蘭*=0.7 磐田市見付*=0.6 磐田市森岡*=0.6 浜松中区高丘東=0.6 伊豆の国市田京*=0.6 御前崎市池新田*=0.5 富士宮市野中*=0.5 青森県 1 階上町道仏*=1.4 八戸市南郷*=1.2 おいらせ町中下田*=1.1 東北町上北南*=1.0 五戸町古館=0.9 おいらせ町上明堂*=0.9 六戸町大落瀬*=0.9 青森南部町苦米地*=0.8 七戸町森ノ上*=0.8 七戸町七戸*=0.6 鶴田町鶴田*=0.5 秋田県 1 横手市大雄*=1.2 横手市中央町*=1.1 由利本荘市西目町沼田*=0.9 井川町北川尻*=0.8 にかほ市平沢*=0.8 横手市大森町*=0.8 仙北市西木町上荒井*=0.8 由利本荘市前郷*=0.7 湯沢市川連町*=0.7 羽後町西馬音内*=0.7 大仙市高梨*=0.7 横手市平鹿町浅舞*=0.6 三種町豊岡*=0.6 横手市増田町増田*=0.5 由利本荘市矢島町矢島町*=0.5 石川県 1 輪島市鳳至町=0.7 福井県 1 福井市豊島=0.7 愛知県 1 田原市福江町=0.6 愛知みよし市三好町*=0.6 滋賀県 1 近江八幡市桜宮町=1.0 彦根市城町=0.8 京都府 1 向日市寺戸町*=0.6 八幡市八幡*=0.6 宇治田原町荒木*=0.5 大阪府 1 大東市新町*=1.3 島本町若山台*=0.7 交野市私部*=0.6 富田林市本町=0.5 奈良県 1 広陵町南郷*=0.7				
114	28 16 41	茨城県南部 栃木県	36° 11.4' N	139° 47.9' E	55km	M: 3.0
		1 宇都宮市明保野町=0.8				
115	28 18 06	沖縄本島近海 沖縄県	26° 48.2' N	127° 44.7' E	15km	M: 4.0
		1 本部町役場*=1.4 今帰仁村仲宗根*=0.9 伊江村東江前*=0.8				
116	28 20 54	日向灘 高知県	32° 37.9' N	132° 15.8' E	32km	M: 3.1
		1 宿毛市桜町*=0.6				
117	29 00 05	奄美大島北西沖 鹿児島県	28° 05.1' N	128° 11.2' E	12km	M: 4.0
		1 天城町平土野*=1.1				
118	29 00 34	千葉県東方沖 茨城県	35° 48.7' N	140° 56.4' E	24km	M: 4.3
		3 神栖市波崎*=2.5 神栖市溝口*=2.5 2 茨城鹿嶋市鉢形=2.4 稲敷市須賀津*=2.2 茨城鹿嶋市宮中*=2.2 潮来市辻*=2.2 鉾田市汲上*=1.9 稲敷市江戸崎甲*=1.9 行方市山田*=1.8 行方市麻生*=1.8 稲敷市結佐*=1.8 潮来市堀之内=1.8 鉾田市鉾田=1.6 美浦村受領*=1.6 小美玉市上玉里*=1.6 土浦市常名=1.5 1 小美玉市堅倉*=1.4 稲敷市伊佐津*=1.4 行方市玉造*=1.4 鉾田市造谷*=1.4 石岡市柿岡=1.3 ひたちなか市南神敷台*=1.3 かすみがうら市大和田*=1.3 日立市助川小学校*=1.3 小美玉市小川*=1.2 取手市寺田*=1.2 つくば市小荃*=1.2 稲敷市役所*=1.2 水戸市内原町*=1.2 土浦市藤沢*=1.2 河内町源清田*=1.1 笠間市石井*=1.1 水戸市栗崎町*=1.1 桜川市羽田*=1.0 龍ヶ崎市役所*=1.0 石岡市若宮*=1.0 石岡市八郷*=0.9 牛久市中央*=0.9 つくば市天王台*=0.9 筑西市門井*=0.9 かすみがうら市上土田*=0.9 水戸市金町=0.9 東海村東海*=0.8 笠間市笠間*=0.8 水戸市千波町*=0.8 土浦市田中*=0.8 つくば市研究学園*=0.8 筑西市舟生=0.7 桜川市岩瀬*=0.7 桜川市真壁*=0.7 利根町布川=0.7 笠間市下郷*=0.7 笠間市中央*=0.7 ひたちなか市山ノ上町=0.6 城里町小勝*=0.6 ひたちなか市東石川*=0.6 阿見町中央*=0.6 大洗町磯浜町*=0.6 坂東市岩井=0.5				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		千葉県 守谷市大柏＊=0.5 城里町石塚＊=0.5 3 銚子市小畑新町=2.7 銚子市川口町=2.5 2 旭市南堀之内＊=2.4 香取市仁良＊=2.3 銚子市若宮町＊=2.2 旭市萩園＊=2.2 香取市役所＊=2.1 旭市ニ＊=2.1 旭市高生＊=2.0 香取市羽根川＊=1.9 成田市松子＊=1.9 匝瑳市八日市場ハ＊=1.8 香取市佐原平田=1.8 成田市名古屋=1.7 香取市佐原諏訪台＊=1.7 神崎町神崎本宿＊=1.6 多古町多古=1.6 匝瑳市今泉＊=1.6 東庄町笹川＊=1.5 白井市復＊=1.5 1 印西市笠神＊=1.4 栄町安食台＊=1.4 横芝光町宮川＊=1.3 香取市岩部＊=1.2 野田市鶴奉＊=1.2 成田市中台＊=1.2 八千代市大和田新田＊=1.2 富里市七栄＊=1.2 成田国際空港=1.1 芝山町小池＊=1.1 成田市役所＊=1.1 成田市猿山＊=1.1 千葉若葉区小倉台＊=1.1 千葉美浜区ひび野=1.1 横芝光町栗山＊=1.0 山武市蓮沼ニ＊=1.0 千葉稲毛区園生町＊=1.0 東金市日吉台＊=1.0 印西市大森＊=1.0 山武市松尾町富士見台=0.9 山武市埴谷＊=0.9 山武市蓮沼ハ＊=0.9 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷＊=0.9 山武市松尾町五反田＊=0.9 千葉花見川区花島町＊=0.9 千葉佐倉市海隣寺町＊=0.8 習志野市鷺沼＊=0.8 我孫子市我孫子＊=0.8 長南町総合グラウンド=0.8 東金市東新宿=0.7 柏市旭町=0.7 柏市大島田＊=0.7 船橋市湊町＊=0.7 印西市美瀬＊=0.7 千葉中央区都町＊=0.7 四街道市鹿渡＊=0.6 千葉中央区中央港=0.6 市原市姉崎＊=0.6 栃木県 1 真岡市石島＊=1.4 下野市笹原＊=0.8 益子町益子=0.6 埼玉県 1 春日部市谷原新田＊=0.5 宮代町笠原＊=0.5				
119	29 02 50	沖縄本島近海 鹿児島県 1 伊仙町伊仙＊=0.5 沖縄県 1 国頭村辺土名＊=1.1	26° 29.2' N	128° 55.8' E	45km	M: 4.3
120	29 05 58	神奈川県西部 神奈川県 1 山北町山北＊=1.1 秦野市平沢＊=0.5	35° 21.7' N	139° 06.9' E	20km	M: 2.9
121	30 05 37	八丈島東方沖 東京都 3 八丈町富士グラウンド＊=3.2 八丈町三根=3.0 八丈町樫立=2.8 2 神津島村金長=2.3 神津島村役場＊=2.3 三宅村坪田=2.2 御蔵島村西川=2.2 三宅村神着=2.0 新島村大原=1.9 三宅村阿古＊=1.7 東京大田区多摩川＊=1.7 伊豆大島町波浮港＊=1.6 東京千代田区大手町=1.6 新島村本村＊=1.5 1 東京大田区本羽田＊=1.4 伊豆大島町差木地=1.4 東京利島村東山=1.4 東京江東区越中島＊=1.3 新島村式根島=1.3 東京墨田区東向島＊=1.2 東京江東区枝川＊=1.2 東京江戸川区船堀＊=1.2 国分寺市戸倉=1.2 国分寺市本多＊=1.2 東京世田谷区三軒茶屋＊=1.1 東京渋谷区本町＊=1.1 東京中野区中野＊=1.1 東京北区神谷＊=1.1 東京板橋区高島平＊=1.1 東京江戸川区中央=1.1 八王子市堀之内＊=1.1 町田市忠生＊=1.1 小平市小川町＊=1.1 東京新宿区上落合＊=1.1 東京江東区森下＊=1.0 東京江東区亀戸＊=1.0 東京品川区平塚＊=1.0 東京世田谷区世田谷＊=1.0 東京世田谷区成城＊=1.0 東京荒川区東尾久＊=1.0 東京足立区神明南＊=1.0 東京足立区千住中居町＊=1.0 東京足立区伊興＊=1.0 町田市森野＊=1.0 東京中央区日本橋兜町＊=1.0 東京中央区勝どき＊=1.0 東京世田谷区中町＊=0.9 東京渋谷区宇田川町＊=0.9 東京杉並区阿佐谷=0.9 東京杉並区桃井＊=0.9 東京荒川区荒川＊=0.9 東京練馬区東大泉＊=0.9 東京千代田区富士見＊=0.9 東京港区海岸=0.9 東京新宿区西新宿=0.9 東京新宿区百人町＊=0.9 東京文京区スポーツセンタ＊=0.9 東京文京区本郷＊=0.9 伊豆大島町元町=0.9 東京江東区青海=0.9 東京品川区北品川＊=0.9 東京国際空港=0.9 八王子市石川町＊=0.8 調布市西つつじヶ丘＊=0.8 日野市神明＊=0.8 西東京市中町＊=0.8 東京千代田区麹町＊=0.8 東京港区白金＊=0.8 東京杉並区高井戸＊=0.8 東京文京区大塚＊=0.8 東京台東区千束＊=0.8 東京板橋区板橋＊=0.8 東京墨田区横川=0.8 東京葛飾区立石＊=0.8 東京江東区東陽＊=0.8 東京目黒区中央町＊=0.7 東京大田区大森東＊=0.7 東京葛飾区金町＊=0.7 東京中野区江古田＊=0.7 東大和市中央＊=0.7 東京北区西ヶ原＊=0.7 東京練馬区光が丘＊=0.7 東京江戸川区鹿骨＊=0.6 東京豊島区南池袋＊=0.6 東京品川区広町＊=0.6 東京府中市朝日町＊=0.5 宮城県 2 丸森町島屋＊=1.9 1 角田市角田＊=1.3 岩沼市桜＊=1.2 蔵王町円田＊=1.0 山元町浅生原＊=0.8 石巻市桃生町＊=0.8 登米市登米町＊=0.8 大崎市田尻＊=0.7 南三陸町志津川=0.6 松島町高城=0.6 登米市迫町＊=0.6 大崎市古川三日町=0.5 埼玉県 2 加須市大利根＊=1.5 富士見市鶴馬＊=1.5 1 春日部市谷原新田＊=1.3 宮代町笠原＊=1.3 さいたま南区別所＊=1.3 川島町下八ツ林＊=1.2 さいたま大宮区天沼町＊=1.2 さいたま緑区中尾＊=1.2 志木市中宗岡＊=1.2 久喜市鷺宮＊=1.1 三郷市中央＊=1.1 さいたま浦和区高砂=1.0 加須市三俣＊=1.0 加須市騎西＊=1.0 久喜市青葉＊=1.0 春日部市粕壁＊=1.0 幸手市東＊=1.0 鶴ヶ島市三ツ木＊=1.0 さいたま北区宮原＊=1.0 さいたま中央区下落合＊=1.0 さいたま桜区道場＊=1.0 鴻巣市吹上富士見＊=0.9 久喜市栗橋＊=0.9 春日部市金崎＊=0.9 草加市中央＊=0.9 狭山市人間川＊=0.8 白岡市千駄野＊=0.8 越谷市越ヶ谷＊=0.8 和光市広沢＊=0.8 鴻巣市川里＊=0.8 久喜市下早見=0.8 久喜市菖蒲＊=0.8 熊谷市大里＊=0.8 川口市青木＊=0.7 さいたま見沼区堀崎＊=0.7 加須市北川辺＊=0.7 鴻巣市中央＊=0.7 戸田市上戸田＊=0.7 毛呂山町中央＊=0.7 川越市旭町=0.7 蕨市中央＊=0.6 新座市野火止＊=0.6 埼玉三芳町藤久保＊=0.6 さいたま西区指扇＊=0.6 上尾市本町＊=0.6 ふじみ野市福岡＊=0.6 埼玉美里町木部＊=0.5 ふじみ野市大井＊=0.5 千葉県 2 鋸南町下佐久間＊=2.4 館山市市長須賀=2.1 館山市北条＊=2.0 いすみ市国府台＊=1.7 南房総市岩糸＊=1.7 鴨川市横渚＊=1.7 鴨川市八色=1.6 市原市姉崎＊=1.6 南房総市富浦町青木＊=1.6 富津市下飯野＊=1.6 南房総市白浜町白浜＊=1.5 南房総市谷向＊=1.5 睦沢町下之郷＊=1.5 千葉美浜区ひび野=1.5 1 長南町長南＊=1.4 君津市久留里市場＊=1.4 君津市久保＊=1.3 いすみ市岬町長者＊=1.3 南房総市三倉町瀬戸＊=1.3 木更津市富士見＊=1.2 勝浦市墨名=1.2 長南町総合グラウンド=1.2 大網白里市大網＊=1.2 千葉中央区都町＊=1.2 大多喜町大多喜＊=1.1 南房総市上堀=1.1 東金市日吉台＊=1.0 一宮町一宮=1.0 千葉中央区中央港=1.0 千葉花見川区花島町＊=1.0	32° 54.7' N	140° 46.6' E	59km	M: 5.9

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度（計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
		勝浦市新官＊=0.9 多古町多古=0.9 浦安市日の出=0.9 山武市蓮沼ニ＊=0.8 山武市埴谷＊=0.8 千葉若葉区小倉台＊=0.8 木更津市太田=0.7 山武市松尾町富士見台=0.7 東金市東新宿=0.6 香取市佐原平田=0.6 鴨川市内浦=0.6 神奈川県 2 二宮町中里＊=2.2 厚木市下津古久＊=2.2 横浜戸塚区鳥が丘＊=2.0 藤沢市大庭＊=1.9 海老名市大谷＊=1.9 横浜中区山手町=1.9 中井町比奈窪＊=1.9 横浜港北区日吉本町＊=1.9 厚木市中町＊=1.8 綾瀬市深谷＊=1.8 藤沢市打戻＊=1.7 三浦市城山町＊=1.7 横浜中区山下町＊=1.7 秦野市曾屋=1.7 横浜泉区岡津町＊=1.7 横浜泉区和泉町＊=1.7 川崎川崎区宮前町＊=1.7 寒川町宮山＊=1.6 横須賀市光の丘=1.6 横浜中区山吹町＊=1.6 湯河原町中央=1.6 藤沢市辻堂東海岸＊=1.6 川崎宮前区宮前平＊=1.5 藤沢市朝日町＊=1.5 横浜磯子区洋光台＊=1.5 相模原中央区水郷田名＊=1.5 茅ヶ崎市茅ヶ崎=1.5 横浜緑区鴨居＊=1.5 1 横浜保土ヶ谷区上菅田町＊=1.4 横浜金沢区寺前＊=1.4 横浜金沢区釜利谷南＊=1.4 川崎川崎区千鳥町＊=1.4 川崎川崎区中島＊=1.4 川崎宮前区野川＊=1.4 清川村煤ヶ谷＊=1.4 横浜中区日本大通＊=1.3 横浜戸塚区戸塚町＊=1.3 横浜港南区丸山台東部＊=1.3 平塚市浅間町＊=1.3 横浜鶴見区末広町＊=1.3 横浜神奈川区広台太田町＊=1.2 横浜金沢区白帆＊=1.2 横浜緑区十日市場町＊=1.2 横浜瀬谷区中屋敷＊=1.2 川崎幸区戸手本町＊=1.2 藤沢市長後＊=1.2 松田町松田惣領＊=1.2 相模原緑区久保沢＊=1.2 相模原緑区橋本＊=1.2 横浜青葉区榎が丘＊=1.1 鎌倉市御成町＊=1.1 大和市中鶴間＊=1.1 愛川町角田＊=1.1 相模原中央区上溝＊=1.1 横浜旭区川井宿町＊=1.1 横浜瀬谷区三ツ境＊=1.1 川崎中原区小杉陣屋町=1.0 大磯町月京＊=1.0 山北町山北＊=1.0 相模原南区相模大野＊=1.0 相模原緑区中野＊=1.0 横須賀市坂本町＊=0.8 秦野市平沢＊=0.8 相模原緑区小淵＊=0.7 川崎麻生区万福寺＊=0.7 山梨県 2 忍野村忍草＊=1.6 1 富士川町鰺沢＊=1.4 都留市上谷＊=1.4 山梨北杜市長坂町＊=1.1 大月市御太刀＊=0.8 甲州市塩山下於曽=0.5 甲州市塩山上於曽＊=0.5 長野県 2 茅野市葛井公園＊=1.5 1 長野南牧村海ノ口＊=1.1 諏訪市湖岸通り=1.0 諏訪市高島＊=1.0 佐久市中込＊=1.0 軽井沢町追分=0.6 静岡県 2 伊豆の国市長岡＊=2.0 河津町田中＊=1.8 東伊豆町奈良本＊=1.6 伊豆の国市四日町＊=1.5 1 伊豆市中伊豆グラウンド=1.4 東伊豆町稲取＊=1.3 西伊豆町宇久須＊=1.2 三島市東本町=1.2 富士市吉永＊=1.2 松崎町江奈＊=1.1 南伊豆町下賀茂＊=1.0 伊東市大原=0.9 西伊豆町仁科＊=0.9 長泉町中土狩＊=0.9 函南町平井＊=0.8 沼津市高島本町＊=0.8 三島市大社町＊=0.8 静岡清水町堂庭＊=0.8 熱海市網代=0.7 伊豆の国市田京＊=0.7 富士宮市野中＊=0.7 富士宮市弓沢町=0.6 御殿場市萩原=0.5 福島県 1 白河市東＊=1.2 双葉町両竹＊=1.1 玉川村小高＊=1.0 福島市松木町=1.0 浪江町幾世橋=1.0 川俣町五百田＊=0.9 棚倉町棚倉中居野=0.9 白河市新白河＊=0.9 田村市大越町＊=0.9 田村市常葉町＊=0.9 田村市滝根町＊=0.9 相馬市中村＊=0.9 福島市五老内町＊=0.9 二本松市油井＊=0.9 飯館村伊丹沢＊=0.9 二本松市針道＊=0.9 大熊町大川原＊=0.8 檜葉町北田＊=0.7 川内村上川内早渡＊=0.7 小野町小野新町＊=0.7 田村市船引町=0.7 福島市桜木町＊=0.7 須賀川市八幡山＊=0.7 郡山市湖南町＊=0.7 鏡石町不時沼＊=0.6 浅川町浅川＊=0.6 葛尾村落合落合＊=0.6 福島伊達市霊山町＊=0.6 本宮市本宮＊=0.6 小野町中通＊=0.6 川内村下川内=0.6 いわき市三和町=0.5 いわき市錦町＊=0.5 郡山市朝日=0.5 茨城県 1 笠間市石井＊=1.0 坂東市岩井=1.0 東海村東海＊=0.9 筑西市舟生=0.9 石岡市柿岡=0.8 水戸市内原町＊=0.8 日立市助川小学校＊=0.8 取手市寺田＊=0.6 ひたちなか市南神敷台＊=0.6 土浦市常名=0.6 稲敷市江戸崎甲＊=0.5 水戸市千波町＊=0.5 城里町小勝＊=0.5 栃木県 1 真岡市石島＊=1.0 宇都宮市明保野町=0.7 益子町益子=0.6 群馬県 1 渋川市赤城町＊=0.9 邑楽町中野＊=0.8 群馬明和町新里＊=0.7 安中市安中＊=0.6 板倉町板倉=0.6 千代田町赤岩＊=0.5 新潟県 1 南魚沼市六日町=0.8				
122	30 07 08	福島県沖 福島県	37° 42.1' N	141° 42.9' E	25km	M: 4.0
		1 大熊町大川原＊=0.9 双葉町両竹＊=0.8 檜葉町北田＊=0.7 福島伊達市霊山町＊=0.6 浪江町幾世橋=0.5				
123	30 12 46	沖縄本島近海 沖縄県	25° 59.9' N	128° 24.3' E	44km	M: 4.6
		1 南城市知念久手堅＊=0.8 うるま市みどり町＊=0.6				
124	30 13 13	十勝地方南部 北海道	42° 22.2' N	143° 06.3' E	49km	M: 4.2
		2 浦河町潮見=1.9 浦河町築地＊=1.9 浦幌町桜町＊=1.8 更別村更別＊=1.7 広尾町並木通=1.7 幕別町忠類錦町＊=1.6 様似町栄町＊=1.6 広尾町白樺通=1.6 浦河町野深=1.5 十勝大樹町東本通＊=1.5				
		1 十勝池田町西 1 条＊=1.2 十勝大樹町生花＊=1.2 えりも町目黒＊=1.1 えりも町えりも岬＊=1.1 白糠町西 1 条＊=1.0 釧路市阿寒町中央＊=0.9 新ひだか町静内山手町=0.9 新ひだか町三石旭町＊=0.8 中札内村東 2 条＊=0.7 豊頃町茂岩本町＊=0.7 函館市新浜町＊=0.6 本別町向陽町＊=0.6 本別町北 2 丁目=0.5 十勝清水町南 4 条=0.5				
125	30 15 52	胆振地方中東部 北海道	42° 37.2' N	141° 59.6' E	28km	M: 4.2
		3 厚真町鹿沼=2.9 むかわ町穂別＊=2.9 厚真町京町＊=2.7				
		2 安平町早来北進＊=2.4 むかわ町松風＊=2.4 平取町本町＊=2.4 安平町追分柏が丘＊=2.3 平取町振内＊=2.3 新千歳空港=2.0 札幌東区元町＊=1.9 千歳市若草＊=1.5				
		1 新冠町北星町＊=1.4 日高地方日高町門別＊=1.2 千歳市支笏湖温泉＊=1.2 新ひだか町静内山手町=1.2 江別市緑町＊=1.0 千歳市北栄=1.0 恵庭市京町＊=0.8 札幌北区篠路＊=0.7 札幌北区太平＊=0.7 日高地方日高町日高＊=0.6 札幌北区新琴似＊=0.6 北広島市共栄＊=0.5 函館市新浜町＊=0.5				
126	30 17 31	長野県中部 長野県	36° 11.4' N	137° 59.2' E	7km	M: 3.0
		2 松本市丸の内＊=2.0				
		1 松本市寿＊=1.1 塩尻市広丘高出＊=0.7 松本市沢村=0.6 松本市美須々＊=0.5				

令和元年 7 月 地震・火山月報（防災編）

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各 地 の 震 度 （計 測 震 度）	緯度	経度	深さ	規模
127	30 22 18	長野県南部 山梨県 1 山梨北杜市長坂町*=0.7 長野県 1 南箕輪村役場*=1.0 伊那市高遠町荊口=0.7 箕輪町中箕輪*=0.6	35° 49.7' N	137° 59.6' E	9km	M: 3.1
128	31 00 15	奄美大島近海 鹿児島県 1 宇検村湯湾*=1.1 瀬戸内町西古見=0.5 奄美市名瀬港町=0.5	28° 28.9' N	129° 02.6' E	10km	M: 3.6
129	31 01 43	熊本県熊本地方 熊本県 1 熊本西区春日=0.6	32° 46.0' N	130° 37.5' E	9km	M: 2.4
130	31 23 25	宮城県沖 岩手県 1 一関市千厩町*=0.8 一関市室根町*=0.7 一関市東山町*=0.5	38° 51.9' N	141° 38.1' E	61km	M: 3.0

● 付録 2. 過去 1 年間に震度 1 以上を観測した地震の最大震度別の月別回数
 <平成30年（2018年）8 月～令和元年（2019年）7 月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
平成30年（2018年）											
8 月	89	29	11	2						131	
9 月	229	113	46	19	1				1	409	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度 7：1 回、震度 5 弱：1 回、震度 4：16 回、震度 3：33 回、震度 2：75 回、震度 1：151 回）
10 月	106	51	16	10	1					184	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度 5 弱：1 回、震度 4：4 回、震度 3：2 回、震度 2：6 回、震度 1：22 回）
11 月	148	38	10	5						201	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度 4：1 回、震度 2：4 回、震度 1：8 回） 岐阜県飛騨地方（長野・岐阜県境付近）の地震活動 （震度 2：6 回、震度 1：43 回）
12 月	100	33	11	2						146	
平成31年/令和元年（2019年）											
1 月	100	48	4	4	1		1			158	3 日 熊本県熊本地方（震度 6 弱） 26 日 熊本県熊本地方（震度 5 弱）
2 月	82	40	7	1			1			131	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 （震度 6 弱：1 回、震度 3：1 回、震度 2：3 回、震度 1：6 回）
3 月	93	30	10	5						138	
4 月	78	24	8	1						111	
5 月	78	30	10	4	2					124	10 日 日向灘（震度 5 弱） 25 日 千葉県北東部（震度 5 弱）
6 月	118	51	9	6				1		185	18 日 山形県沖（震度 6 強） 地震活動（震度 6 強：1 回、震度 4：1 回、震度 3：4 回、震度 2：8 回、震度 1：27 回）
7 月	84	32	13	1						130	
2019 年計	633	255	61	22	3	0	2	1	0	977	
過去 1 年計	1305	519	155	60	5	0	2	1	1	2048	（平成30年 8 月～令和元年 7 月）

注）「記事」の欄には主に震度 5 弱以上を観測した地震、または震度 1 以上を 10 回以上観測した地震活動について記載した。

● 付録 3. 日本及びその周辺におけるマグニチュード (M) 別の月別地震回数
 〈平成30年（2018年）8月～令和元年（2019年）7月〉

	M3.0 ～ M3.9	M4.0 ～ M4.9	M5.0 ～ M5.9	M6.0 ～ M6.9	M7.0 以上	計 M3.0 以上	計 M4.0 以上	記事
平成30年（2018年）								
8 月	365	96	11	2		474	109	17日 03時21分 硫黄島近海（M6.3） 17日 03時23分 硫黄島近海（M6.6）
9 月	586	120	14	3		723	137	「平成30年北海道胆振東部地震」の地震活動 6日 胆振地方中東部（M6.7） 15日 沖縄本島近海（M6.2） 16日 沖縄本島近海（M6.0）
10月	410	80	14	2		506	96	23日 与那国島近海（M6.1） 24日 与那国島近海（M6.3）
11月	362	77	9	2		450	88	2日 オホーツク海南部（M6.1） 5日 国後島付近（M6.3）
12月	308	66	13			387	79	
平成31年/令和元年（2019年）								
1 月	324	65	10	1		400	76	8日 種子島近海（M6.0）
2 月	369	66	14			449	80	
3 月	336	69	14	3		422	86	2日 根室半島南東沖（M6.2） 11日 福島県沖（M6.0） 11日 硫黄島近海（M6.1）
4 月	414	79	14	2		509	95	11日 三陸沖（M6.2） 18日 台湾付近（M6.5）
5 月	337	70	7	1		415	78	10日 日向灘（M6.3）
6 月	355	67	7	2		431	76	4日 鳥島近海（M6.2） 18日 山形県沖（M6.7）
7 月	316	81	12	3		412	96	13日 奄美大島北西沖（M6.0） 27日 フィリピン付近（M6.0） 28日 三重県南東沖（M6.6）
2019年計	2451	497	78	12	0	3038	587	
過去1年計	4482	936	139	21	0	5578	1096	（平成30年8月～令和元年7月）

注）日本及びその周辺：原則、北緯 20～49 度、東経 120～154 度の範囲。「記事」の欄には主に M6.0 以上の地震を記載した。

● 付録 4. 長周期地震動階級 1 以上を観測した地震

令和元年 7 月に、長周期地震動階級※ 1 以上を観測した地震は 1 回であった。

平成 25 年 3 月～令和元年 7 月に長周期地震動階級 1 以上を観測した地震の月別回数
（平成 25 年 3 月 28 日の長周期地震動に関する観測情報（試行）※※の提供開始以降）

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 25 年 (2013 年)			1	4	1	0	0	1	1	1	1	1	11
平成 26 年 (2014 年)	0	1	1	0	1	1	3	0	1	1	1	0	10
平成 27 年 (2015 年)	0	3	0	1	2	0	2	0	0	0	1	0	9
平成 28 年 (2016 年)	1	0	0	13	1	1	0	2	0	2	4	1	25
平成 29 年 (2017 年)	1	2	0	0	0	1	2	0	1	1	0	1	9
平成 30 年 (2018 年)	1	0	1	1	1	2	2	0	2	2	0	0	12
平成 31 年 / 令和元年 (2019 年)	1	1	0	0	1	1	1						5

長周期地震動階級関連解説表

	長周期地震動 階級	人の体感・行動	室内の状況	備考
	長周期地震動 階級 1	室内にいたほとんどの 人が揺れを感じる。驚 く人もいる。	ブラインドなど吊り下げ もの大きく揺れる。	—
	長周期地震動 階級 2	室内で大きな揺れを感じ、 物につかまりたいと感じる。 物につかまらな いと歩くことが難 しいなど、行動に支障 を感じる。	キャスター付き什器がわ ずかに動く。棚にある食 器類、書棚の本が落ちる ことがある。	—
	長周期地震動 階級 3	立っていることが困難 になる。	キャスター付き什器が大 きく動く。固定していな い家具が移動することが あり、不安定なものは倒 れることがある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が入るこ とがある。
	長周期地震動 階級 4	立っていることができ ず、はわないと動くこ とができない。揺れに ほんろうされる。	キャスター付き什器が大 きく動き、転倒するもの がある。固定していない 家具の大半が移動し、倒 れるものもある。	間仕切壁など にひび割れ・ 亀裂が多くな る。

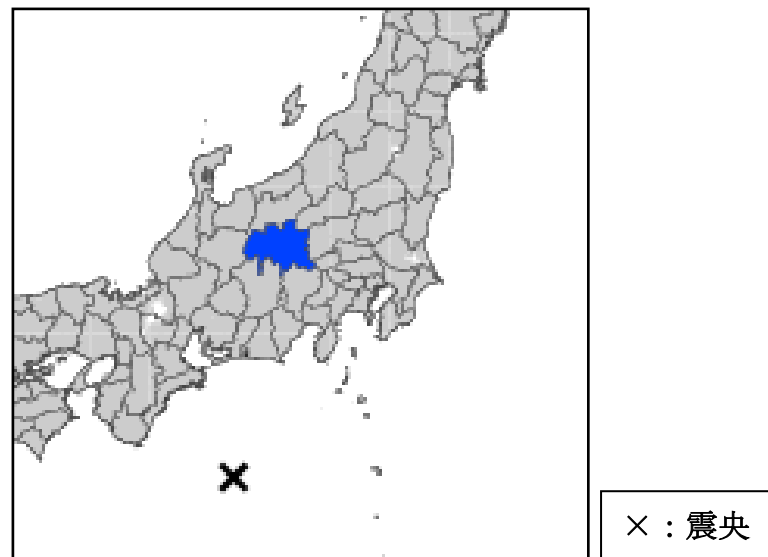
※ 長周期地震動階級に関する詳細は、平成 30 年 12 月号「付録 10. 長周期地震動階級関連解説表」を参照。
※※ 長周期地震動に関する観測情報（試行）に関する詳細は、地震・火山月報（防災編）平成 25 年 4 月号
「特集 3. 長周期地震動に関する観測情報（試行）について」を参照。なお、平成 31 年 3 月 19 日に長
周期地震動に関する観測情報の本運用を開始した。

1. 令和元年 7 月 28 日 03 時 31 分 三重県南東沖の地震

長周期地震動階級 1 以上を観測した地域・観測点

2019 年 7 月 28 日 03 時 31 分 三重県南東沖 北緯 33 度 09.6 分 東経 137 度 23.8 分 深さ 393km M6.6			
都道府県	地域	地点	長周期地震動階級
長野県	長野県中部	諏訪市湖岸通り	1

長周期地震動階級 1 以上が観測された地域



長周期地震動階級の凡例: ■ 階級1 ■ 階級2 ■ 階級3 ■ 階級4

● 付録 5. 緊急地震速報の提供状況

令和元年 7 月に緊急地震速報（警報）を発表した地震はなかった。また、緊急地震速報（予報）を発表した回数は 59 回であった。

平成 19 年 10 月～令和元年 7 月に発表した緊急地震速報の月別回数

年 \ 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	計
平成 19 年 (2007 年)										0 (48)	0 (33)	0 (39)	0 (120)
平成 20 年 (2008 年)	0 (35)	0 (41)	0 (48)	1 (42)	1 (70)	3 (75)	2 (63)	0 (47)	1 (58)	0 (46)	1 (40)	0 (57)	9 (622)
平成 21 年 (2009 年)	0 (44)	0 (39)	0 (34)	0 (34)	0 (24)	0 (54)	0 (36)	2 (65)	0 (47)	1 (44)	0 (39)	0 (47)	3 (507)
平成 22 年 (2010 年)	0 (53)	1 (44)	1 (50)	0 (36)	0 (27)	0 (35)	0 (47)	0 (51)	1 (40)	1 (50)	0 (40)	1 (34)	5 (507)
平成 23 年 (2011 年)	0 (50)	0 (74)	45 (1191)	26 (770)	5 (425)	5 (304)	5 (248)	3 (239)	4 (188)	1 (163)	2 (135)	1 (136)	97 (3923)
平成 24 年 (2012 年)	2 (149)	3 (141)	3 (142)	2 (128)	1 (129)	3 (118)	0 (102)	1 (107)	0 (70)	0 (109)	0 (77)	1 (134)	16 (1406)
平成 25 年 (2013 年)	0 (81)	2 (99)	0 (53)	3 (103)	0 (91)	0 (83)	0 (102)	2 (97)	1 (61)	0 (80)	0 (93)	1 (67)	9 (1010)
平成 26 年 (2014 年)	0 (70)	0 (70)	1 (68)	0 (62)	0 (53)	0 (57)	2 (97)	1 (96)	1 (68)	0 (84)	1 (87)	0 (75)	6 (887)
平成 27 年 (2015 年)	0 (67)	1 (88)	0 (90)	1 (77)	3 (71)	0 (84)	1 (74)	0 (88)	0 (81)	0 (92)	1 (86)	0 (75)	7 (973)
平成 28 年 (2016 年)	1 (76)	0 (71)	0 (65)	20 (228)	1 (101)	2 (89)	0 (95)	0 (71)	1 (80)	3 (92)	2 (124)	1 (86)	31 (1178)
平成 29 年 (2017 年)	0 (77)	0 (72)	0 (61)	0 (60)	0 (52)	1 (55)	1 (79)	1 (73)	2 (52)	1 (53)	0 (57)	1 (77)	7 (768)
平成 30 年 (2018 年)	2 (64)	0 (61)	1 (76)	2 (80)	1 (52)	2 (70)	1 (55)	0 (58)	2 (158)	4 (97)	1 (68)	0 (69)	16 (908)
平成 31 年 / 令和元年 (2019 年)	1 (66)	1 (62)	0 (63)	0 (88)	1 (64)	2 (59)	0 (59)						5 (461)

※ 表中の数字は緊急地震速報（警報）の発表回数、（ ）内の数字は緊急地震速報（予報）の発表回数を示す。

緊急地震速報（警報及び予報）の提供には、気象庁の地震計の観測データに加え、国立研究開発法人防災科学技術研究所の地震観測データを利用している。